


# 2025
# Annual Report of
# Obihiro Kosei Hospital

帯広厚生病院年報 2025

OBIHIRO
KOSEI
HOSPITAL

## 病　院　理　念

**最も信頼され選ばれる病院づくりを目指します。**

地域の求める　医療連携を考えた病院づくり
わかりやすい　質の高い　患者さまの立場に配慮した医療
患者さまへの気配りのある環境づくり　温もりのある医療

## 基　本　方　針

医療連携を深め、地域医療と救急医療の充実に努めます
職員教育・研修を推進し、医療水準の向上に努めます
患者さまが満足する療養環境と職員が誇れる職場環境を目指します

## 患者さまの権利と責任

人権の尊重と、プライバシーが守られて治療をうける権利
自分の病気や治療内容について、充分な説明を受ける権利
治療を選択する権利と、同意できない診療を拒否する権利
病院の規則を守り、ほかの患者さまの治療を妨げない責任

# *CONTENTS* 目次


巻　頭　言 …… 1
病院目標 …… 2
沿　　革 …… 3
組織概要 …… 5
施設認定 …… 7
組　織　図 …… 9
職　員　数 …… 11
収支実績 …… 12
全館案内 …… 13
資格所有者一覧 …… 14
委員会組織図 …… 31

年次報告

1．臨床指標 …… 33
2．ＤＰＣ医療機関別係数について …… 42
3．部位別がん登録件数 …… 43
4．科別患者数 …… 44
5．健診センター …… 45
6．臨床研修センター …… 47
7．救命救急センター …… 48
8．呼吸器内科 …… 49
9．循環器内科 …… 50
10．人工透析室 …… 51
11．脳神経内科 …… 52
12．消化器内科 …… 54
13．内視鏡室 …… 55
14．血液内科 …… 57
15．小　児　科 …… 58
16．手　術　室 …… 59
17．麻　酔　科 …… 62
18．外　　科 …… 63
19．リンパ浮腫外来 …… 66
20．心臓血管外科 …… 67
21．脳神経外科 …… 68
22．整形外科 …… 70
23．産婦人科 …… 71
24．形成外科 …… 72
25．泌尿器科 …… 73
26．眼　　科 …… 74
27．耳鼻咽喉科・頭頸部外科 …… 75
28．皮　膚　科 …… 77
29．精　神　科 …… 78
30．放射線科 …… 80
31．総合診療科 …… 82
32．緩和支持治療科 …… 83
33．救　急　科 …… 84
34．病理診断科 …… 85
35．看　護　部 …… 86
36．薬　剤　部 …… 99
37．放射線技術科 …… 100
38．臨床検査技術科 …… 101
39．理学療法技術科・作業療法技術科 …… 103
40．臨床工学技術科 …… 104
41．栄　養　科 …… 105
42．医療社会事業科 …… 106
43．がん相談支援科 …… 107
44．医療安全管理科 …… 112
45．地域医療連携室 …… 113
46．化学療法室 …… 116
47．入退院支援センター …… 117
48．院内活動チーム
（ICT、褥瘡チーム、NST、緩和ケアチーム）…118
49．在宅療養支援科 …… 127
50．メディアセンター …… 128

講演会・研修会実施記録 …… 129
出前講座撰実績
実習生受け入れ実績

# 巻頭言

病院長　佐　澤　　陽

2025年度は、厳しい医療情勢の中で、４月より消化器内科、皮膚科の医師数が回復し診療制限が解除となり、従来通りの体制となっております。また４月より１病棟53床を休床しましたが、新規入院患者数が増加するなかで、皆様のご協力を得ながら在院期間を短縮することで運用しております。そして昨年度に引き続き、病院経営カイゼン2025を継続しながら、収支の改善に努めております。

そのような折、今年も2025年度の当院の体制及び活動報告として、Annual Report をお届けします。病院目標や組織の概要をご確認いただければと思います。年次報告としては、まず昨年と同様に、当院の臨床指標や DPC 係数などを記載しております。臨床指数として、当院の様々な状況がみて取れるものと思います。2025年度も、DPC 特定病院群の中で機能評価係数Ⅱが全国で上位となりました。機能評価係数Ⅱの中では、特に地域医療指数が高く、急性期入院や地域における受け入れ入院数が評価されております。

次に各診療科や部門の実績・活動の年次推移、各科の主任部長、医長からのコメントを記載しております。各科の医師の専門医、指導医の取得状況や検査・手術など診療の内容、件数などもご確認いただけます。最新の医療を展開しておりますと同時に、患者さんやご家族とのコミュニケーションを大事に最善の診療を行っております。日頃の患者さんのご紹介、受け入れに深謝するとともに、今後のご参考にしていただければ幸いです。また、様々な院内の部門／センター体制、チーム医療の実際をご覧にいただけます。認定看護師や技師、技士、栄養士、事務の専門性・資格もご確認いただけます。皆さまの病院や施設への出前講座撰、実習生受け入れを通じて、皆様との協力体制も整えておりますので、その実績をご確認していただくとともに、今後もご要望がありましたらお教えいただければ幸いです。

2040年の新たな地域医療構想を見据え、これからも急性期拠点病院として、管内はもちろん管外の病院・クリニック・施設の皆さまとご協力しながら、十勝の医療を守ってまいりますので、よろしくお願いいたします。

# 令和７年度　病　院　目　標（事業所別計画＆行動計画）

## ➢　地域完結型を目指す十勝圏医療への貢献

①高度急性期・急性期病院としての役割の実行

②利用者および地域住民への啓蒙活動および情報発信

## ➢　高品質な医療・保健予防の提供

①チーム医療・多職種共働による質の向上

②ＤＸの推進による効果的な医療環境の構築

③持続可能な健康管理事業の構築

## ➢　モチベーション向上に繋げる労働環境の実現

①努力と成果を認め合える病院風土の醸成

②業務の分担および適正化の推進

## ➢　時代の要請に応える人財の育成

①各種研修病院としての体制充実

②将来を担う人財への教育支援

## ➢　継続的な成長を支える運営基盤の構築

①整備計画の実行に向けた対策の構築

②地域で活躍する医療従事者等の確保

## ➢　環境変化に対応するガバナンスの強化

①個人情報漏洩防止およびハラスメント防止等の徹底

②コントロールリスト遵守

③コンプライアンス意識の徹底

# 沿　革

昭和20年６月　北海道農業会が島田病院（西１南９）を買収、帯広厚生病院開設
昭和23年７月　北海道農業会解散、北海道厚生農業協同組合連合会の設立経営継承
昭和30年12月　西６南８に新築移転。円型２階建（旧病院）
昭和31年１月　完全（基準）給食開始
昭和34年５月　基準看護開始
昭和34年10月　八千代開拓診療所開設（帯広市の委託）
昭和34年12月　総合病院の名称許可　総合病院帯広厚生病院と改称
昭和35年２月　大正厚生診療所開設（帯広市の委託）
昭和37年９月　大正厚生診療所廃止
昭和37年11月　八千代開拓診療所を廃止
昭和38年１月　基準寝具開始
昭和39年11月　救急病院の告示
昭和45年４月　病院敷地内に帯広市19ヵ町村立帯広高等看護学院が開設
昭和45年７月　院内保育を開設
昭和53年５月　病衣貸与（基準寝具）開始
昭和55年１月　地方センター病院指定
昭和55年２月　新本館竣工（旧病院西棟）
鉄骨鉄筋コンクリート地下１階地上８階建延 13,350.09㎡
昭和55年３月　地域センター病院指定
昭和56年３月　帯広健診センター竣工（旧病院南棟）
鉄筋コンクリート造地下１階地上４階建延 2,249㎡
昭和60年５月　東棟本館竣工（旧病院）
鉄骨鉄筋コンクリート造地下１階地上７階建延 11,942.05㎡
昭和61年３月　適時給食実施
昭和61年12月　人工透析センター設置（10床）
昭和62年９月　第１回解剖体追悼慰霊式実施（以後毎年実施）
平成４年11月　どんぐり保育所新築竣工（旧保育所）
平成５年１月　釧路沖地震により旧病院東棟を中心に甚大な被害を受ける
平成５年４月　院内学級（小学・たんぽぽ学級）開級
平成７年３月　看護婦宿舎（レジデンス厚生）新築工事竣工（Ａ棟70室）
帯広高等看護学院、現在地(西11南39)に移転
平成７年６月　開設50周年記念式典
平成８年２月　エイズ診療拠点病院指定
平成８年４月　訪問看護ステーション開所
平成９年１月　災害拠点病院指定
平成９年８月　完全週休２日制実施
平成９年12月　外来オーダリングシステム導入
平成10年４月　臨床研修指定病院認可
平成11年３月　看護婦宿舎増築工事竣工（Ｂ棟50室）
平成11年５月　北棟竣工（旧病院）
救命救急センター開設（旧病院北棟）
平成12年４月　第二種感染症指定医療機関の指定（６床）
平成12年４月　在宅介護支援センター開設
平成12年４月　院内学級（中学・つばさ学級）開級
平成12年４月　倫理委員会設立（臓器提供病院として）
平成12年11月　入院オーダリングシステム導入
平成13年８月　小児救急医療支援事業受入
平成13年10月　北海道総合周産期母子医療センター認定
平成14年10月　マンモグラフィ検診施設画像認定Ａ評価取得
平成15年７月　外来化学療法室開設
平成15年８月　敷地内全面禁煙実施
平成16年５月　財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価認定
平成16年７月　駐車場拡張整備完了（1,401㎡　約70台分増）※全体で560台駐車可
平成17年１月　地域がん診療拠点病院指定
平成17年10月　ＮＳＴ稼動施設認定
平成18年10月　旧帯広市図書館跡地に人間ドック専用駐車場整備完了
(2,100㎡　73台分)
平成18年11月　外来診察案内表示システム稼動（番号表示による診察室案内）
ＳＰＤ物流システム稼動
平成19年 6月　ＩＶＲ－ＣＴ（血管造影16列）導入
平成19年 7月　がん相談センター開設
ＤＰＣ準備病院として厚生労働省へデータ提出
平成19年 9月　セカンドオピニオン実施
平成19年10月　給食調理業務委託開始
平成19年11月　緩和ケア外来開始
平成19年12月　ＮＩＣＵ改修整備（12床から13床へ）
平成20年５月　臨床研修病院機能評価認定取得
平成20年６月　７：１入院基本料施設基準取得
平成20年７月　外来化学療法室拡張整備

平成20年 9月　第１回災害訓練実施
平成21年 3月　新オーダリングシステム稼働
平成21年 4月　入院包括請求（ＤＰＣ）開始
平成21年 4月　臨床研修センター専任者配置
平成21年 5月　財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価更新　Ver.5
平成21年12月　助産外来開始
平成22年３月　総合周産期母子医療センター指定
平成22年５月　ＮＩＣＵ改修整備（ＮＩＣＵ６床・ＧＣＵ７床）
ＭＦＩＣＵ改修整備（３床）
平成22年７月　臨床研修病院機能評価認定更新
平成22年11月　ドトールコーヒーショップ開店
平成23年３月　ホスピタルローソン開店
平成23年４月　東日本大震災医療救護班派遣（第１陣：宮城県七ヶ浜町）
平成23年５月　東日本大震災医療救護班派遣（第２陣：宮城県気仙沼市）
平成24年３月　ＤＭＡＴ用医療機器整備更新
平成24年４月　ＤＰＣ病院Ⅱ群の指定
平成24年10月　患者図書室「しらかば」開設
平成25年３月　地域医療連携予約優先窓口開設
平成25年４月　内視鏡手術支援ロボット「da Vinci」（ダ・ヴィンチ）導入
平成25年９月　ホスピタルマルシェ開催
平成25年11月　医事会計システム更新
平成26年５月　財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価項目3rdG Ver.1.0更新
平成26年７月　臨床研修病院機能評価認定更新
平成26年９月　電子カルテシステム１次稼働
平成26年12月　診察状況Ｗｅｂサービス開始
平成27年２月　電子カルテシステム２次稼働
平成27年３月　新健診システム稼働
平成27年６月　調剤状況Ｗｅｂサービス開始
平成27年９月　入退院支援センター開設
平成27年10月　第１回地域医療連携懇談会開催
平成28年２月　内視鏡手術支援ロボット「da Vinci Xi」（ダ・ヴィンチ Xi）導入
平成28年３月　病院移転新築工事着工
平成28年４月　緩和支持治療科開設
平成28年４月　総合入院体制加算１施設基準取得
平成28年６月　急性期看護補助体制加算２５対１施設基準取得
平成28年７月　臨床研修病院機能評価認定更新
平成28年７月　紹介患者窓口設置
平成28年７月　出前講座撰 Kosei Speaker’s Selection 2016発行
平成28年８月　医師事務作業補助体制加算１ロ　15対１施設基準取得
平成28年10月　休日脳ドック開始
平成28年10月　退院支援加算１施設基準取得
平成28年10月　第１回休日がん相談会開催（以降不定期開催）
平成29年１月　第１回災害医療連絡会 災害机上訓練開催
平成29年４月　救急科開設
平成29年４月　病院移転新築工事上棟式
平成29年８月　ほっとステーション窓口開設
平成30年７月　臨床検査技術科 ISO15189取得
平成30年７月　看護外来開設
平成30年10月　どんぐり保育所移転新築オープン
平成30年11月　病院移転新築オープン
平成30年11月　診察案内 LINE サービス開始
平成31年４月　救急ワークステーション開設
令和元年６月　ＣＦＴ構造賞受賞
令和元年６月　第53回日本サインデザイン銅賞受賞
令和元年７月　臨床検査技術科 ISO15189病理検査拡大
令和元年９月　地域医療支援病院指定
令和元年11月　財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価項目3rdG Ver.2.0更新
令和元年11月　北海道ブロックＤＭＡＴ実働訓練実施
令和２年７月　臨床研修病院機能評価認定更新
令和５年４月　内視鏡手術支援ロボット「da Vinci Xi」（ダ・ヴィンチ Xi）２台目導入
令和５年５月　臨床検査技術科 ISO15189生理学的検査拡大
令和５年９月　紹介受診重点医療機関指定
令和６年１月　ASHRAE The Overall Engineering Award of Excellence 世界最優秀賞受賞
令和６年７月　電子カルテシステム・医事会計システム更新
令和６年７月　臨床研修病院機能評価認定更新
令和７年10月　財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価項目3rdG Ver.3.0更新

# 組　織　概　要

## 1．経営主体

（1）名　　称　北海道厚生農業協同組合連合会
（2）代 表 者　代表理事会長　　西本　　護
（3）所 在 地　札幌市中央区北４条西１丁目１番地　北農ビル９Ｆ
（4）設　　立　昭和２３年７月２０日
（5）出 資 金　３，５０３百万円／１０６会員（農業協同組合１０１、連合会５）
（6）事業分量　令和５年度／約８９０億円
①病院運営事業　【医　　療】
病院１０ヶ所、クリニック５ヶ所
総病床数２，７８２床
救命救急センター１ヶ所（帯広）
【健康管理】
総合健診（人間ドック）健診センター６ヶ所、生活習慣病検診（巡回ドック）
②高齢者福祉事業　特別養護老人ホーム（摩周、常呂、小清水）、訪問看護ステーション５地区、デイサービスセンター（美深・常呂）、デイケアセンター（鵡川）
③配置薬事業　取扱農協／１００農協　　普及戸数／３７千戸（令和５年度）
（7）全従業員数　４，８１７名（令和７年度）

## 2．病院の概要

（1）名　　称　ＪＡ北海道厚生連帯広厚生病院
（2）代 表 者　院　長　　佐　澤　　陽
（3）所 在 地　帯広市西１４条南１０丁目１番地
（4）設　　立　昭和２０年６月１日
（5）開 設 者　北海道厚生農業協同組合連合会
（6）面　　積

| | | |
|---|---|---|
| 敷地面積 | | ７２，５６２㎡ |
| 建物面積 | | １７，９５２㎡ |
| 建物延面積 | | ６５，６８０㎡ |
| （病院本棟 | 地上１０階 | ５７，７８１㎡） |
| （リニアック棟 | | １，７０４㎡） |
| （エネルギー棟 | | ２，８１５㎡） |
| （テナント棟他 | | ３，３８０㎡） |

（7）診 療 科

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ●内　　科 | ●呼吸器内科 | ●循環器内科 | ●消化器内科 | ●血液内科 |
| ●脳神経内科 | ●小　児　科 | ●外　　科 | ●呼吸器外科 | ●消化器外科 |
| ●脳神経外科 | ●心臓血管外科 | ●整形外科 | ●産婦人科 | ●皮　膚　科 |
| ●形成外科 | ●泌尿器科 | ●耳鼻咽喉科・頭頸部外科 | | ●眼　　科 |
| ●精　神　科 | ●麻　酔　科 | ●放射線科 | ●緩和ケア内科 | ●救　急　科 |
| ●リハビリテーション科 | ●病理診断科 | | | |

（8）病棟別病床数・診療科

| 病 棟 区 分 | 法定病床数 | 診　　療　　科 |
|---|---|---|
| 3　　北 | １８床 | ＩＣＵ／ＣＣＵ／ＨＣＵ |
| 4　　北 | ６０床 | 産婦人科／ＭＦＩＣＵ／循環器内科／泌尿器科など |
| 4　　南 | ４７床 | 小児科／ＮＩＣＵ／ＧＣＵなど |
| 5　　北 | ５２床 | 脳神経外科／放射線科／泌尿器科など |
| 5　　西 | ４５床 | 精神科 |
| 5　　南 | ４２床 | 脳神経内科／眼科など |
| 6　　北 | 休　床 | ― |
| 6　　南 | ５３床 | 外科／心臓血管外科など |
| 7　　北 | ５３床 | 整形外科／皮膚科など |
| 7　　南 | ５３床 | 循環器内科／耳鼻咽喉科・頭頸部外科など |
| 8　　北 | ５３床 | 血液内科／形成外科など |
| 8　　南 | ５３床 | 消化器内科／総合診療科など |
| 9　　北 | ４８床 | 呼吸器内科など |
| 9　　南 | ２１床 | 緩和支持治療科 |
| 計 | ６５１床（6北病棟５３床休床） | |

【個室３３５床（6北病棟２５床休床)】

（9）入院基準サービス

| | 病　　棟 | 看護配置 | 病 床 数 |
|---|---|---|---|
| 急性期一般入院料１ | 一般病棟 | ７対１ | ５２０ |
| 緩和ケア病棟入院料 | 9　　南 | ７対１ | ２１ |
| 小児入院医療管理料３ | 4　　南 | ７対１ | ３８ |
| 新生児特定集中治療室管理料２ | ＮＩＣＵ | ３対１ | 9 |
| 救命救急入院料３ | 3　　北 | ４対１ | １８ |
| 精神科病棟入院基本料１３対１ | 5　　西 | １３対１ | ４５ |

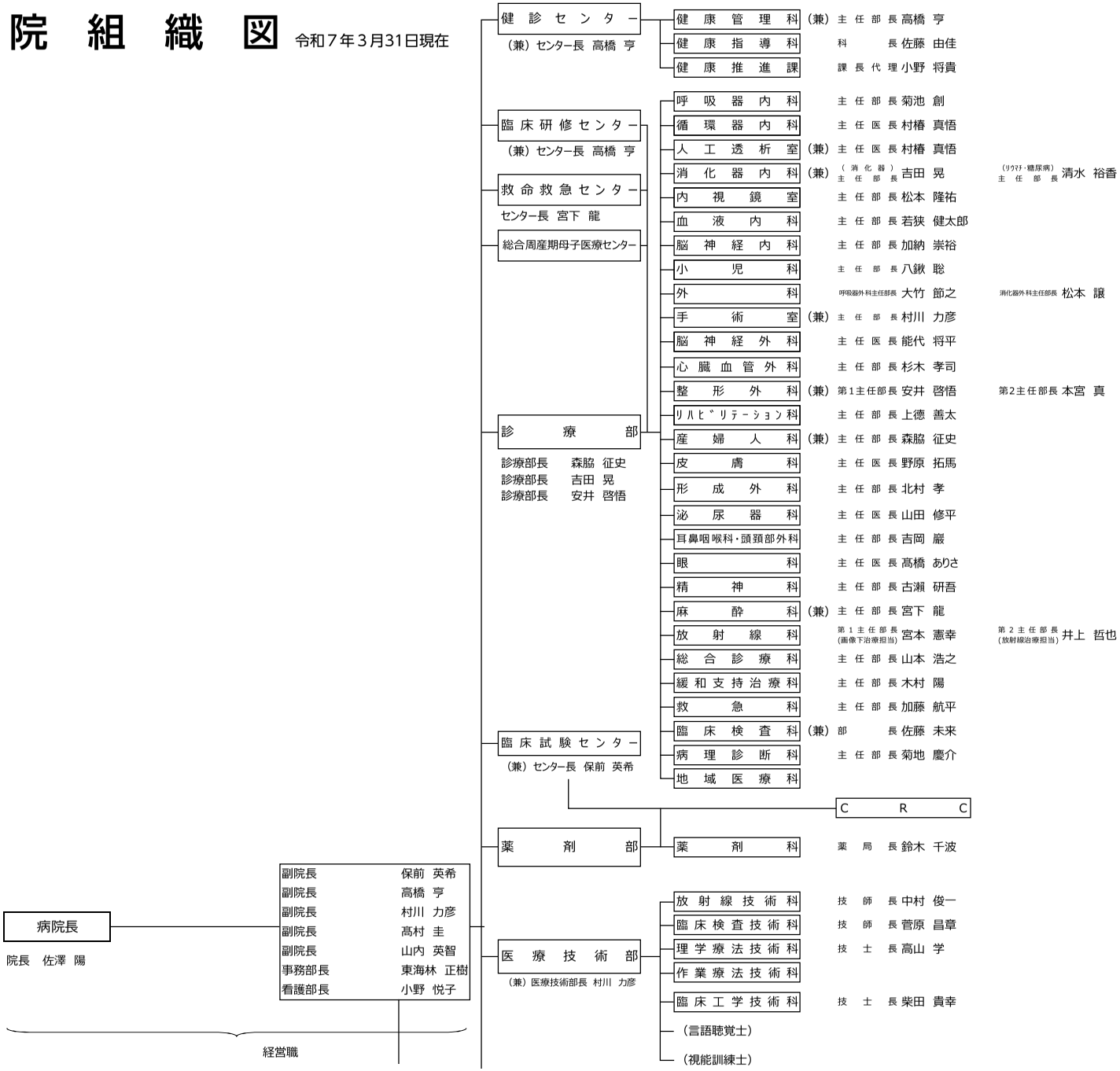
# 施　設　認　定

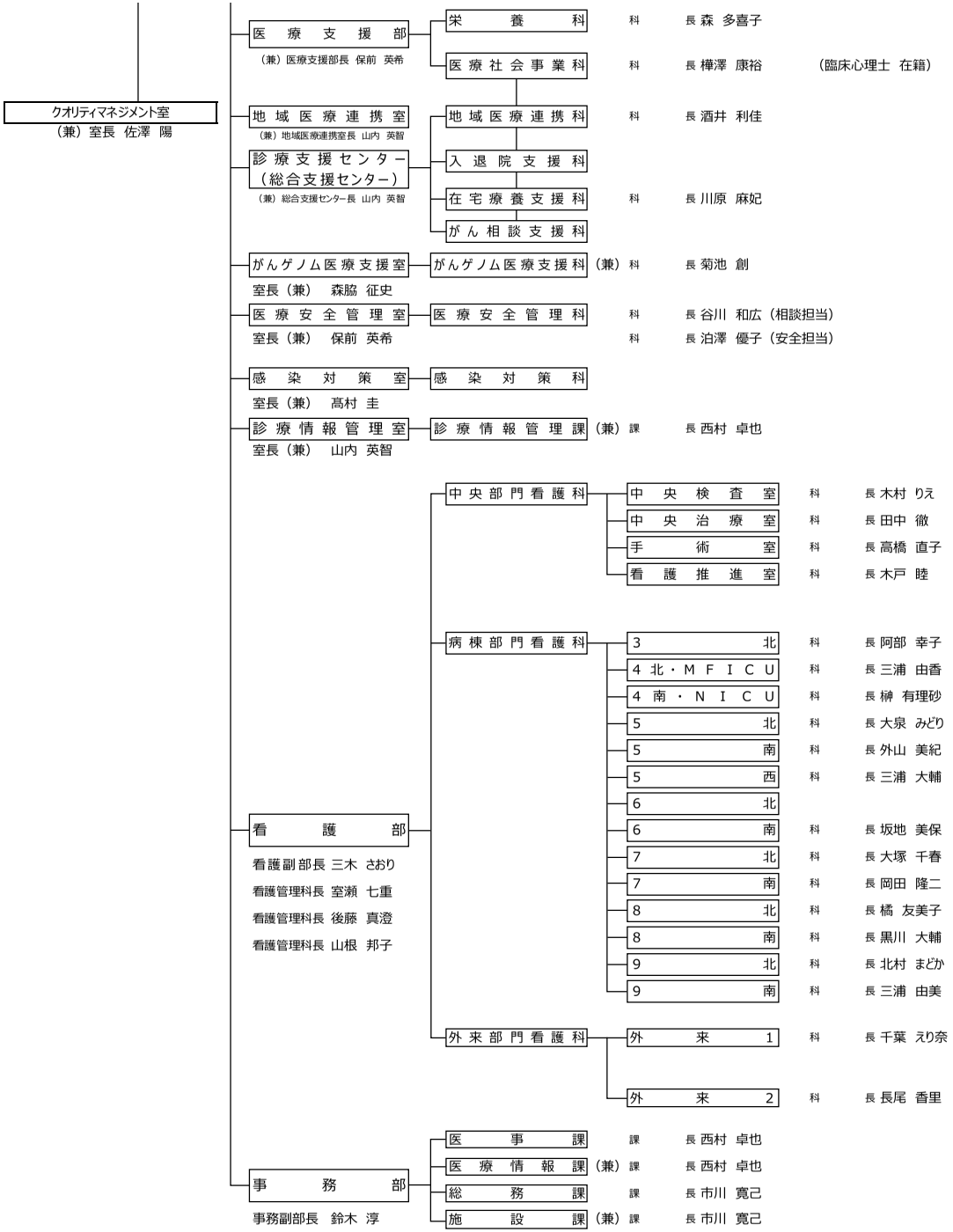
| 機　関　指　定 | 第三者機関施設認定 | 専門医・認定医等研修施設の認定 | |
|---|---|---|---|
| 救急告示病院 | 卒後臨床研修評価機構<br>臨床研修評価認定 | 日本内科学会専門医制度基幹施設 | 日本婦人科腫瘍学会専門医制度指定修練施設認定 |
| 病院群輪番制病院 | 日本人間ドック学会<br>人間ドック健診施設機能評価認定 | 日本呼吸器学会認定施設 | 日本食道学会食道外科専門医認定施設 |
| 地方・地域センター病院 | 日本医療機能評価機構<br>一般病院２認定 | 日本呼吸器内視鏡学会専門医制度認定施設 | 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構基幹施設認定 |
| 救命救急センター | 日本医療機能評価機構<br>精神科病院認定 | 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設 | 日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設 |
| へき地医療拠点病院 | 日本医療機能評価機構<br>緩和ケア病院認定 | 日本消化器病学会専門医制度認定施設 | 日本心血管インターベンション治療学会研修施設 |
| 臨床研修病院 | | 日本肝臓学会特別連携施設（北海道大学病院） | 日本臨床栄養治療学会栄養サポートチーム専門療法士認定教育施設 |
| 災害拠点病院 | | 日本外科学会外科専門医制度修練施設 | 日本人間ドック学会健診専門医制度暫定研修施設 |
| エイズ診療拠点病院 | | 呼吸器外科専門医合同委員会基幹施設専門研修連携施設（北大病院） | 日本頭頸部外科学会頭頸部がん専門医制度準認定施設 |
| 地域医療支援病院 | | 日本消化器外科学会専門医修練施設 | 日本乳房オンコプラスティックサージェリー学会エキスパンダー実施施設 |
| 地域がん診療連携拠点病院 | | 日本乳癌学会認定医・専門医制度認定施設 | 日本乳房オンコプラスティックサージェリー学会インプラント実施施設 |
| 総合周産期母子医療センター | | 日本整形外科学会専門医制度研修施設 | 日本胆道学会認定指導施設 |
| ＤＰＣ対象病院 | | 日本皮膚科学会専門医制度研修連携施設（北海道大学病院） | 日本肝胆膵外科学会高度技能専門医修練施設Ｂ |
| 紹介受診重点医療機関 | | 日本形成外科学会認定医研修施設 | 日本膵臓学会認定指導施設 |
| 第二種感染症指定医療機関 | | 日本泌尿器科学会拠点教育施設 | 日本脊椎脊髄病学会椎間板酸素注入療法実施可能施設 |
| ＤＭＡＴ指定医療機関 | | 日本耳鼻咽喉科学会専門医制度研修連携施設（札幌医科大学付属病院） | 日本心臓血管麻酔学会日本心臓血管麻酔学会専門医認定医施設 |

| 機　関　指　定 | 第三者機関施設認定 | 専門医・認定医等研修施設の認定 | |
|---|---|---|---|
| 労災保険指定医療機関 | | 日本救急医学会救急科専門医指定施設 | 日本救急撮影技師認定機構日本救急撮影技師実地研修施設 |
| 生活保護法指定医療機関 | | 日本麻酔科学会麻酔科認定病院 | 日本脳卒中学会一次脳卒中センター |
| 結核指定医療機関 | | 日本脳神経外科学会専門医制度研修連携施設（札幌医科大学付属病院） | 日本ステントグラフト実施基準管理委員会胸部ステントグラフト実施施設 |
| 指定自立支援医療機関（精神通院医療） | | 日本アレルギー学会専門医教育研修施設 | 日本ステントグラフト実施基準管理委員会腹部ステントグラフト実施施設 |
| 指定自立支援医療機関（育成医療） | | 日本ＩＶＲ学会専門医制度修練認定施設 | 浅大腿動脈ステントグラフト実施基準管理委員会浅大腿動脈ステントグラフト実施施設 |
| 指定自立支援医療機関（更生医療） | | 日本リウマチ学会教育施設 | 日本感染症学会研修施設 |
| 指定養育医療機関 | | 日本周産期・新生児医学会日本周産期専門医新生児　暫定基幹認定施設 | 日本病院総合診療医学会認定施設 |
| 指定小児慢性特定疾病医療機関 | | 日本周産期・新生児医学会日本周産期専門医母体・胎児　暫定基幹認定施設 | 日本胃癌学会認定施設Ｂ |
| 原子爆弾被害者医療指定医療機関 | | 日本脳卒中学会研修教育施設 | 日本不整脈心電学会不整脈専門医研修施設 |
| 原子爆弾被害者一般疾病医療取扱医療機関 | | 日本輸血細胞治療学会Ｉ＆Ａ認証施設 | 日本臨床栄養治療学会ＮＳＴ稼働施設認定証 |
| 母体保護法指定医の配置されている医療機関 | | 日本神経学会専門医制度准教育施設 | 日本炎症性腸疾患学会ＩＢＤ指導施設 |
| 身体障害者福祉法指定医の配置されている医療機関 | | 日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関 | 日本産科婦人科内視鏡学会ロボット手術認定研修施設 |
| 精神保健指定医の配置されている医療機関 | | 日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設 | 血液内科学会血液内科専門研修認定施設 |
| 北海道医師会母体保護法指定医師研修機関 | | 日本臨床細胞学会施設認定 | 日本放射線腫瘍学会日本放射線腫瘍学会認定施設 |
| | | 日本がん治療認定医機構認定研修施設認定研修施設 | 日本核医学会ＰＥＴ撮像施設認定 |
| | | 日本病理学会研修認定施設Ｂ | 日本生殖医学会生殖医療専門医制度研修連携施設 |
| | | 日本手外科学会認定研修施設 | 日本栄養士会認定教育施設 |
| | | 日本カプセル内視鏡学会指導施設 | 日本肺癌学会教育認定施設 |

# 病　院　組　織　図

令和７年３月31日現在




クオリティマネジメント室
（兼）室長　佐澤　陽
医療支援部
（兼）医療支援部長　保前　英希
栄養科　科　長 森　多喜子
医療社会事業科　科　長 樺澤　康裕　（臨床心理士　在籍）
地域医療連携室
（兼）地域医療連携室長　山内　英智
地域医療連携科　科　長 酒井　利佳
診療支援センター（総合支援センター）
（兼）総合支援センター長　山内　英智
入退院支援科
在宅療養支援科　科　長 川原　麻妃
がん相談支援科
がんゲノム医療支援室
室長（兼）　森脇　征史
がんゲノム医療支援科　（兼）科　長 菊池　創
医療安全管理室
室長（兼）　保前　英希
医療安全管理科　科　長 谷川　和広（相談担当）
科　長 泊澤　優子（安全担当）
感染対策室
室長（兼）　高村　圭
感染対策科
診療情報管理室
室長（兼）　山内　英智
診療情報管理課　（兼）課　長 西村　卓也
看護部
看護副部長 三木　さおり
看護管理科長 室瀬　七重
看護管理科長 後藤　真澄
看護管理科長 山根　邦子
中央部門看護科
中央検査室　科　長 木村　りえ
中央治療室　科　長 田中　徹
手術室　科　長 高橋　直子
看護推進室　科　長 木戸　睦
病棟部門看護科
3北　科　長 阿部　幸子
4北・MFICU　科　長 三浦　由香
4南・NICU　科　長 榊　有理砂
5北　科　長 大泉　みどり
5南　科　長 外山　美紀
5西　科　長 三浦　大輔
6北
6南　科　長 坂地　美保
7北　科　長 大塚　千春
7南　科　長 岡田　隆二
8北　科　長 橘　友美子
8南　科　長 黒川　大輔
9北　科　長 北村　まどか
9南　科　長 三浦　由美
外来部門看護科
外来1　科　長 千葉　えり奈
外来2　科　長 長尾　香里
事務部
事務副部長　鈴木　淳
医事課　課　長 西村　卓也
医療情報課　（兼）課　長 西村　卓也
総務課　課　長 市川　寛己
施設課　（兼）課　長 市川　寛己

# 従業員人員配置表

令和８年３月１日

| 区分 | | 職種 | 定員 | | | | 実人員 | | | | | | 差 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 常勤 | 非常勤 | | 計 | 常勤 | | 非常勤 | | | 計 | 常勤 | 非常勤 | |
| | | | (A) | (B) | 常勤換算 | (A)+(B) | (C) | | (D) | | パート(常勤換算) | (C)+(D) | (C)-(A) | (D)-(B) | 常勤換算 |
| | | | | | | | 職員 | 雇員 | 嘱託 | パート | | | | | |
| 医師 | | 医師 | 124 | 10 | 8.3 | 134 | 129 | | 3 | 4 | 2.5 | 136 | 5 | -3 | -2.8 |
| | | 初期研修医 | 0 | 28 | 28.0 | 28 | | | 27 | | | 27 | 0 | -1 | -1.0 |
| 看護部 | | 保健師 | | | | | 20 | | | 2 | 1.7 | 22 | | | |
| | | 助産師 | 581 | 65 | 44.0 | 646 | 34 | | | 4 | 3.2 | 38 | 32 | 9 | 8.8 |
| | | 看護師 | | | | | 559 | | 1 | 67 | 46.9 | 627 | | | |
| | | 准看護師 | 4 | 10 | 7.5 | 14 | 1 | | | 13 | 9.9 | 14 | -3 | 3 | 2.4 |
| | | 介護福祉士 | 17 | | | 17 | 17 | | | | | 17 | 0 | 0 | 0.0 |
| | | 小計 | 602 | 75 | 51.5 | 677 | 631 | 0 | 1 | 86 | 61.7 | 718 | 29 | 12 | 11.2 |
| | | 看護助手 | | 110 | 95.0 | 110 | | | 37 | 61 | 48.5 | 98 | 0 | -12 | -9.5 |
| | | 介護員 | | | | 0 | | | | | | 0 | 0 | 0 | 0.0 |
| | | 医療助手 | | 6 | 4.4 | 6 | | | 2 | 4 | 2.5 | 6 | 0 | 0 | 0.1 |
| | | 計 | 602 | 191 | 150.9 | 793 | 631 | 0 | 40 | 151 | 112.7 | 822 | 29 | 0 | 1.8 |
| 薬剤部 | | 薬剤師 | 31 | | | 31 | 28 | | | | | 28 | -3 | 0 | 0.0 |
| | | 医療助手 | 3 | 11 | 11.0 | 14 | 3 | | 10 | 1 | 0.6 | 14 | 0 | 0 | -0.4 |
| 医療技術部 | 医療技術部 | 部長 | | | | 0 | | | | | | 0 | 0 | 0 | 0.0 |
| | 放射線技術科 | 放射線技師 | 42 | | | 42 | 40 | | | | | 40 | -2 | 0 | 0.0 |
| | | 医療助手 | | 5 | 5.0 | 5 | | | 5 | | | 5 | 0 | 0 | 0.0 |
| | 臨床検査技術科 | 臨床検査技師 | 30 | 5 | 4.0 | 35 | 29 | | 1 | 4 | 3.3 | 34 | -1 | 0 | 0.3 |
| | | 医療助手 | 1 | 4 | 4.0 | 5 | 1 | | 4 | | | 5 | 0 | 0 | 0.0 |
| | 理学療法技術科 | 理学療法士 | 19 | 1 | 0.5 | 20 | 20 | | | 1 | 0.5 | 21 | 19 | 0 | 0.0 |
| | | 言語聴覚士 | 5 | | | 5 | 6 | | | | | 6 | 1 | 0 | 0.0 |
| | | 医療助手 | 0 | 1 | 0.5 | 1 | | | | 1 | 0.9 | 1 | 0 | 0 | 0.4 |
| | 作業療法技術科 | 作業療法士 | 10 | | | 10 | 10 | | | | | 10 | 0 | 0 | 0.0 |
| | 臨床工学技術科 | 臨床工学技士 | 23 | | | 23 | 22 | | | | | 22 | -1 | 0 | 0.0 |
| | | 医療助手 | | 1 | 1.0 | 1 | | | 1 | | | 1 | 0 | 0 | 0.0 |
| | 視能訓練 | 視能訓練士 | 2 | | | 2 | 2 | | | | | 2 | 0 | 0 | 0.0 |
| | | 医療助手 | | 1 | 1.0 | 1 | | | | 1 | 1.0 | 1 | 0 | 0 | 0.0 |
| | 栄養科 | 栄養士 | 8 | | | 8 | 6 | | | | | 6 | -2 | 0 | 0.0 |
| 臨床治験 | | 看護師 | 3 | | | 3 | 2 | | | | | 2 | -1 | 0 | 0.0 |
| 診療支援 | 医療社会事業科 | MSW | 2 | 1 | 1.0 | 3 | 2 | | 1 | | | 3 | 0 | 0 | 0.0 |
| | | 臨床心理士 | 2 | | | 2 | 2 | | | | | 2 | 0 | 0 | 0.0 |
| | 総合相談科 | 看護師 | | | | 0 | | | | | | 0 | 0 | 0 | 0.0 |
| | 入退院支援科 | 看護師 | | | | 0 | | | | | | 0 | 0 | 0 | 0.0 |
| | 療養支援科 | 看護師 | 10 | 1 | 0.7 | 11 | 8 | | | 2 | 1.5 | 10 | -2 | 1 | 0.8 |
| | がん相談支援科 | 看護師 | 2 | | | 2 | 2 | | | | | 2 | 0 | 0 | 0.0 |
| | | 事務員 | | | | 0 | | | | | | 0 | 0 | 0 | 0.0 |
| | 医療安全管理科 | 安全担当 | 2 | | | 2 | 2 | | | | | 2 | 0 | 0 | 0.0 |
| | | 相談担当 | 2 | | | 2 | 1 | | | | | 1 | -1 | 0 | 0.0 |
| | | 保安担当 | | 1 | 1.0 | 1 | | | 1 | | | 1 | 0 | 0 | 0.0 |
| | 感染対策科 | 看護師 | 1 | 1 | 1.0 | 2 | | | 1 | 1 | 0.6 | 2 | -1 | 1 | 0.6 |
| | 地域医療連携室 | 看護師 | 6 | 1 | 1.0 | 7 | 6 | | 1 | | | 7 | 0 | 0 | 0.0 |
| | | 准看護師 | | | | 0 | | | | | | 0 | 0 | 0 | 0.0 |
| | | MSW | 4 | | | 4 | 4 | | | | | 4 | 0 | 0 | 0.0 |
| | | 事務員(総合) | 1 | | | 1 | | | | | | 0 | -1 | 0 | 0.0 |
| | | 事務員(一般) | 2 | 6 | 6.0 | 8 | 2 | | 5 | | | 7 | 0 | -1 | -1.0 |
| 診療情報管理室 | | 診療情報管理士 | 1 | | | 1 | 1 | | | | | 1 | 0 | 0 | 0.0 |
| | | 事務員 | 2 | 6 | 5.5 | 8 | 3 | | 5 | 1 | 0.5 | 9 | 1 | 0 | 0.0 |
| 事務部 | | 総務(総合) | 4 | | | 4 | 3 | | | | | 3 | -1 | 0 | 0.0 |
| | | 総務(一般) | 4 | 5 | 5.0 | 9 | 5 | | 6 | | | 11 | 1 | 1 | 1.0 |
| | | 施設(総合) | 2 | | | 2 | 2 | | | | | 2 | 0 | 0 | 0.0 |
| | | 施設(一般) | | 5 | 5.0 | 5 | | | 4 | 1 | 1.0 | 5 | 0 | 0 | 0.0 |
| | | 医事(総合) | 9 | | | 9 | 10 | | | | | 10 | 1 | 0 | 0.0 |
| | | 医事(一般) | 44 | 95 | 88.2 | 139 | 45 | | 74 | 17 | 10.4 | 136 | 1 | -4 | -3.8 |
| | | 医情(総合) | 2 | | | 2 | 2 | | | | 8.8 | 2 | 0 | 0 | 8.8 |
| | | 医情(一般) | | 1 | 1.0 | 1 | | | 1 | | | 1 | 0 | 0 | 0.0 |
| | | 健推(総合) | 2 | | | 2 | 2 | | | | | 2 | 0 | 0 | 0.0 |
| | | 健推(一般) | 4 | 9 | 9.0 | 13 | 4 | | 11 | 3 | 1.5 | 18 | 0 | 5 | 3.5 |
| | | 小計 | 71 | 115 | 108.2 | 186 | 73 | 0 | 96 | 21 | 21.7 | 190 | 2 | 2 | 9.5 |
| | | 運転手 | 1 | | | 1 | 1 | | | | | 1 | 0 | 0 | 0.0 |
| | | ボイラー技士 | | 3 | 3.0 | 3 | | | 1 | 1 | 1.0 | 2 | 0 | -1 | -1.0 |
| | | 労務員 | | 1 | 0.8 | 1 | | | | 1 | 0.8 | 1 | 0 | 0 | 0.0 |
| | | 電気主任技術者 | | | | 0 | | | | | | 0 | 0 | 0 | 0.0 |
| | | 医局 | 3 | 2 | 1.5 | 5 | 1 | | 1 | | | 2 | -2 | -1 | -0.5 |
| | | 図書 | 1 | | | 1 | 1 | | | 1 | 0.5 | 2 | 0 | 1 | 0.5 |
| | | その他産業保健師 | 1 | 1 | 0.5 | 2 | 1 | | | 1 | 0.4 | 2 | 0 | 0 | -0.1 |
| | | その他 保育士 | | 1 | 1.0 | 1 | | | 1 | | | 1 | 0 | 0 | 0.0 |
| 合計 | | | 1,017 | 398 | 345.4 | 1,415 | 1,039 | 0 | 204 | 192 | 148.5 | 1,435 | 40 | -2 | 7.1 |
| | | | | | | | 1,039 | | 396 | | 352.5 | | | | |
| | | | | | | | 常勤 | | 非常勤(実員)(常勤換算) | | | | | | |

## 収支実績計画対比表　令和７年度末

（単位：千円）

| 科　　目 | 令和７年度<br>計画（A） | 令和７年度末<br>実績累計（B） | 増減（B－A） | 前年度末<br>実績累計（C） | 増減（B－C） |
|---|---|---|---|---|---|
| 医　療　収　益 | 28,534,634 | 29,810,651 | 1,276,017 | 28,237,638 | 1,573,013 |
| そ　の　他　収　益 | 789,489 | 779,518 | ▲ 9,971 | 758,032 | 21,486 |
| 事　業　外　収　益 | 674,248 | 1,003,958 | 329,710 | 761,504 | 242,454 |
| 収　入　合　計 | 29,998,371 | 31,594,128 | 1,595,757 | 29,757,175 | 1,836,953 |
| 材　料　費 | 12,770,058 | 13,945,090 | 1,175,032 | 12,704,074 | 1,241,016 |
| 人　件　費 | 10,379,461 | 10,099,730 | ▲ 279,731 | 10,191,793 | ▲ 92,063 |
| 業　務　費 | 2,398,538 | 2,414,436 | 15,898 | 2,754,189 | ▲ 339,753 |
| 施　設　費 | 2,492,077 | 2,526,639 | 34,562 | 2,886,168 | ▲ 359,529 |
| そ　の　他　費　用 | 2,038,094 | 1,932,770 | ▲ 105,324 | 2,014,211 | ▲ 81,441 |
| 事　業　外　費　用 | 47,143 | 50,466 | 3,323 | 93,828 | ▲ 43,362 |
| 支　出　合　計 | 30,125,371 | 30,969,131 | 843,760 | 30,644,263 | 324,868 |
| 収　支　差　額 | ▲ 127,000 | 624,996 | 751,996 | ▲ 887,089 | 1,512,085 |

## １日当り利用患者数並びに単価　令和７年度末

| 科　　目 | 令和７年度<br>計画（A） | 令和７年度末<br>実績累計（B） | 増減（B－A） | 前年度末<br>実績累計（C） | 増減（B－C） |
|---|---|---|---|---|---|
| 外来１日平均患者数（人） | 1,395 | 1,397 | 2 | 1,376 | 21 |
| 入院１日平均患者数（人） | 547 | 535 | ▲ 12 | 543 | ▲ 8 |
| 外来診療収入平均単価（円） | 41,465 | 44,159 | 2,694 | 41,554 | 2,605 |
| 入院診療収入平均単価（円） | 69,721 | 72,721 | 3,000 | 69,536 | 3,185 |
| 病床稼働率（%） | | 71.4 | | 78.0 | ▲ 6.6 |
| 給食料平均単価（円） | 1,674 | 1,709 | 35 | 1,686 | 23 |

※延べ患者による病床稼働率

# 全　館　案　内

## 3階−10階

| | 西 | 北 | 南 |
|---|---|---|---|
| 10階 | ヘリポート | | |
| 9階 | | 呼吸器内科　他 | 緩和ケア内科 |
| 8階 | | 血液内科、形成外科　他 | 消化器内科、総合診療科　他 |
| 7階 | | 整形外科、皮膚科　他 | 循環器内科　他 |
| 6階 | | — | 心臓血管外科、外科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科　他 |
| 5階 | 精神科 | 脳神経外科、泌尿器科、放射線科　他 | 脳神経内科、眼科　他 |
| 4階 | 産婦人科、ＭＦＩＣＵ、泌尿器科　他 | | 小児科、ＮＩＣＵ、ＧＣＵ |
| 3階 | 手術室、ＩＣＵ、ＣＣＵ、ＨＣＵ・家族待合、健診センター、事務室、医局、研修医室、講堂（Kosei Hall）、会議室、院内学級、スキルラボ、メディアセンター | | |

## 2階

| | |
|---|---|
| Ｅブロック | 精神科、泌尿器科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、眼科 |
| Ｆブロック | — |
| Ｇブロック | 皮膚科、形成外科、総合診療科、産婦人科、麻酔科、小児科 |
| 中央処置室、エコー、生理検査、リハビリテーション室、人工透析室、化学療法室 | |

## 1階

| | |
|---|---|
| Ａブロック | 呼吸器内科、外科（呼吸器）、脳神経外科、脳神経内科 |
| Ｂブロック | 消化器内科 |
| Ｃブロック | 循環器内科、心臓血管外科、外科、（消化器、乳腺） |
| Ｄブロック | 整形外科、血液内科、緩和ケア内科、放射線科 |
| 総合支援センター（診断申込、紹介、料金計算、相談、文書、入退院、栄養相談、在宅療養材料）<br>検査受付（採血／採尿／生理検査／CT／MRI／Ｘ線／結石粉砕／核医学検査／放射線治療／内視鏡）<br>面会受付、薬局、救命救急センター、防災センター | |

## テナント

カフェ　タリーズ、コンビニ　ローソン、理容室さかがみ、ゲストダイニング十華地（レストラン）、ATM

# 資 格 所 有 者 一 覧

令和８年３月３１日現在

| 診　　療　　部 | | |
|---|---|---|
| 呼 吸 器 内 科 | 髙　村　　圭 | 日本アレルギー学会アレルギー専門医 |
| | | 日本呼吸器学会インフェクションコントロールドクター認定 |
| | | 日本呼吸器学会呼吸器専門医 |
| | | 日本呼吸器学会指導医 |
| | | 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医 |
| | | 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡指導医 |
| | | 日本内科学会総合内科専門医 |
| | | 日本内科学会内科指導医 |
| | | 日本内科学会認定内科医 |
| | | JMECC インストラクター |
| | 佐　藤　未　来 | 日本内科学会認定内科医 |
| | | 日本内科学会総合内科専門医 |
| | | 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医 |
| | | 日本アレルギー学会アレルギー専門医 |
| | | 日本呼吸器学会呼吸器専門医 |
| | | 日本内科学会内科指導医 |
| | 菊　池　　創 | 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 |
| | | 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医 |
| | | 日本内科学会認定内科医 |
| | | 日本内科学会総合内科専門医 |
| | | 日本内科学会内科指導医 |
| | | 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡指導医 |
| | 山　下　　優 | 日本内科学会認定内科医 |
| | | 日本内科学会内科指導医 |
| | | 日本呼吸器学会呼吸器専門医 |
| | | 日本感染症学会インフェクションコントロールドクター |
| | | 日本感染症学会感染症専門医 |
| | | 日本結核非結核性抗菌症学会結核・抗酸菌症認定医 |
| | | 日本内科学会総合内科専門医 |
| | | 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医 |
| | | 日本感染症学会感染症指導医 |
| | 髙　橋　宏　典 | 日本内科学会認定内科医 |
| | 吉　川　隆　志 | 日本呼吸器学会インフェクションコントロールドクター |
| | | 日本呼吸器学会呼吸器専門医 |
| | | 日本呼吸器学会指導医 |
| | | 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医 |
| | | 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡指導医 |
| | | 日本内科学会認定内科医 |
| | | 日本人間ドック学会人間ドック認定医 |
| 循 環 器 内 科 | 高　橋　　亨 | 日本循環器学会循環器専門医 |
| | | 日本内科学会総合内科専門医 |
| | | 日本内科学会内科指導医 |
| | | 日本人間ドック健診暫定指導医 |
| | | 日本医師会認定産業医 |
| | 村　椿　真　悟 | 日本内科学会認定内科医 |
| | | 日本内科学会総合内科専門医 |
| | | 日本循環器学会循環器専門医 |

| 診　療　部 | | |
|---|---|---|
| 循環器内科 | 村椿真悟 | 日本心血管インターベンション治療学会専門医 |
| | | 日本心血管心インターベンション治療学会認定医 |
| | | 日本腎臓学会腎臓専門医 |
| | | 日本腎臓学会腎臓指導医 |
| | | 日本不整脈心電学会植込み型除細動器／ペーシングによる心不全治療履修 |
| | | 日本不整脈心電学会不整脈専門医 |
| | 水野雅司 | 日本循環器学会循環器専門医 |
| | | 日本内科学会総合内科専門医 |
| | | 日本心血管心インターベンション治療学会認定医 |
| | | JMECC インストラクター |
| | 川南有貴 | 日本内科学会認定内科医 |
| | | 日本循環器学会循環器専門医 |
| | | 日本心血管心インターベンション治療学会認定医 |
| | 鉢呂直記 | 日本専門医機構日本内科学会認定内科専門医 |
| | | 日本循環器学会循環器専門医 |
| | | 日本心血管心インターベンション治療学会認定医 |
| | | 日本不整脈心電学会植込み型除細動器／ペーシングによる心不全治療履修 |
| 消化器内科（消化器） | 吉田　晃 | 日本消化器病学会消化器病専門医 |
| | | 日本内科学会内科指導医 |
| | | 日本内科学会認定内科医 |
| | | 日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医 |
| | | 日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡指導医 |
| | | 日本消化器内視鏡学会指導医 |
| | 西田千尋 | 日本消化器病学会消化器病専門医 |
| | | 日本内科学会認定内科医 |
| | 佐々木貴志 | 日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医 |
| | | 日本専門医機構日本内科学会認定内科専門医 |
| | | 日本消化器病学会消化器病専門医 |
| | | 日本肝臓学会認定肝臓専門医 |
| | 柳澤秀之 | 日本カプセル内視鏡学会指導医 |
| | | 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 |
| | | 日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医 |
| | | 日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡指導医 |
| | | 日本消化器病学会消化器病専門医 |
| | | 日本消化器病学会消化器病指導医 |
| | | 日本内科学会総合内科専門医 |
| | | 日本内科学会内科指導医 |
| | | 日本炎症性腸疾患学会 IBD 専門医 |
| | | 日本炎症性腸疾患学会 IBD 指導医 |
| | | 日本ヘリコバクター学会ピロリ菌感染症認定医 |
| 消化器内科（リウマチ・糖尿病） | 清水裕香 | 日本内科学会総合内科専門医 |
| | | 日本内科学会内科指導医 |
| | | 日本リウマチ学会リウマチ専門医 |
| | | 日本リウマチ学会リウマチ指導医 |
| | 柳谷真悟 | 日本内科学会内科指導医 |
| | | 日本内科学会認定内科医 |
| | 下山修平 | 日本内科学会認定内科医 |
| | | 日本内科学会総合内科専門医 |

| 診　療　部 | | |
|---|---|---|
| 消化器内科<br>(リウマチ・糖尿病) | 下　山　修　平 | 日本リウマチ学会リウマチ専門医 |
| | | 日本リウマチ学会リウマチ指導医 |
| | 菅　原　正　成 | 日本内科学会総合内科専門医 |
| | | 日本内科学会認定内科医 |
| | | 日本リウマチ学会リウマチ専門医 |
| | | 日本リウマチ学会リウマチ指導医 |
| | 千　葉　幸　輝 | 日本内科学会認定内科医 |
| | | 日本内分泌学会内分泌代謝科（内科）専門医 |
| | | 日本糖尿病学会糖尿病専門医 |
| | | 内分泌代謝・糖尿病内科領域　専門研修指導医 |
| | | 日本内科学会内科指導医 |
| 内　視　鏡　室 | 松　本　隆　祐 | JMECC インストラクター |
| | | 日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医 |
| | | 日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡指導医 |
| | | 日本消化器病学会消化器病専門医 |
| | | 日本消化器病学会消化器病指導医 |
| | | 日本内科学会総合内科専門医 |
| | | 日本医師会認定産業医 |
| | | 日本内科学会内科指導医 |
| | | 日本救急医学会 ICLS・BLS コースインストラクター |
| 血　液　内　科 | 若　狭　健太郎 | 日本血液学会血液専門医 |
| | | 日本血液学会血液指導医 |
| | | 日本内科学会内科指導医 |
| | | 日本内科学会認定内科医 |
| | 山　川　知　宏 | 日本内科学会総合内科専門医 |
| | | 日本血液学会血液専門医 |
| | | 日本内科学会内科指導医 |
| | 横　山　翔　大 | 日本内科学会認定内科医 |
| | | 日本血液学会血液専門医 |
| | | 日本エイズ学会認定医 |
| 脳神経内科 | 保　前　英　希 | 日本内科学会総合内科専門医 |
| | | 日本内科学会内科指導医 |
| | | 日本神経学会神経内科専門医 |
| | | 日本神経学会神経内科指導医 |
| | | 日本神経免疫学会神経免疫診療認定医 |
| | 加　納　崇　裕 | 日本神経学会神経内科専門医 |
| | | 日本神経学会指導医 |
| | | 日本内科学会総合内科専門医 |
| | | 日本内科学会内科指導医 |
| | | 日本認知症学会専門医 |
| | | 日本認知症学会指導医 |
| | 足　澤　萌奈美 | 日本専門医機構日本内科学会認定内科専門医 |
| | | 日本神経学会神経内科専門医 |
| 小　児　科 | 八　鍬　　聡 | 日本小児科学会小児科専門医指導医 |
| | | 日本小児循環器学会小児循環器専門医 |
| | 池　田　雅　彦 | 日本周産期・新生児医学会周産期専門医（新生児） |
| | | 日本専門医機構日本小児科学会専門医 |
| | 大　森　義　範 | 日本脳神経外科学会脳神経外科専門医 |
| | | 日本小児神経外科学会認定医 |
| | | 日本脳卒中学会認定脳卒中専門医 |

| 診　療　部 | | |
|---|---|---|
| 小　児　科 | 丸　尾　優　爾 | 日本専門医機構日本小児科学会専門医 |
| 外科（消化器外科） | 村　川　力　彦 | 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 |
| | | 日本外科学会外科専門医 |
| | | 日本外科学会外科指導医 |
| | | 日本消化器外科学会消化器外科専門医 |
| | | 日本消化器外科学会消化器外科指導医 |
| | | 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 |
| | | 日本消化器病学会消化器病専門医 |
| | | 日本消化器病学会消化器病指導医 |
| | | 日本食道学会食道外科専門医 |
| | | 日本食道学会食道科認定医 |
| | | 日本内視鏡外科学会　消化器・一般外科　技術認定医 |
| | | 日本内視鏡外科学会　消化器・一般外科　ロボット支援手術プロクター認定医 |
| | | 日本ロボット外科学会専門医国内Ａ級 |
| | | 日本腹部救急医学会腹部救急認定医 |
| | | 日本医師会認定産業医 |
| | 松　本　　譲 | 日本外科学会外科専門医 |
| | | 日本外科学会外科指導医 |
| | | 日本消化器外科学会消化器外科専門医 |
| | | 日本消化器外科学会指導医 |
| | | 日本消化器病学会消化器病専門医 |
| | | 日本消化器病学会消化器病指導医 |
| | | 日本胆道学会指導医 |
| | | 日本膵臓学会指導医 |
| | | 日本肝胆膵外科学会肝胆膵外科高度技能指導医 |
| | 吉　岡　達　也 | 検診マンモグラフィ読影認定医 |
| | | 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 |
| | | 日本外科学会外科専門医 |
| | | 日本外科学会外科指導医 |
| | | 日本消化器病学会消化器病専門医 |
| | | 日本乳癌学会乳腺専門医 |
| | | 日本乳癌学会乳腺指導医 |
| | | 日本乳癌学会乳腺認定医 |
| | 市之川　正　臣 | 日本外科学会外科専門医 |
| | | 日本外科学会外科指導医 |
| | | 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 |
| | | 日本消化器外科学会消化器外科専門医 |
| | | 日本消化器外科学会消化器外科指導医 |
| | | 日本臨床栄養代謝学会認定医 |
| | | 日本肝胆膵外科学会高度技能専門医 |
| | | 日本肝胆膵外科学会評議員 |
| | 山　村　喜　之 | 日本外科学会外科専門医 |
| | | 日本外科学会外科指導医 |
| | | 日本消化器外科学会消化器外科専門医 |
| | | 日本消化器外科学会消化器外科指導医 |
| | | 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 |
| | | 日本内視鏡外科学会　消化器・一般外科　技術認定医 |
| | | 日本ロボット外科学会専門医国内Ｂ級 |
| | | 日本腹部救急医学会腹部救急認定医 |

| 診　療　部 | | |
|---|---|---|
| 外科(消化器外科) | 山　村　喜　之 | 日本食道学会食道科認定医 |
| | | 日本内視鏡外科学会　消化器・一般外科　ロボット支援手術プロクター認定医 |
| | 武　内　優　太 | 日本外科学会外科専門医 |
| | 篠　原　良　仁 | 日本外科学会外科専門医 |
| | | 日本消化器外科学会消化器外科専門医 |
| | | 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 |
| | | 日本消化器病学会消化器病専門医 |
| | | 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 |
| | 郷　　雅 | 日本専門医機構日本外科学会外科専門医 |
| | | 日本ロボット外科学会専門医国内Ｂ級 |
| 外科(呼吸器外科) | 大　竹　節　之 | 日本胸部外科学会認定医 |
| | | 日本外科学会外科専門医 |
| | | 日本消化器外科学会認定医 |
| | | 肺がんＣＴ検診認定機構肺がんＣＴ検診認定医 |
| | | 日本呼吸器外科学会専門医 |
| | 武　藤　　潤 | 日本外科学会外科専門医 |
| | | 日本外科学会外科指導医 |
| | | 呼吸器外科専門医合同委員会呼吸器外科専門医 |
| | | 日本内視鏡外科学会　消化器・一般外科　技術認定医 |
| | | 日本ロボット外科学会専門医国内Ｂ級 |
| | | 日本呼吸器外科学会　ロボット支援手術プロクター |
| | | 一般社団法人日本呼吸器外科学会胸腔鏡安全技術認定医 |
| 脳神経外科 | 能　代　将　平 | 日本脳神経外科学会脳神経外科専門医・指導医 |
| | | 日本脳神経血管内治療学会専門医 |
| | | 日本脳卒中学会認定脳卒中専門医 |
| | | 日本脳卒中の外科学会技術認定医 |
| | 笹　川　彩　佳 | 日本脳神経外科学会脳神経外科専門医 |
| | | 日本脳卒中学会認定脳卒中専門医 |
| | | 日本脳神経血管内治療学会三学会承認脳血栓回収療法実地医 |
| 心臓血管外科 | 山　内　英　智 | 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構心臓血管外科修練指導者 |
| | | 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構心臓血管外科専門医 |
| | | 日本胸部外科学科認定医 |
| | | 日本外科学会外科専門医 |
| | | 日本外科学会認定医 |
| | | 日本胸部外科学会専門医会員 |
| | 山　下　知　剛 | 日本外科学会外科専門医 |
| | | 日本外科学会認定医 |
| | | 日本ステントグラフト実施基準管理委員会胸部ステントグラフト実施医 |
| | | 日本ステントグラフト実施基準管理委員会腹部ステントグラフト実施医 |
| | 杉　木　孝　司 | 下肢静脈瘤血管内治療実施管理委員会下肢静脈瘤に対する血管内実地基準による指導医 |
| | | 下肢静脈瘤血管内治療実施管理委員会下肢静脈瘤に対する血管内実地基準による実施医 |
| | | 日本脈管学会研修指導医 |
| | | 日本脈管学会脈管専門医 |
| | | 日本外科学会外科専門医 |
| | | 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構心臓血管外科専門医 |

| 診　療　部 | | |
|---|---|---|
| 心臓血管外科 | 杉　木　孝　司 | ステントグラフト実施基準管理委員会腹部大動脈瘤ステントグラフト Zenith®AAA Endovascular Graft 血管内治療実施医 |
| | | ステントグラフト実施基準管理委員会腹部大動脈瘤ステントグラフト Gore Excluder®Endprosthesis 血管内治療実施医 |
| | | 日本ステントグラフト実施基準管理委員会腹部大動脈瘤ステントグラフト Zenith®AAA Endovascular Graft 血管内治療指導医 |
| | | 日本ステントグラフト実施基準管理委員会腹部大動脈瘤ステントグラフト Gore Excluder®Endprosthesis 血管内治療指導医 |
| | | 日本ステントグラフト実施基準管理委員会腹部大動脈瘤ステントグラフト ENDURANT ステントグラフトシステム血管内治療実施医 |
| | | 日本ステントグラフト実施基準管理委員会腹部大動脈瘤ステントグラフト ENDURANT ステントグラフトシステム血管内治療指導医 |
| | | 日本ステントグラフト実施基準管理委員会胸部大動脈瘤ステントグラフト Gore TAG®Thoracic Endprosthesis 血管内治療実施医 |
| | | 日本ステントグラフト実施基準管理委員胸部大動脈瘤ステントグラフト Zenith TX2®TAA Endovascular Graft 血管内治療実施医 |
| | | 日本ステントグラフト実施基準管理委員会腹部大動脈瘤ステントグラフト AFX ステントグラフトシステム血管内治療実施医 |
| | | 日本ステントグラフト実施基準管理委員会腹部大動脈瘤ステントグラフト AFX ステントグラフトシステム血管内治療指導医 |
| | | 日本ステントグラフト実施基準管理委員会胸部大動脈瘤ステントグラフト VALIANT Captivia 血管内治療実施医 |
| | | 日本ステントグラフト実施基準管理委員会腹部大動脈瘤ステントグラフト Relay Plus/Pro 血管内治療実施医 |
| | | 日本ステントグラフト実施基準管理委員会胸部大動脈瘤ステントグラフト GORE TAG®Thoracic Endprosthesis 血管内治療指導医 |
| | | 日本ステントグラフト実施基準管理委員会胸部大動脈瘤ステントグラフト VALIANT Captivia/Navion 血管内治療指導医 |
| | | 日本ステントグラフト実施基準管理委員会腹部大動脈瘤ステントグラフト Zenith TX2®/Alpha 血管内治療指導医 |
| | | 日本ステントグラフト実施基準管理委員会腹部大動脈瘤ステントグラフト TREO 腹部ステントグラフトシステム血管内治療実施医 |
| 整　形　外　科 | 安　井　啓　悟 | 日本整形外科学会整形外科専門医 |
| | | 日本整形外科学会脊椎脊髄病医 |
| | | 日本整形外科学会スポーツ医 |
| | | 日本脊椎脊髄病学会脊椎脊髄外科専門医 |
| | | 日本脊椎脊髄病学会脊椎脊髄外科指導医 |
| | 本　宮　　真 | 日本整形外科学会運動器リハビリテーション認定医 |
| | | 日本整形外科学会リウマチ医 |
| | | 日本手外科学会手外科指導医 |
| | | 日本手外科学会手外科専門医 |
| | | 日本整形外科学会整形外科専門医 |

| 診　療　部 | | |
|---|---|---|
| 整　形　外　科 | 寺　尾　英　将 | 日本整形外科学会整形外科専門医 |
| | 忠　鉢　敏　弥 | 日本専門医機構日本整形外科学会整形外科専門医 |
| | | 日本整形外科学会運動器リハビリテーション認定医 |
| | | 日本整形外科学会脊椎脊髄病医 |
| | | 日本リハビリテーション医学会認定臨床医 |
| | 大　上　哲　郎 | 日本専門医機構日本整形外科学会整形外科専門医 |
| | | 日本骨粗鬆症学会骨粗鬆症認定医 |
| リハビリテーション科 | 上　徳　善　太 | 日本整形外科学会整形外科専門医 |
| | | 日本スポーツ協会公認　スポーツドクター |
| 産　婦　人　科 | 森　脇　征　史 | 日本産科婦人科学会産婦人科専門医 |
| | | 日本産科婦人科学会産婦人科指導医 |
| | | 日本産科婦人科内視鏡学会腹腔鏡技術認定医 |
| | | 日本産科婦人科内視鏡学会認定ロボット技術認定医 |
| | | 日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍専門医 |
| | | 日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍指導医 |
| | | 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 |
| | | 日本婦人科ロボット手術学会婦人科ロボット支援手術プロクター認定 |
| | 飯　沼　洋一郎 | 日本産科婦人科学会産婦人科専門医 |
| | | 日本産科婦人科学会産婦人科指導医 |
| | | 日本産科婦人科内視鏡学会腹腔鏡技術認定医 |
| | | 日本産科婦人科内視鏡学会認定ロボット技術認定医 |
| | | 日本内視鏡外科学会技術認定証（産科婦人科） |
| | | 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 |
| | 小　館　英　明 | 日本産科婦人科学会産婦人科専門医 |
| | | 日本産科婦人科学会産婦人科指導医 |
| | | 日本産科婦人科内視鏡学会腹腔鏡技術認定医 |
| | | 日本産科婦人科遺伝診療学会認定（周産期） |
| | | 日本周産期・新生児医学会新生児蘇生法「専門」コース（Aコース）インストラクター |
| | | J-MELS ベーシックコース・インストラクター |
| | 中　陳　哲　也 | 日本産科婦人科学会産婦人科専門医 |
| | | 日本産科婦人科内視鏡学会腹腔鏡技術認定医 |
| | | 日本内視鏡外科学会技術認定証（産科婦人科） |
| | | 日本ロボット外科学会専門医国内Ｂ級 |
| | | 日本周産期・新生児医学会新生児蘇生法「専門」コース（Aコース）インストラクター |
| | | 日本産科婦人科内視鏡学会認定ロボット技術認定医 |
| | 山　田　和　佳 | 日本専門医機構日本産科婦人科学会産婦人科専門医 |
| 形　成　外　科 | 北　村　　孝 | 日本形成外科学会領域指導医 |
| | | 日本専門医機構日本形成外科学会形成外科専門医 |
| | | 日本形成外科学会皮膚腫瘍外科指導専門医 |
| | | 日本創傷外科学会専門医 |
| | 本　間　豊　大 | 日本専門医機構日本形成外科学会形成外科専門医 |
| | | 日本形成外科学会皮膚腫瘍外科指導専門医 |
| | | 日本創傷外科学会専門医 |
| 泌　尿　器　科 | 佐　澤　　陽 | 日本泌尿器科学会泌尿器科専門医 |
| | | 日本泌尿器科学会泌尿器科指導医 |
| | | 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 |
| | | 日本内視鏡外科学会技術認定　泌尿器腹腔鏡 |

| 診　療　部 | | |
|---|---|---|
| 泌　尿　器　科 | 佐　澤　　陽 | 日本泌尿器科学会日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会泌尿器ロボット支援手術プロクター認定 |
| | | 日本泌尿器科学会日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会泌尿器腹腔鏡技術認定 |
| | 山　田　修　平 | 日本泌尿器科学会泌尿器科専門医 |
| | | 日本泌尿器科学会泌尿器科指導医 |
| | | 日本泌尿器科学会日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会泌尿器腹腔鏡技術認定 |
| | | 日本泌尿器科学会日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会泌尿器ロボット支援手術プロクター認定 |
| | 東海林　旺次朗 | 日本専門医機構日本泌尿器科学会泌尿器専門医 |
| | 花　井　阿　宜 | 日本専門医機構日本泌尿器科学会泌尿器専門医 |
| | 山　口　裕　之 | 日本専門医機構日本泌尿器科学会泌尿器専門医 |
| 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 | 吉　岡　　巌 | 日本耳鼻咽喉科学会耳鼻咽喉科専門医 |
| | | 日本耳鼻咽喉科学会耳鼻咽喉科専門研修指導医 |
| | | 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 |
| | | 日本頭頸部外科学会頭頸部がん専門医 |
| | | 日本頭頸部外科学会頭頸部がん指導医 |
| | | 日本耳鼻咽喉科頭頚部外科学会補聴器相談医 |
| | 菅　谷　泰　樹 | 日本専門機構日本耳鼻咽喉科頭頚部外科学会耳鼻咽喉科専門医 |
| 眼　　科 | 髙　橋　ありさ | 日本眼科学会眼科専門医 |
| | 末　岡　紗緒里 | 日本専門医機構日本眼科学会眼科専門医 |
| 精　神　科 | 古　瀬　研　吾 | 日本精神神経学会精神科専門医 |
| | | 日本精神神経学会精神科指導医 |
| | 佐　藤　謙太郎 | 日本精神神経学会精神科専門医 |
| | | 日本精神神経学会精神科指導医 |
| 麻　酔　科 | 宮　下　　龍 | 日本麻酔科学会麻酔科指導医・専門医 |
| | | 日本専門医機構日本救急医学会救急科専門医 |
| | | 日本心臓血管麻酔学会認定指導医 |
| | | 日本小児麻酔学会小児麻酔認定医 |
| | | 北海道災害医療コーディネーター（全道） |
| | 岡　田　麻里絵 | 日本麻酔科学会麻酔科専門医 |
| | 笠　羽　一　敏 | 日本麻酔科学会麻酔科専門医 |
| | 日下部　奎　仁 | 日本専門医機構日本麻酔科学会麻酔科専門医 |
| | 田　中　亮　圭 | 日本専門医機構日本麻酔科学会麻酔科専門医 |
| | 菊　地　智　春 | 日本麻酔科学会麻酔科専門医 |
| | 内　海　里　花 | 日本麻酔科学会麻酔科専門医 |
| 放　射　線　科（画像下治療） | 宮　本　憲　幸 | 日本専門医機構日本医学放射線学会放射線科専門医 |
| | | 日本医学放射線学会放射線診断専門医 |
| | | 日本医学放射線学会研修指導者 |
| | | 日本インターベンショナルラジオロジー学会ＩＶＲ専門医 |
| | | 日本インターベンショナルラジオロジー学会ＩＶＲ指導医 |
| | | 日本核医学会アミロイドＰＥＴ読影講習修了 |
| | | 日本消化器病学会消化器病専門医 |
| | 井　浦　孝　紀 | 日本医学放射線学会放射線科専門医 |
| | | 日本医学放射線学会放射線診断専門医 |
| | | 日本核医学会ＰＥＴ核医学認定医 |
| | | 肺がんＣＴ検診認定機構肺がんＣＴ検診認定医 |
| | | 日本医学放射線学会研修指導者 |
| | | 日本核医学会アミロイドＰＥＴ読影講習修了 |
| | 渡　辺　祈　一 | 日本専門医機構日本医学放射線学会放射線科専門医 |

| 診　療　部 | | |
|---|---|---|
| 放射線科（画像下治療） | 渡辺祈一 | 日本医学放射線学会放射線診断専門医 |
| | | 日本インターベンショナルラジオロジー学会ＩＶＲ専門医 |
| | 北川　悠 | 日本専門医機構日本医学放射線学会放射線科専門医 |
| 放射線科（放射線治療） | 井上哲也 | 日本専門医機構日本医学放射線学会放射線科専門医 |
| | | 日本放射線腫瘍学会・日本医学放射線学会放射線治療専門医 |
| | | 日本医学放射線学会研修指導者 |
| | | 日本核医学会ＰＥＴ核医学認定医 |
| | | 日本核医学会核医学専門医 |
| 健康管理科 | 岩上真理子 | 日本内科学会認定内科医 |
| | | 日本専門医機構総合診療専門医 |
| | | 日本総合健診医学会日本人間ドック・予防医療学会　人間ドック健診専門医 |
| | | 日本プライマリ・ケア連合学会認定指導医 |
| | | 日本プライマリ・ケア連合学会認定家庭医療専門医 |
| | | 日本プライマリ・ケア連合学会認定プライマリ・ケア認定医 |
| | | 日本医師会認定産業医 |
| | | 日本専門医機構総合診療専門研修指導医 |
| 総合診療科 | 山本浩之 | 日本内科学会総合内科専門医 |
| | | 日本内科学会内科指導医 |
| | | 日本内科学会認定内科医 |
| | | 日本専門医機構総合診療専門医 |
| | | 日本専門医機構総合診療専門研修指導医 |
| | | 日本プライマリ・ケア連合学会プライマリケア認定医 |
| | | 日本プライマリ・ケア連合学会認定指導医 |
| | | 日本病院総合診療医学会病院総合診療医 |
| | | 日本病院総合診療医学会病院総合診療特任指導医 |
| | | 日本病院会認定病院総合医 |
| | 小松　守 | 日本専門医機構日本内科学会認定内科専門医 |
| | | 日本専門医機構総合診療専門研修特任指導医 |
| | | 日本化学療法学会抗菌化学療法認定医 |
| | | 日本化学療法学会抗菌化学療法指導医 |
| | | ＩＣＤ協議会認定　インフェクションコントロールドクター |
| | | 日本病院総合診療医学会病院総合診療医 |
| | | 日本病院総合診療医学会病院総合診療特任指導医 |
| | | 日本老年医学会老年科専門医 |
| | | 産業医科大学産業医学基礎研修修了 |
| | | 独立行政法人労働者健康安全機構両立支援コーディネーター基礎研修終了 |
| | | 日本病院総合診療医学会インフェクションコントロールドクター |
| | 井上　凡 | 日本外科学会外科専門医 |
| | | 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構心臓血管外科専門医 |
| 救急科 | 加藤航平 | 日本外科学会外科専門医 |
| | | 日本救急医学会救急科専門医 |
| | | 日本消化器外科学会消化器外科専門医 |
| | | 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 |
| | | 日本腹部救急医学会腹部救急認定医 |
| | | Acute Care Surgery 学会 Acute Care Surgery 認定外科医 |
| | | DMAT インストラクター |
| | 和田健志郎 | 日本救急医学会救急科専門医 |

| | | |
|---|---|---|
| **診　療　部** | | |
| 救　急　科 | 和　田　健志郎 | 日本集中治療医学会集中治療専門医 |
| | | 日本呼吸療法医学会呼吸療法専門医 |
| | 加　藤　史　人 | 日本専門医機構日本救急医学会救急科専門医 |
| | 中　舘　聡　子 | 日本専門医機構日本救急医学会救急科専門医 |
| 臨床検査科 | 佐　藤　直　利 | 日本循環器学会循環器専門医 |
| | | 日本内科学会内科指導医 |
| | | 日本内科学会認定内科医 |
| | | 日本心血管インターベンション治療学会名誉専門医 |
| 病理診断科 | 菊　地　慶　介 | 日本病理学会病理専門医 |
| | | 日本病理学会病理専門医研修指導医 |
| **看　護　部** | | |
| 3　北　病　棟 | 佐々木　祐　輔 | 救急看護認定看護師 |
| | | 日本 DMAT 隊員 |
| | 須　永　弘　美 | 集中ケア認定看護師 |
| | 加　治　ますみ | 集中ケア認定看護師 |
| | 小　椋　太　介 | ＩＶＲインターベンションエキスパートナース |
| | 福　井　絢　佳 | 日本 DMAT 隊員 |
| | 藤　内　　喬 | 日本 DMAT 隊員 |
| | 竹　田　有　宏 | 日本 DMAT 隊員 |
| ＮＩＣＵ | 佐　藤　ゆかり | 新生児集中ケア認定看護師 |
| | | BLSO インストラクター |
| 4　南　病　棟 | 菊　地　祐　希 | 小児プライマリケア認定看護師 |
| | | 特定行為研修修了者 |
| 5　南　病　棟 | 和　淵　ゆかり | 認知症看護認定看護師 |
| | 大　高　亜　美 | 日本 DMAT 隊員 |
| 5　西　病　棟 | 山　本　幸　子 | 精神看護専門看護師 |
| 5　北　病　棟 | 大　泉　みどり | 施設基準管理士 |
| 6　南　病　棟 | 山　脇　友　恵 | 特定行為研修修了者 |
| 7　南　病　棟 | 三　守　由　記 | アドバンス助産師 |
| | | ALSO インストラクター |
| 8　北　病　棟 | 西　川　真　紀 | がん化学療法看護認定看護師 |
| 9　南　病　棟 | 黒　川　文　吾 | がん性疼痛看護認定看護師 |
| | 水　野　慎　二 | 緩和ケア認定看護師 |
| | | 特定行為研修修了者 |
| 手　術　室 | 佐　伯　　猛 | 手術看護認定看護師 |
| | 菊　地　友　也 | 日本 DMAT 隊員 |
| | | ＩＶＲインターベンションエキスパートナース |
| がん相談支援科 | 太　田　美　幸 | 乳がん看護認定看護師 |
| 外　来　1 | 河　合　美　紀 | 乳がん看護認定看護師 |
| | 高　山　　梢 | 日本糖尿病療養指導士 |
| | 千　葉　えり奈 | 日本糖尿病療養指導士 |
| 在宅療養支援科 | 伊　藤　　史 | 慢性疾患看護専門看護師 |
| 感染対策科 | 原　　理　加 | 感染症看護専門看護師 |
| | | 感染管理認定看護師 |
| | 森　谷　光　雄 | 感染管理認定看護師 |
| | 佐　藤　晶　政 | 日本 DMAT 隊員 |
| 看護推進室 | 河　本　友　香 | 摂食・嚥下障害看護認定看護師 |
| | | 特定行為研修修了者 |
| | 大　椋　友　美 | 皮膚・排泄ケア認定看護師 |
| | 小田島　綾　子 | がん看護専門看護師 |

| | | |
|---|---|---|
| **看　護　部** | | |
| 看護推進室 | 小田島　綾　子 | 緩和ケア認定看護師 |
| 中央治療室 | 尾　谷　優　子 | がん化学療法看護認定看護師 |
| 中央検査室 | 豊　島　順　子 | ＩＶＲインターベンションエキスパートナース |
| | | 消化器内視鏡技師 |
| | | カプセル内視鏡読影支援技師 |
| | 木　村　り　え | 消化器内視鏡技師 |
| | 佐々木　育　子 | 消化器内視鏡技師 |
| | 田　口　和　恵 | 消化器内視鏡技師 |
| | 宮　脇　由紀子 | 消化器内視鏡技師 |
| 看護管理室 | 小　野　悦　子 | 認定看護管理者 |
| | 三　木　さおり | 認定看護管理者 |
| **薬　剤　部** | | |
| 薬剤科 | 鈴　木　　千　波 | 実務実習指導薬剤師 |
| | | PhDLs プロバイダー |
| | 亀　井　浩二郎 | 実務実習指導薬剤師 |
| | | 日病薬病院薬学認定薬剤師 |
| | | ＪＱ医療安全管理者養成講習終了者 |
| | 津　田　雅　大 | 実務実習指導薬剤師 |
| | | 日病薬病院薬学認定薬剤師 |
| | | 日本糖尿病療養指導士 |
| | | 糖尿病薬物療法認定薬剤師 |
| | 石　田　陽　美 | 実務実習指導薬剤師 |
| | | 日病薬病院薬学認定薬剤師 |
| | | 日本医療薬学会医療薬学専門薬剤師 |
| | | 日本糖尿病療養指導士 |
| | 渕　上　俊　介 | 実務実習指導薬剤師 |
| | | 日病薬病院薬学認定薬剤師 |
| | | 外来がん治療認定薬剤師 |
| | 金　住　麻　子 | 実務実習指導薬剤師 |
| | | 日病薬病院薬学認定薬剤師 |
| | | 緩和薬物療法認定薬剤師 |
| | 晴　山　知　拓 | 実務実習指導薬剤師 |
| | | 日病薬病院薬学認定薬剤師 |
| | | 腎臓病療養指導士 |
| | 蝦　名　勇　樹 | 実務実習指導薬剤師 |
| | | 日病薬病院薬学認定薬剤師 |
| | | 感染制御認定薬剤師 |
| | 村　上　智　香 | 日病薬生涯研修認定者 |
| | 村　上　冴　美 | 日病薬病院薬学認定薬剤師 |
| | 金　澤　沙　衣 | 実務実習指導薬剤師 |
| | | 日病薬病院薬学認定薬剤師 |
| | | ＮＲサプリメントアドバイザー |
| | 越　野　早　紀 | 実務実習指導薬剤師 |
| | | 日病薬病院薬学認定薬剤師 |
| | | ＮＳＴ専門療法士 |
| | 島　津　智　行 | 実務実習指導薬剤師 |
| | | 日病薬病院薬学認定薬剤師 |
| | | 緩和薬物療法認定薬剤師 |
| | 喜　多　　力 | 日病薬病院薬学認定薬剤師 |
| | 矢田山　瑞　稀 | 日病薬病院薬学認定薬剤師 |

| | | |
|---|---|---|
| **薬　剤　部** | | |
| 薬　剤　科 | 矢田山　瑞　稀 | 日本 DMAT 隊員 |
| | | PhDLs プロバイダー |
| | 大　野　奈　子 | 日本薬剤師研修センター認定薬剤師 |
| | | 日病薬病院薬学認定薬剤師 |
| | 森　谷　光　莉 | 日病薬病院薬学認定薬剤師 |
| | 菊　地　佑　太 | 日病薬病院薬学認定薬剤師 |
| | 山　下　敦　史 | 日病薬病院薬学認定薬剤師 |
| 治験コーディネーター | 杉　林　美　江 | 日本臨床薬理学会認定ＣＲＣ |
| | 高　橋　弥　生 | 日本臨床薬理学会認定ＣＲＣ |
| **医 療 技 術 部** | | |
| 放 射 線 技 術 科 | 中　村　俊　一 | 胃がんＸ線検診指導員 |
| | | 胃がん検診専門技師 |
| | | 超音波検査士（健診領域） |
| | | 超音波検査士（消化器） |
| | | 胃Ｘ線検診読影補助認定技師 |
| | 松　本　和　久 | 衛生工学衛生管理者 |
| | | 血管診療技師 |
| | | 第一種作業環境測定士 |
| | | 第一種放射線取扱主任者 |
| | | 超音波検査士（血管） |
| | | 超音波検査士（循環器） |
| | | 超音波検査士（体表臓器） |
| | 北　口　一　也 | 血管診療技師 |
| | | 超音波検査士（体表臓器） |
| | | 超音波検査士（消化器） |
| | | 第一種放射線取扱主任者（未受講） |
| | 大　野　裕　貴 | Ｘ線ＣＴ認定技師 |
| | | 第一種放射線取扱主任者（未受講） |
| | 中　島　光　明 | シニア放射線技師 |
| | | 胃がん検診専門技師 |
| | | 医療情報技師 |
| | | 第一種作業環境測定士 |
| | | 第一種放射線取扱主任者 |
| | | 超音波検査士（健診領域） |
| | | 超音波検査士（消化器） |
| | | 超音波検査士（循環器） |
| | | 超音波検査士（体表臓器） |
| | | 超音波検査士（血管） |
| | | ＰＥＴ講習修了証授与者 |
| | | 検診マンモグラフィ撮影診療放射線技師 |
| | 金　澤　博　幸 | 第一種放射線取扱主任者 |
| | 菊　地　隆　浩 | 医学物理士 |
| | | 第一種放射線取扱主任者 |
| | | 保健衛生学学士 |
| | | 放射線治療専門放射線技師 |
| | | 放射線治療品質管理士 |
| | | 初級シスアド |
| | 木　村　佳　江 | 第一種放射線取扱主任者 |
| | | 超音波検査士（循環器） |
| | | 超音波検査士（体表臓器） |

| 医 療 技 術 部 | | |
|---|---|---|
| 放射線技術科 | 木　村　佳　江 | 検診マンモグラフィ撮影診療放射線技師 |
| | 寺　本　大　翼 | 磁気共鳴専門技術者 |
| | | 第一種放射線取扱主任者（未受講） |
| | 阪　野　彰　文 | Ｘ線ＣＴ認定技師 |
| | | 胃がん検診専門技師 |
| | | 大腸ＣＴ検査技師 |
| | | 第一種放射線取扱主任者（未受講） |
| | 清　水　将　司 | Ｘ線ＣＴ認定技師 |
| | | 救急撮影認定技師 |
| | | 肺がんＣＴ検診認定技師 |
| | | 放射線治療専門放射線技師 |
| | | 第一種放射線取扱主任者（未受講） |
| | | 検診マンモグラフィ撮影診療放射線技師 |
| | 有　賀　弘　貴 | 胃がんＸ線検診技術部門 |
| | | 胃がんＸ線検診読影部門 |
| | | 胃がん検診専門技師 |
| | | ＰＥＴ講習修了証授与者 |
| | | 第一種放射線取扱主任者（未受講） |
| | 敦　賀　　凌 | Ｘ線ＣＴ認定技師 |
| | 上　山　　亮 | Ｘ線ＣＴ認定技師 |
| | | 胃がんＸ線検診技術部門 |
| | | 胃がんＸ線検診読影部門 |
| | | 磁気共鳴専門技術者 |
| | | 第一種放射線取扱主任者（未受講） |
| | 西　山　哲　司 | Ｘ線ＣＴ認定技師 |
| | | 胃がんＸ線検診技術部門 |
| | 北　畑　智　貴 | Ｘ線ＣＴ認定技師 |
| | | 胃がんＸ線検診技術部門　技術Ｂ |
| | | 胃がんＸ線検診読影部門　読影Ｂ |
| | | 胃がん検診専門技師 |
| | 池　本　昌　平 | 第一種放射線取扱主任者（未受講） |
| | 中　鉢　貫　太 | ＰＥＴ講習修了証授与者 |
| | 上　野　恭　弘 | 胃がんＸ線検診技術部門　技術Ｂ |
| | | 胃がんＸ線検診読影部門　読影Ｂ |
| | | 第一種放射線取扱主任者（未受講） |
| | 鈴　木　一　輝 | 胃がんＸ線検診技術部門　技術Ｂ |
| | | 胃がんＸ線検診読影部門　読影Ｂ |
| | | 肺がんＣＴ検診認定技師 |
| | 石　田　有梨佳 | 検診マンモグラフィ撮影診療放射線技師 |
| | 早　川　大　稀 | 医療情報技師 |
| | 藤　田　悠　輔 | 胃がんＸ線検診読影部門資格　胃検診読影 |
| | | 胃がんＸ線検診撮影部門資格　胃検診撮影 |
| | 藤　田　将　輝 | 胃がんＸ線検診技術部門　技術Ｂ |
| | | 胃がんＸ線検診読影部門　読影Ｂ |
| | 中　村　美　葉 | 検診マンモグラフィ撮影診療放射線技師 |
| | 大　澤　　陸 | 胃がんＸ線検診技術部門　技術Ｂ |
| | | 胃がんＸ線検診読影部門　読影Ｂ |
| | | 医療情報技師 |
| | 加　藤　啓　夢 | 第一種放射線取扱主任者（未受講） |
| | 武　藤　拓　也 | 胃がんＸ線検診技術部門　技術Ｂ |

| 医 療 技 術 部 | | |
|---|---|---|
| 放射線技術科 | 武　藤　拓　也 | 胃がんＸ線検診読影部門　読影Ｂ |
| | 小田島　　拓 | 第一種放射線取扱主任者（未受講） |
| 臨床検査技術科 | 樋　田　郁　治 | 細胞検査士 |
| | | 国際細胞検査士 |
| | | 有機溶剤作業主任者 |
| | 加　藤　　隆 | 細胞検査士 |
| | | 国際細胞検査士 |
| | | 認定病理検査技師 |
| | | 特定化学物質・四アルキル鉛等作業主任者 |
| | | 化学物質管理責任者講習修了者 |
| | | 有機溶剤作業主任者 |
| | | 精度管理責任者 |
| | 久保田　基　路 | 認定輸血検査技師 |
| | | 精度管理責任者 |
| | 常　山　　聡 | 細胞検査士 |
| | | 国際細胞検査士 |
| | | 特定化学物質・四アルキル鉛等作業主任者 |
| | | 二級臨床検査士（臨床化学） |
| | | 臨床検査技師臨地実習指導者講習修了者 |
| | 池　水　麻　衣 | 認定輸血検査技師 |
| | | Ｉ＆Ａ視察員 |
| | 樋　口　敬　悟 | 栄養サポートチーム専門療法士 |
| | 藤　谷　真　奈 | 超音波検査士（循環器領域） |
| | 齋　藤　峻　平 | 認定臨床微生物検査技師 |
| | 酒　井　彩　花 | 超音波検査士（循環器領域） |
| | 髙　道　豪　紘 | 日本糖尿病療養指導士 |
| | | 精度管理責任者 |
| | 宮　井　悠　治 | 認定心電検査技師 |
| | | 心電図検定２級 |
| | 長　村　佑里奈 | 認定心電検査技師 |
| | | 診療情報管理士 |
| | 佐　藤　佑　香 | 細胞検査士 |
| | | 有機溶剤作業主任者 |
| | | 特定化学物質・四アルキル鉛等作業主任者 |
| | | 化学物質管理責任者講習修了者 |
| | 干　場　智　生 | 精度管理責任者 |
| | 藤　井　優　泰 | 精度管理責任者 |
| | 井　上　達　也 | 細胞検査士 |
| | 髙　橋　祐　貴 | 栄養サポートチーム専門療法士 |
| | 森　川　花　音 | 認定心電検査技師 |
| | 麻　下　明　奈 | 日本糖尿病療養指導士 |
| | 田　岡　　栞 | 認定心電検査技師 |
| | 似　内　幸　枝 | 二級臨床検査士（病理） |
| | 田　中　雅　美 | 超音波検査士（循環器領域） |
| | | 超音波検査士（消化器領域） |
| 理学療法技術科 | 高　山　　学 | がんのリハビリテーション研修会修了 |
| | | 日本理学療法士協会　登録理学療法士 |
| | | 日本理学療法士協会　指定管理者（上級） |
| | 亀　谷　善　弘 | がんのリハビリテーション研修会修了 |
| | | 日本理学療法士協会　登録理学療法士 |

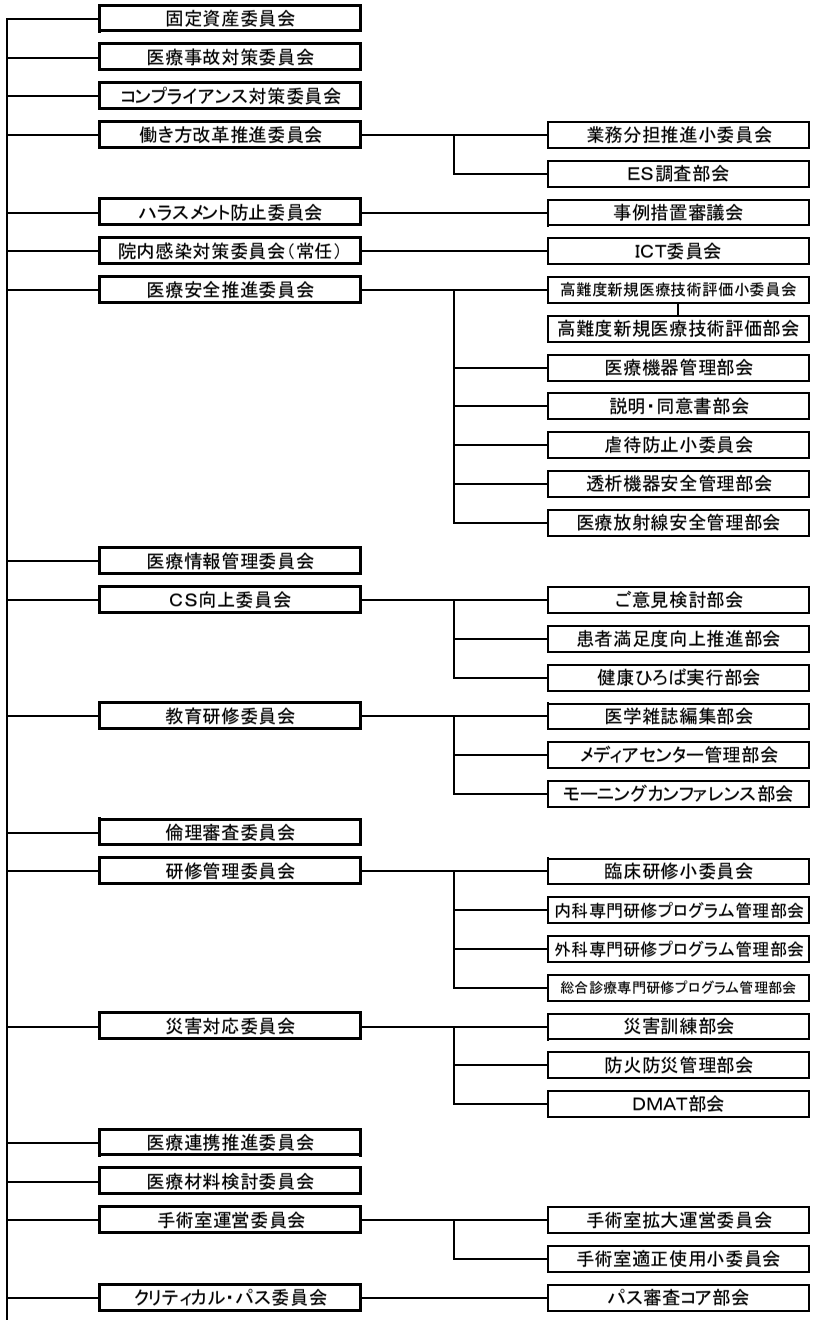
| 医 療 技 術 部 | | |
|---|---|---|
| 理学療法技術科 | 亀　谷　善　弘 | 臨床実習指導者講習会修了 |
| | 村　上　尚　嗣 | がんのリハビリテーション研修会修了 |
| | | 臨床実習指導者講習会修了 |
| | 江　口　啓　介 | 日本理学療法士協会　登録理学療法士 |
| | | 臨床実習指導者講習会修了 |
| | 由　野　拓　史 | がんのリハビリテーション研修会修了 |
| | | 日本理学療法士協会　登録理学療法士 |
| | | 臨床実習指導者講習会修了 |
| | | 福祉住環境コーディネーター２級 |
| | 工　藤　正　太 | がんのリハビリテーション研修会修了 |
| | | 日本理学療法士協会　登録理学療法士 |
| | | ３学会合同　呼吸療法認定士 |
| | | 呼吸ケア指導士（初級） |
| | 吉　田　健史朗 | 心臓リハビリテーション指導士 |
| | | がんのリハビリテーション研修会修了 |
| | | 臨床実習指導者講習会修了 |
| | | 日本理学療法士協会　登録理学療法士 |
| | 宮　﨑　啓　史 | がんのリハビリテーション研修会修了 |
| | | 日本理学療法士協会　認定理学療法士（運動器） |
| | | 日本理学療法士協会　登録理学療法士 |
| | | 臨床実習指導者講習会修了 |
| | 梅　津　祐　貴 | がんのリハビリテーション研修会修了 |
| | | 臨床実習指導者講習会修了 |
| | | 日本 DMAT（日本災害医療従事者） |
| | 工　藤　峻　平 | がんのリハビリテーション研修会修了 |
| | 森　下　春　輝 | 福祉住環境コーディネーター２級 |
| | 遠　国　奈緒美 | がんのリハビリテーション研修会修了 |
| | 米　田　　愛 | がんのリハビリテーション研修会修了 |
| | 宮　崎　織　恵 | がんのリハビリテーション研修会修了 |
| 作業療法技術科 | 小　石　　永 | 臨床実習指導者講習会修了 |
| | | 日本ハンドセラピー学会（SW-t）修了 |
| | | がんのリハビリテーション研修会修了 |
| | 鈴　木　克　哉 | がんのリハビリテーション研修会修了 |
| | | 臨床実習指導者講習会修了 |
| | 山　本　和　洋 | がんのリハビリテーション研修会修了 |
| | | 臨床実習指導者講習会修了 |
| | | 日本ハンドセラピー学会（SW-t）修了 |
| | 木　本　優士郎 | がんのリハビリテーション研修会修了 |
| | | 臨床実習指導者講習会修了 |
| | 川　井　康　右 | 日本ハンドセラピー学会（SW-t）修了 |
| | | がんのリハビリテーション研修会修了 |
| | 那　須　紫　文 | がんのリハビリテーション研修会修了 |
| | | 臨床実習指導者講習会修了 |
| | | 日本ハンドセラピー学会（SW-t）修了 |
| | 梶　　颯　斗 | 日本ハンドセラピー学会（SW-t）修了 |
| | | 臨床実習指導者講習会修了 |
| | 木　村　謙　介 | 日本ハンドセラピー学会（SW-t）修了 |
| | | 福祉住環境コーディネーター２級 |
| | | 臨床実習指導者講習会修了 |
| | 今　泉　里　穂 | 日本ハンドセラピー学会（SW-t）修了 |

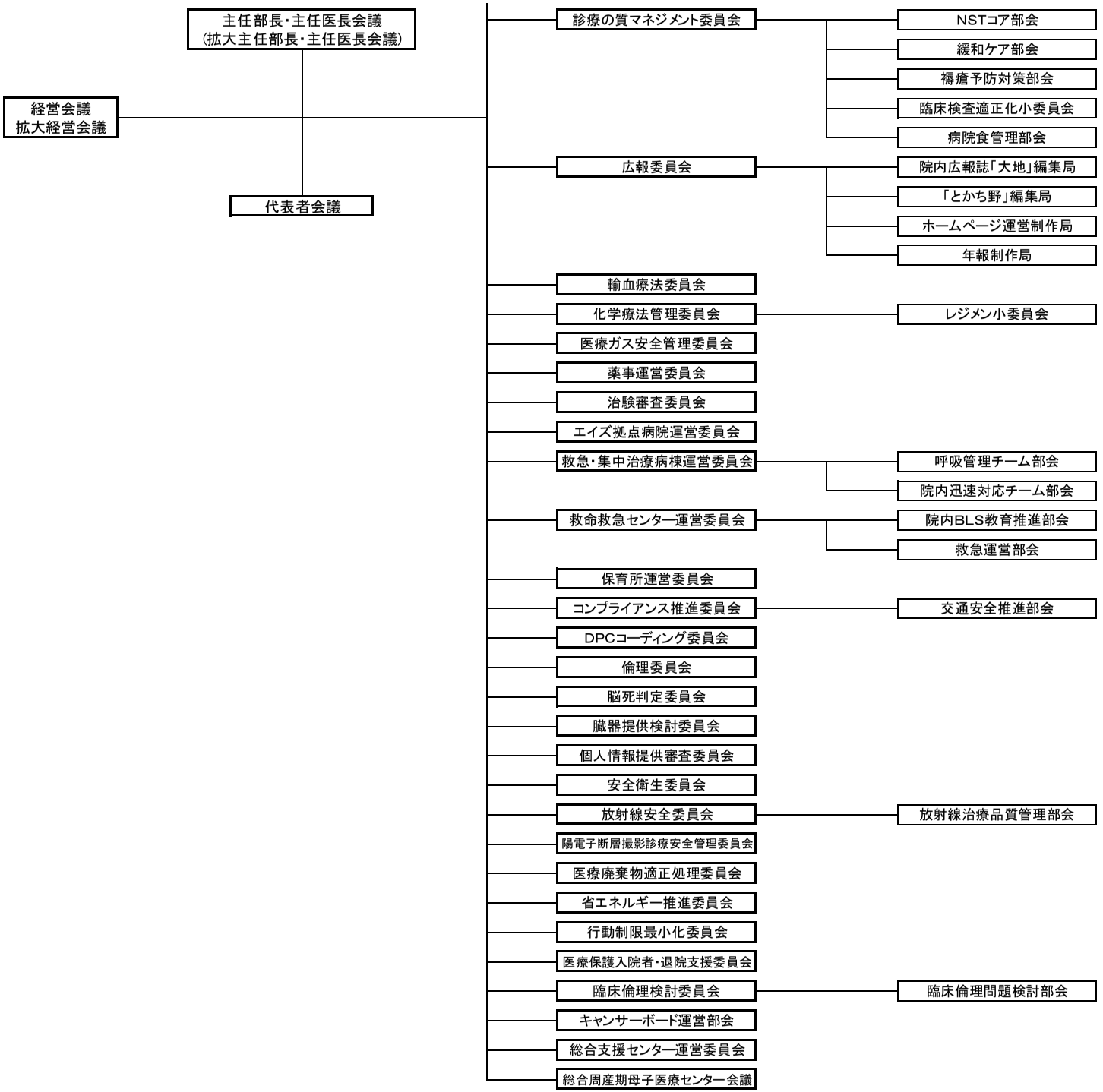
| 医　療　技　術　部 | | |
|---|---|---|
| 臨床工学技術科 | 柴　田　貴　幸 | 透析技術認定士 |
| | 完　戸　陽　介 | ３学会合同呼吸療法認定士 |
| | | 臨床ＭＥ専門認定士 |
| | 大河原　　巧 | 透析技術認定士 |
| | | ３学会合同呼吸療法認定士 |
| | 清　水　未　帆 | ３学会合同呼吸療法認定士 |
| | | 透析技術認定士 |
| | 高　田　哲　也 | 透析技術認定士 |
| | | 消化器内視鏡技師 |
| | 小　柳　智　康 | 透析技術認定士 |
| | 北　澤　和　之 | 体外循環技術認定士 |
| | | 手術関連専門臨床工学技士 |
| | 長　瀬　敬　喜 | ３学会合同呼吸療法認定士 |
| | | 体外循環技術認定士 |
| | | 手術関連専門臨床工学技士 |
| | 作　山　　聡 | 体外循環技術認定士 |
| | 谷　口　健　人 | ３学会合同呼吸療法認定士 |
| | | 消化器内視鏡技師 |
| | 山　本　將　平 | 体外循環技術認定士 |
| | | 心血管インターベンション技師 |
| | 遠　藤　光　一 | 消化器内視鏡技師 |
| | 片　倉　　基 | 心血管インターベンション技師 |
| | 竹　内　玲　雄 | 臨床ＭＥ専門認定士 |
| | | 植込み型心臓不整脈デバイス認定士 |
| | | 認定集中治療関連臨床工学技士 |
| 医　療　支　援　部 | | |
| 栄　　養　　科 | 森　　多喜子 | 栄養サポートチーム（NST）専門療法士 |
| | 千　葉　枝　美 | 病態栄養認定管理栄養士 |
| | | がん病態栄養専門管理栄養士 |
| | | 日本糖尿病療養指導士 |
| | 笹　嶋　真　衣 | 静脈経腸栄養（TNT-D）管理栄養士 |
| | | 日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士 |
| | 関　口　優　華 | 栄養サポートチーム（NST）専門療法士 |
| | 菅　井　望　絵 | 心不全療養指導士 |
| 医療社会事業科<br>（社会福祉士） | 樺　澤　康　裕 | 精神保健福祉士 |
| | | 日本心理学会　認定心理士 |
| | | 両立支援コーディネーター |
| | | 医療メディエーター |
| | | 入院時重症患者対応メディエーター |
| | | 肝炎医療コーディネーター |
| | | 社会福祉士実習指導者 |
| | 小　川　健一郎 | 精神保健福祉士 |
| | 有　塚　亜　美 | 精神保健福祉士 |
| | | 子ども家庭ソーシャルワーカー |
| | | 両立支援コーディネーター |
| | | 社会福祉士実習指導者 |
| | 木　谷　靖　典 | 両立支援コーディネーター |
| | | 社会福祉士実習指導者 |
| | 中　田　未　沙 | 介護支援専門員 |
| | | 肝炎医療コーディネーター |

| | | |
|---|---|---|
| **医 療 支 援 部** | | |
| 医療社会事業科<br>（社会福祉士） | 中　田　未　沙 | 社会福祉士実習指導者 |
| | 萬　　麻　奈 | 精神保健福祉士 |
| | 岡　本　　茜 | 精神保健福祉士 |
| | | 介護福祉士 |
| | | 両立支援コーディネーター |
| 医療社会事業科<br>（公認心理師） | 築　田　昌　明 | 臨床心理士 |
| | 築　田　千代実 | 臨床心理士 |
| **事　　務　　部** | | |
| 医　　事　　課 | 伊　藤　里　奈 | 診療情報管理士 |
| | 辻　　祥　子 | 診療情報管理士 |
| | 桃　井　彰　宏 | 診療情報管理士 |
| | | 医療情報技士 |
| | 菅　野　梨　絵 | 診療情報管理士 |
| | | 院内がん登録実務中級者認定 |
| | 今　　妃沙子 | 診療情報管理士 |
| | | 施設基準管理士 |
| | 安　部　裕　也 | 診療情報管理士 |
| | | 院内がん登録実務中級者認定 |
| | 中　尾　　綾 | 診療情報管理士 |
| 総　　務　　課 | 太　田　由　紀 | 日本産業衛生学会認定産業保健看護専門家 |
| | | 日本産業カウンセラー協会認定　産業カウンセラー（産業保健師） |
| | | 労働衛生コンサルタント |
| | 垰　　紘太郎 | 認定医療デザイナー |

# 令和７年度
# 院内委員会組織図
## （ＪＡ北海道厚生連　帯広厚生病院）

自 令和７年４月１日～至 令和８年３月31日




主任部長・主任医長会議
（拡大主任部長・主任医長会議）
経営会議
拡大経営会議
代表者会議
診療の質マネジメント委員会
NSTコア部会
緩和ケア部会
褥瘡予防対策部会
臨床検査適正化小委員会
病院食管理部会
広報委員会
院内広報誌「大地」編集局
「とかち野」編集局
ホームページ運営制作局
年報制作局
輸血療法委員会
化学療法管理委員会
レジメン小委員会
医療ガス安全管理委員会
薬事運営委員会
治験審査委員会
エイズ拠点病院運営委員会
救急・集中治療病棟運営委員会
呼吸管理チーム部会
院内迅速対応チーム部会
救命救急センター運営委員会
院内BLS教育推進部会
救急運営部会
保育所運営委員会
コンプライアンス推進委員会
交通安全推進部会
DPCコーディング委員会
倫理委員会
脳死判定委員会
臓器提供検討委員会
個人情報提供審査委員会
安全衛生委員会
放射線安全委員会
放射線治療品質管理部会
陽電子断層撮影診療安全管理委員会
医療廃棄物適正処理委員会
省エネルギー推進委員会
行動制限最小化委員会
医療保護入院者・退院支援委員会
臨床倫理検討委員会
臨床倫理問題検討部会
キャンサーボード運営部会
総合支援センター運営委員会
総合周産期母子医療センター会議

## JA北海道厚生連 帯広厚生病院 医療の質の指標（QI：Quality Indicator）

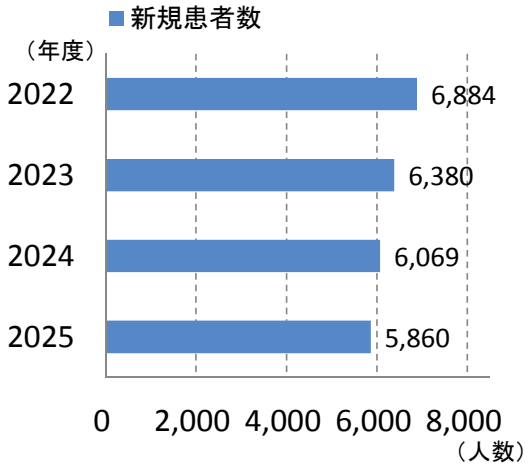
結果・成果指標（Outcome）

### ① 新規患者数

＝ 当該年度に新たに患者番号を取得し、カルテを作成した患者数

**より多くの患者に医療を提供していることを証明する指標です。**

地域医療支援病院ならびに紹介重点医療機関病院となっており、紹介患者に対する医療提供、医療機器等の共同利用の実施等を通じて、かかりつけ医、かかりつけ歯科等を支援する病院と道より指定をうけております。紹介患者を中心とした外来診療体制となっていることで、新規患者数は減少傾向にあります。今後も引き続き、地域住民の方々から「最も信頼され選ばれる病院」を目指します。

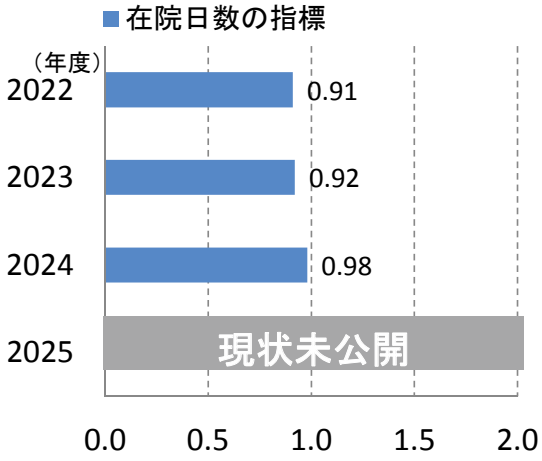



### ② 在院日数の指標

＝ 厚労省DPC評価分科会が公開する資料より抜粋

**診断群分類（DPC）ごとの在院日数を視点として、病院として効率よく診療していることを評価する指標です。数値は1.0が全国平均となり、1.0よりも大きい方が在院日数が短く効率よく診療していることを示します。**

当院は、全国平均と同等程度の在院日数であるという結果でした。今後はクリティカルパス等を活用し、より効率の良い診療を行い在院日数のさらなる短縮を目指します。

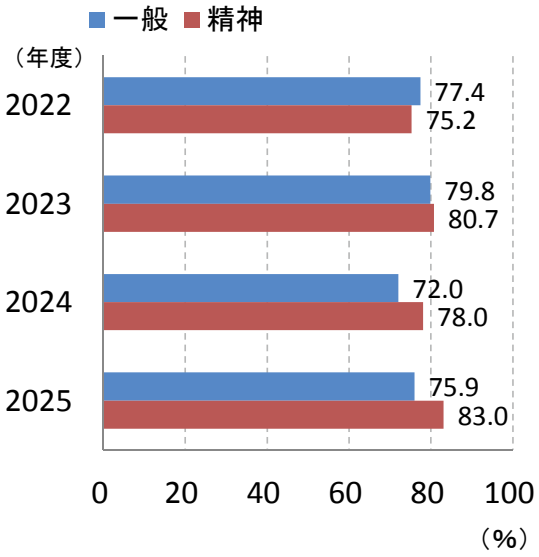



### ③ 病床利用率

＝ 年間入院患者数 ／ 許可病床年間延べ数

**病床がどの程度、効率的に稼働しているかを示す指標です。100%に近いほど空き病床がない状態で利用されていることになります。**

2020年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響や医師体制の変動により、病床利用率は下がっております。状況に応じて病棟再編等を検討しつつ、地域における当院の役割を念頭に置き、病床を有効かつ効率的に利用できるよう努めていきます。



# JA北海道厚生連 帯広厚生病院 医療の質の指標（QI：Quality Indicator）

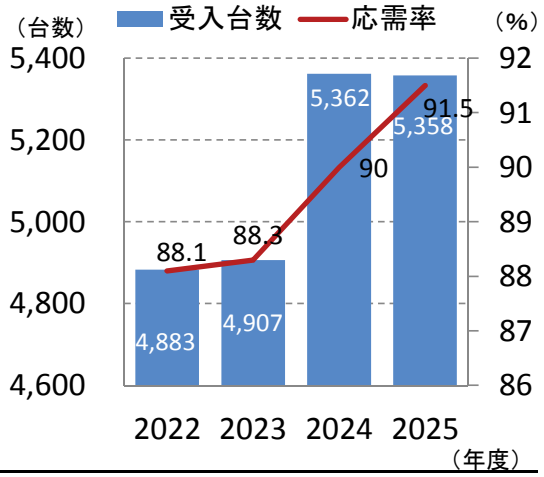
結果・成果指標（Outcome）

## ④ 救急車応需率

$$\text{救急車応需率} = \frac{\text{救急車受入台数}}{\text{救急要請件数}}$$

**救急隊からの搬送の要請に対し、どれだけ救急車の受け入れができたかを示すものです。当院の救急医療における総合的な体制を、救急車の受入台数と応需率によって評価する指標です。**

新型コロナウイルス感染症の影響による救急車搬入台数減少より徐々に受入台数も増加傾向にあり、2025年度は5,300台を超える件数となりました。人員を含め限りある病床・救命救急センターでの受入可能範囲がある中でいかに効率よく医療を提供し応需率を上げていくかが今後の課題となります。

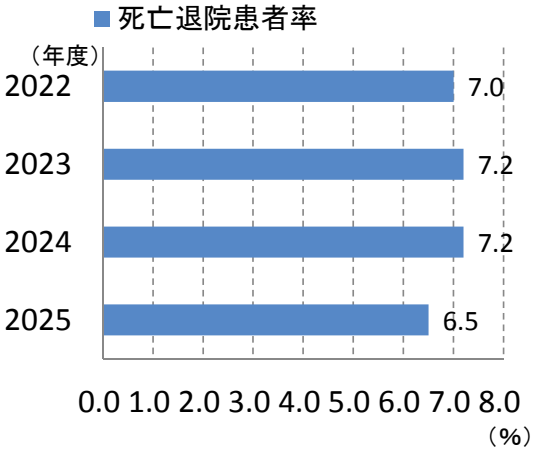



## ⑤ 死亡退院患者率

$$\text{死亡退院患者率} = \frac{\text{死亡患者数}}{\text{全退院患者数}}$$

**病床数、緩和ケア病棟や救命救急センターの有無など医療機関ごとの特徴から大きく影響を受けるものであり、医療の質として単純な評価や比較は適切ではありませんが、継続して数値を把握することが必要な指標です。**

当院は3次救急を担っているため、来院時心肺停止等、重症度の高い患者を受け入れており、日本病院会QIプロジェクト平均値（3.7%）よりも高くなる傾向にあります。引き続き患者の命を救える体制を整えていきます。

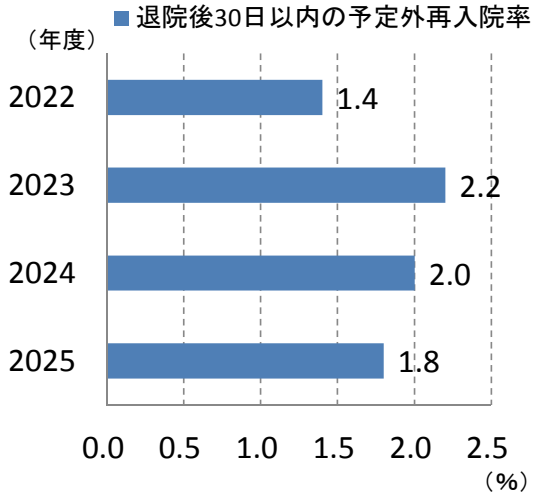



## ⑥ 退院後30日以内の予定外再入院率

$$\text{退院後30日以内の予定外再入院率} = \frac{\text{前回入院から30日以内に計画外で再入院した症例}}{\text{退院症例数}}$$

**前回入院時の治療が不十分であったことや、回復が不完全な状態で早期退院を強いたこと等による予定外の再入院を防ぐ意義のある指標となります。**

2023年度以降においては2%を超える数値となっておりましたが、2025年度は1.8%となりました。より適切な治療を行い適切な入院期間で退院できることを課題として検証し、改善に向けた取り組みを進めていきます。



## JA北海道厚生連 帯広厚生病院 医療の質の指標（QI：Quality Indicator）

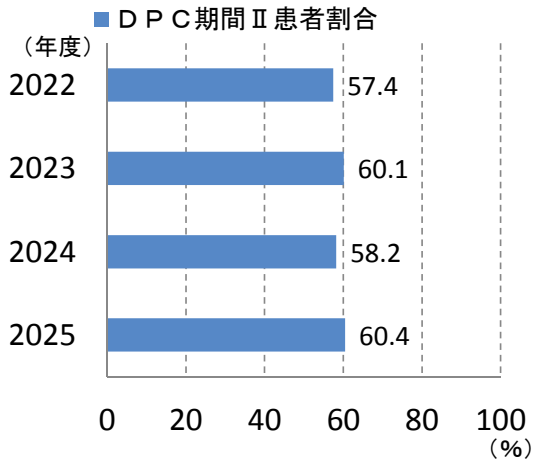
結果・成果指標（Outcome）

### ⑦ DPC期間Ⅱ患者割合

$$\text{⑦ DPC期間Ⅱ患者割合} = \frac{\text{当該月にDPC期間Ⅱ内で退院した患者数}}{\text{当該月にDPC適応で退院した患者数}}$$

**急性期医療における全国の平均的在院日数以内に退院した患者の割合を示しています。**

DPC期間Ⅱとは、急性期医療における全国的な平均在院日数を示しています。当院では毎年、DPC期間Ⅱの患者割合が増えてきております。今後も地域の医療機関などと連携を進めながら、500床以上の病院における全国平均65%を目標に適正な在院日数の管理に努めていきます。

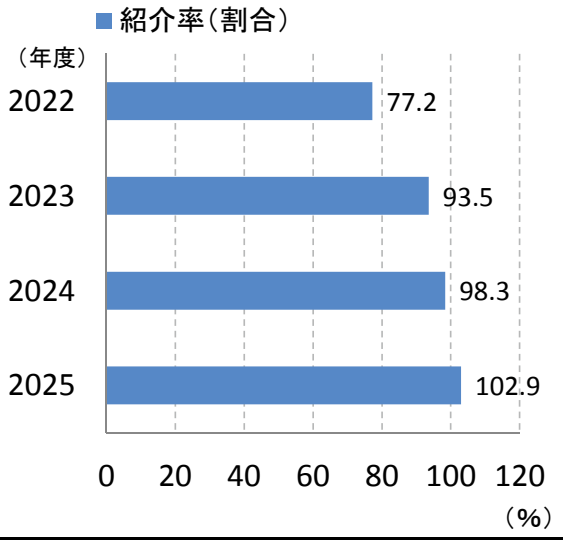



### ⑧ 紹介率（割合）

$$\text{⑧ 紹介率（割合）} = \frac{\text{他の医療機関からの紹介で受診した患者数}}{\text{初診患者数（休日夜間、救急車搬送は除く）}}$$

**当院を受診した患者のうち、他の医療機関からの紹介で受診した患者の割合を示す指標です。**

地域医療支援病院ならびに紹介重点医療機関病院となっており、紹介患者に対する医療提供、医療機器等の共同利用の実施等を通じて、かかりつけ医、かかりつけ歯科等を支援する病院と道より指定をうけております。紹介患者を中心とした外来診療体制となっています。今後も高い割合を維持するため医療機関との連携強化が課題となります。

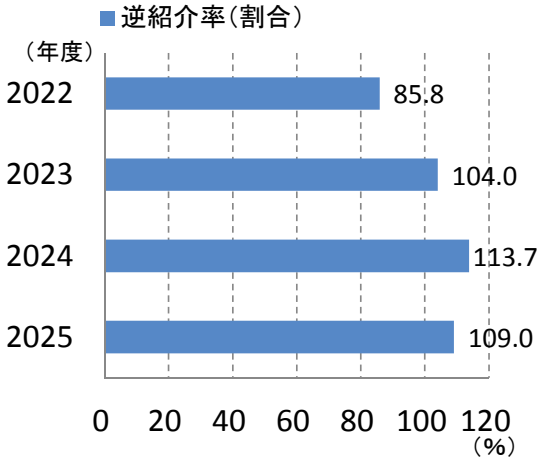



### ⑨ 逆紹介率（割合）

$$\text{⑨ 逆紹介率（割合）} = \frac{\text{診療情報提供料算定数}}{\text{初診患者数（休日夜間、救急車搬送は除く）}}$$

**他の医療機関へ紹介した患者の割合を示す指標です。**

地域医療支援病院ならびに紹介重点医療機関病院となっており、紹介患者に対する医療提供、医療機器等の共同利用の実施等を通じて、かかりつけ医、かかりつけ歯科等を支援する病院と道より指定をうけております。今後も高い割合を維持するため医療機関との連携強化が課題となります。



JA北海道厚生連 帯広厚生病院 **医療の質の指標（QI：Quality Indicator）**

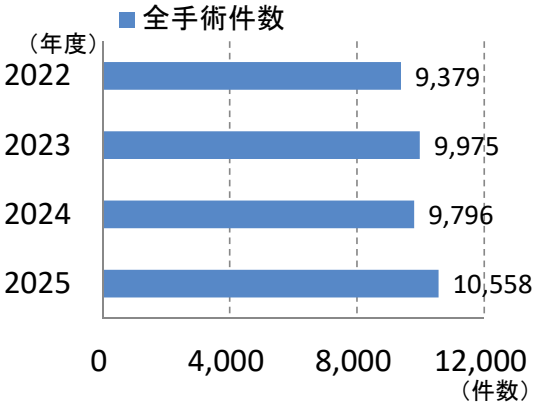
結果・成果指標（Outcome）

## ⑩ 全手術件数

＝ 手術（手術室以外で行われた内視鏡的手術・心臓カテーテル治療等も含む）の件数

**手術スタッフ、設備、手術時間等の効率的な運用を示す指標です。**

新型コロナウイルス感染症の影響により手術件数がやや減少していた時期より、徐々に手術件数も増加しております。手術室の効率的な運用を検討しつつ、手術を行っていきます。

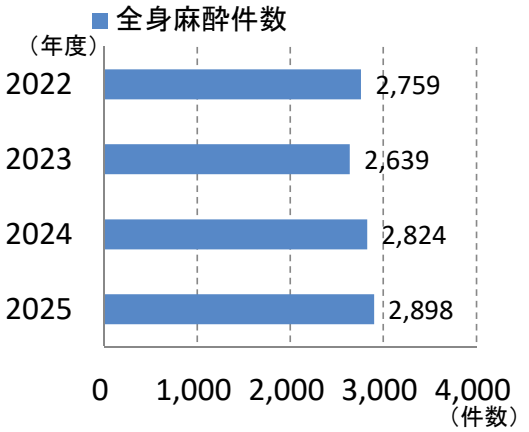



## ⑪ 手術全身麻酔件数

＝ 全身麻酔実施件数（ただし、1手術中に複数実施の場合は一連の麻酔で1件とする）

**全身麻酔では人工呼吸管理も必要となることから、麻酔科医や手術看護師などの業務量を反映する指標となります。**

新型コロナウイルス感染症の影響により手術件数がやや減少していた時期より、徐々に手術件数も増加し、全身麻酔件数も増加傾向にあります。手術室の効率的な運用を検討しつつ、より安全な麻酔を提供していきます。

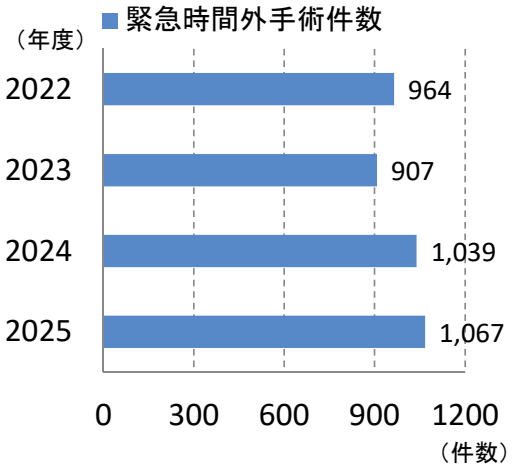



## ⑫ 緊急時間外手術件数

＝ 時間外加算、深夜加算、休日加算を算定した件数

**予定外の緊急手術を常時実施できる体制を評価する指標です。**

2021年度以降ははコロナ対策含め対応方法が確立し緊急時間外手術件数は回復傾向にあります。今後も引き続き、通常の診療時間外に急変した患者に対して緊急手術が行える体制を整えていきます。



## JA北海道厚生連 帯広厚生病院 医療の質の指標（QI：Quality Indicator）

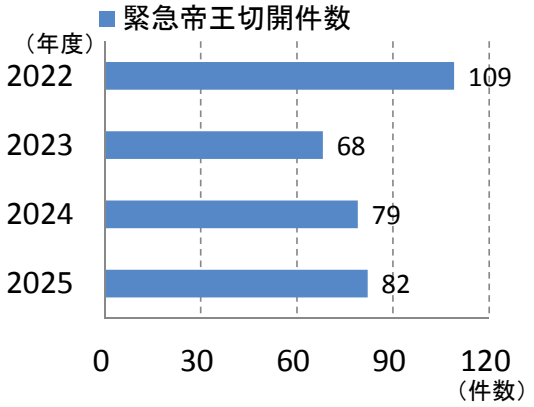
結果・成果指標（Outcome）

### ⑬ 緊急帝王切開数

＝ 緊急帝王切開の算定件数

**予定外の帝王切開における体制が整っていることを評価する指標です。**

分娩件数が減少する中、緊急帝王切開件数は大きく減少することなく推移しました。今後も予定外の帝王切開における体制を維持していきます。

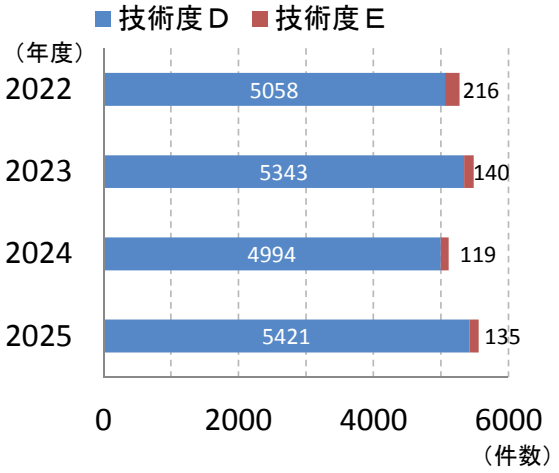



### ⑭ 技術度DとEの手術件数

＝ 外保連手術試案第8版における技術度D・Eの件数

**手術の技術度は、医療技術の適正な評価を目的として、外科系学会社会保険委員会連合（外保連）が試案として5段階（A～E）で発表をしています。技術度の高い手術をより多く行っていることを評価する指標です。**

今後も手術のリスクを考慮しながら、高難度の手術を行っていきます。

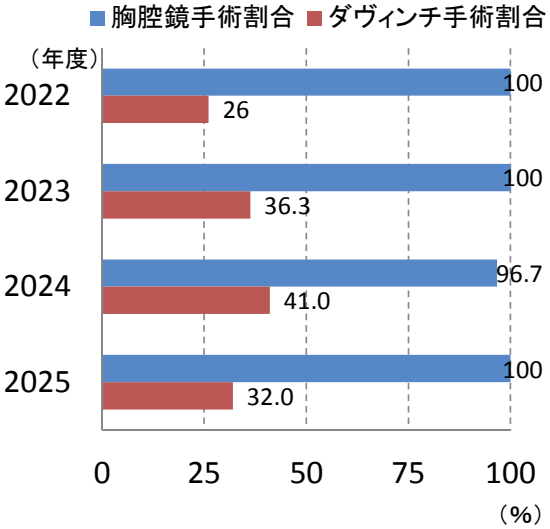



### ⑮ 肺がん手術における胸腔鏡下手術(ダヴィンチ手術)の割合

$$= \frac{\text{胸腔鏡下手術件数（ダヴィンチを用いた件数）}}{\text{胸腔鏡下手術+開胸手術件数}}$$

**胸腔鏡下手術は開胸術と比べて非常に小さな創で済み、痛みが少なく、患者の早期回復が期待できます。また、より精緻な手術を目指し、手術支援ロボット「ダヴィンチ」による手術を開始しております。**

胸腔鏡手術の割合は極めて高い割合を維持しております。ダヴィンチ手術も年々増加し、より患者さまに低侵襲性の手術を提供していきます。今後も増加する見込みです。



JA北海道厚生連 帯広厚生病院 **医療の質の指標（QI：Quality Indicator）**

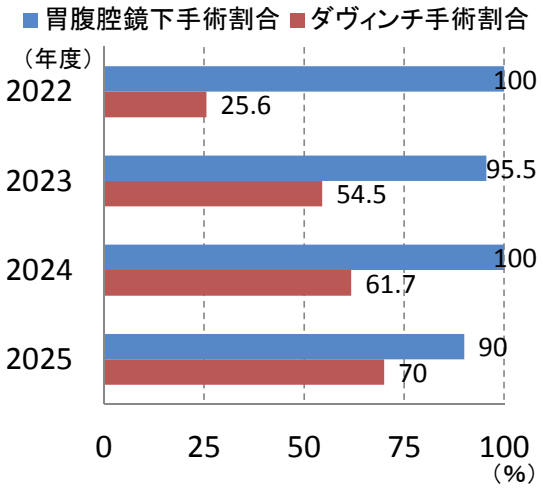
結果・成果指標（Outcome）

## ⑯ 胃がん手術における腹腔鏡手術(ダヴィンチ手術)の割合

$$= \frac{\text{胃腹腔鏡下手術件数（ダヴィンチを用いた件数）}}{\text{胃腹腔鏡下手術+胃開腹手術件数}}$$

**腹腔鏡下手術は開腹術と比べて非常に小さな創で済み、痛みが少なく、患者の早期回復が期待できます。また、より精緻な手術を目指し、手術支援ロボット「ダヴィンチ」による手術も行っております。**

腹腔鏡手術の割合は高い割合を維持しております。ダヴィンチ手術も年々増加し、より患者さまに低侵襲性の手術を提供していきます。より精密な手術を目指していきます。

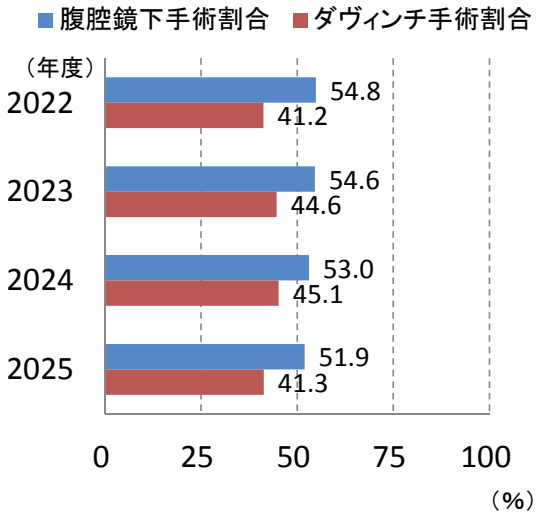



## ⑰ 前立腺がん,腎がん,膀胱がん手術における腹腔鏡下手術（ダヴィンチ手術）の割合

$$= \frac{\text{腹腔鏡下手術件数（ダヴィンチを用いた件数）}}{\text{腹腔鏡下手術+開腹手術件数}}$$

**腹腔鏡下手術は開腹術と比べて非常に小さな創で済み、痛みが少なく、患者の早期回復が期待できます。泌尿器科では前立腺がん、腎がんなどの特に早期がんにおいて従来の開腹手術に代わり腹腔鏡下手術が一般的な手術療法になっています。また、手術支援ロボット「ダヴィンチ」による腹腔鏡下手術も積極的に行っております。**

腹腔鏡手術は年々増加しており、そのうち、ダヴィンチ手術の割合は半分以上を占めています。今後も負担の少ない、より精緻な手術を目指していきます。

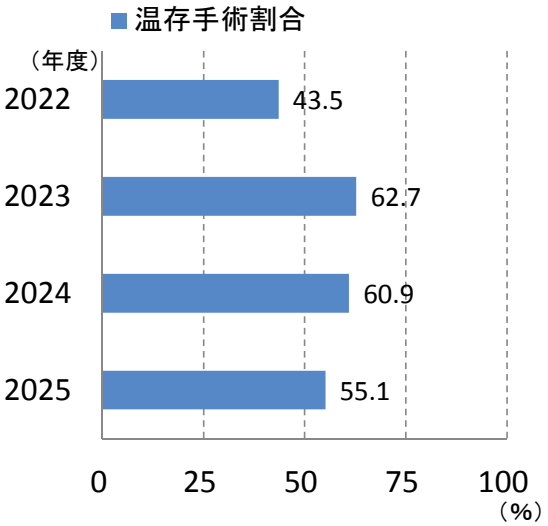



## ⑱ 乳がん（腫瘍2cm以下）手術における乳房温存手術の 割合

$$= \frac{\text{温存手術数}}{\text{温存手術数+非温存手術数}}$$

**乳房温存手術では、乳房内での再発率を高めることなく、患者が望む場合に乳房を残します。乳がんの広がりを正確に判断し、適切な乳房温存手術と術後の放射線治療を行うことが重要です。**

乳房温存手術の割合が減少しております。正確な診断と手術は当然ですが、患者の希望にも沿いながら治療を行っていきます。



## JA北海道厚生連 帯広厚生病院 医療の質の指標（QI：Quality Indicator）

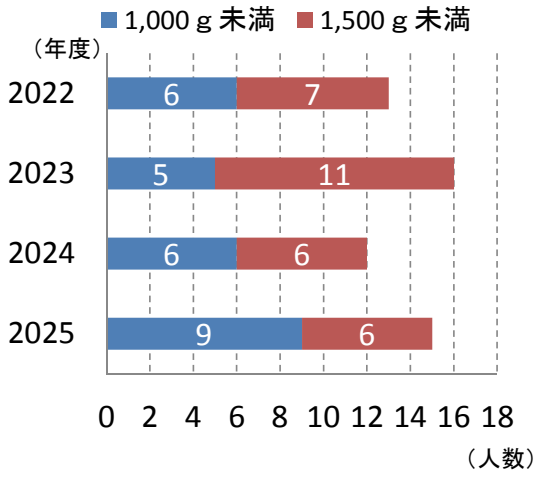
結果・成果指標（Outcome）

### ⑲ 新生児のうち出生児体重が1,500g未満の

＝ 当院での出生時の体重が1,500g未満の「極低出生体重児」、1,000g未満の「超低出生体重児」の合計人数

**新生児集中治療室（NICU）では高度な設備に加えて専門的知識や技術を習得したスタッフを24時間体制で配置しています。極めて重症度が高く新生児集中治療を必要とする児を常に受け入れていることを示しています。**

毎年10名前後の低出生体重児の治療を行っており、今後も総合周産期母子医療センターとして、ハイリスク妊産褥婦や新生児の医療に対応していきます。

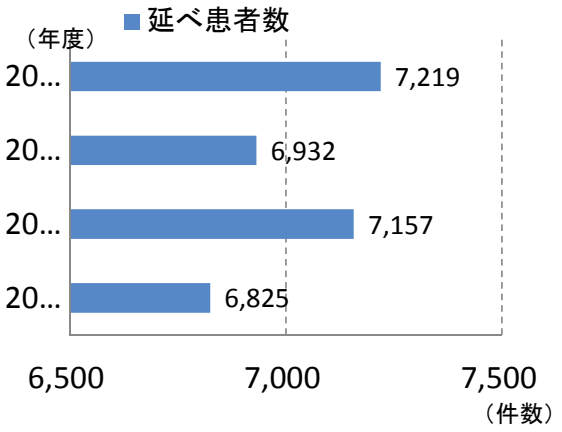



### ⑳ 外来化学療法患者数

＝ 外来で化学療法を実施した延べ患者数

**外来で適切に化学療法を行えるだけの職員（医師、看護師、薬剤師など）、設備の充実度を評価する指標です。**

年度によりばらつきはありますが、多くの患者さんが外来での化学療法を行っています。近年は皮下注製剤が増えてきており、投与時間の短縮が見込めることから、今後も外来での治療が中心となっていくことが予想されます。



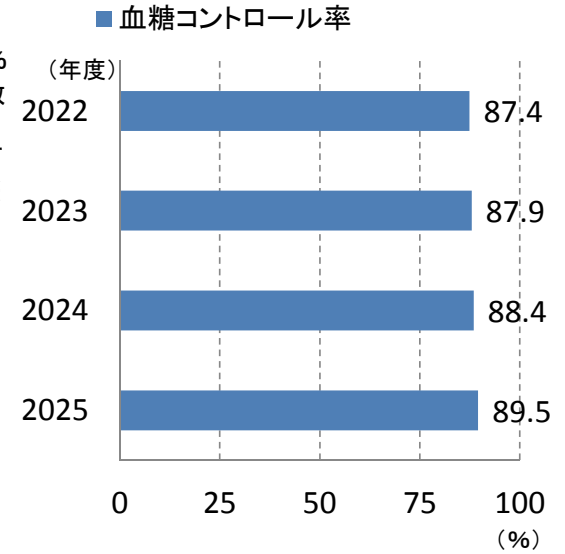

### ㉑ 65歳以上の糖尿病患者の血糖コントロール率（HbA1-C<8.0%）

$$= \frac{\text{HbA1c（NGSP）の最終値が8.0\%未満の65歳以上の外来患者数}}{\text{糖尿病の薬物治療が行われている65歳以上の外来患者数※}}$$

※過去1年間に糖尿病治療薬が外来で合計90日以上処方されている65歳以上の患者

**血糖コントロールとは、高血糖を改善して血糖値をできるだけ正常な数値に近づけることで、糖尿病の治療の中で最も大切なものです。本指標は、糖尿病治療薬（薬物療法）を投与した外来患者に対するHbA1c値のコントロール度合いを示しています。**

ほとんどの患者で適切に血糖がコントロールされています。今後も適切な血糖コントロールを継続し、合併症の予防に努めていきます。



## JA北海道厚生連 帯広厚生病院 医療の質の指標（QI：Quality Indicator）

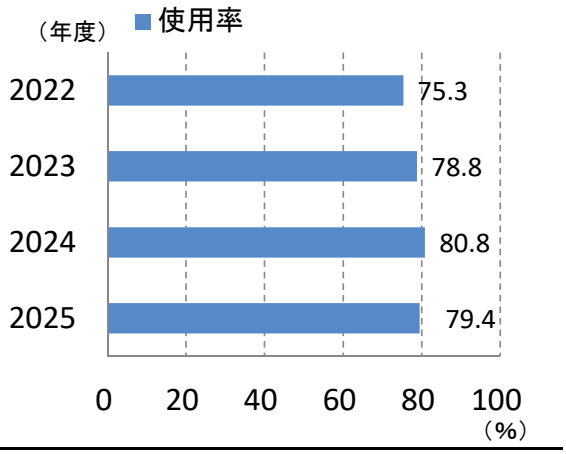
結果・成果指標（Outcome）

### ㉒ 後発医薬品使用率

$$\text{後発医薬品使用率} = \frac{\text{後発医薬品の規格単位数量}}{\text{後発医薬品あり先発医薬品及び後発医薬品の規格単位数量}}$$

**後発医薬品への切替可能な薬品のうち、実際に消費した後発医薬品の数量が占める割合を表す指標です。**

政府が定めた方針「2023年度末までに全ての都道府県で80%以上」に従い、後発医薬品への切り替えを進めておりますが、後発医薬品の流通障害もあり使用率は横ばいとなりました。目標値には到達していませんが、今後も後発医薬品の積極的な導入を進めていきます。




### ㉓ MRSA感染率

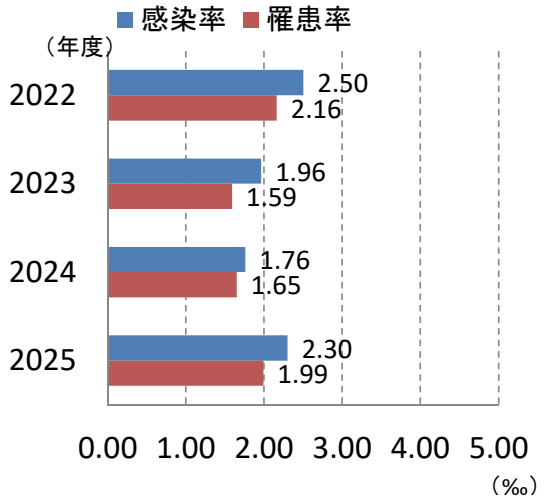
$$\text{MRSA感染率} = \frac{\text{感染症患者数}}{\text{総入院患者数}}$$ ※千分率で計算

### ㉓ MRSA罹患率

$$\text{MRSA罹患率} = \frac{\text{新規感染症患者数}}{\text{総入院患者数－継続感染症患者}}$$ ※千分率で計算

**MRSA（メチシリン耐性黄色ブドウ球菌）の院内感染は、不適切な抗菌薬の使用や汚染された手指や器具を通して接触伝播することで発生するため、本指標は院内の感染制御の状況を示しています。**

当院では感染率・罹患率ともに若干減少傾向であり、今後も感染管理チーム（ICT）が中心となり、院内感染を防止するため適切な手指消毒、器具消毒等の徹底に努めていきます。

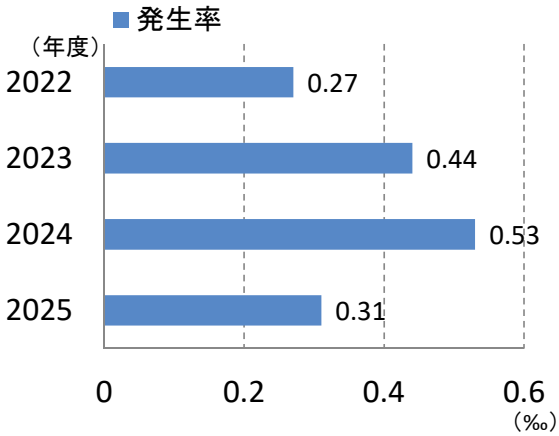



### ㉔ 転倒転落による損傷発生率（レベル2以上）

$$\text{転倒転落による損傷発生率（レベル2以上）} = \frac{\text{入院中の患者に発生した損傷レベル2以上の転倒・転落件数}}{\text{入院患者延べ人数}}$$

**転倒転落を予防し、外傷を軽減する取り組みを表す指標です。**

事例分析から導かれた予防策を実施し転倒・転落発生のリスクを低減する取り組みを推進することで、転倒・転落による外傷の軽減を図ります。




※‰（パーミル）は、入院患者1000人あたり何人転倒・転落しているかを表しています

## JA北海道厚生連 帯広厚生病院 医療の質の指標（QI：Quality Indicator）

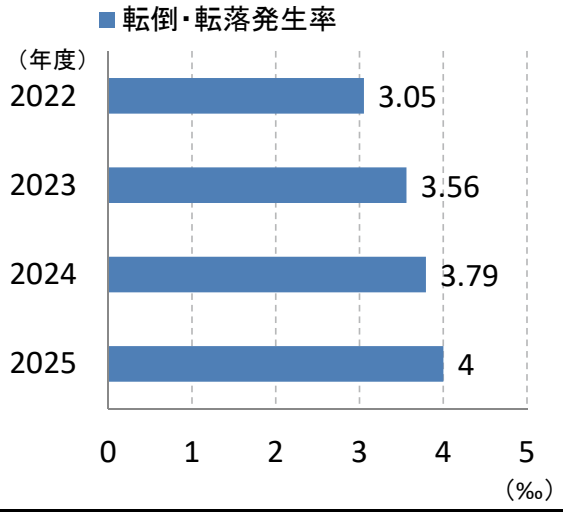
結果・成果指標（Outcome）

### ㉕ 65歳以上入院患者における転倒・転落発生率

$$= \frac{\text{65歳以上の入院中の患者さまに発生した転倒・転落件数}}{\text{65歳以上の入院患者延べ数}}$$

**転倒・転落の予防策を実施して、転倒・転落の発生リスクを低減していく取り組みを示す指標です。数値は千分率で示します。**

引き続き転倒・転落事例の分析を行い、予防策を実施していきます。

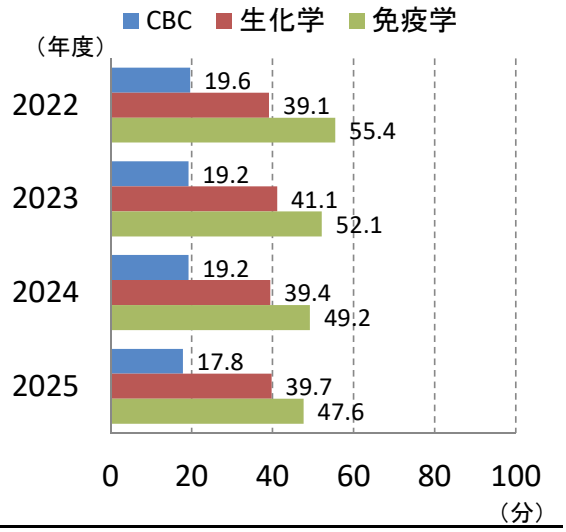



### ㉖ 検査業務所要時間（TAT）

＝ CBC・生化学検査・免疫学的検査における、臨床検査室に検体が到着した時間から臨床へ結果報告が完了するまでの時間

**診察前検査や緊急検査に関して結果を迅速に報告するために、臨床のニーズを反映して設定した管理指標です。**

至急対応項目は60分以内に報告することを目標値としておりますが、再検査等により超過してしまう場合があります。今後も迅速な検査データの報告を目指し、TATの短縮に努めていきます。

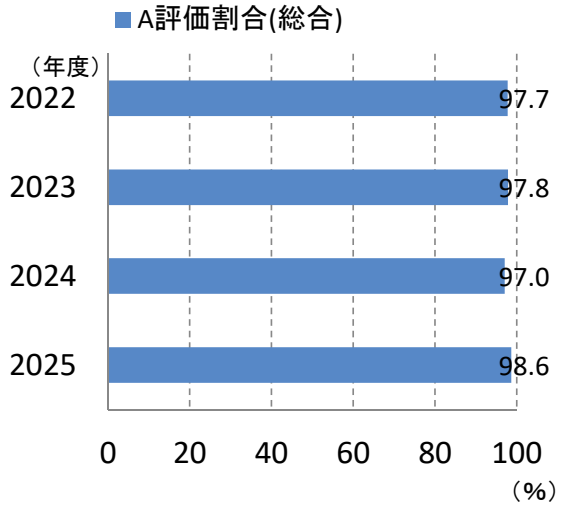



### ㉗ 外部精度管理評価結果

＝ 主要な3団体による外部精度管理調査結果(日臨技精度管理調査・北臨技精度管理調査・日本医師会精度管理調査)における総合A評価の割合

**臨床検査室は、他施設とのデータを比較するため、外部精度管理調査に参加しております。A評価の割合が高い程、検査室が高品質な検査サービスを提供できていることを表します。**

ISO 15189取得年である2018年度から外部精度管理調査の数値は改善しています。今後は日本医師会の評価Aの割合を改善できるよう努めていきます。



# 帯広厚生病院DPC医療機関別係数について

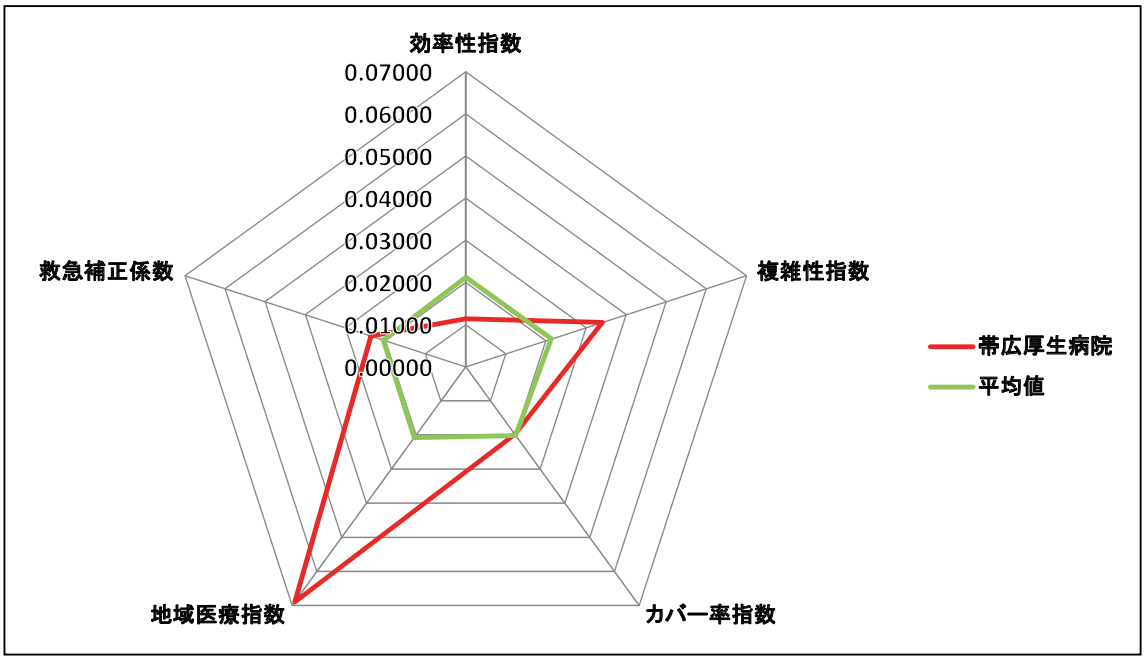
1．令和７年度ＤＰＣ医療機関別係数

1）医 療 機 関 群：ＤＰＣ特定病院群

2）基　礎　係　数：1.0718

3）機能評価係数Ⅰ：0.1342

2．令和７年度機能評価係数Ⅱの内訳




| | 効率性指数 | 複雑性指数 | カバー率指数 | 地域医療指数 | 救急補正係数 |
|---|---|---|---|---|---|
| 帯広厚生病院 | 0.01138 | 0.03409 | 0.01981 | 0.06890 | 0.02360 |
| 平　均　値 | 0.02123 | 0.02133 | 0.02016 | 0.02074 | 0.02050 |

（各指数の説明）

効 率 性 指 数：各医療機関における在院日数短縮の努力を評価

複 雑 性 指 数：１入院当たり医療資源投入の観点から見た患者構成への評価

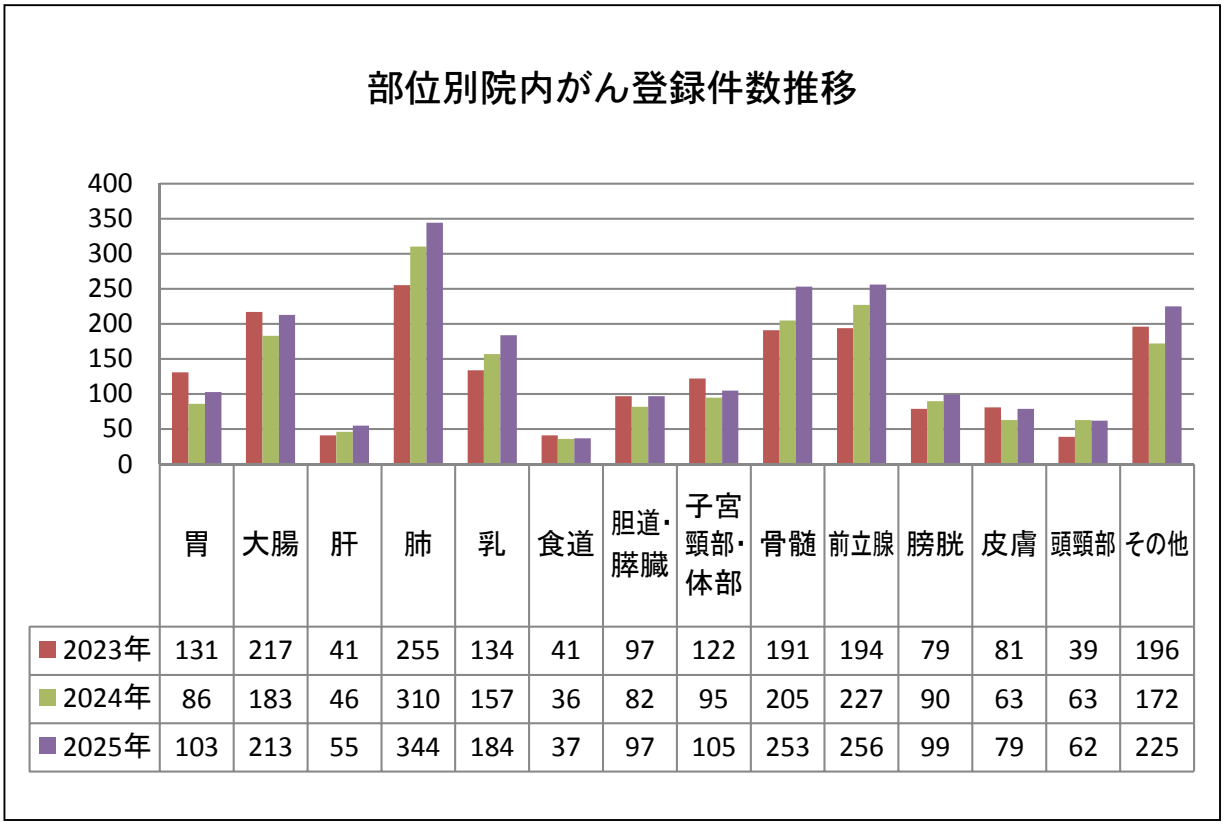
カ バ ー 率 指 数：様々な疾患に対応できる総合的な体制について評価

地 域 医 療 指 数：５疾病６事業等を含む医療提供体制における役割や実績を評価

救 急 補 正 係 数：救急医療（緊急入院）の対象となる患者治療に要する資源投入量の乖離を評価

# 部位別院内がん登録件数

| | 2023年 | 2024年 | 2025年 |
|---|---|---|---|
| 胃（C16） | 131 | 86 | 103 |
| 大腸（C18-C20） | 217 | 183 | 213 |
| 肝（C22） | 41 | 46 | 55 |
| 肺（C34） | 255 | 310 | 344 |
| 乳房（C50） | 134 | 157 | 184 |
| 食道（C15） | 41 | 36 | 37 |
| 胆道・膵臓（C23-C25） | 97 | 82 | 97 |
| 子宮頸部・体部（C53-C54） | 122 | 95 | 105 |
| 骨髄（C42） | 191 | 205 | 253 |
| 前立腺（C61） | 194 | 227 | 256 |
| 膀胱（C67） | 79 | 90 | 99 |
| 皮膚（C44） | 81 | 63 | 79 |
| 頭頚部（C00-C13, C30-32, C73） | 39 | 63 | 62 |
| その他（上記以外） | 196 | 172 | 225 |
| 合　　計 | 1,818 | 1,815 | 2,112 |



# 科別患者数

## 入　院

| | 令和５年度 | | 令和６年度 | | 令和７年度 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 延　数 | １日平均 | 延　数 | １日平均 | 延　数 | １日平均 |
| 呼吸器内科 | 18,799 | 51 | 20,136 | 55 | 17,823 | 49 |
| 循環器内科 | 17,067 | 47 | 15,481 | 42 | 14,627 | 40 |
| 消化器内科 | 24,497 | 67 | 20,790 | 57 | 22,537 | 62 |
| 血液内科 | 13,463 | 37 | 13,597 | 37 | 12,285 | 34 |
| 脳神経内科 | 15,115 | 41 | 13,509 | 37 | 12,638 | 35 |
| 小児科 | 7,783 | 21 | 7,698 | 21 | 7,657 | 21 |
| 外科 | 13,198 | 36 | 14,835 | 41 | 15,192 | 42 |
| 脳神経外科 | 14,776 | 40 | 13,304 | 36 | 12,626 | 35 |
| 心臓血管外科 | 3,220 | 9 | 2,121 | 6 | 1,945 | 5 |
| 整形外科 | 20,104 | 55 | 19,292 | 53 | 19,910 | 55 |
| 産婦人科 | 12,183 | 33 | 11,638 | 32 | 10,682 | 29 |
| 皮膚科 | 838 | 2 | 595 | 2 | 1,092 | 3 |
| 形成外科 | 5,357 | 15 | 6,410 | 18 | 5,941 | 16 |
| 泌尿器科 | 7,304 | 20 | 7,363 | 20 | 9,084 | 25 |
| 耳鼻咽喉科 | 4,888 | 13 | 6,886 | 19 | 6,137 | 17 |
| 眼科 | 751 | 2 | 880 | 2 | 770 | 2 |
| 精神科 | 13,512 | 37 | 13,055 | 36 | 13,855 | 38 |
| 麻酔科 | 412 | 1 | 414 | 1 | 271 | 1 |
| 放射線科 | 235 | 1 | 284 | 1 | 316 | 1 |
| 総合診療科 | 2,393 | 7 | 2,257 | 6 | 1,726 | 5 |
| 緩和支持治療科 | 5,328 | 15 | 5,224 | 14 | 5,408 | 15 |
| 救急科 | 2,025 | 6 | 2,606 | 7 | 2,728 | 7 |
| 入院計 | 203,248 | 555 | 198,375 | 543 | 195,250 | 535 |

## 外　来

| | 令和５年度 | | 令和６年度 | | 令和７年度 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 延　数 | １日平均 | 延　数 | １日平均 | 延　数 | １日平均 |
| 呼吸器内科 | 24,242 | 99 | 24,500 | 101 | 23,421 | 97 |
| 循環器内科 | 35,684 | 146 | 31,981 | 132 | 31,765 | 131 |
| 消化器内科 | 59,256 | 243 | 51,279 | 211 | 54,834 | 226 |
| 血液内科 | 11,454 | 47 | 12,075 | 50 | 11,955 | 49 |
| 脳神経内科 | 15,221 | 62 | 15,834 | 65 | 15,678 | 65 |
| 小児科 | 11,189 | 46 | 9,862 | 41 | 8,779 | 36 |
| 外科 | 17,249 | 71 | 16,976 | 70 | 16,988 | 70 |
| 脳神経外科 | 10,061 | 41 | 10,067 | 41 | 9,421 | 39 |
| 心臓血管外科 | 4,364 | 18 | 4,137 | 17 | 4,019 | 17 |
| 整形外科 | 23,969 | 98 | 23,262 | 96 | 23,496 | 97 |
| 産婦人科 | 27,641 | 113 | 25,508 | 105 | 25,245 | 104 |
| 皮膚科 | 13,547 | 56 | 11,153 | 46 | 13,868 | 57 |
| 形成外科 | 10,362 | 42 | 10,921 | 45 | 12,130 | 50 |
| 泌尿器科 | 23,604 | 97 | 22,981 | 95 | 23,501 | 97 |
| 耳鼻咽喉科 | 15,068 | 62 | 15,206 | 63 | 15,373 | 63 |
| 眼科 | 3,487 | 14 | 4,676 | 19 | 5,251 | 22 |
| 精神科 | 20,207 | 83 | 21,328 | 88 | 21,329 | 88 |
| 麻酔科 | 1,712 | 7 | 905 | 4 | 587 | 2 |
| 放射線科 | 11,037 | 45 | 11,525 | 47 | 11,880 | 49 |
| 総合診療科 | 2,594 | 11 | 2,068 | 9 | 2,497 | 10 |
| 緩和支持治療科 | 364 | 1 | 484 | 2 | 426 | 2 |
| 健康管理科 | 1,944 | 8 | 2,093 | 9 | 1,885 | 8 |
| 救急科 | 4,990 | 20 | 5,466 | 22 | 5,055 | 21 |
| 外来計 | 349,246 | 1,431 | 334,287 | 1,376 | 339,383 | 1,397 |

# 健診センター

## 人間ドック

| | 令和５年度 | 令和６年度 | 令和７年度 |
|---|---|---|---|
| 受診者数 | 16, 538 | 16, 873 | 16, 621 |
| 男性 | 9, 773 | 9, 819 | 9, 763 |
| 女性 | 6, 765 | 7, 054 | 6, 858 |
| ＪＡ組合員 | 3, 707 （22. 4％） | 3, 594 （21. 3％） | 3, 541 （21. 3％） |
| ＪＡ役職員 | 2, 321 （14. 0％） | 2, 348 （13. 9％） | 2, 348 （14. 1％） |
| その他（市町村・一般事業所） | 10, 510 （63. 5％） | 10, 931 （64. 8％） | 10, 732 （64. 6％） |
| **オプション検診** | | | |
| 脳ドック | 1, 351 | 1, 367 | 1, 402 |
| 人間ドックオプション | （1021） | （1042） | （1045） |
| 脳単独ドック | （330） | （325） | （357） |
| 肺ドック | 561 | 604 | 511 |
| 喀痰検査 | 87 | 96 | 109 |
| マンモグラフィ検査 | 3, 853 | 3, 788 | 3, 632 |
| 乳腺超音波検査 | 568 | 585 | 545 |
| 子宮頸部がん検診 | 2, 955 | 2, 886 | 2, 796 |
| 子宮体部がん検診 | 300 | 286 | 292 |
| ＨＰＶ検査 | 623 | 566 | 556 |
| 前立腺がん検診 | 2, 679 | 2, 414 | 2, 425 |
| 骨粗鬆症検診 | 1, 524 | 1, 486 | 1, 433 |
| 胃カメラ検査 | 1, 540 | 1, 571 | 1, 819 |
| ピロリ菌検査 | 919 | 727 | 672 |
| 血圧脈波検査 | 1, 134 | 1, 439 | 1, 233 |
| 頚動脈エコー検査 | 1, 039 | 1, 018 | 927 |
| 脂肪酸分画検査 | 792 | 733 | 689 |
| 体成分分析検査 | 1, 248 | 1, 198 | 1, 164 |
| ＰＥＴ検診 | 186 | 117 | 135 |
| **人間ドックにより発見された主な悪性腫瘍等** | | | |
| 食道がん | 5 | 3 | |
| 胃がん | 5 | 4 | |
| 大腸がん | 12 | 8 | |
| 肺がん | 6 | 12 | |
| 腎がん | 3 | 5 | |
| 膵臓がん | － | 1 | |
| 肝臓がん | － | ― | |
| 甲状腺がん | － | 1 | |
| 乳がん | 6 | 12 | |
| 子宮体部がん | － | ― | |
| 子宮頸部がん | － | ― | |
| 卵巣がん | － | 2 | |
| 前立腺がん | 11 | 10 | |
| 膀胱がん | － | 1 | |
| 胆管がん | － | 1 | |
| 脳ドック（脳動脈瘤等） | － | ― | |

## 巡回検診車で行う生活習慣病検診（巡回ドック）関連

| | 令和５年度 | 令和６年度 | 令和７年度 |
|---|---|---|---|
| 受診者数 | 7,560 | 7,607 | 6,829 |
| 男性 | 3,472 | 3,799 | 3,467 |
| 女性 | 4,088 | 3,808 | 3,362 |
| 十勝管内 | 4,097 | 4,539 | 4,276 |
| 釧路管内 | 1,666 | 1,487 | 1,341 |
| 根室管内 | 1,797 | 1,581 | 1,212 |
| ＪＡ職員 | 733（ 9.7％） | 669（ 8.8％） | 692（10.1％） |
| その他一般 | 6,827（90.3％） | 6,938（91.2％） | 6,137（89.9％） |
| 生活習慣病検診により発見された主な悪性腫瘍 | | | |
| 食道がん | 2 | － | |
| 胃がん | 2 | 1 | |
| 大腸がん | 13 | 9 | |
| 肺がん | 3 | － | |
| 膵臓がん | 1 | － | |
| 膀胱がん | － | 1 | |
| 前立腺がん | 10 | 8 | |

人間ドックの受診者数は、例年並みで推移しています。オプション検査においては、消化器内科医の協力により、胃内視鏡検査（胃カメラ）の件数が増加いたしました。一方で、巡回ドックの受診者数は減少傾向にあり、今後も同様の傾向が続く見通しです。

（文責／副院長(兼)健康管理科　主任部長　高橋　亨）

# 臨床研修センター

## 応募者数とマッチ数

| 出身大学名／募集年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 北海道大学 | 10 | 11 | 14 | 14 | 13 | 13 | 13 | 15 | 14 | 11 | 19 | 19 | 24 |
| 札幌医科大学 | 10 | 6 | 5 | 4 | 9 | 11 | 11 | 4 | 8 | 2 | 9 | 9 | 12 |
| 旭川医科大学 | 3 | 3 | 4 | 0 | 0 | 1 | 6 | 2 | 2 | 1 | 2 | 2 | 1 |
| 道内受験者数 | 23 | 20 | 23 | 18 | 22 | 25 | 30 | 21 | 24 | 29 | 30 | 30 | 37 |
| 道外受験者数 | 5 | 4 | 4 | 2 | 2 | 5 | 5 | 8 | 11 | 1 | 6 | 8 | 13 |
| 受験者数　合計 | 28 | 24 | 27 | 20 | 24 | 30 | 35 | 29 | 35 | 30 | 36 | 38 | 50 |
| マッチ数/定員数 | 10/10 | 12/12 | 12/12 | 11/12 | 11/12 | 14/14 | 14/14 | 14/14 | 14/14 | 14/14 | 14/14 | 14/14 | 14/14 |

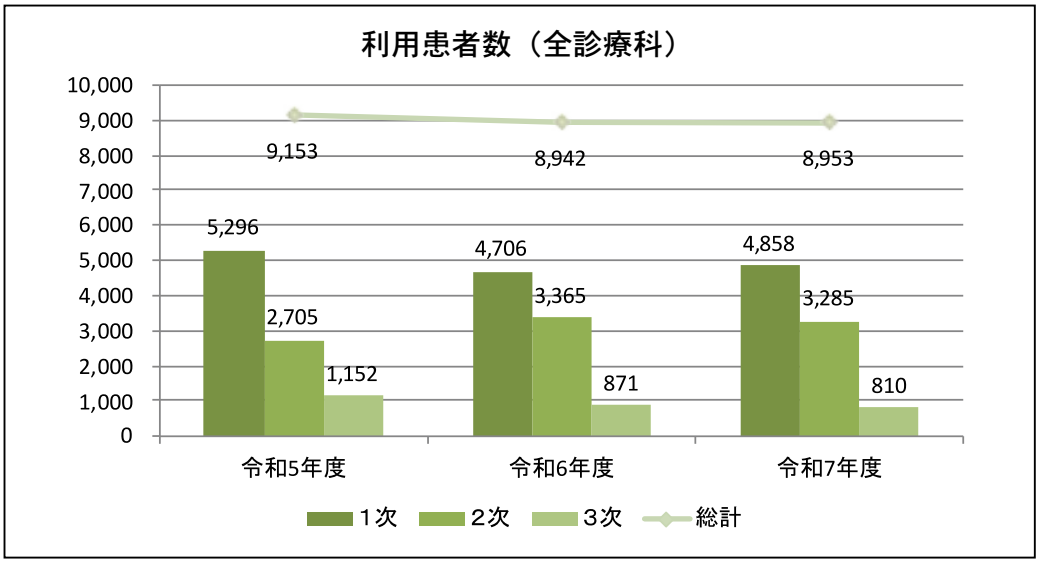
## 初期臨床研修修了後の専攻診療分野（３年目）

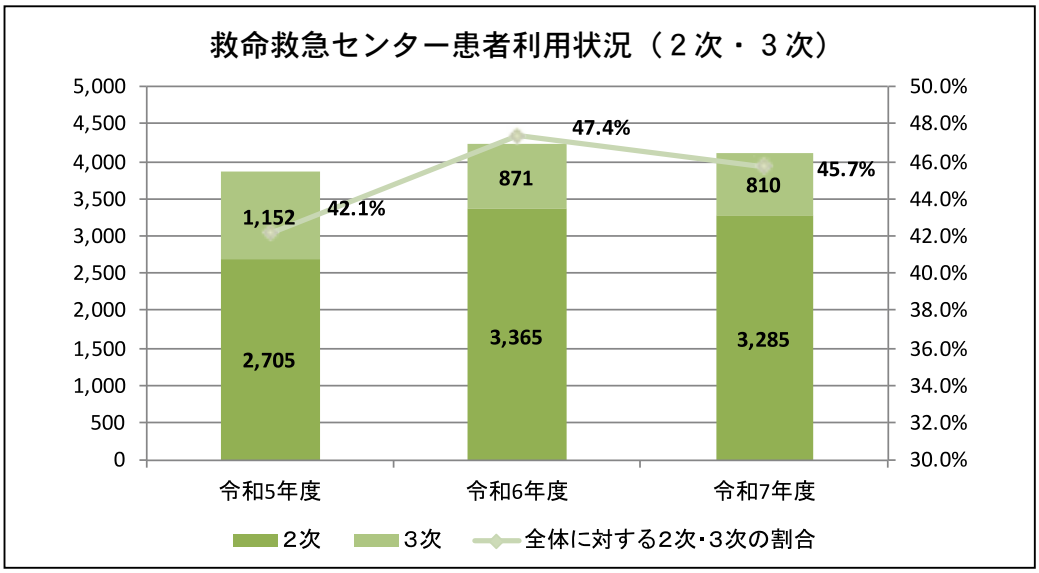
| 診療科／採用年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 呼吸器内科 | 2 | | 1 | 2 | 1 | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 16 |
| 循環器内科 | | 1 | 1 | 1 | | | 1 | 1 | 1 | | | | 6 |
| 免疫代謝 | 1 | 1 | | | 1 | | | | | | 1 | 1 | 5 |
| 消化器内科 | | | | | 1 | 1 | 1 | 2 | | | | | 5 |
| 血液内科 | 1 | 1 | | | | 1 | | | | | | | 3 |
| 神経内科 | | 1 | 1 | 1 | 1 | | | | | 1 | | | 5 |
| 総合診療科 | | | | 1 | 1 | | 1 | 1 | | | | | 4 |
| 小児科 | | | 2 | 1 | | 2 | 1 | | 1 | 1 | 4 | | 12 |
| 消化器外科 | 2 | 1 | 1 | | | 1 | 1 | 1 | 1 | | | 1 | 9 |
| 呼吸器外科 | | | | | | | | | | | 2 | | 2 |
| 心臓血管外科 | | 1 | 1 | | 1 | | 1 | | | | | | 4 |
| 乳腺外科 | | | | | | | | | | 1 | | | 1 |
| 脳神経外科 | | 2 | | | | | | 1 | 1 | | | | 4 |
| 整形外科 | | 2 | | 1 | | 2 | | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 14 |
| 産婦人科 | | | 1 | 1 | | | 1 | 2 | 1 | | | 3 | 9 |
| 泌尿器科 | 2 | | 1 | 1 | 1 | 1 | | | 1 | 1 | 1 | 2 | 11 |
| 形成外科 | | | 1 | | | | | 2 | 1 | 1 | 1 | | 6 |
| 皮膚科 | | | | | | | | | | | 1 | | 1 |
| 眼科 | | | | | | 1 | | | | 1 | | | 2 |
| 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 | | | | | 1 | | 1 | | | | | 1 | 3 |
| 精神科 | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 放射線科 | 1 | | 1 | 1 | 1 | | 1 | | | 1 | | 1 | 7 |
| 麻酔科 | 1 | | | 1 | | | | | | 1 | 1 | 1 | 5 |
| 救急科 | | | | 1 | | | | 1 | 1 | 1 | 1 | | 5 |
| 病理診断科 | | | | | 1 | | | | 1 | | | | 2 |
| 内科専攻医 | | | | | 1 | | | | 1 | | | | 2 |
| 未定 | | | | | | | 1 | | | | | | 1 |
| 合計 | 10 | 10 | 11 | 12 | 11 | 11 | 12 | 14 | 13 | 13 | 14 | 13 | 144 |

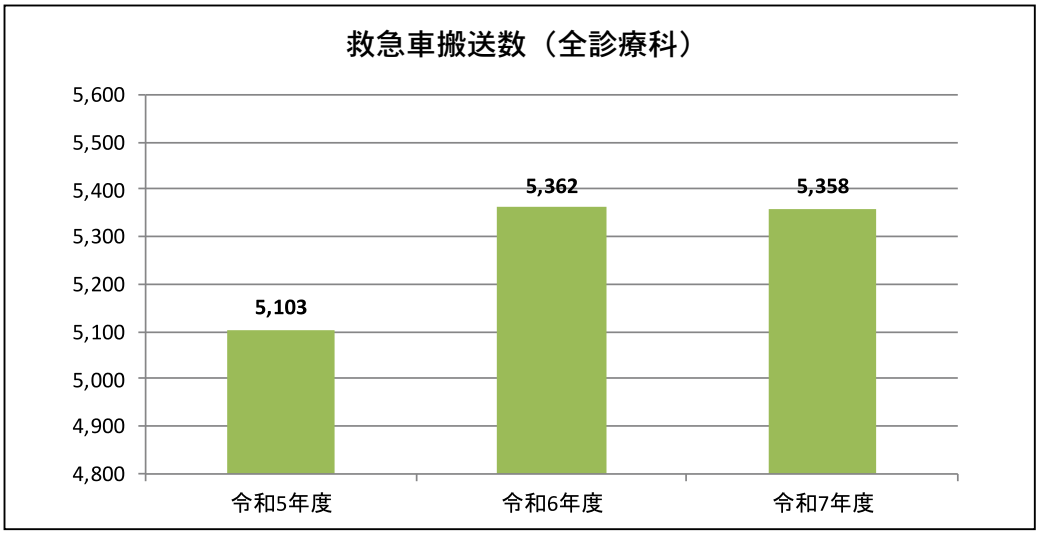
令和７年度の応募者数は50名に達し、過去最多を更新いたしました。道内のみならず、全国各地の医学生から応募が寄せられています。研修病院としての評価を維持・向上させるべく、引き続き指導体制のさらなる充実を図ってまいります。また、初期臨床研修修了後の進路についても、内科系・外科系に偏ることなく、バランスの取れた人材育成が実現できていると考えております。

（文責／副院長（兼）臨床研修センター長　高橋　亨）

# 救命救急センター




（文責／救命救急センター長　加藤　航平）

# 呼吸器内科

| 患者数実績 | 令和５年度 | 令和６年度 | 令和７年度 |
|---|---|---|---|
| のべ入院患者数　年間 | 18, 799 | 20, 136 | 17, 823 |
| 1 日平均 | 52 | 55 | 49 |
| 外来患者数　年間 | 24, 242 | 24, 500 | 23, 421 |
| 1 日平均 | 99 | 101 | 96 |
| **入院　主な内訳** | | | |
| 原発性肺癌 | 514 | 494 | 532 |
| 肺炎 | 148 | 240 | 189 |
| 慢性閉塞性肺疾患 | 29 | 25 | 31 |
| 気管支喘息 | 14 | 14 | 21 |
| 間質性肺炎 | 77 | 70 | 79 |
| 気胸 | 31 | 39 | 36 |
| **外来　主な内訳** | | | |
| 呼吸不全関連 | | | |
| 在宅酸素療法 | 104 | 95 | 88 |
| 在宅 NPPV 療法 | 7 | 7 | 5 |
| nCPAP 療法 | 149 | 131 | 118 |
| 癌関連 | | | |
| 外来化学療法（のべ数） | 1, 391 | 1, 321 | 1, 287 |
| 検査 | | | |
| 気管支内視鏡（stent） | 126 | 164 | 147 |
| EBUS-TBNA | 75 | 63 | 68 |
| EBUS-GS | 175 | 107 | 83 |
| 胸腔鏡 | 1 | 4 | 4 |
| 右心カテーテル | 2 | 1 | 1 |

入院患者数・外来患者数ともにほぼ同等であった。入院患者の内訳では肺癌、肺炎が多いのは例年通りである。外来化学療法数、検査数はほぼ横ばいで推移している。

（文責／呼吸器内科　主任部長　菊池　創）

# 循環器内科

| 患者数実績 | 令和５年度 | 令和６年度 | 令和７年度 |
|---|---|---|---|
| のべ入院患者数　年間 | 17, 067 | 15, 481 | 14, 627 |
| 1 日平均 | 47 | 42 | 40 |
| 外来患者数　年間 | 35, 684 | 31, 981 | 31, 765 |
| 1 日平均 | 146 | 132 | 131 |
| **循環器領域の検査** | | | |
| 経胸壁心エコー検査 | 5, 504 | 4, 612 | 4, 715 |
| 経食道心エコー検査 | 15 | 12 | 34 |
| トレッドミル検査 | 6 | 8 | 7 |
| 安静時心筋血流シンチ | 95 | 89 | 87 |
| 負荷心筋血流シンチ | 59 | 60 | 50 |
| ホルター心電図 | 752 | 726 | 698 |
| 心臓カテーテル検査 | 481 | 440 | 424 |
| 心臓 CT | 461 | 385 | 406 |
| **循環器領域の治療** | | | |
| 経皮的冠動脈インターベンション (PCI) | 239 | 202 | 294 |
| 急性心筋梗塞 | 71 | 45 | 82 |
| 不安定狭心症 | 34 | 40 | 36 |
| 補助循環 IABP | 10 | 10 | 18 |
| 補助循環 PCPS | 19 | 3 | 11 |
| 経皮的心筋焼灼術（ABL） | 39 | 62 | 109 |
| ペースメーカ新規植え込み | 63 | 51 | 56 |
| ペースメーカ電池交換 | 20 | 18 | 19 |
| ICD 新規植え込み | 11 | 9 | 3 |
| ICD 交換 | 4 | 9 | 6 |
| CRT-D 新規植え込み | 4 | 0 | 5 |
| CRT-D 交換 | 4 | 5 | 1 |
| CRT-P 新規植え込み | 3 | 6 | 5 |
| CRT-P 交換 | 1 | 0 | 0 |
| **血液透析部門** | | | |
| 年間患者総数 | 12, 549 | 11, 894 | 10, 367 |
| 入院 | 3, 773 | 3, 830 | 2, 856 |
| 外来 | 8, 776 | 8, 064 | 7, 511 |
| 導入数 | 125 | 99 | 86 |
| 転入 | 233 | 250 | 204 |
| 転出 | 312 | 287 | 237 |
| **腹膜透析部門** | | | |
| 新規導入 | 3 | 6 | 4 |
| CAPD 継続例 | 9 | 11 | 15 |

令和７年度は、入院患者数、外来患者数ともにおおむね横ばいでありました。

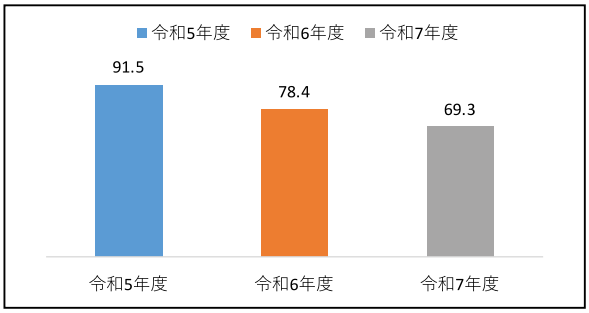
治療に関して、経皮的冠動脈インターベンション症例数、特に急性心筋梗塞の症例数が増加しております。カテーテルアブレーションに関しても増加傾向となっております。また心臓再同期療法の施行症例数が倍増しておりより高度な治療を行う症例が増加しております。

透析に関しては、血液透析は全国傾向と同様に透析導入数は減少傾向し維持患者数も減少しております。一方で腹膜透析患者数が増加傾向となっております。　　（文責／循環器内科　主任部長　村椿　真悟）

# 人工透析室

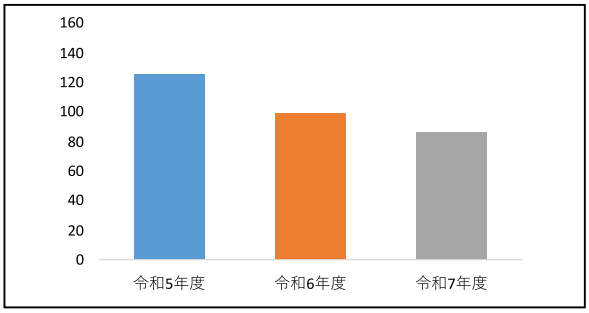
### （１）月平均血液透析在籍患者数の推移

| 令和５年度 | 令和６年度 | 令和７年度 |
|---|---|---|
| 91.5 | 78.4 | 69.3 |



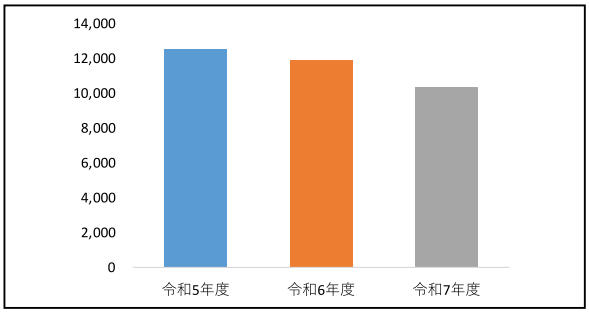

### （２）年度別透析導入患者数の推移

| 令和５年度 | 令和６年度 | 令和７年度 |
|---|---|---|
| 125 | 99 | 86 |



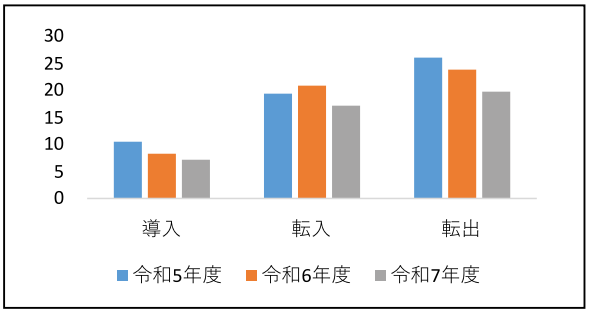

### （３）透析室治療実施回数

| 令和５年度 | 令和６年度 | 令和７年度 |
|---|---|---|
| 12,549 | 11,894 | 10,367 |



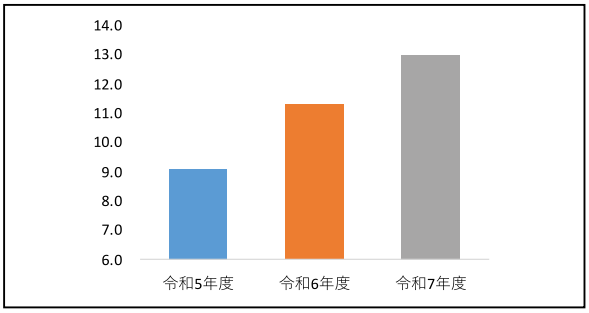

### （４）月平均患者移動状況の推移

| | 令和５年度 | 令和６年度 | 令和７年度 |
|---|---|---|---|
| 導入 | 10.4 | 8.3 | 7.2 |
| 転入 | 19.4 | 20.8 | 17.0 |
| 転出 | 26.0 | 23.9 | 19.8 |



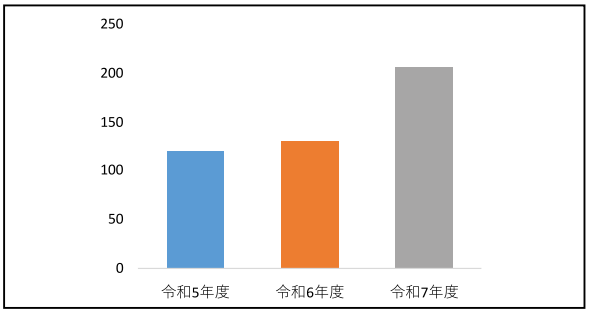

### （５）月平均腹膜透析患者数の推移

| 令和５年度 | 令和６年度 | 令和７年度 |
|---|---|---|
| 9.1 | 11.3 | 13.0 |




### （６）吸着・血漿交換等の件数

| 令和５年度 | 令和６年度 | 令和７年度 |
|---|---|---|
| 120 | 130 | 205 |




血液透析患者数は、全国的にも減少傾向となっており、当院においても新規導入患者、維持患者数とも減少傾向となっております。一方で腹膜透析患者に関しては、当院においては保存期の段階からSDM（Shared Decision Making）に基づく腎代替療法を時間をかけて行っており、腹膜透析を希望される方が増加し導入数、維持数とも増加となっております。また、血漿交換や吸着療法を他診療科と協力して行っており、症例は増加傾向となっております。

（文責／循環器内科　主任部長　村椿　真悟）

# 脳神経内科

| 患者数実績 | 令和５年度 | | 令和６年度 | | 令和７年度 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| のべ入院患者　年間 | 14, 553 | | 13, 509 | | 12, 638 | |
| １日平均 | 40 | | 37 | | 35 | |
| 外来患者数　年間 | 14, 662 | | 15, 834 | | 15, 678 | |
| １日平均 | 62 | | 65 | | 65 | |
| **入院患者内訳** | | | | | | |
| 内　訳 | 患者数 | % | 患者数 | % | 患者数 | % |
| パーキンソン病 | 34 | 7. 5 | 46 | 7. 8 | 46 | 8. 8 |
| パーキンソン症候群 | 12 | 2. 6 | 7 | 1. 2 | 12 | 2. 3 |
| 運動ニューロン病 | 23 | 5. 1 | 31 | 5. 2 | 24 | 4. 6 |
| 脊髄小脳変性症 | 5 | 1. 1 | 8 | 1. 3 | 7 | 1. 3 |
| 多系統萎縮症 | 4 | 0. 8 | 8 | 1. 3 | 4 | 0. 8 |
| その他の変性疾患 | 7 | 1. 5 | 4 | 0. 7 | 8 | 1. 5 |
| 脳血管障害 | 94 | 20. 7 | 131 | 22. 1 | 118 | 22. 7 |
| 水頭症 | 15 | 3. 3 | 10 | 1. 7 | 6 | 1. 2 |
| 脳炎 | 13 | 2. 9 | 10 | 1. 7 | 15 | 2. 9 |
| 髄膜炎 | 10 | 2. 2 | 10 | 1. 7 | 19 | 3. 7 |
| 多発性硬化症／視神経脊髄炎 | 8 | 1. 8 | 16 | 2. 7 | 15 | 2. 9 |
| ミエロパチー | 7 | 1. 5 | 8 | 1. 3 | 7 | 1. 3 |
| 脳神経障害 | 5 | 1. 1 | 6 | 1. 0 | 2 | 0. 4 |
| 末梢神経障害 | 25 | 5. 5 | 26 | 4. 4 | 22 | 4. 2 |
| 重症筋無力症 | 12 | 2. 6 | 12 | 2. 0 | 26 | 5. 0 |
| ミオパチー | 22 | 4. 8 | 36 | 6. 1 | 19 | 3. 7 |
| てんかん | 61 | 13. 4 | 76 | 12. 8 | 61 | 11. 7 |
| 内科疾患に伴う | 70 | 15. 4 | 97 | 16. 4 | 65 | 12. 5 |
| その他 | 27 | 5. 9 | 51 | 8. 6 | 44 | 8. 5 |
| 合計 | 454 | | 593 | | 520 | |
| **外来患者（新患）内訳** | | | | | | |
| 内　訳 | 患者数 | % | 患者数 | % | 患者数 | % |
| 頭痛 | | | | | | |
| 筋緊張性頭痛 | 7 | 1. 1 | 9 | 1. 3 | 6 | 0. 9 |
| 片頭痛 | 18 | 2. 7 | 8 | 1. 1 | 17 | 2. 4 |
| 群発頭痛 | 1 | 0. 2 | 1 | 0. 1 | 1 | 0. 1 |
| その他の頭痛 | 6 | 0. 9 | 7 | 1. 0 | 6 | 0. 9 |
| 脳血管障害 | 111 | 17. 0 | 17 | 2. 4 | 140 | 20. 1 |
| 脳炎 | 7 | 1. 1 | 2 | 0. 3 | 0 | 0. 0 |
| 髄膜炎 | 3 | 0. 5 | 1 | 0. 1 | 6 | 0. 9 |
| 腫瘍 | 5 | 0. 8 | 4 | 0. 6 | 6 | 0. 9 |
| 多発性硬化症／視神経脊髄炎 | 1 | 0. 2 | 1 | 0. 1 | 4 | 0. 6 |
| パーキンソン病 | 65 | 9. 8 | 64 | 9. 1 | 50 | 7. 2 |

| 内　　訳 | 患者数 | % | 患者数 | % | 患者数 | % |
|---|---|---|---|---|---|---|
| パーキンソン症候群 | 25 | 3.8 | 27 | 3.8 | 36 | 5.2 |
| 脊髄小脳変性症 | 5 | 0.8 | 6 | 0.9 | 6 | 0.9 |
| 多系統萎縮症 | 3 | 0.5 | 0 | 0.0 | 1 | 0.1 |
| 認知症 | | | | | | |
| アルツハイマー型 | 15 | 2.3 | 14 | 2.0 | 45 | 6.5 |
| その他の認知症 | 16 | 2.4 | 14 | 2.0 | 12 | 1.7 |
| 運動ニューロン病 | | | | | | |
| ALS | 5 | 0.8 | 2 | 0.3 | 9 | 1.3 |
| SPMA など | 2 | 0.3 | 1 | 0.1 | 2 | 0.3 |
| 脊椎疾患 | 40 | 6.0 | 39 | 5.5 | 33 | 4.7 |
| ミエロパチー | 6 | 0.9 | 7 | 1.0 | 12 | 1.7 |
| 脊髄空洞症 | 1 | 0.2 | 0 | 0.0 | 1 | 0.1 |
| 脳神経障害 | 10 | 1.5 | 9 | 1.3 | 19 | 2.7 |
| 末梢神経障害 | | | | | | |
| 糖尿病性 | 8 | 1.2 | 8 | 1.1 | 9 | 1.3 |
| 手根管症候群 | 5 | 0.8 | 5 | 0.7 | 5 | 0.7 |
| その他 | 32 | 4.8 | 35 | 5.0 | 47 | 6.8 |
| 重症筋無力症 | 9 | 1.4 | 11 | 1.6 | 7 | 1.0 |
| ミオパチー | 19 | 2.9 | 16 | 2.3 | 21 | 3.0 |
| てんかん | 31 | 4.7 | 30 | 4.3 | 21 | 3.0 |
| 不随意運動 | | | | | | |
| 眼瞼痙攣 | 1 | 0.2 | 2 | 0.3 | 3 | 0.4 |
| 片側顔面痙攣 | 3 | 0.5 | 2 | 0.3 | 1 | 0.1 |
| 本態性振戦 | 19 | 2.9 | 18 | 2.6 | 22 | 3.2 |
| その他 | 22 | 3.3 | 21 | 3.0 | 24 | 3.5 |
| 内科疾患による | | | | | | |
| 代謝性脳症 | 10 | 1.5 | 7 | 1.0 | 16 | 2.3 |
| その他 | 27 | 4.1 | 13 | 1.8 | 34 | 4.9 |
| その他 | 124 | 19.0 | 302 | 43.0 | 73 | 11.0 |
| 合計 | 752 | | 703 | | 695 | |

十勝地方で脳から末梢神経に至る神経疾患全般を診ており、片頭痛などの頭痛疾患、筋萎縮性側索硬化症などの神経難病、多発性硬化症などの神経免疫疾患、筋ジストロフィーなどの筋疾患まで幅広く診療しています。脳神経内科専門医の常勤している病院で、多発性硬化症／視神経脊髄炎／重症筋無力症に対する生物学的製剤の適用や発見困難な神経難病の診断、軽度認知障害や早期アルツハイマー型認知症に対するアミロイド抗体療法、抗痙縮薬持続髄注療法などのデバイス療法など専門的医療を積極的に提供します。

（文責／脳神経内科　主任部長　加納　崇裕）

# 消化器内科

| 患者数実績 | | 令和５年度 | 令和６年度 | 令和７年度 |
|---|---|---|---|---|
| のべ入院患者数 | 年間 | 24, 497 | 20, 790 | 22, 537 |
| | １日平均 | 67 | 57 | 62 |
| 外来患者数 | 年間 | 59, 256 | 51, 297 | 54, 834 |
| | １日平均 | 243 | 211 | 226 |
| 〈消化器悪性疾患〉 | | | | |
| 食道 | | 39 | 38 | 39 |
| 胃 | | 106 | 72 | 99 |
| 十二指腸・小腸 | | 7 | 1 | 4 |
| 盲腸・虫垂 | | 8 | 8 | 7 |
| 大腸 | | 50 | 77 | 87 |
| 直腸・肛門 | | 31 | 32 | 47 |
| 肝臓 | | 55 | 28 | 43 |
| 膵臓 | | 94 | 56 | 62 |
| 胆嚢 | | 0 | 10 | 4 |
| 胆管 | | 6 | 13 | 14 |
| 炎症性腸疾患 | | 24 | 38 | 41 |
| 〈糖尿病〉 | | | | |
| | | 369 | 432 | 432 |
| 〈膠原病〉 | | | | |
| 関節リウマチ | | 305 | 432 | 253 |
| 全身性エリテマトーデス | | 11 | 15 | 21 |
| 顕微鏡的多発血管炎 | | 22 | 16 | 11 |
| 混合性結合組織病 | | 1 | 3 | 2 |
| 強皮症 | | 0 | 18 | 14 |
| ベーチェット病 | | 2 | 13 | 7 |
| 皮膚筋炎 | | 15 | 10 | 7 |
| シューグレン症候群 | | 6 | 29 | 28 |
| 強直性脊椎炎 | | 0 | 2 | 3 |
| 皮膚型結節性多発動脈炎 | | 0 | 0 | 1 |
| 大動脈炎症候群 | | 1 | 3 | 7 |
| リウマチ性多発筋痛症 | | 3 | 23 | 12 |
| 若年性関節リウマチ | | 0 | 1 | 1 |
| 悪性関節リウマチ | | 2 | 2 | 1 |
| ウェゲナー肉芽腫症 | | 6 | 1 | 0 |
| アレルギー性肉芽腫性血管炎 | | 5 | 6 | 0 |
| 抗リン脂質抗体症候群 | | 1 | 1 | 1 |
| 痛風関節炎 | | 0 | 2 | 0 |

令和７年度は消化器部門の専門スタッフの増員もあり、令和６年度に比べると患者数はやや増えております。糖尿病に関してはスタッフが少ない中、患者数を減らさずに診療を行っております。膠原病分野に関しては関節リウマチ患者数がやや減っておりますが、他の疾患に関してはほぼ変わらず患者数を維持しております。

（文責／消化器内科　主任部長　吉田　晃）

# 内視鏡室

| | | 2022年度実績 | 2023年度実績 | 2024年度実績 | 2025年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|
| 内視鏡検査治療総数 | | 7, 582 | 8, 452 | 6, 902 | 8, 125 |
| 消化器内科内視鏡検査治療総数 | | 7, 156 | 8, 105 | 6, 534 | 7, 823 |
| 上部消化管内視鏡治療検査合計 | | 3, 949 | 4, 582 | 3, 904 | 4, 518 |
| 上部消化管内視鏡検査合計 | | 3, 738 | 4, 359 | 3, 729 | 4, 289 |
| 上部消化管内視鏡治療合計 | | 211 | 223 | 175 | 229 |
| 内　訳 | 消化管止血術 | 49 | 38 | 48 | 65 |
| | APC 焼灼術 | 24 | 23 | 12 | 26 |
| | 胃粘膜下層剥離術 | 53 | 69 | 38 | 38 |
| | 食道粘膜下層剥離術 | 5 | 16 | 7 | 9 |
| | 食道静脈瘤硬化療法 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| | 食道静脈瘤結紮術 | 22 | 16 | 14 | 25 |
| | 内視鏡的胃瘻造設術 | 20 | 31 | 20 | 21 |
| | 上部消化管ポリープ切除術 /EMR | | | 9 | 16 |
| | 他 | 37 | 29 | 27 | 29 |
| 大腸内視鏡治療検査合計 | | 2, 162 | 2, 381 | 1, 652 | 2, 205 |
| 大腸内視鏡検査合計 | | 1, 759 | 1, 934 | 1, 313 | 1, 810 |
| 大腸内視鏡検査処置合計 | | 403 | 447 | 339 | 395 |
| 内　訳 | 大腸粘膜切除術 / 大腸ポリープ切除 | 371 | 386 | 297 | 351 |
| | 大腸粘膜下層剥離術 | 11 | 13 | 7 | 8 |
| | 大腸止血術 | 9 | 38 | 20 | 21 |
| | 大腸 APC 焼灼術 | | | 14 | 14 |
| | 他 | 12 | 10 | 1 | 1 |
| 超音波内視鏡検査合計 | | 232 | 253 | 216 | 268 |
| 内　訳 | 上部消化管超音波内視鏡検査合計 | 144 | 150 | 136 | 180 |
| | 超音波内視鏡下穿刺術(EUS-FNA) | 88 | 103 | 80 | 88 |
| カプセル内視鏡・パテンシー合計 | | 56 | 81 | 72 | 77 |
| 内　訳 | カプセル内視鏡 | 40 | 48 | 45 | 50 |
| | パテンシー | 16 | 33 | 27 | 27 |
| | 大腸カプセル | 0 | 0 | 0 | 0 |
| TV 検査室（消内）合計 | | 757 | 808 | 690 | 755 |
| 内　訳 | ERCP | 277 | 322 | 299 | 296 |
| | EIS | 17 | 27 | 31 | 20 |
| | 大腸内視鏡検査(ダブルバルーン含) | 34 | 45 | 42 | 55 |
| | 大腸 EMR | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 上部消化管検査 | 49 | 33 | 28 | 41 |
| | 小腸内視鏡（上） | 9 | 17 | 6 | 13 |
| | 小腸内視鏡（下） | 7 | 12 | 6 | 7 |
| | 上部消化管拡張術 | 50 | 26 | 17 | 31 |

| | | 2022年度実績 | 2023年度実績 | 2024年度実績 | 2025年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|
| 内　訳 | 上部消化管ステント留置術 | 26 | 28 | 20 | 17 |
| | 大腸ステント留置術 | 14 | 22 | 24 | 21 |
| | PTCD | 0 | 2 | 0 | 0 |
| | PTGBD | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | PEG 交換 | 53 | 57 | 60 | 51 |
| | P-TEG 交換 | 2 | 2 | 2 | 0 |
| | イレウス管挿入（経鼻） | 54 | 60 | 63 | 71 |
| | イレウス管挿入（肛門） | 5 | 11 | 3 | 7 |
| | イレウス管チューブ造影 | 17 | 22 | 14 | 42 |
| | 他 | 142 | 122 | 75 | 83 |
| 気管支鏡検査治療総数 | | 426 | 347 | 368 | 302 |
| 気管支鏡合計 | | 418 | 346 | 365 | 298 |
| 気管支鏡検査 | | 35 | 13 | 17 | 20 |
| 気管支鏡検査処置 | | 383 | 333 | 348 | 278 |
| 内　訳 | 気管支 APC | 2 | 0 | 3 | 1 |
| | 気管支肺胞洗浄（BAL） | 45 | 37 | 52 | 37 |
| | 気管内採痰 | 2 | 2 | 2 | 0 |
| | 気管支擦過細胞診 | 1 | 1 | 0 | 1 |
| | 経気管支肺生検（TBLB） | 2 | 1 | 4 | 8 |
| | 気管支生検 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 気管支異物除去 | 2 | 2 | 9 | 1 |
| | 気管支瘻孔閉鎖術 | 11 | 4 | 12 | 3 |
| | EBUS-TBNA | 60 | 81 | 59 | 68 |
| | TBLB・BAL | 16 | 15 | 14 | 6 |
| | 経気管支生検 | 8 | 16 | 14 | 9 |
| | EBUS-GS | 221 | 143 | 133 | 109 |
| | 金マーカー留置 | 9 | 3 | 3 | 0 |
| | 経気管肺生検法（仮想気管支鏡） | 4 | 26 | 39 | 34 |
| | 気管支吸引細胞診 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 気管支分泌物吸引 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| | 他 | 0 | 1 | 4 | 1 |
| 胸腔鏡検査合計 | | 8 | 1 | 3 | 4 |
| 胸腔鏡検査 | | 4 | 0 | 0 | 0 |
| 胸腔鏡検査処置合計 | | 4 | 1 | 3 | 4 |
| 内　訳 | 胸腔ドレナージ | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 胸腔鏡下生検 | 4 | 1 | 3 | 4 |

2025年４月から北大消化器内科から２人の派遣があり内視鏡件数は増加しました。

（文責／内視鏡室　主任部長　松本　隆祐）

# 血液内科

| 患者数実績 | 令和５年度 | 令和６年度 | 令和７年度 |
|---|---|---|---|
| のべ入院患者数　年間 | 13, 463 | 13, 597 | 12, 285 |
| 1 日平均 | 37 | 37 | 34 |
| 外来患者数　年間 | 11, 454 | 12, 075 | 11, 955 |
| 1 日平均 | 47 | 50 | 49 |
| **新規入院患者　主な内訳** | | | |
| 急性骨髄性白血病 | 23 | 18 | 23 |
| 急性リンパ性白血病 | 4 | 3 | 4 |
| 急性混合性白血病 | − | − | 1 |
| 慢性骨髄性白血病 | 1 | 5 | 1 |
| 慢性リンパ性白血病 | − | 1 | 1 |
| 非ホジキンリンパ腫 | 87 | 78 | 95 |
| ホジキンリンパ腫 | 6 | 1 | 4 |
| 成人Ｔ細胞性白血病・リンパ腫 | 2 | 1 | − |
| 多発性骨髄腫 | 18 | 21 | 19 |
| 骨髄異形成症候群 | 10 | 17 | 9 |
| 再生不良性貧血 | 6 | 1 | 5 |
| 特発性血小板減少性紫斑病 | 3 | 8 | 12 |

例年と大きな変化はなく、急性白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫が入院患者の大部分を占めておりました。近年、CAR-T 療法や二重特異性抗体薬などの免疫療法、遺伝子パネル検査などの発展により、化学療法抵抗性の患者に対する治療選択肢が増えたり、予後や疾患悪性度のより高度な評価が可能な時代になってきました。当科も引き続き大学病院等との連携を行い、高度かつ先進的な医療を提供していきたいと考えております。

（文責／血液内科　主任部長　若狭　健太郎）

# 小児科

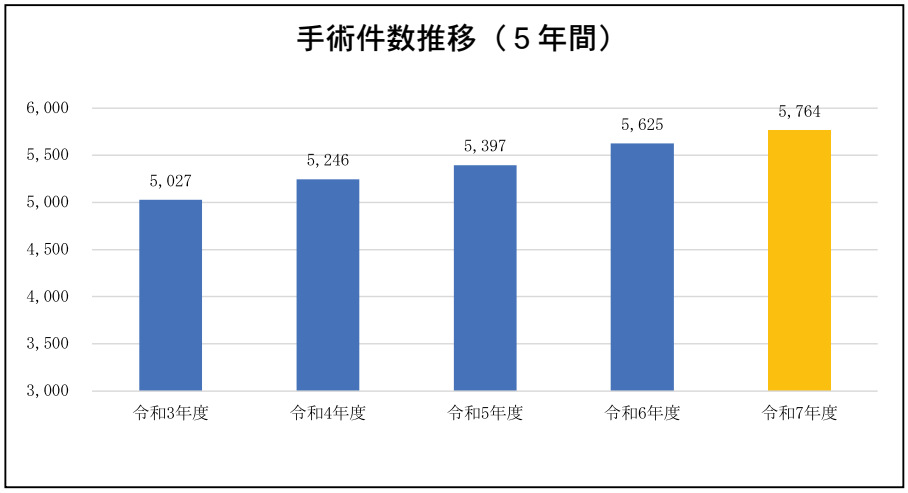
| 患者数実績 | 令和５年度 | 令和６年度 | 令和７年度 |
|---|---|---|---|
| のべ入院患者数　年間 | 7,783 | 7,698 | 7,557 |
| １日平均 | 21 | 21 | 21 |
| 外来患者数　年間 | 11,189 | 9,862 | 8,779 |
| １日平均 | 46 | 41 | 36 |
| 時間外平均外来患者数 | 2.4 | 2.3 | 2.3 |
| 小児科病棟入院患者数（入院患者の内、専門的医療を要する患者数） | | | |
| 神経 | 55 | 44 | 40 |
| 心臓 | 9 | 21 | 14 |
| 内分泌 | 52 | 35 | 38 |
| 血液・腫瘍 | 11 | 15 | 27 |
| 免疫・膠原病 | 22 | 37 | 35 |
| 腎臓 | 15 | 12 | 18 |
| NICU | | | |
| NICU 入院患者数 | 108 | 99 | 103 |
| 低出生体重児（2,500ｇ未満） | 70 | 42 | 78 |
| 極低出生体重児（1,500ｇ未満） | 9 | 6 | 6 |
| 超低出生体重児（1,000ｇ未満） | 0 | 6 | 8 |
| 年間人工呼吸管理患者数 | 22 | 9 | 13 |

ここ２年間、外来受信者数が月間で100名ずつ減少しているが、これは特定の外来枠の患者に限られている。ただし、フォロー患者数は変わらず、受診数のみが減少しており、それでいて患者さんに不都合が生じているわけでもないので、むしろ過剰な受診頻度が適正化された結果と読み取れる。

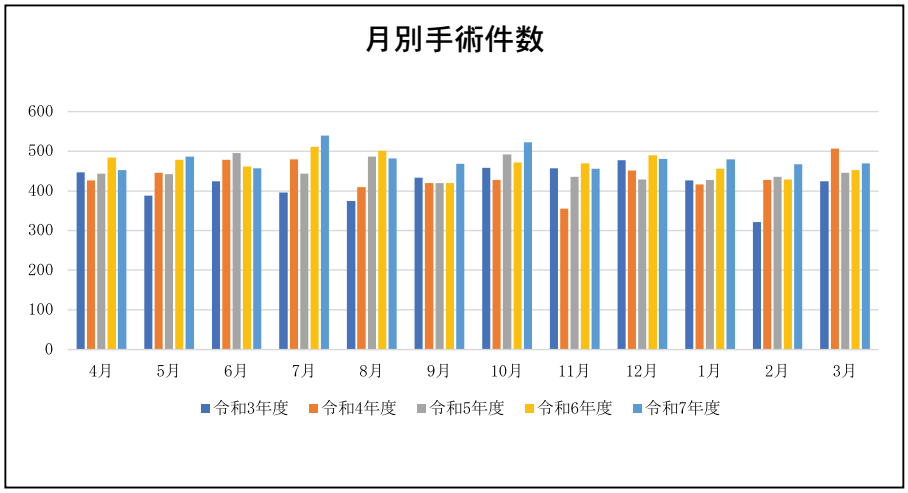
（文責／小児科　主任部長　八鍬　聡）

# 手術室

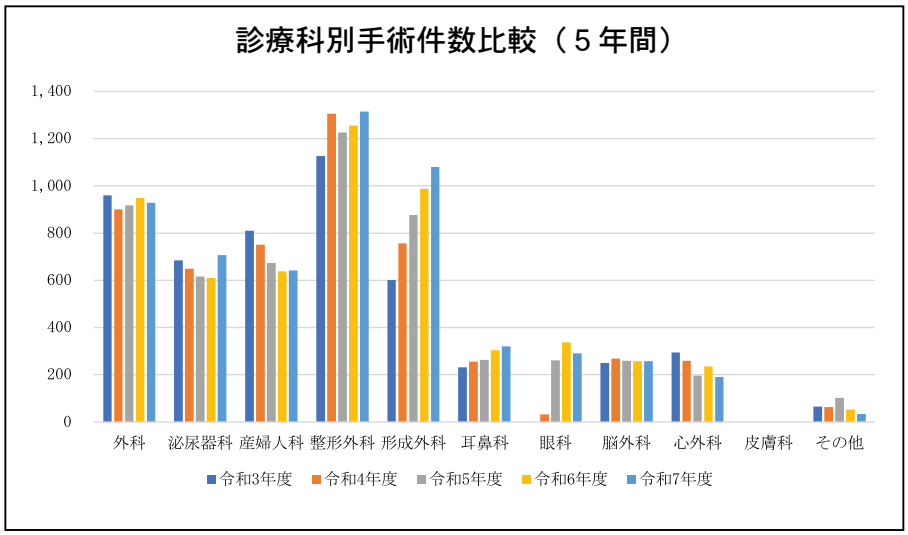
## 1．手術総件数



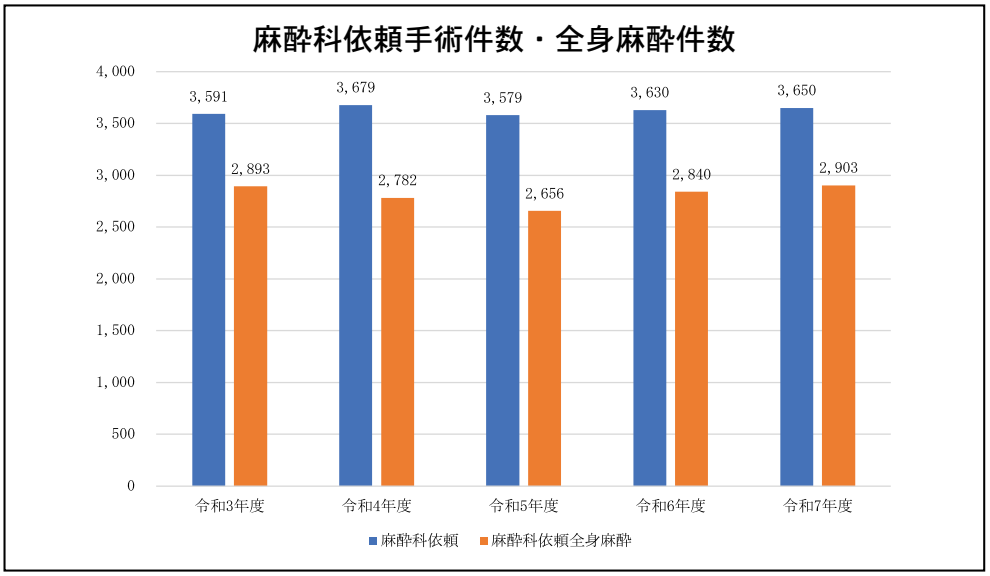

## 2．月別手術総件数比較



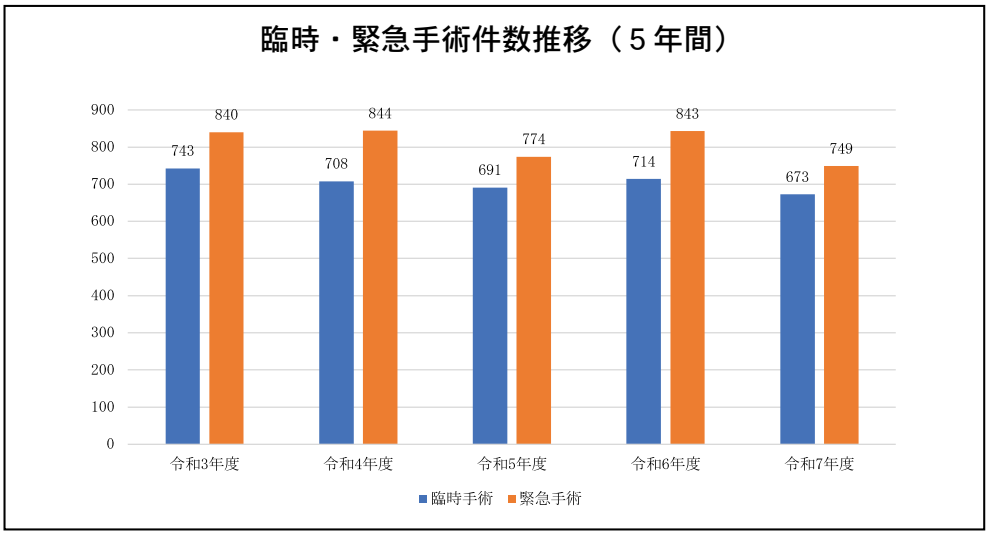

## 3．診療科別手術件数比較



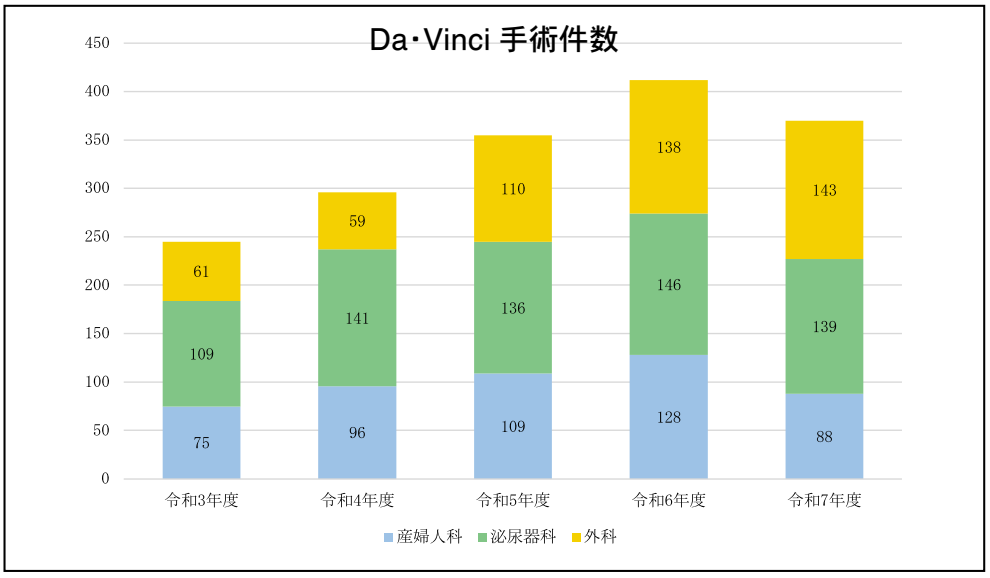
## 4．麻酔科依頼件数




## 5．臨時手術・緊急手術件数推移

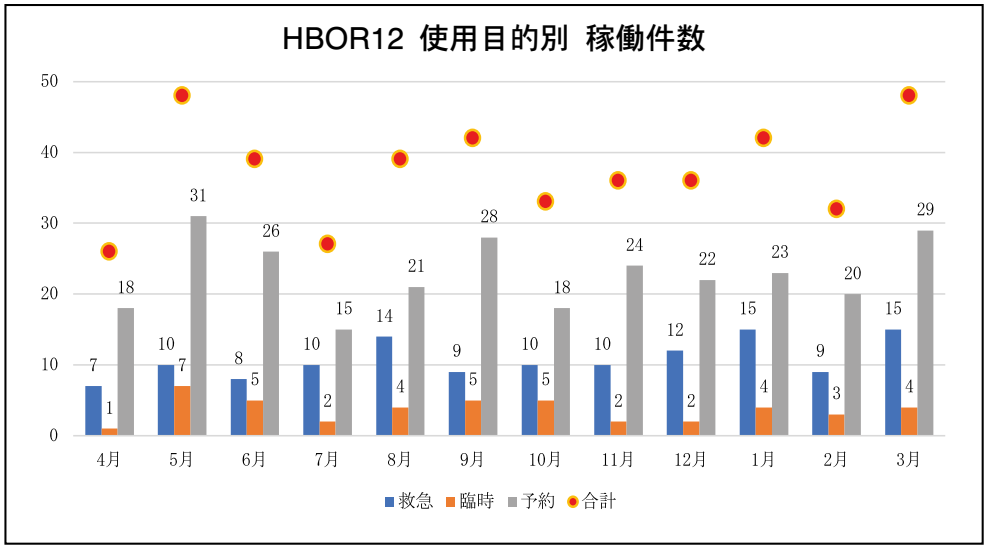



## 6．ロボット支援下内視鏡手術（Da･Vinci）手術件数推移

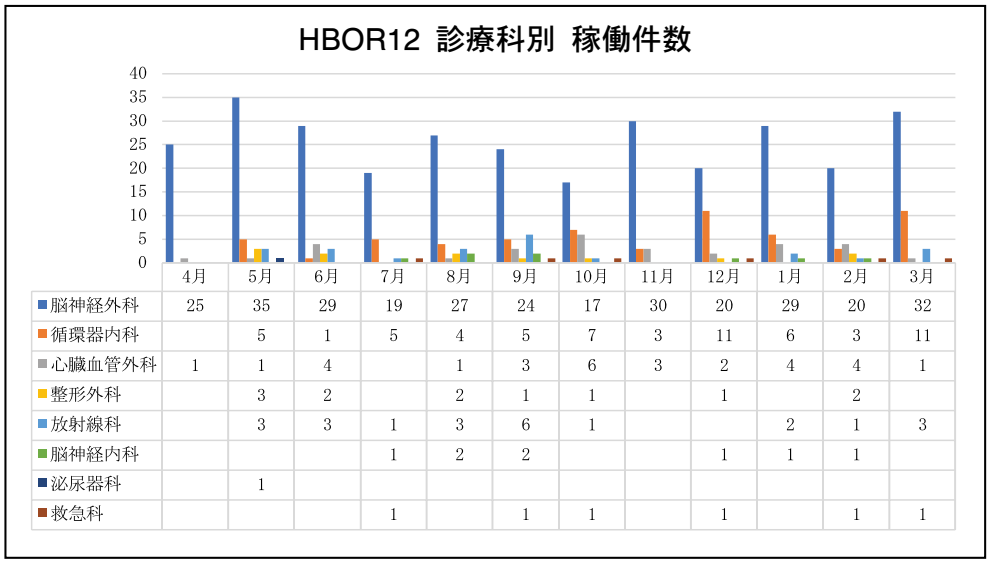


## 7．ハイブリッド手術室稼働推移

（1）年間総稼働件数




（2）稼働件数：科別割合




| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 脳神経外科 | 25 | 35 | 29 | 19 | 27 | 24 | 17 | 30 | 20 | 29 | 20 | 32 |
| 循環器内科 | | 5 | 1 | 5 | 4 | 5 | 7 | 3 | 11 | 6 | 3 | 11 |
| 心臓血管外科 | 1 | 1 | 4 | | 1 | 3 | 6 | 3 | 2 | 4 | 4 | 1 |
| 整形外科 | | 3 | 2 | | 2 | 1 | 1 | | 1 | | 2 | |
| 放射線科 | | 3 | 3 | 1 | 3 | 6 | 1 | | | 2 | 1 | 3 |
| 脳神経内科 | | | | 1 | 2 | 2 | | | 1 | 1 | 1 | |
| 泌尿器科 | | 1 | | | | | | | | | | |
| 救急科 | | | | 1 | | 1 | 1 | | 1 | | 1 | 1 |

令和７年度の年間手術件数は5,764件で、コロナ期を乗り越え順調に増加しています。科別では形成外科の手術件数が急激に増加しており、整形外科、耳鼻科が増加傾向にあります。他の科も大きな変動なく推移しています。麻酔科依頼全身麻酔症例数は2,903件で年間手術総件数の半数以上を占めています。臨時手術は673件で昨年と比較し減少しており、緊急手術も749件と昨年（843件）と比較し減少しています。全体の手術数が増加し、臨時緊急手術が減少していることから定期手術が増加していることがわかります。

ロボット支援内視鏡手術は令和５年度からは daVinci ２台体制となり、令和７年度は370件（泌尿器科139件、外科143件、婦人科88件）となり、婦人科が手術件数を減らしたものの、外科、泌尿器科はともに昨年同様の手術件数となっています。ロボット手術運用に際しては緊急ロールアウトシミュレーションを行うなど手術室全体での質の向上を目指した取り組みを行っています。

ハイブリッド手術室は年間448件の運用がなされ、手術件数が大幅に増加しています。内訳では救急患者に対する運用が脳外科、循環器内科、心臓血管外科を中心として129件ありました。科別では脳外科の症例が307件を占めました。

当院は十勝圏域の救急医療と高度な外科手術の需要に応える使命があります。これまで以上に手術室の効率的な運用を行い、拠点病院としての使命を果たしてまいります。

（文責／副院長（兼）手術室　主任部長　村川　力彦）

# 麻酔科

| 患者数実績 | | 令和５年度 | 令和６年度 | 令和７年度 |
|---|---|---|---|---|
| のべ入院患者数 | 年間 | 408 | 414 | 271 |
| | 1 日平均 | 1 | 1 | 1 |
| 外来患者数 | 年間 | 1, 727 | 905 | 587 |
| | 1 日平均 | 7 | 4 | 2 |
| **症例数** | | | | |
| 総麻酔症例数 | | 3, 546 | 3, 586 | 3, 650 |
| 臨時麻酔 | | 766 | 736 | 733 |
| **各科の麻酔** | | | | |
| 外科 | | 809 | 809 | 820 |
| 整形外科 | | 702 | 691 | 827 |
| 耳鼻咽喉科 | | 250 | 283 | 310 |
| 婦人科 | | 639 | 604 | 568 |
| 産科 | | | | |
| 泌尿器科 | | 347 | 333 | 352 |
| 形成外科 | | 327 | 372 | 367 |
| 心臓血管外科 | | 188 | 200 | 179 |
| 脳神経外科 | | 186 | 198 | 178 |
| 眼科 | | 27 | 28 | 26 |
| 麻酔科 | | 0 | 2 | 2 |
| 精神科 | | 12 | 20 | 18 |
| その他 | | 59 | 46 | 3 |
| | 合計 | 3, 546 | 3, 586 | 3, 650 |
| **北３病棟症例数** | | | | |
| ICU | | 506 | 504 | 688 |
| CCU | | 330 | 314 | 308 |
| HCU | | 385 | 549 | 605 |
| | 合計 | 1, 221 | 1, 367 | 1, 601 |
| **麻酔科外来症例数** | | | | |
| 症例数 | | 1, 488 | 598 | 314 |
| 新患数 | | 335 | 397 | 287 |
| **救命救急センター** | | | | |
| 一次救急患者 | | 5, 296 | 4, 706 | 4, 847 |
| 二次救急患者 | | 2, 705 | 3, 366 | 3, 298 |
| 三次救急患者 | | 1, 152 | 871 | 808 |
| | 合計 | 9, 153 | 8, 943 | 8, 953 |
| CPAOA | | 220 | 242 | 166 |

（文責／麻酔科　主任部長　宮下　龍）

# 外科

| 患者数実績 | 令和５年度 | 令和６年度 | 令和７年度 |
|---|---|---|---|
| のべ入院患者数　年間 | 13, 198 | 14, 351 | 15, 192 |
| 1 日平均 | 36 | 39 | 42 |
| 外来患者数　年間 | 17, 249 | 17, 010 | 16, 988 |
| 1 日平均 | 71 | 70 | 70 |
| **手術件数** | | | |
| 手術件数 | 907 | 941 | 928 |
| 全身麻酔 | 822 | 800 | 834 |
| 腰椎・硬膜外麻酔・サドル | 39 | 76 | 55 |
| 局麻件数 | 46 | 42 | 39 |
| 臨時手術 | 194 | 228 | 221 |
| **主な術式** | | | |
| 胸腔鏡下肺部分切除 | 39 | 46 | 66 |
| 肺葉切除 | 3 | 3 | 5 |
| 胸腔鏡下肺葉切除 | 63 | 67 | 69 |
| 甲状腺・副甲状腺手術 | 0 | 1 | 0 |
| 乳房切除 | 42 | 43 | 41 |
| 乳房温存 | 37 | 38 | 41 |
| 食道切除 | 1 | 8 | 6 |
| 胃全摘術 | 1 | 0 | 1 |
| 腹腔鏡補助下胃全摘術 | 6 | 9 | 7 |
| 胃切除 | 2 | 1 | 2 |
| 腹腔鏡下胃切除術 | 28 | 28 | 25 |
| 胃噴門部切除術 | 8 | 8 | 3 |
| 胃部分切除術 | 1 | 3 | 3 |
| 腹腔鏡下胃部分切除術 | 3 | 4 | 2 |
| 胃腸吻合 | 9 | 5 | 3 |
| 結腸切除 | 12 | 42 | 15 |
| 腹腔鏡下結腸切除術 | 90 | 45 | 62 |
| 直腸切除 | 3 | 2 | 0 |
| 腹腔鏡下前方切除術 | 32 | 26 | 25 |
| 直腸切断・人工肛門 | 5 | 4 | 1 |
| ハルトマン手術 | 13 | 15 | 11 |
| TEM | 0 | 0 | 0 |
| 人工肛門 | 24 | 22 | 19 |
| 膵頭十二指腸切除 | 11 | 7 | 8 |
| 膵体尾部切除 | 7 | 6 | 10 |
| 肝切除（外側区切除） | 1 | 0 | 0 |
| 肝切除（外側区除く区域以外） | 1 | 4 | 6 |
| 肝切除（部分切除） | 9 | 8 | 10 |

| 主な術式 | 令和５年度 | 令和６年度 | 令和７年度 |
|---|---|---|---|
| 肝 RFA | 0 | 0 | 0 |
| 開腹胆摘術 | 4 | 2 | 0 |
| 腹腔鏡下胆摘術 | 33 | 60 | 52 |
| イレウス手術 | 33 | 32 | 43 |
| 急性虫垂炎手術（成人） | 48 | 47 | 40 |
| 小児急性虫垂炎手術 | 13 | 9 | 18 |
| 鼠径・大腿ヘルニア成人 | 75 | 96 | 73 |
| 小児鼠径・臍ヘルニア | 30 | 20 | 18 |
| 小児外科疾患 | 43 | 35 | 37 |
| 術後縫合不全 | 5 | 2 | 5 |
| 術後出血 | 4 | 3 | 4 |
| **主な疾患別手術症例数** | | | |
| 甲状腺癌 | 0 | 1 | 0 |
| 甲状腺機能亢進症 | 0 | 0 | 0 |
| 甲状腺腫 | 0 | 0 | 0 |
| 副甲状腺疾患 | 0 | 0 | 0 |
| 肺癌 | 93 | 109 | 110 |
| 肺腫瘍 | 10 | 12 | 14 |
| 転移性肺腫瘍 | 11 | 14 | 12 |
| 縦隔腫瘍 | 9 | 13 | 14 |
| 自然気胸 | 6 | 16 | 25 |
| 乳癌 | 78 | 82 | 82 |
| 食道癌 | 3 | 9 | 5 |
| 食道胃接合部癌 | 3 | 2 | 1 |
| 胃癌十二指腸癌・悪性 | 49 | 48 | 48 |
| 胃十二指腸潰瘍・良性 | 5 | 2 | 3 |
| 結腸癌 | 98 | 67 | 81 |
| 直腸癌 | 48 | 35 | 41 |
| 痔核・痔瘻 | 1 | 7 | 6 |
| 胆管癌／胆嚢癌 | 6 | 3 | 7 |
| 膵癌 | 12 | 26 | 13 |
| 肝癌 | 4 | 4 | 8 |
| 転移性肝腫瘍 | 7 | 4 | 4 |
| 胆石症／総胆管結石症 | 36 | 41 | 35 |
| 脾疾患 | 1 | 2 | 1 |
| イレウス | 33 | 32 | 43 |
| 小児外科疾患 | 43 | 35 | 37 |
| 鼠径・大腿ヘルニア成人 | 75 | 93 | 73 |
| 小児鼠径・臍ヘルニア | 30 | 29 | 18 |
| 急性虫垂炎成人 | 48 | 46 | 40 |
| 小児急性虫垂炎 | 13 | 9 | 9 |
| 急性胸部、腹部外傷 | 10 | 12 | 5 |

| 内視鏡手術症例数 | 令和５年度 | 令和６年度 | 令和７年度 |
|---|---|---|---|
| 胸腔鏡手術 | 151 | 156 | 180 |
| 肺部分手術 | 39 | 46 | 44 |
| 肺葉手術 | 65 | 67 | 70 |
| 肺区域切除 | 17 | 16 | 20 |
| ブラ切除 | 6 | 16 | 22 |
| 膿胸手術 | 3 | 4 | 1 |
| 生検 | 7 | 3 | 7 |
| 縦隔腫瘍 | 10 | 10 | 11 |
| 食道切除 | 1 | 9 | 5 |
| その他 | 3 | 2 | 5 |
| 腹腔鏡手術 | 368 | 361 | 324 |
| 食道裂孔ヘルニア | 1 | 1 | 0 |
| 食道切除胃管作成 | 1 | 7 | 5 |
| 胃全摘術 | 7 | 9 | 7 |
| 胃切除術 | 38 | 36 | 25 |
| 胃部分切除術 | 5 | 5 | 3 |
| 大網充填術 | 3 | 3 | 5 |
| 結腸切除術 | 99 | 42 | 63 |
| 前方／低位前方切除術 | 33 | 28 | 25 |
| 直腸切断、人工肛門 | 5 | 18 | 8 |
| 虫垂切除 | 54 | 56 | 50 |
| 腹腔鏡下胆摘術 | 33 | 62 | 53 |
| 肝部分切除術 | 7 | 5 | 8 |
| 尾側膵切除術 | 2 | 1 | 0 |
| 脾摘 | 0 | 1 | 0 |
| イレウス | 10 | 7 | 4 |
| ヘルニア（TAPP） | 25 | 18 | 19 |
| その他 | 28 | 56 | 46 |
| 小児外科腹腔鏡手術 | 20 | 15 | 16 |
| 虫垂切除 | 13 | 9 | 9 |
| その他 | 7 | 6 | 7 |

（文責／呼吸器外科　主任部長　大竹　節之）

# リンパ浮腫外来

## 【予約状況】

| | 令和５年度 | 令和６年度 | 令和７年度 |
|---|---|---|---|
| 予約枠数／予約率 | 187枠/67％ | 183枠/66％ | 133枠/48％ |
| 実施枠数 | 187枠 | 180枠 | 131枠 |
| １日平均予約枠数 | 7. 8枠 | 7. 9枠 | 5. 8枠 |
| １日平均実施枠数 | 7. 8枠 | 7. 8枠 | 5. 7枠 |
| 予約外・臨時対応 | 2件 | 0件 | 0件 |

| 内訳 | | 令和５年度 | 令和６年度 | 令和７年度 | 前年度比 |
|---|---|---|---|---|---|
| 婦人科 | 初診 | 6件 | 9件 | 3件 | −6 |
| | 再診 | 98件 | 92件 | 78件 | −14 |
| 乳腺外科 | 初診 | 4件 | 4件 | 1件 | −3 |
| | 再診 | 58件 | 60件 | 43件 | −17 |
| 泌尿器科 | 初診 | 0件 | 0 | 0件 | ±0 |
| | 再診 | 3件 | 4 | 2件 | −2 |
| 総件数 | | 170件 | 169件 | 127件 | −42件 |
| １日平均 受診者数 | | 7. 0人 | 7. 3人 | 5. 5人 | −1. 8人 |
| 延べ人数 | | 67人 | 71人 | 58人 | −13人 |

## 【初診４名のリンパ浮腫進行状況】

| 病期分類 | 婦人科 | 外科 | 泌尿器科 | 計 | 割合(％) |
|---|---|---|---|---|---|
| Stage ０期 | 3 | 0 | | 3 | 75. 0 |
| Stage Ⅰ期 | 0 | 0 | | 0 | 0 |
| Stage Ⅱ期 | 0 | 1 | | 1 | 25. 0 |
| Stage Ⅲ期 | 0 | 0 | | 0 | 0 |

予約状況や受診総件数、初診患者の全てにおいて減少し、予約率は50％を下回っています。転移・再発治療中の患者様は看護外来で相談対応していることが減少の要因でもあります。初診患者のリンパ浮腫Stageは０期が75％と早期段階での受診相談となっております。当該部署でのリンパ浮腫予防指導によって、患者様のセルフケア意識を高めることに寄与し、異常の早期発見、早期受診行動に繋がっていると考えられました。

（文責／乳がん看護認定看護師　太田　美幸）

# 心臓血管外科

| 患者数実績 | 令和５年度 | 令和６年度 | 令和７年度 |
|---|---|---|---|
| のべ入院患者数　年間 | 3, 220 | 2, 121 | 1, 945 |
| １日平均 | 9 | 6 | 5 |
| 外来患者数　年間 | 4, 364 | 4, 137 | 4, 019 |
| １日平均 | 18 | 17 | 17 |
| **手術件数** | | | |
| 総手術件数 | 272 | 217 | 194 |
| 心大血管疾患 | 66 | 52 | 42 |
| 体外循環使用 | 41 | 37 | 24 |
| 体外循環非使用（OPCAB） | 15 | 11 | 12 |
| 体外循環非使用（TEVAR） | 8 | 3 | 4 |
| **主な症例** | | | |
| １後天性心疾患 | | | |
| 冠動脈バイパス術 | | | |
| 単独 CABG | 19 | 16 | 14 |
| Off pump | 15 | 11 | 12 |
| 末梢側吻合部 | 3. 1 | 3. 3 | 2. 7 |
| １枝 | 2 | 0 | 1 |
| ２枝 | 2 | 4 | 4 |
| ３枝 | 8 | 6 | 7 |
| ４枝以上 | 7 | 6 | 2 |
| ２弁膜症疾患その他 | | | |
| 弁膜疾患 | 22 | 18 | 14 |
| その他 | 5 | 3 | 2 |
| ３大血管疾患 | | | |
| 大血管手術 | 19 | 15 | 9 |
| 解離性 | 9 | 7 | 5 |
| 非解離性 | 10 | 8 | 4 |
| ４先天性心疾患 | | | |
| 先天性 | 1 | 0 | 0 |
| ５末梢血管症例 | | | |
| 末梢血管手術他 | 206 | 188 | 150 |
| 腹部大動脈瘤（破裂） | 36(0) | 15(2) | 23(4) |
| 胸部ステントグラフト | 8 | 3 | 4 |
| 腹部ステントグラフト | 21 | 11 | 15 |

昨年度に引き続き、外来患者数の減少に伴い入院患者数の減少、総手術数の減少につながった印象です。冠動脈バイパスは人工心肺を使用しないオフポンプ症例の割合が増えました。腹部大動脈瘤は前年度が少なかったため、今年度は増加傾向でした。

（文責／心臓血管外科　主任部長　杉木　孝司）

# 脳神経外科

| | 令和５年度 | 令和６年度 | 令和７年度 |
|---|---|---|---|
| ＜脳血管障害手術＞ | 38 | 46 | 53 |
| 破裂脳動脈瘤 | | 4 | 1 |
| 未破裂脳動脈瘤 | 4 | 4 | 8 |
| 脳動静脈奇形 | | | |
| dural AVF | | | 0 |
| cerebral AVM | 1 | 0 | 2 |
| cavernous angioma | | | 0 |
| 脳出血・脳室内血腫 | | | |
| 開頭血腫除去術 | 9 | 5 | 6 |
| 定位・内視鏡下血腫除去術 | 18 | 16 | 19 |
| ドレナージ | 3 | 3 | 1 |
| バイパス術 | | | |
| STA-MCA 吻合術 | | 8 | 8 |
| その他のバイパス・グラフト | | | |
| CEA | | | 0 |
| 内・外減圧術 | 3 | 6 | 4 |
| その他 | | | 4 |
| ＜脳腫瘍手術＞ | 25 | 41 | 40 |
| 神経膠腫 | 1 | 2 | 5 |
| 頭蓋咽頭腫 | | 2 | 1 |
| 髄膜腫 | 10 | 12 | 7 |
| 神経鞘腫 | 3 | 2 | 0 |
| 血管芽腫 | | | 1 |
| 類上皮腫・皮腫 | | 1 | |
| 下垂体腫瘍 | | | 6 |
| 経蝶形骨洞手術 | 2 | 5 | 6 |
| 両側前頭／前頭側頭開頭 | | | |
| 脈絡乳頭腫 | | | 0 |
| 松果体部腫瘍 | | | 0 |
| 悪性リンパ腫 | | 6 | 2 |
| 転移性脳腫瘍 | 5 | 8 | 9 |
| 嚢胞性腫瘍 | | | 0 |
| 肉芽腫、形質細胞腫、他 | | | 0 |
| 頭蓋底腫瘍（脊索腫など） | | 0 | 0 |
| 眼窩内腫瘍 | | | 0 |
| 頭蓋骨・頭皮下腫瘍 | | | 0 |
| その他・バイオプシー | 4 | 3 | 3 |
| ＜頭部外傷手術＞ | 65 | 68 | 70 |
| 急性硬膜下血腫 | 1 | 10 | 5 |
| 急性硬膜外血腫 | | | 0 |
| 脳内血腫 | | 3 | 3 |
| 前頭蓋底整復術・髄液漏根治 | | | 0 |
| 頭蓋形成術 | | 1 | 0 |
| 慢性硬膜下血腫 | | 1 | |
| 穿頭術 | 64 | 51 | 62 |
| 開頭術 | | | |
| 内・外減圧術 | | | 0 |
| その他 | | 2 | 0 |
| ＜先天性病変手術＞ | 1 | 1 | 0 |
| キアリ奇形 FMD | 1 | 1 | 0 |
| くも膜嚢胞 | | | 0 |
| 狭頭症 | | | 0 |
| その他（脳室内嚢胞） | | | 0 |
| ＜脊椎脊髄疾患手術＞ | 2 | 4 | 4 |
| 脊髄腫瘍・髄内病変 | | | 2 |
| 脊椎硬膜外腫瘍（転移など） | | 2 | 2 |

| | 令和５年度 | 令和６年度 | 令和７年度 |
|---|---|---|---|
| 頚椎前方固定術 | 2 | 1 | 0 |
| 頚椎後方徐圧術 | | 1 | 0 |
| 胸椎後方除圧 | | | 0 |
| 腰椎手術 | | | 0 |
| AVM・AVF | | | 0 |
| S-S shunt | | | 0 |
| instrumentation・固定術 | | | 0 |
| その他 | | 0 | 0 |
| ＜シャント手術＞ | 11 | 10 | 17 |
| V-P shunt | 4 | 3 | 7 |
| V-A shunt | | | 0 |
| S-P shunt | | | 0 |
| L-P shunt | 7 | 7 | 5 |
| 内視鏡下開窓術 | | | 3 |
| その他 | | 1 | 2 |
| ＜感染症手術＞ | 0 | 6 | 4 |
| 脳膿瘍 | | 2 | 2 |
| 硬膜上下膿瘍・頭蓋形成術 | | 4 | 2 |
| 前頭蓋底形成術・粘液嚢腫 | | | 0 |
| その他 | | 1 | 0 |
| ＜機能的手術＞ | 13 | 10 | 9 |
| MVD | 13 | 9 | 8 |
| DCS、ITB | | 1 | 1 |
| ＜その他の手術＞ | 1 | 12 | 9 |
| 頭蓋形成術 | 1 | 6 | 6 |
| ICP sensor 設置術 | | | 0 |
| その他 | | 6 | 3 |
| 脳神経外科手術合計 | 156 | 197 | 208 |
| | | | |
| **脳血管内手術および年度** | **令和５年度** | **令和６年度** | **令和７年度** |
| 血栓溶解回収療法 | | | |
| 内頚動脈閉塞症 | 15 | 16 | 12 |
| 中大脳動脈閉塞症 | 31 | 30 | 40 |
| 前大脳動脈閉塞症 | | | 0 |
| 後大脳動脈閉塞症 | 4 | 1 | 2 |
| 椎骨脳底動脈閉塞症 | 6 | 10 | 11 |
| 静脈洞血栓症 | | 1 | 1 |
| 脳動脈瘤塞栓術（母動脈閉塞含） | | | |
| 破裂 | 23 | 26 | 25 |
| 未破裂 | 13 | 30 | 25 |
| AVM・AVF 塞栓術 | 2 | 3 | 5 |
| 頭蓋内腫瘍塞栓術 | | 5 | 2 |
| 鼻出血・顔面外傷・MMA 塞栓術 | 3 | 3 | 6 |
| 頭頚部脊椎病変塞栓術 | | | 0 |
| PTA for atherosclerosis | 4 | 1 | 4 |
| Stenting | | | |
| CAS | 16 | 12 | 12 |
| intracranial | 1 | | 1 |
| others | | 0 | 0 |
| 脳血管攣縮エリル動注・PTA | | | 1 |
| BOT | | | 0 |
| その他（attemp 含む） | | | 1 |
| 脳血管内手術合計 | 118 | 134 | 148 |
| 総数 | 274 | 331 | 356 |

（文責／脳神経外科　主任部長　能代　将平）

# 整形外科

| 患者数実績 | | 令和５年度 | 令和６年度 | 令和７年度 |
|---|---|---|---|---|
| のべ入院患者数 | 年間 | 20, 104 | 19, 292 | 19, 910 |
| | 1 日平均 | 55 | 53 | 55 |
| 外来患者数 | 年間 | 23, 969 | 23, 262 | 23, 496 |
| | 1 日平均 | 98 | 96 | 97 |
| 手術数 | | 1, 229 | 1, 246 | 1, 321 |
| 主な症例内訳 | | | | |
| 上　肢 | | | | |
| | 外傷 | 370 | 364 | 279 |
| | その他 | 274 | 255 | 217 |
| 下　肢 | | | | |
| | 外傷 | 287 | 306 | 424 |
| | その他 | 200 | 221 | 231 |
| 脊　椎 | | | | |
| | 外傷 | 34 | 39 | 45 |
| | その他 | 55 | 61 | 124 |

全体の手術件数は増加傾向で、例年同様外傷に係る手術が多く、その多くは臨時・緊急手術である。上肢手術はスタッフの減員により減少したが、下肢と脊椎手術はスタッフの増員により増加した。

（文責／診療部長（兼）整形外科　第１主任部長　安井　啓悟）

# 産婦人科

| 患者数実績 | 令和５年度 | 令和６年度 | 令和７年度 |
|---|---|---|---|
| のべ入院患者数　年間 | 12, 183 | 11, 638 | 10, 682 |
| 1 日平均 | 33 | 32 | 29 |
| 外来患者数　年間 | 27, 641 | 25, 508 | 25, 245 |
| 1 日平均 | 113 | 105 | 104 |
| 総分娩件数 | 485 | 459 | 424 |
| 帝王切開術 | 188 | 181 | 173 |
| **手術件数** | | | |
| ＜悪性疾患＞ | | | |
| 子宮頸癌手術 | | | |
| 広汎子宮全摘出術 | 3 | 2 | 1 |
| 拡大子宮全摘出術 | 3 | 4 | 1 |
| 単純子宮全摘出術 | 0 | 1 | 0 |
| 子宮体癌手術 | | | |
| 含；系統的リンパ節郭清 | 6 | 9 | 8 |
| 拡大子宮全摘＋両付摘 | 13 | 27 | 33 |
| 卵巣癌手術 | | | |
| ステージング手術 | 12 | 16 | 18 |
| 腫瘍切除・基本術式 | 19 | 27 | 28 |
| ＜良性疾患＞ | | | |
| 子宮全摘術 | | | |
| 開腹 | 19 | 6 | 18 |
| 腟式 | 3 | 3 | 1 |
| 腹腔鏡下 | 124 | 141 | 91 |
| 子宮筋腫核出術 | | | |
| 開腹 | 0 | 1 | 1 |
| 腟式 | 1 | 0 | 0 |
| 腹腔鏡下 | 13 | 11 | 15 |
| 付属器（卵巣・卵管）腫瘍摘出術 | | | |
| 開腹 | 9 | 7 | 13 |
| 腟式 | 0 | 0 | 0 |
| 腹腔鏡下 | 60 | 52 | 73 |
| 子宮内膜症病巣除去術（含；チョコレートのう胞摘出） | | | |
| 開腹 | 1 | 2 | 0 |
| 腹腔鏡下 | 25 | 17 | 12 |
| 子宮外妊娠手術 | | | |
| 開腹 | 0 | 0 | 0 |
| 腹腔鏡下 | 9 | 10 | 7 |
| 子宮脱手術 | | | |
| 腟式 | 28 | 20 | 7 |
| 鏡視下仙骨膣固定術 | 8 | 5 | 7 |
| その他の婦人科手術 | | | |
| 開腹 | 0 | 0 | 1 |
| 腟式 | 7 | 16 | 7 |
| 腹腔鏡下 | 2 | 1 | 4 |
| 子宮膣部円錐切除術 | 61 | 34 | 42 |
| 子宮鏡下手術 | 16 | 8 | 20 |
| 子宮内膜掻爬術 | 14 | 18 | 30 |
| **産科手術** | | | |
| 帝王切開術 | 176 | 162 | 160 |
| 流産手術 | 23 | 22 | 29 |
| その他の産科手術 | 11 | 10 | 6 |
| 合計 | 666 | 632 | 633 |

分娩数は減少傾向にある一方で、婦人科診療においては低侵襲手術の充実を進めています。令和7年度から、良性子宮疾患に対して、より低侵襲な子宮全摘術として経腟的内視鏡手術（vNOTES）下子宮全摘術を導入しました。さらに、悪性疾患に対しては31例に鏡視下手術（腹腔鏡手術・ロボット支援下手術）を実施しています。

（文責／診療部長（兼）産婦人科　第１主任部長　森脇　征史）

# 形成外科

| 患者数実績 | 令和５年度 | 令和６年度 | 令和７年度 |
|---|---|---|---|
| のべ入院患者数　年間 | 5, 357 | 6, 190 | 6, 174 |
| 1 日平均 | 15 | 17 | 17 |
| 外来患者数　年間 | 10, 362 | 11, 041 | 11, 615 |
| 1 日平均 | 42 | 45 | 48 |
| 手術総件数 | 1, 305 | 1, 506 | 1, 523 |
| **主な手術内訳** | | | |
| 外傷 | 284 | 318 | 315 |
| 先天異常 | 93 | 58 | 38 |
| 腫瘍 | 537 | 617 | 705 |
| 瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド | 33 | 19 | 26 |
| 難治性潰瘍 | 82 | 113 | 90 |
| 炎症・変性疾患 | 69 | 107 | 84 |
| その他（レーザー治療等） | 207 | 274 | 265 |

（文責／形成外科　主任部長　北村　孝）

# 泌尿器科

| 患者数実績 | 令和５年度 | 令和６年度 | 令和７年度 |
|---|---|---|---|
| のべ入院患者数　年間 | 7, 304 | 7, 363 | 9, 084 |
| 1 日平均 | 20 | 20 | 25 |
| 外来患者数　年間 | 23, 604 | 22, 981 | 23, 501 |
| 1 日平均 | 97 | 95 | 97 |
| 手術総件数 | 999 | 986 | 1, 095 |
| **主な手術術式と件数** | | | |
| 腎癌 | | | |
| 鏡視下腎全摘除術 | 15 | 22 | 28 |
| 開腹腎全摘除術 | 2 | 0 | 1 |
| 腎部分切除術 | 22 | 21 | 19 |
| （ロボット支援腎部分切除術） | 22 | 21 | 18 |
| （開腹腎部分切除術） | 0 | 0 | 1 |
| 腎生検 | 56 | 42 | 67 |
| 腎盂尿管癌 | | | |
| 鏡視下腎尿管全摘除術 | 23 | 12 | 13 |
| 開腹腎尿管全摘除術 | 0 | 0 | 0 |
| 前立腺癌 | | | |
| 前立腺針生検 | 145 | 160 | 205 |
| 前立腺全摘除術 | 88 | 95 | 94 |
| （ロボット支援前立腺全摘除術） | 88 | 95 | 94 |
| （開腹前立腺全摘除術） | | | |
| 膀胱癌 | | | |
| 経尿道的膀胱腫瘍切除術 | 121 | 143 | 168 |
| 膀胱全摘術＋新膀胱 | 0 | 0 | 0 |
| 膀胱全摘術＋回腸導管 | 8(8) | 9 | 10 |
| 膀胱全摘術＋尿管皮膚瘻 | 1(1) | 2 | 2 |
| 膀胱全摘術 ；尿路変向なし | 1(1) | 2 | 0 |
| （カッコ内はロボット支援） | | | |
| 精巣悪性腫瘍手術 | 5 | 3 | 5 |
| 経尿道的前立腺手術 | 28 | 28 | 35 |
| 副腎腫瘍摘除術（鏡視下） | 7 | 7 | 6 |
| 尿路結石手術 | | | |
| 体外衝撃波結石破砕術 | 102 | 102 | 71 |
| 経尿道的尿管結石砕石術 | 55 | 36 | 61 |
| 小児・陰嚢の手術 | | | |
| 停留精巣手術 | 8 | 9 | 10 |
| 陰嚢水腫根治術 | 5 | 14 | 6 |
| 精巣捻転、精巣垂捻転 | 4 | 2 | 6 |
| その他 | 3 | 1 | 3 |
| 経膣の手術 | | | |
| 経膣尿失禁手術 | 1 | 0 | 0 |
| 膀胱瘤メッシュ手術 | 0 | 0 | 0 |

当科手術は、ほとんどが腹腔鏡手術・ロボット支援手術となっていますが、下大静脈進展例など必要な症例には開腹手術も行っています。低侵襲な経尿道的前立腺手術として経尿道的前立腺水蒸気治療を導入いたしました。

（文責／泌尿器科　主任医長　山田　修平）

# 眼科

| 患者数実績 | 令和５年度 | 令和６年度 | 令和７年度 |
|---|---|---|---|
| のべ入院患者数　年間 | 751 | 880 | 770 |
| １日平均 | 2 | 2 | 2 |
| 外来患者数　年間 | 3, 487 | 4, 676 | 5, 251 |
| １日平均 | 14 | 19 | 21 |
| 手術総件数 | 262 | 328 | 366 |
| **主な症例** | | | |
| 蛍光眼底検査 | 24 | 29 | 15 |
| 水晶体再建術 | 230 | 297 | 243 |
| 硝子体茎顕微鏡下離断術 | 18 | 21 | 8 |
| 網膜光凝固術 | 44 | 27 | 35 |
| 網膜復位術 | 0 | 0 | 0 |
| 斜視手術 | 0 | 0 | 0 |
| 緑内障手術 | 0 | 3 | 0 |
| 硝子体切除術 | 2 | 4 | 4 |
| 増殖性硝子体網膜症手術 | 0 | 0 | 0 |
| 眼瞼内反症手術 | 0 | 0 | 0 |
| 硝子体注入・吸入術 | 1 | 1 | 0 |
| 網膜嚢形成手術 | 0 | 0 | 0 |
| 結膜腫瘍摘出術 | 0 | 0 | 0 |
| 眼球内容除去術 | 0 | 0 | 1 |
| 翼状片手術(弁の移植を要する) | 0 | 1 | 1 |
| 角膜・強膜異物除去術 | 0 | 3 | 1 |
| 創傷処理 | 0 | 0 | 0 |
| 霰粒腫摘出術 | 0 | 0 | 0 |
| 眼瞼結膜腫瘍切除 | 0 | 0 | 0 |
| 結膜縫合術 | 0 | 0 | 0 |
| 眼窩内腫瘍摘出術（表在性） | 0 | 0 | 0 |
| 角膜・強膜縫合術 | 0 | 1 | 0 |
| 角膜潰瘍掻爬術 | 0 | 0 | 0 |
| 角膜切開術 | 0 | 0 | 0 |
| 麦粒腫切開術 | 0 | 0 | 0 |
| 強角膜瘻孔閉鎖術 | 0 | 0 | 0 |
| 毛様体光凝固術 | 0 | 0 | 0 |
| 前房、虹彩内異物除去術 | 0 | 0 | 0 |
| 後発白内障手術 | 12 | 24 | 29 |
| 未熟児網膜症患者数 | 11 | 4 | 6 |
| 未熟児網膜光凝固件数 | 2 | 2 | 2 |
| 硝子体内注射 | 39 | 61 | 46 |

（文責／眼科　森　匠平）

# 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

| 患者数実績 | 令和５年度 | 令和６年度 | 令和７年度 |
|---|---|---|---|
| のべ入院患者数　年間 | 4, 888 | 6, 886 | 6, 137 |
| 1 日平均 | 13 | 19 | 17 |
| 外来患者数　年間 | 15, 068 | 15, 206 | 15, 373 |
| 1 日平均 | 62 | 63 | 63 |
| **主な内訳** | | | |
| 鼻副鼻腔腫瘍切除 | 6 | 2 | 3 |
| 鼻腔悪性腫瘍切除（上顎全摘含み） | 2 | 3 | 3 |
| 鼻内内視鏡副鼻腔手術（両側、片側）2026から側） | 18 | 34 | 47 |
| 鼻中隔矯正手術 | 15 | 21 | 20 |
| 鼻甲介切除術 | 17 | 28 | 22 |
| 難治性鼻出血手術 | 2 | 3 | |
| 眼窩内側骨折整復 | | | |
| 後鼻腔閉鎖症手術 | | | |
| 鼻外上顎洞開放 | | | |
| 鼻内鼻涙管開放術 | | | 1 |
| 鼻腔異物摘出 | | | |
| 鼓膜チューブ留置術（手術室） | 29 | 28 | 34 |
| 鼓室形成術 | | 4 | 3 |
| 鼓膜形成術 | | 3 | 2 |
| 乳突洞削開 | | | 2 |
| 経乳突洞顔面神経減荷術 | 2 | 1 | |
| 外耳道悪性腫瘍手術 | | 2 | 1 |
| 中耳根治術 | | | |
| 外リンパ婁閉鎖 | | | |
| 外耳道異物摘出 | 1 | | 1 |
| 外耳道　腫瘍・真珠腫切除 | 1 | 1 | |
| 鼓室開放術 | | | |
| 中耳腫瘍摘出術 | | | |
| 口蓋扁桃摘出術（2026より側） | 62 | 37 | 134 |
| アデノイド切除術 | 22 | 24 | 34 |
| 軟口蓋形成術 | | | |
| 扁桃周囲膿瘍、咽後腫瘍切開術 | 1 | | |
| 経口中咽頭腫瘍切除 | | | |
| 経口中咽頭悪性腫瘍切除（鏡視下） | 2 | 5 | 5 |
| 経口下咽頭腫瘍切除（良悪込み　鏡視下） | 2 | 3 | 1 |
| 咽頭悪性切除（外切開） | | | 1 |
| 扁桃摘出後出血止血 | 1 | | 2 |
| 副咽頭間隙腫瘍切除 | | | |
| 下咽頭喉頭悪性全摘術（遊離空腸再建 or pmmc） | | 2 | 1 |
| 頸部食道憩室切除 | | | |
| 上咽頭腫瘍切除 | | | |
| 喉頭微細手術　生検こみ | 17 | 30 | 16 |
| 喉頭悪性全摘術 | | 3 | 5 |
| 喉頭悪性部分切除術 | 1 | 2 | 1 |

| | 令和５年度 | 令和６年度 | 令和７年度 |
|---|---|---|---|
| 咽頭レーザー蒸散手術 | | | |
| 嚥下機能改善手術<br>（喉頭吊り上げ、輪状いんとう筋切断） | 3 | 1 | |
| 咽頭気管分離術 | 3 | 3 | |
| 喉頭形成術（１型、披裂内転、声門開大） | 4 | 1 | |
| 披裂軟骨脱臼整復 | | | |
| プロボックス挿入術 | | | 2 |
| 気管切開術 | 25 | 36 | 18 |
| 気管孔開大手術 | 1 | | |
| 気管孔肉芽除去 | | | |
| 食道異物摘出術 | | | |
| 咽頭異物摘出術複雑（手術室） | 1 | | 1 |
| 気管孔閉鎖術 | | 3 | 2 |
| 食道ステント挿入 | | | |
| 頚部リンパ節生検（摘出） | 22 | 11 | 5 |
| 頚部膿瘍切開排膿 | 1 | 1 | 1 |
| 頚部のう胞摘出＋頸部腫瘍摘出 | 2 | 1 | 5 |
| 頸部神経鞘腫 | | | |
| 頚部郭清術（側） | 9 | 21 | 30 |
| 頸部悪性腫瘍切除 | 2 | 1 | |
| 光線化学療法 | | 2 | |
| 甲状腺悪性腫瘍切除術 | 12 | 7 | 7 |
| 甲状腺悪性腫瘍全摘術 | 6 | 11 | 4 |
| 甲状腺良性腫瘍切除術 | 12 | 14 | 30 |
| バセドウ甲状腺全摘術 | 6 | 3 | 3 |
| 副甲状腺腫瘍摘出術 | 5 | 3 | 4 |
| 顎下腺摘出術 | 7 | 9 | 3 |
| 顎下腺悪性腫瘍摘出術 | | | |
| 唾石摘出術 | 3 | | |
| 耳下腺浅葉腫瘍切除術 | 12 | 10 | 12 |
| 耳下腺深葉腫瘍切除術 | | 1 | |
| 耳下腺悪性腫瘍切除 | | | 1 |
| 舌口腔低悪性腫瘍全摘術（遊離・有茎皮弁） | | 1 | |
| 舌口腔低悪性腫瘍切除術 | 3 | 6 | 3 |
| 舌良性腫瘍摘出術 | | 2 | 1 |
| 頬粘膜悪性腫瘍切除 | | | 1 |
| 頬粘膜腫瘍摘出 | | | 1 |
| 頸部創処理（外傷など） | 9 | 3 | 17 |
| 口唇腫瘍切除 | | | |
| 顎関節脱臼整復 | | | |
| 有茎皮弁術 | 2 | 5 | 8 |
| 遊離皮弁術 | | | 1 |
| その他 | 16 | 10 | |
| 総手術件数 | | | 320 |

扁桃摘出術、鼻内内視鏡手術を2026年から側で数えた、以前は両側、片側とも１例で計数している。気管切開が減ったのは麻酔科救急科施行が増えたのかもしれない。

（文責／耳鼻咽喉科・頭頸部外科　主任部長　吉岡　巌）

# 皮膚科

| 患者数実績 | 令和５年度 | 令和６年度 | 令和７年度 |
|---|---|---|---|
| のべ入院患者数　年間 | 838 | 595 | 1, 092 |
| １日平均 | 2 | 2 | 3 |
| 外来患者数　年間 | 13, 547 | 11, 153 | 13, 868 |
| １日平均 | 56 | 46 | 57 |
| **入院** | | | |
| 湿疹 | | | |
| アトピー性皮膚炎 | 0 | | |
| 慢性湿疹 | 2 | 2 | |
| その他 | 3 | 2 | |
| 血管炎 | 0 | | |
| 血行障害 | 0 | | |
| 潰瘍 | 0 | | 1 |
| 薬疹 | 5 | 5 | 2 |
| 中毒疹 | 1 | | |
| 角化症 | | | |
| 尋常性乾癬 | 0 | | |
| 膿疱性乾癬 | 2 | | |
| 水疱症 | 14 | 3 | 10 |
| 細菌性疾患 | | | |
| 丹毒 | 1 | 1 | |
| 蜂窩織炎 | 21 | 21 | 24 |
| ウイルス性疾患 | | | |
| 帯状疱疹 | 8 | 1 | 8 |
| 成人水痘 | 0 | | |
| その他 | 1 | 1 | |
| 陥入爪 | − | | |
| じんま疹 | − | | |
| その他 | 5 | 6 | 4 |
| **検査・手術** | | | |
| 生検 | 201 | 101 | 325 |

常勤医１名→２名体制となり、地域連携枠を拡張したことで外来・入院患者数、皮膚生検件数ともに増加しました。

（文責／皮膚科　主任医長　野原　拓馬）

# 精神科

| 患者数実績 | 令和５年度 | 令和６年度 | 令和７年度 |
|---|---|---|---|
| のべ入院患者数　年間 | 13, 512 | 13, 055 | 13, 855 |
| 1 日平均 | 37 | 36 | 38 |
| 外来患者数　年間 | 20, 207 | 21, 328 | 21, 329 |
| 1 日平均 | 83 | 88 | 88 |
| 退院患者数 | 226 | 250 | 222 |
| **内訳** | | | |
| 直接受診患者数 | 2, 021 | 2, 245 | 2, 082 |
| 院内他科依頼患者数 | 362 | 628 | 377 |
| 他院依頼患者数 | 218 | 155 | 268 |
| **直接受診患者の疾患別割合** | | | |
| F0　症状性を含む器質性精神障害 | 220 | 222 | 169 |
| F1　精神作用物質使用による精神行動の障害 | 47 | 53 | 52 |
| F2　統合失調症、統合失調型障害および妄想性障害 | 597 | 622 | 595 |
| F3　気分（感情）障害 | 725 | 875 | 800 |
| F4　神経症性障害、ストレス関連障害および身体化障害 | 240 | 278 | 250 |
| F5　生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群 | 8 | 11 | 8 |
| F6　成人の人格および行動の障害 | 3 | 3 | 9 |
| F7　精神遅滞 | 13 | 13 | 16 |
| F8　心理的発達の障害 | 13 | 16 | 20 |
| F9　小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害および特定不能の精神障害 | 13 | 15 | 14 |
| G4　てんかん | 117 | 107 | 105 |
| その他 | 25 | 30 | 44 |
| **院内他科依頼患者の疾患別割合** | | | |
| F0　症状性を含む器質性精神障害 | 154 | 298 | 123 |
| F1　精神作用物質使用による精神行動の障害 | 11 | 23 | 4 |
| F2　統合失調症、統合失調型障害および妄想性障害 | 33 | 65 | 27 |
| F3　気分（感情）障害 | 70 | 100 | 70 |
| F4　神経症性障害、ストレス関連障害および身体化障害 | 55 | 81 | 64 |
| F5　生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群 | 1 | 4 | 7 |
| F6　成人の人格および行動の障害 | 1 | − | 1 |
| F7　精神遅滞 | 6 | 10 | 3 |
| F8　心理的発達の障害 | 4 | 4 | 2 |
| F9　小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害および特定不能の精神障害 | 7 | 8 | 1 |
| G4　てんかん | 1 | 3 | 1 |
| その他 | 19 | 32 | 74 |

| 他院依頼患者の疾患別割合 | 令和５年度 | 令和６年度 | 令和７年度 |
|---|---|---|---|
| F0　症状性を含む器質性精神障害 | 19 | 12 | 20 |
| F1　精神作用物質使用による精神行動の障害 | 4 | − | 10 |
| F2　統合失調症、統合失調型障害および妄想性障害 | 39 | 56 | 44 |
| F3　気分（感情）障害 | 102 | 52 | 94 |
| F4　神経症性障害、ストレス関連障害および身体化障害 | 42 | 20 | 54 |
| F5　生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群 | 1 | − | 4 |
| F6　成人の人格および行動の障害 | 0 | 3 | 0 |
| F7　精神遅滞 | 1 | 3 | 4 |
| F8　心理的発達の障害 | 3 | 4 | 2 |
| F9　小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害および特定不能の精神障害 | 2 | 5 | 8 |
| G4　てんかん | 1 | − | 5 |
| その他 | 4 | − | 23 |
| **退院患者の疾患別割合（総数　人）** | | | |
| F0　症状性を含む器質性精神障害 | 17 | 9 | 12 |
| F1　精神作用物質使用による精神行動の障害 | 11 | 16 | 24 |
| F2　統合失調症、統合失調型障害および妄想性障害 | 50 | 42 | 46 |
| F3　気分（感情）障害 | 57 | 73 | 66 |
| F4　神経症性障害、ストレス関連障害および身体化障害 | 39 | 21 | 18 |
| F5　生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群 | 2 | 4 | 1 |
| F6　成人の人格および行動の障害 | 5 | 2 | 7 |
| F7　精神遅滞 | 12 | 16 | 4 |
| F8　心理的発達の障害 | 8 | 10 | 14 |
| F9　小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害および特定不能の精神障害 | 6 | 1 | 6 |
| G4　てんかん | 2 | 1 | 10 |
| その他 | 17 | 55 | 22 |

併存疾患がある場合はＦコードの少ない疾患を優先してカウントしています。様々な疾患に大して幅広く対応しております。

（文責／精神科　主任部長　古瀬　研吾）

# 放射線科

| 患者数実績 | 令和５年度 | 令和６年度 | 令和７年度 |
|---|---|---|---|
| のべ入院患者数　年間 | 235 | 284 | 316 |
| １日平均 | 1 | 1 | 1 |
| 外来患者数　年間 | 11, 037 | 11, 525 | 11, 880 |
| １日平均 | 45 | 47 | 49 |
| **画像診断読影件数** | | | |
| CT | 13, 887 | 11, 464 | 9, 611 |
| MRI | 4, 127 | 4, 200 | 3, 388 |
| **IVR 症例　総数** | 1, 133 | 1, 026 | 1, 242 |
| **血管系 IVR** | | | |
| CVport 留置 | 405 | 340 | 343 |
| 塞栓術　肝細胞癌化学塞栓術・動注（TACE・TAI） | 15 | 13 | 11 |
| 塞栓術　外傷 | 15 | 11 | 15 |
| 塞栓術　血管炎／SAM/MALS／胆膵炎症／特発性出血 | 5 | 7 | 10 |
| 塞栓術　消化管出血 | 11 | 12 | 20 |
| 塞栓術　産科出血 | 3 | 10 | 5 |
| 塞栓術　医原性／術後出血 | 1 | 8 | 10 |
| 塞栓術　喀血 | 2 | 5 | 1 |
| 塞栓術　子宮筋腫 | 1 | 0 | 0 |
| 塞栓術　肺動静脈奇形（AVM） | 1 | 2 | 2 |
| 塞栓術　内臓真性動脈瘤・動静脈奇形（AVM） | 11 | 7 | 8 |
| 塞栓術　肝腫瘍破裂 | 6 | 3 | 6 |
| 塞栓術　腎腫瘍（血管筋脂肪腫など） | 6 | 5 | 4 |
| 塞栓術　EVAR TEVAR 術前分枝塞栓 | 2 | 0 | 0 |
| 塞栓術　EVAR TEVAR 術後エンドリーク塞栓術 | 0 | 0 | 6 |
| 塞栓術　バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術（BRTO） | 10 | 4 | 13 |
| 塞栓術　経皮経肝的静脈瘤・門脈短絡路　塞栓・硬化療法 PTO（S） | 3 | 2 | 1 |
| 塞栓術　部分的脾動脈塞栓術（PSE） | 7 | 4 | 11 |
| 留置術　門脈ステント／ステントグラフト | 0 | 0 | 3 |
| 留置術　大静脈ステント | 2 | 0 | 3 |
| 留置術　動脈ステント／ステントグラフト | 0 | 3 | 2 |
| 留置術　肝動注リザーバー | 0 | 0 | 8 |
| 上腸間膜動脈　血栓吸引溶解 | 0 | 0 | 1 |
| 経皮的血管内異物除去 | 1 | 5 | 2 |
| 経頸静脈的肝生検（TJLB） | 0 | 0 | 1 |
| 副腎静脈サンプリング | 0 | 2 | 1 |
| リンパ管造影・塞栓術 | 1 | 1 | 0 |
| **非血管系 IVR** | | | |
| 肝マイクロ波凝固療法（MWA） | 39 | 48 | 40 |
| 肺ラジオ波焼灼療法（RFA） | 0 | 4 | 3 |

| IVR 症例 総数 | 令和 5 年度 | 令和 6 年度 | 令和 7 年度 |
|---|---|---|---|
| 腎ラジオ波焼灼療法（RFA） | 2 | 3 | 0 |
| 骨ラジオ波焼灼療法（RFA） | 1 | 2 | 0 |
| 腹腔内腫瘍ラジオ波焼灼療法（RFA） | 0 | 4 | 0 |
| 骨盤内腫瘍ラジオ波焼灼療法（RFA） | 1 | 2 | 0 |
| 経皮的生検 | 143 | 143 | 194 |
| 経皮的ドレナージ（気胸、膿、胸水、液体、消化管　など） | 71 | 85 | 88 |
| 胆嚢ドレナージ PTGBD | 30 | 29 | 41 |
| 経皮経肝胆管ドレナージ PTBD | 15 | 18 | 26 |
| 胆管ステント留置 | 4 | 4 | 5 |
| 経皮経肝的胆道結石除去 | 2 | 3 | 3 |
| 肝嚢胞硬化（ablation） | 2 | 5 | 2 |
| **放射線治療 総数** | 7, 852 | | |
| **主な放射線治療内訳** | | | |
| 外部照射総数（人） | 453 | 530 | 540 |
| 特殊照射件数（件） | 163 | 218 | 219 |
| 定位脳照射 | 19 | 22 | 11 |
| 定位体幹部照射 | 32 | 40 | 21 |
| 強度変調放射線治療（IMRT） | 112 | 156 | 187 |
| **原発部位別（人）** | 453 | 530 | 540 |
| 脳・脊髄腫瘍 | 2 | 5 | 2 |
| 頭頸部腫瘍（甲状腺腫瘍を含む） | 17 | 25 | 22 |
| 食道癌 | 12 | 19 | 13 |
| 肺癌・気管・縦隔腫瘍 | 141 | 133 | 122 |
| （うち、肺癌） | 137 | 126 | 122 |
| 乳癌 | 107 | 109 | 110 |
| 肝・胆・膵癌 | 16 | 29 | 22 |
| 胃・小腸・結腸・直腸癌 | 20 | 33 | 38 |
| 婦人科腫瘍 | 20 | 25 | 27 |
| 泌尿器系腫瘍 | 81 | 110 | 138 |
| （うち、前立腺癌） | 71 | 89 | 119 |
| 造血器リンパ系腫瘍 | 19 | 16 | 27 |
| 皮膚・骨・軟部腫瘍 | 3 | 12 | 9 |
| その他（悪性腫瘍） | 5 | 7 | 1 |
| 良性腫瘍 | 10 | 7 | 9 |
| 15歳以下の小児例（上記と重複） | 1 | 1 | 0 |

・IVR は1242件で過去最多。定時時間内に終わらないことも多く AG 室や人員の調整が必要。胆道ドレナージ、出血臨時 TAE、BRTO、生検が増加している。IVR 増加により読影減少。（宮本憲幸）

・順調に推移しています、特に IMRT が伸びています。2025年度の放射線治療部門の売り上げは 3 億円台に到達しました。（井上哲也）

（文責／放射線科　第 1 主任部長／第 2 主任部長　宮本　憲幸／井上　哲也）

# 総合診療科

| 患者数実績 | 令和５年度 | 令和６年度 | 令和７年度 |
|---|---|---|---|
| のべ入院患者数　年間 | 2, 393 | 2, 257 | 2, 095 |
| 1 日平均 | 7 | 6 | 6 |
| 外来患者数　年間 | 2, 594 | 2, 068 | 2, 400 |
| 1 日平均 | 11 | 9 | 10 |
| 入院患者数内訳（重複あり） | | | |
| 発熱患者 | 67 | 64 | 73 |
| 感染症 | 55 | 54 | 44 |
| 敗血症 | 11 | 1 | 5 |
| 肺炎 | 21 | 20 | 13 |
| 尿路感染症 | 10 | 5 | 9 |
| 伝染性単核症 | 1 | 1 | 0 |
| 皮膚・皮下組織感染症 | 1 | 2 | 1 |
| 中枢神経感染症 | 0 | 0 | 1 |
| 化膿性関節炎 | 4 | 4 | 2 |
| 感染性心内膜炎 | 1 | 0 | 3 |
| その他 | 6 | 21 | 10 |
| 非感染症 | 12 | 10 | 29 |
| 悪性疾患 | 2 | 4 | 8 |
| 薬剤熱 | 0 | 0 | 0 |
| その他 | 10 | 6 | 21 |
| 非発熱患者 | 32 | 30 | 35 |
| 悪性腫瘍 | 1 | 2 | 3 |
| 悪性リンパ腫 | 0 | 2 | 3 |
| MDS | 1 | 0 | 0 |
| 糖尿病 | 0 | 1 | 0 |
| 精神疾患 | 2 | 0 | 0 |
| 神経性食欲不振症 | 0 | 0 | 0 |
| 不安・抑うつ状態 | 0 | 0 | 0 |
| その他 | 28 | 25 | 29 |
| 外来 | | | |
| 新患数 | 272 | 141 | 225 |

令和７年度も病院総合医として自科他科の入院診療、院内のチーム医療に重点をおいて活動した。入外患者数は昨年と同程度であった。７年度は内科・総合診療専門研修の専攻医による消化管内視鏡検査が上部85件、下部67件実施された。昨年度に引き続き、病院産業医活動や、全初期臨床研修医への外来研修指導、脳神経外科一般病棟患者の内科管理全般について介入する病院総合医活動（Co-management）、ICT/AST 活動への参加も継続している。

（文責／総合診療科　主任部長　山本　浩之）

# 緩和支持治療科

| 患者数実績 | 令和５年度 | 令和６年度 | 令和７年度 | |
|---|---|---|---|---|
| のべ入院患者数　年間 | 5, 328 | 5, 224 | 5, 408 | |
| 1 日平均 | 14 | 14 | 15 | |
| 往診患者数（入院中）　年間 | 66 | 179 | 170 | |
| 外来患者数　年間 | 369 | 484 | 426 | |
| **内訳** | | | | |
| **緩和ケア病棟への入院患者・診療科別** | | | | |
| 呼吸器内科 | 32 | 42 | 49 | |
| 循環器内科 | 0 | 0 | 0 | |
| 神経内科 | 0 | 1 | 0 | |
| 消化器内科 | 32 | 47 | 28 | |
| 血液内科 | 7 | 7 | 4 | |
| 外科 | 23 | 32 | 22 | |
| 脳神経外科 | 3 | 2 | 2 | |
| 整形外科 | 1 | 1 | 1 | |
| 産婦人科 | 9 | 6 | 11 | |
| 皮膚科 | 0 | 1 | 0 | |
| 形成外科 | 0 | 2 | 1 | |
| 泌尿器科 | 6 | 4 | 3 | |
| 耳鼻咽喉科 | 3 | 3 | 3 | |
| 総合診療科 | 1 | 0 | 0 | |
| 合計 | 119 | 148 | 124 | （複数回入院除く） |
| **住診患者数（緩和ケアチームの紹介患者数）・診療科別** | | | | |
| 呼吸器内科 | 5 | 45 | 50 | |
| 循環器内科 | 0 | 0 | 1 | |
| 消化器内科 | 23 | 60 | 33 | |
| 血液内科 | 0 | 11 | 8 | |
| 神経内科 | 0 | 2 | 1 | |
| 外科 | 19 | 28 | 32 | |
| 神経外科 | 0 | 1 | 2 | |
| 整形外科 | 0 | 2 | 3 | |
| 産婦人科 | 12 | 15 | 18 | |
| 形成外科 | 2 | 2 | 6 | |
| 泌尿器科 | 3 | 10 | 8 | |
| 耳鼻咽喉科 | 1 | 3 | 6 | |
| 精神科 | 0 | 0 | 2 | |
| 総合診療科 | 0 | 0 | 0 | |
| 合計 | 66 | 179 | 170 | |
| | | | | |
| **往診患者依頼主訴** | | | | |
| 疼痛 | 34 | 50 | 41 | |
| 疼痛以外の身体症状 | 16 | 19 | 27 | |
| 精神症状 | 9 | 16 | 19 | |
| その他 | 7 | 135 | 125 | |

（文責／緩和支持治療科　主任部長　木村　陽）

# 救急科

| 患者数実績 | 令和５年度 | 令和６年度 | 令和７年度 |
|---|---|---|---|
| のべ入院患者数　年間 | 419（うち集中治療室入室314） | 677（うち集中治療室入室303） | 830（うち集中治療室入室290） |
| 外来患者数　年間 | 4, 990 | 5, 466 | 3, 929 |
| 1日平均 | 13. 67123288 | 14. 97 | 10. 76 |
| 救急車（うち３次救急） | 1, 653（406） | 2, 337（237） | 2, 352（202） |
| Walk in | 3, 337 | 3, 129 | 1, 577 |
| | | | |
| 入院加療を行った疾患（重複あり） | | | |
| 心肺停止蘇生後 | 43 | 33 | 23 |
| 呼吸不全 | 59 | 77 | 30 |
| うち重症 Covid-19 | 12 | 9 | 2 |
| ショック | 89 | 105 | 71 |
| うち敗血症 | 47 | 54 | 41 |
| 外傷 | 86 | 165 | 161 |
| うち交通外傷 | 24 | 37 | 25 |
| 中毒 | 44 | 45 | 43 |
| | | | |
| 治療（重複あり） | | | |
| 人工呼吸管理 | 110 | 101 | 75 |
| うち腹臥位療法 | 15 | 13 | 10 |
| ECMO | 17 | 18 | 9 |
| 人工透析 | 44 | 37 | 27 |
| 気管切開 | 12 | 10 | 8 |

救急科設置から３年目となりました。平日日中および主に二次救急当番日の救急外来診療を行い、集中治療や院内急変などの重症患者については、麻酔科とともに診療にあたっています。COVID-19重症例は減少し、呼吸不全の重症患者数は減少傾向にありましたが、集中治療を必要とする患者の担当件数については大きな変化はみられていません。

また、夜間に他科での入院対応が必要となる患者を一時的に救急科で入院管理することで、各専門科医師の夜間呼び出し負担の軽減にも取り組んでいます。これに伴い、救急科での入院担当患者数は増加傾向にあります。重症患者対応のみならず、このような形で院内全体の診療支援にも貢献し、専門医の負担軽減と体力的余力の確保を通じて、病院全体の医療の質向上に寄与しているものと考えています。

（文責／救命救急センター長（兼）救急科　主任部長　加藤　航平）

# 病理診断科

| | 令和５年度 | 令和６年度 | 令和７年度 |
|---|---|---|---|
| **病理組織検査総数** | 5, 934 | 5, 825 | 6, 297 |
| 消化器科 | 1, 466 | 1, 064 | 1, 240 |
| 産婦人科 | 939 | 925 | 997 |
| 外科 | 745 | 904 | 773 |
| 形成外科 | 611 | 647 | 765 |
| 泌尿器科 | 555 | 589 | 634 |
| 耳鼻咽喉科 | 270 | 382 | 406 |
| 呼吸器科 | 332 | 319 | 280 |
| 皮膚科 | 153 | 148 | 366 |
| 血液内科 | 434 | 426 | 375 |
| 放射線科 | 162 | 147 | 191 |
| 脳神経外科 | 93 | 100 | 97 |
| 整形外科 | 72 | 52 | 59 |
| 心臓血管外科 | 34 | 20 | 22 |
| その他 | 41 | 66 | 66 |
| 院外 | 27 | 36 | 26 |
| **細胞診検査総数** | 13, 363 | 13, 368 | 13, 732 |
| 産婦人科 | 7, 346 | 7, 117 | 7, 232 |
| 健康管理科 | 3, 567 | 3, 541 | 3, 400 |
| 呼吸器科 | 473 | 497 | 410 |
| 泌尿器科 | 1, 138 | 1, 407 | 1, 878 |
| 放射線科 | 129 | 163 | 175 |
| 外科 | 69 | 91 | 89 |
| 消化器科 | 181 | 157 | 142 |
| 神経内科 | 234 | 200 | 196 |
| 血液内科 | 74 | 48 | 81 |
| 耳鼻咽喉科 | 5 | 3 | 2 |
| 循環器科 | 16 | 22 | 19 |
| 総合診療科 | 5 | 7 | 6 |
| 眼科 | 0 | 0 | 0 |
| その他 | 21 | 34 | 16 |
| 院外 | 105 | 81 | 86 |
| **術中迅速検査** | 195 | 191 | 203 |
| **術中迅速細胞診検査** | 15 | 37 | 11 |
| **剖検総数** | 5 | 5 | 5 |
| 呼吸器科 | 1 | 1 | 0 |
| 循環器科 | 0 | 0 | 0 |
| 消化器科 | 1 | 0 | 1 |
| 血液内科 | 2 | 2 | 2 |
| 外科 | 0 | 0 | 0 |
| 整形外科 | 0 | 0 | 0 |
| 神経内科 | 0 | 1 | 1 |
| 脳神経外科 | 0 | 0 | 0 |
| 泌尿器科 | 0 | 0 | 0 |
| 小児科 | 0 | 0 | 0 |
| 麻酔科 | 0 | 0 | 0 |
| 心臓血管外科 | 0 | 0 | 0 |
| 耳鼻咽喉科 | 1 | 0 | 0 |
| 救急科 | 0 | 1 | 1 |
| 院外 | 0 | 0 | 0 |

（文責／病理診断科　主任部長　菊地　慶介）

# 看護部

## 看護部：2025年度年報：専門看護師・認定看護師

Ⅰ．定　　義

1．専門看護師（Certified Nurse Specialist：CNS）とは

日本看護協会の専門看護師認定審査に合格し、ある特定の専門看護分野において、卓越した看護実践能力を有することを認められた者をいう。

《専門看護師の役割》

実践・相談・調整・倫理調整・教育・研究の６つの役割を果たす。

2．認定看護師（Certified Nurse：CN）とは

ある特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を有する者として、日本看護協会の認定を受けた看護師をいう。

《認定看護師の役割》

実践・指導・相談の３つの役割を果たす

3．認定看護管理者（Certified Nurse Administrator）とは

日本看護協会の認定看護管理者認定審査に合格し、管理者として優れた資質を持ち、創造的に組織を発展させることができる能力を有すると認められた者をいう。

Ⅱ．専門・認定看護師の活動について

1．専門・認定看護師活動部会（スペシャリスト活動部会）の目的

1）専門・認定看護師が、各専門性を活かし院内外の活動を実践し、看護の質向上に寄与する。

2）専門・認定看護師として、活動できるよう相互にサポートし、それぞれが抱える問題の検討や知識技術を補完しあう。

2．活動内容

1）看護フェア：11月８日開催（対象者：十勝管内の医療・介護・福祉従事者）

テーマ：「在宅療養・施設における急変対応」

参加者数：45名（職種：保健師・看護師・准看護師・介護士・ケアマネージャー）

2）院内看護技術体験研修会：11月７、21日開催（対象者：院内看護職員）

参加者数：26名

１回目：摂食姿勢とポジショニング・身体抑制体験・リンパマッサージ・閉鎖式気管吸引について・呼吸ストレッチ体操

２回目：消毒薬の種類・消毒方法・エンゼルケア・小型シリンジポンプ使用方法・手術患者の準備・抗がん剤が漏れたら？

3）CNS/CN ガイダンス：10月17日開催　参加数：院内看護師２名、看護学生５名（合計７名）

専門・認定看護師に期待すること、厚生連の支援体制、専門・認定、特定行為に係る看護師への道のり、専門・認定看護師の体験談、情報交換を実施した

## 2．個人活動報告

### 1）実　　践

| 分　　野 | 氏　　名 | 活　動　内　容 |
|---|---|---|
| 慢性疾患看護専門看護師 | 伊　藤　　史 | 実践件数：計98件<br>・呼吸器ケア看護外来　31件<br>・退院支援・退院前カンファレンス　59件<br>・患者カンファレンス　８件<br>委員会在籍：計２件<br>・スペシャリスト活動部会<br>・看護研究支援部会<br>その他：計５件<br>・看護研究支援（院外発表）５件 |
| がん看護専門看護師<br>緩和ケア認定看護師 | 小田島　綾　子 | 実践件数：計477件<br>・がん看護外来　175件<br>・カンファレンス　90件<br>・緩和ケア外来　212件<br>チーム活動：計1,512件<br>・緩和ケアチームコンサルテーション　1,210件<br>・緩和ケアチームラウンド102件（メンバーと共に）、200件（単独）<br>委員会在籍：計３件<br>・スペシャリスト活動部会<br>・緩和ケア部会<br>・緩和ケアリンクスタッフ会 |
| 感染症看護専門看護師<br>感染管理認定看護師 | 原　　理　加 | 実践件数：計　862件（総件数を記入）<br>・血液培養陽性者カンファレンス（平日毎日）　564件<br>・AST カンファレンス（１回／週）　243件<br>・ICT ラウンド（１回／週＋臨時）　47件<br>・保健所からの依頼にて中札内施設ラウンド（ノロウイルス関連）１件<br>・とかち ICT ネットワーク会議　３件<br>・地域連携カンファレンス　４件<br>チーム活動：計72件<br>・ICT（Infection Control team）　36件<br>・AST（Antimicrobial Stewardship Team）　36件<br>委員会在籍：計34件<br>・ICT 委員会　12件<br>・スペシャリスト活動部会　11件<br>・感染リンクスタッフ会議　11件 |
| 皮膚・排泄ケア認定看護師 | 大　椋　友　美 | 実践件数：計1,272件<br>・スキンケア外来　29件<br>・ストーマ外来　500件<br>・病棟及び外来での創傷関連の実践件数　743件<br>チーム活動：計139件<br>・病棟褥瘡回診　139件<br>・褥瘡予防対策リンクナース会議（事務局）<br>委員会在籍：計４件<br>・診療の質マネジメント委員会<br>・褥瘡予防対策部会（事務局）<br>・NST コア部会<br>・スペシャリスト活動部会 |

| 分　野 | 氏　名 | 活　動　内　容 |
|---|---|---|
| 摂食嚥下障害看護認定看護師 | 河　本　友　香 | 実践件数：計398件<br>・看護外来（飲み込み・口腔ケア）　11件<br>・口腔ケアラウンド　228件<br>・嚥下機能評価　25件<br>・食支援（食形態、食事援助）　134件<br>チーム活動：計１件<br>・ミールラウンドラウンド（２回／週）<br>・NST リンクナース活動支援<br>委員会在籍：計３件<br>・NST コア部会<br>・スペシャリスト活動部会<br>・ホームページ作成部会<br>その他：計22件<br>・特定行為の実践：気管カニューレの交換　22件 |
| 集中ケア認定看護師 | 須　永　弘　美 | 実践件数：計23件<br>・日々の病棟での実践　20件<br>気道管理、体位調整、鎮静管理　循環管理<br>・他職種カンファレンス　３件（倫理検討事例）<br>チーム活動：計１件<br>・呼吸ケアチーム<br>委員会在籍：計２件<br>・呼吸管理チーム部会<br>・スペシャリスト活動部会 |
| 集中ケア認定看護師 | 加　治　ますみ | 実践件数：計２件<br>・他職種カンファレンス　２件（倫理検討事例／３北病棟）<br>・RST ラウンド　１件（個人）<br>チーム活動：計１件<br>・RST チーム<br>委員会在籍：計１件<br>・スペシャリスト活動部会 |
| 乳がん看護認定看護師 | 太　田　美　幸 | 実践件数：計439件<br>・乳がん看護外来　229件<br>・カンファレンス　83件<br>・リンパ浮腫外来　127件<br>委員会在籍：計３件<br>・スペシャリスト活動部会<br>・緩和ケアリンクナース会<br>・キャンサーボード部会（事務局） |
| 乳がん看護認定看護師 | 河　合　美　紀 | 実践件数：計69件<br>・外科カンファレンス　８件<br>・意思決定支援　58件<br>・リンパ浮腫予防指導　３件<br>チーム活動：計１件<br>・緩和ケアリンクナース<br>委員会在籍：計１件<br>・スペシャリスト活動部会 |
| がん性疼痛看護認定看護師 | 黒　川　文　吾 | 実践件数：計72件<br>・がん性疼痛看護外来　34件<br>・がん性疼痛ラウンド　38件（個人）<br>チーム活動：計１件<br>・緩和ケアチーム<br>委員会在籍：計２件<br>・スペシャリスト活動部会<br>・緩和ケアリンクナース会 |

| 分　野 | 氏　名 | 活　動　内　容 |
|---|---|---|
| がん化学療法看護認定看護師 | 尾　谷　優　子 | 実践件数：計34件<br>・がん化学療法看護外来　18件<br>・がん化学療法看護認定看護師院内ラウンド　16件<br>チーム活動：計１件<br>・irAE チーム<br>委員会在籍：計４件<br>・化学療法委員会<br>・レジメン小委員会<br>・スペシャリスト活動部会<br>・緩和ケアリンクナース会 |
| がん化学療法看護認定看護師 | 西　川　真　紀 | チーム活動：計１件<br>・緩和ケアリンクナース会<br>委員会在籍：計２件<br>・スペシャリスト活動部会 |
| 認知症看護認定看護師 | 和　淵　ゆかり | 実践件数：計1,128件<br>・認知症看護外来　２件<br>・精神科リエゾンカンファレンス　910件<br>・身体拘束最小化カンファレンス　216件<br>チーム活動：計２件<br>・精神科リエゾンチーム<br>・身体拘束最小化チーム<br>委員会在籍：計５件<br>・虐待防止小委員会<br>・スペシャリスト活動部会<br>・身体拘束最小化ワーキンググループ<br>・医療保護入院者退院支援委員会／精神科身体拘束最小化委員会 |
| 手術看護認定看護師 | 佐　伯　　猛 | 実践件数：計184件<br>・術前看護外来　184件<br>チーム活動：計３件<br>・手術室災害訓練<br>（12/29企画・実施・ファシリテーター・評価者）<br>・臓器摘出手術準備訓練<br>（12/29企画・実施・ファシリテーター・評価者）<br>・血管内治療中の患者急変シミュレーション訓練<br>（12/26評価者）<br>委員会在籍：計４件<br>・臓器提供検討委員会<br>・手術室運営委員会（拡大含む）（事務局）<br>・手術室適正使用小委員会<br>・スペシャリスト活動部会 |
| 新生児集中ケア認定看護師 | 佐　藤　ゆかり | チーム活動：計１件<br>・学習班チーム<br>委員会在籍：計２件<br>・褥瘡予防対策リンクナース<br>・スペシャリスト活動部会 |

| 分　野 | 氏　名 | 活　動　内　容 |
|---|---|---|
| 精神看護専門看護師 | 山　本　幸　子 | 実践件数：計1,232件<br>・精神科リエゾンカンファレンス　910件<br>・身体拘束最小化カンファレンス　216件<br>・救急患者精神科継続支援カンファレンス　58件<br>・救急患者精神科継続支援面談　26件<br>・産業保健メンタルヘルス面談　22件<br>チーム活動：計３件<br>・精神科リエゾンチーム<br>・身体拘束最小化チーム<br>・救急患者精神科継続支援チーム<br>委員会在籍：計５件<br>・スペシャリスト活動部会<br>・研究支援部会<br>・身体拘束最小化ワーキンググループ<br>・医療保護入院者退院支援委員会<br>・精神科身体拘束最小化委員会 |

2）教　育

| 分　野 | 氏　名 | 活　動　内　容 |
|---|---|---|
| 慢性疾患看護専門看護師 | 伊　藤　　史 | 院内：計４件<br>・院内看護技術研修（講師・企画）２件<br>・スペシャリストナビ（司会）<br>・ラダーⅡ　事例研修（講師）<br>院外（十勝圏内）：計４件<br>・看護フェア「療養者を支えるために必要な判断力とは－何を見て、何を考え、どう道筋をつけているのか」（講師）<br>・小規模施設間交流研修「慢性病を持つ人への在宅療養支援～暮らしを見るコツを学ぶ」（講師）<br>・大谷短期大学看護学科２学年講義（講師）２件<br>院外（十勝圏外）：計２件<br>・慢性疾患看護専門看護師研究会／20周年記念会（企画・司会）２件 |
| がん看護専門看護師<br>緩和ケア認定看護師 | 小田島　綾　子 | 院内：計5件<br>・第８回 ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育研修（企画責任者・講師・ファシリテーター）＊院内外<br>・６南病棟学習会臨床倫理（講師）<br>・エンゼルケア勉強会（企画・運営）<br>・院内看護技術研修（講師）<br>・ホスピス緩和ケア週間イベント（企画・運営・講師）<br>院外（十勝圏内）：計５件<br>・看護フェア（講師）<br>・帯広高等看護学校（講師）<br>・帯広大谷短期大学（講師）<br>・令和７年度 NST 専門療法士実地修練カリキュラム（講師）<br>・摩周厚生病院及び特養摩周ラウンドと学習会　各２回 |
| 感染症看護専門看護師<br>感染管理認定看護師 | 原　　理　加 | 院内：計16件<br>・院内看護技術研修　１件<br>・中途採用者オリエンテーション（講師）１件<br>・新入医師オリエンテーション　１件<br>・新任科長・係長オリエンテーション（講師）１件<br>・NST 専門療法士臨床実地修練（講師）２件<br>・ICT 研修会（講師）２件（N95マスク、手指衛生）<br>・感染リンクスタッフ会議ミニレクチャー　８件 |

| 分　野 | 氏　名 | 活　動　内　容 |
|---|---|---|
| | | 院外（十勝圏内）：計10件<br>・看護フェア（講師）１件<br>・帯広高等看護学院　講義（講師）４件<br>・大谷短期大学　講義（講師）１件<br>・出張出前講座　３件<br>・十勝ホームヘルプサービス協議会研修会講師　１件<br>院外（十勝圏外）：計５件<br>・摩周厚生病院及び特養摩周ラウンドと学習会（講師）各２件<br>・市立釧路総合病院院内感染対策研修会（講師）１１件<br>・北海道医療大学大学院　講義　１件<br>・北海道医療大学大学院　演習講師　１件 |
| 皮膚・排泄ケア認定看護師 | 大　椋　友　美 | 院内：計６件<br>・新任看護職員研修「スキンケア・褥瘡予防対策について」（講師）<br>・中途採用者看護職員研修「スキンケア・褥瘡予防対策」（講師）２回<br>・院内看護技術研修「摂食姿勢とポジショニング」<br>・医療安全学習会「題：褥瘡予防ニュース」（講師）<br>・NST 専門療法士臨床実地修練（講師）<br>院外（十勝圏内）：計15件<br>・スペシャリスト活動部会看護フェア「こんな傷は急いで受診」講師<br>・小規模施設間交流研修「褥瘡予防とポジショニング」（講師）<br>・看護学校（帯広高等看護学院・帯広医師会看護専門学校・帯広大谷短期大学）非常勤講師　計12回<br>・花王プロフェッショナルセミナー　共同企画開催（市内の CN）<br>院外（十勝圏外）：計２件<br>・摩周厚生病院及び特養摩周ラウンドと学習会　各２件 |
| 摂食嚥下障害看護認定看護師 | 河　本　友　香 | 院内：計５件<br>・新人看護職員オリエンテーション（食事援助・口腔ケア）（講師）<br>・院内看護技術体験研修（多重課題／摂食姿勢とポジショニング）２回<br>・NST 専門療法士臨床実地修練（講師）<br>・NST コア部会　研修医セミナー（講師）<br>院外（十勝圏内）：計６件<br>・看護フェア（講師）<br>・小規模施設間交流研修（講師）「褥瘡予防とポジショニング」<br>・帯広高等看護学院　基礎看護技術　講義（講師）２件<br>・帯広市医師会看護専門学校　講義（講師）<br>・花王プロフェッショナルセミナー（講師）<br>院外（十勝圏外）：計５件<br>・日本摂食嚥下障害看護研究会支部研修会（ファシリテーター）<br>・新人看護職員研修（食事援助・口腔ケア）遠軽厚生病院（講師）<br>・摩周厚生病院　特養摩周　ラウンド／学習会（講師）２件<br>・旭川厚生看護専門学校　老年看護学援助論（食事）（講師） |

| 分　野 | 氏　名 | 活　動　内　容 |
|---|---|---|
| 集中ケア認定看護師 | 須　永　弘　美 | 院内：計２件<br>・院内看護技術研修<br>・医療安全学習会「酸素療法について」<br>院外（十勝圏内）：計２件<br>・看護フェア　ワンポイントレクチャー「これって本当に急変ですか」（講師）<br>・小規模施設間交流研修（講師）：「人工呼吸器の基礎」<br>院外（十勝圏外）：計１件<br>・遠軽厚生病院新人看護研修（講師）：フィジカルアセスメント |
| 集中ケア認定看護師 | 加　治　ますみ | 院内：計６件<br>・院内看護技術研修（ファシリテーター）<br>・３北学習会（講師）：４件～Ａライン、吸引、酸素療法、人工呼吸器<br>・新人看護師オリエンテーション（講師）<br>院外（十勝圏内）：計３件<br>・看護フェア（講師）<br>・小規模施設間交流研修（講師）<br>・帯広高等看護学院（講師） |
| 乳がん看護認定看護師 | 太　田　美　幸 | 院内：計７件<br>・院内看護技術研修（ファシリテーター）<br>・ラダーⅠパート８タッチング研修（講義・演習）<br>・ブレスト・アウェアネス学習会（講師）<br>・病棟学習会　３件<br>・外来学習会<br>院外（十勝圏内）：計３件<br>・小規模施設間交流研修（講師）<br>・ELNEC-J 研修（講師・ファシリテーター）<br>・帯広市医会看護高等学校講義（講師） |
| 乳がん看護認定看護師 | 河　合　美　紀 | 院外（十勝圏内）：計２件<br>・看護フェア（講師）<br>・小規模施設間交流研修会（講師）<br>院外（十勝圏外）：計１件<br>・浦河赤十字看護専門学校（講師） |
| がん性疼痛看護認定看護師 | 黒　川　文　吾 | 院内：計８件<br>・ELNEC-J 研修（講師）<br>・病棟学習会（講師）７件<br>院外（十勝圏内）：計３件<br>・看護フェア（司会・講師）<br>・小規模施設間交流研修（講師）<br>・帯広高等看護学院　講義（講師）<br>院外（十勝圏外）：計２件<br>・他院 ELNEC-J 研修（講師）2件（旭川厚生病院、札幌厚生病院） |
| がん化学療法看護認定看護師 | 尾　谷　優　子 | 院内：計７件<br>・院内看護技術研修（ファシリテーター・講師）２件<br>・新入職員研修（講師）<br>・オンライン　がんサロン　エンポックル（講師）<br>・中央治療　学習会（講師）３件<br>院外（十勝圏内）：計４件<br>・看護フェア（講師）<br>・小規模施設間交流研修（講師）<br>・帯広高等看護学院　講義（講師） |

| 分　野 | 氏　名 | 活　動　内　容 |
|---|---|---|
| がん化学療法看護認定看護師 | 西　川　真　紀 | 院内：計４件<br>・院内看護技術研修（ファシリテーター）<br>・病棟化学療法学習会（講師）３件<br>院外（十勝圏内）：計３件<br>・看護フェア（講師）<br>・小規模施設間交流研修（講師）<br>・ELNEC 研修（ファシリテーター） |
| 認知症看護認定看護師 | 和　淵　ゆかり | 院内：計３件<br>・新人看護職員研修パートⅠ講義　講師<br>・院内看護技術研修（司会・ファシリテーター）<br>・オンライン　がんサロン　エンポックル（講師）<br>院外（十勝圏内）：計３件<br>・帯広高等看護学院（講師）<br>・看護フェア（講師）<br>・小規模施設間交流研修（講師） |
| 手術看護認定看護師 | 佐　伯　　猛 | 院内：計５件<br>・院内看護技術研修（ファシリテーター）<br>・手術室新人・異動者オリエンテーション（講師）３件<br>・初期研修医事前オリエンテーション<br>院外（十勝圏内）：計７件<br>・看護フェア（講師）<br>・帯広協会病院手術看護研修（講師）<br>・帯広市医師会看護専門学校「成人看護学方法論Ⅴ周術期看護」（講師）５件<br>院外（十勝圏外）：計４件<br>・小規模施設間交流研修（手術体位シミュレーション・講師）<br>・小規模施設間交流研修（麻酔の種類と看護・講師）<br>・倶知安厚生病院「手術部手術看護研修会」（講師）<br>・solventum 皮膚トラブル対策 WEB セミナー（講師） |
| 新生児集中ケア認定看護師 | 佐　藤　ゆかり | 院内：計７件<br>・看護技術研修（ファシリテーター）<br>・新生児蘇生法講習会（インストラクター）６件<br>院外（十勝圏内）：計１件<br>・小規模施設間交流研修（講師）「新生児看護　NotDoingWell 力を高める」 |
| 精神看護専門看護師 | 山　本　幸　子 | 院内：計６件<br>・院内看護技術体験研修（ファシリテーター）<br>・新人職員教育部会　多重課題（ファシリテーター）<br>・ラダーⅢ　看護研究（講師）<br>・５西病棟学習会２件　虐待防止のための TIC・カンフォータブルケア・CVPPP、精神科薬物療法の看護<br>・介護福祉士研修　高齢・認知症患者のかかわり方や対応について<br>院外（十勝圏内）：計４件<br>・帯広高等看護学院（講師）<br>・看護フェア（講師）<br>・小規模施設間交流研修（講師）<br>・西十勝医療懇話会（演者）<br>院外（十勝圏外）：計２件<br>・不眠症治療セミナーin 根室（演者）<br>・不眠症治療戦略 Up-to-date 講演会 in 釧路（演者） |

3）相　　談

| 分　　野 | 氏　　名 | 活　動　内　容 |
|---|---|---|
| 慢性疾患看護専門看護師 | 伊　藤　　史 | 相談：計５件（院内：病棟５件）<br>・在宅移行支援に関すること |
| がん看護専門看護師緩和ケア認定看護師 | 小田島　綾　子 | 相談：緩和ケアチーム計170件（院内：病棟170件）<br>・疼痛、疼痛以外の身体的苦痛症状、精神的苦痛症状、緩和ケア病棟申し込み等への対応 |
| 感染症看護専門看護師<br>感染管理認定看護師 | 原　　理　加 | 相談：計608件（院内：550件　院外：58件）<br>・院内外ともに感染症の感染対策の実施方法、実施期間に関するものが多くみられる。 |
| 皮膚・排泄ケア認定看護師 | 大　椋　友　美 | 相談：計355件（院内：外来301件／院外：54件）<br>・創傷及び褥瘡、ストーマ、失禁関連皮膚炎や瘻孔管理<br>・院外は、ストーマ造設後リハビリ転院先での皮膚障害やストーマ合併症 |
| 摂食嚥下障害看護認定看護師 | 河　本　友　香 | 相談：計128件（院内：外来６件／病棟122件）<br>・口腔ケア51件・嚥下機能評価12件・食形態32件<br>・食事援助12件・嚥下機能訓練３件<br>・気管カニューレ管理17件・胃ろう管理１件 |
| 集中ケア認定看護師 | 須　永　弘　美 | 相談：計５件（院内：外来５件）<br>・マスクフィッティング、NPPV 導入について、アンカーファストについて<br>・人工呼吸器装着患者の看護について |
| 集中ケア認定看護師 | 加　治　ますみ | 相談：計１件（院内：病棟１件）<br>・NPPV マスクの選定 |
| 乳がん看護認定看護師 | 太　田　美　幸 | 相談：計87件（院内：85件　院外：２件）<br>・自壊創ケア、むくみに関すること、アピアランスケア |
| がん性疼痛看護認定看護師 | 黒　川　文　吾 | 相談：計35件（院内：外来４件／病棟31件）<br>・疼痛コントロール、薬剤使用方法、薬剤指導についての相談 |
| がん化学療法看護認定看護師 | 尾　谷　優　子 | 相談：計32件（院内：外来　22件／病棟10件　院外：　件）<br>・レジメンについて、投与経路について、副作用症状について、アイスグローブの使い方、アピアランスケアについて、曝露対策について |
| がん化学療法看護認定看護師 | 西　川　真　紀 | 相談：計29件（院内：病棟29件）<br>・投与経路や使用材料など投与管理に関すること<br>・副作用対策、アピアランスケア<br>・曝露対策<br>・療養生活における心理サポートに関すること |
| 認知症看護認定看護師 | 和　淵　ゆかり | 相談：計25件（院内：外来１件／病棟24件）<br>・精神科受診について、身体拘束カンファレンス、ケースワーク（認知症独居高齢者）、高齢者虐待、介護保険について、離院しそうなケース、若年性認知症 |
| 手術看護認定看護師 | 佐　伯　　猛 | 相談：計68件（院内：外来８件／病棟32件　院外：28件）<br>・術後皮膚、神経トラブル　・術前準備に関すること<br>・中材管理について・周術期の入院前について<br>・カンファレンス<br>・手術室の感染管理関係　・手術室医療安全関係<br>・災害関連　・移植医療について |

| 分　野 | 氏　名 | 活　動　内　容 |
|---|---|---|
| 精神看護専門看護師 | 山　本　幸　子 | 相談：計６件（院内：外来２件／病棟４件）<br>・認知力低下が疑われる患者への対応について<br>・医療依存がある患者の対応について<br>・頻回で自己中心的なふるまいをする患者の対応について<br>・精神疾患をもつ患者のお看取りについて |

4）研究・研鑽

| 分　野 | 氏　名 | 活　動　内　容 |
|---|---|---|
| 慢性疾患看護専門看護師 | 伊　藤　　史 | 研究活動：計６件（発表１件／共同５件）<br>・第19回日本慢性看護学会学術集会「慢性呼吸器疾患患者の息切れマネジメントに関わる看護師が行う支援の実態」発表、その他1演題（共同）<br>・第１回日本高度実践看護学会学術集会１演題（共同）<br>・第35回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会３演題（共同）<br>研修参加：計１件<br>・北海道専門看護師の会慢性疾患看護領域学習会<br>学会参加：計３件<br>・第19回日本慢性看護学会学術集会<br>・第62回／20周年記念会慢性疾患看護専門看護師研究会 |
| がん看護専門看護師<br>緩和ケア認定看護師 | 小田島　綾　子 | 研究活動：計１件（発表１件）<br>・研究協力（データ提出）：「患者報告型アウトカムを用いた緩和ケアチームにより提供される専門的緩和ケアの質の評価のための多施設調査」<br>学会参加：計１件<br>・第30回日本緩和医療学会学術集会 |
| 感染症看護専門看護師<br>感染管理認定看護師 | 原　　理　加 | 研究活動：計２件（発表２件／）<br>・第40回日本環境感染学会学術集会「当院における血液培養陽性者の中間報告時での介入についての検討」発表<br>・第29回日本看護管理学会学会学術集会「感染管理組織における PIRK 理論に基づいたリンクスタッフの育成と活用」発表<br>研修参加：計10件<br>・感染症看護専門看護師会　感染症看護事例検討会ファシリテーター　１件<br>・肺炎診療に関わるオンライン研修　１件<br>・札幌市民効果回講義　ダニ媒介感染症研修　１件<br>・COVID-19に関するオンラインセミナー　３件<br>・滅菌 web セミナー　１件<br>・１類感染症に関するオンラインセミナー　１件<br>・臨床薬剤師感染症講座　今後の感染制御を考える最新トピックス　１件<br>・HIV オンライン講座　１件<br>学会参加：計２件<br>・第40回日本環境感染学会学術集会<br>・第29回日本看護管理学会学術集会 |
| 皮膚・排泄ケア認定看護師 | 大　椋　友　美 | 研修参加：計４件<br>・「IAD の予防と管理において病棟の看護師が求める支援」WEB 研修<br>・「IAD ケアを現場に根付かせる・質を変える・つながる」WEB<br>・「手術室における皮膚トラブル対策の標準化と実践」WEB 研修<br>・「様々な職種とのコラボレーションで高まる WOC ケア」WEB |

| 分　野 | 氏　名 | 活　動　内　容 |
|---|---|---|
| | | 学会参加：計４件<br>・第34回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会<br>・第27回日本褥瘡学会学術集会<br>・第43回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会<br>・第24回日本褥瘡学会　北海道地方会学術集会 |
| 摂食嚥下障害看護認定看護師 | 河　本　友　香 | 研修参加：１件<br>・「在宅支援における大切な特定行為と情報提供」WEB 研修<br>学会参加：計２件<br>・第31回日本摂食嚥下リハビリテーション学会　学術集会<br>・第41回日本栄養治療学会　学術集会 |
| 集中ケア認定看護師 | 須　永　弘　美 | 研修参加：計６件<br>・第22回東海 RST 協力会セミナー<br>・第42回神奈川呼吸療法カンファレンス<br>・第33回 JSEPTIC 看護部会セミナー<br>・第12回人工呼吸器トラブルシューティングセミナー<br>・重症患者の睡眠アプローチ<br>・集中治療領域における特定行為研修修了者の活用<br>学会参加：計１件<br>・第52回日本集中治療医学会学術集会学会<br>その他：計１件<br>・2025年度特定行為研修領域別パッケージ「救急領域」受講 |
| 乳がん看護認定看護師 | 太　田　美　幸 | 研修参加：計67件<br>・2025年度がん患者の抱えるアピアランスケア問題への心理社会的支援のための研修会<br>・子どもを持つがん患者をさせる実践ワークショップ2025<br>・第11回北海道乳がん看護研究会<br>・AYA 世代がんサポート研修会　２件<br>・日本がん相談研究会研修　２件<br>・H BOC、ゲノム関連セミナー　５件<br>・アピアランス・妊孕性関連セミナー　３件<br>・乳がん治療関連（製薬会社）セミナー　50件<br>・自殺予防関連　２件<br>学会参加：計３件<br>・第33回日本乳癌学会学術総会<br>・第23回日本乳癌学会北海道地方会<br>・第５回 JOHBOC 学術総会（WEB） |
| 乳がん看護認定看護師 | 河　合　美　紀 | 学会参加：計４件<br>・第33回日本乳癌学会<br>・日本乳がん看護研究会<br>・日本がん看護学会<br>・第23回日本乳癌学会北海道地方会 |
| がん化学療法看護認定看護師 | 尾　谷　優　子 | 研修参加：計11件<br>・2025年アピアランスケア e-learning 研修（国がん）<br>・化学療法関連（製薬会社）セミナー　10件<br>学会参加：計２件<br>・第40回日本がん看護学会学術集会（WEB）<br>・第５回 JOHBOC 学術総会（WEB） |
| がん化学療法看護認定看護師 | 西　川　真　紀 | 研修参加：計４件<br>・化学療法関連（製薬会社）セミナー　４件<br>学会参加：計２件<br>・第63回日本癌治療学会学術集会<br>・第48回日本造血・免疫細胞療法学会総会 |

| 分　野 | 氏　名 | 活　動　内　容 |
|---|---|---|
| 認知症看護認定看護師 | 和　淵　ゆかり | 研修参加：計３件<br>・看護師のための不眠診療 WEB セミナーin 道東（Web）２件<br>・３学会合同呼吸療法認定士認定更新のための講習会　１件<br>学会参加：計1件<br>・第50回精神科看護学会（Web） |
| 手術看護認定看護師 | 佐　伯　　猛 | 研究活動：計１件（共同１件）<br>・第26回日本脳神経血管内治療学会北海道地方会「急性期脳梗塞患者の搬入から血管内治療までの時間短縮への取り組み」（共同）<br>研修参加：計３件<br>・北海道における心臓移植の現状と未来<br>・solventum 手術室 WEB セミナー<br>・院内コーディネーター講習会<br>学会参加：計２件<br>・第39回日本手術看護学会年次大会<br>・第47回日本手術医学会 |
| 新生児集中ケア認定看護師 | 佐　藤　ゆかり | 研修参加：計２件<br>・北海道新生児集中ケア認定看護師会　２件<br>学会参加：計２件<br>・第34回新生児看護学会<br>・第61回日本周産期新生児医学会学術集会 |
| 精神看護専門看護師 | 山　本　幸　子 | 研究活動（学会発表）：１件<br>・第35回日本精神保健看護学会「身体科病棟看護師における精神疾患を有する入院患者との心理的距離」（ポスター発表）<br>研修参加：計２件<br>・看護師のための不眠診療 WEB セミナーin 道東（Web）<br>・札幌医科大学精神科領域オープンゼミ<br>学会参加：計２件<br>・第35回日本精神保健看護学会<br>・第68回日本病院・地域精神医学会総会 |

5）社会活動

| 分　野 | 氏　名 | 活　動　内　容 |
|---|---|---|
| 慢性疾患看護専門看護師 | 伊　藤　　史 | 社会活動：計２件<br>・スペナビ<br>・日本慢性看護学会評議員 |
| がん看護専門看護師<br>緩和ケア認定看護師 | 小田島　綾　子 | 社会活動：計２件<br>・スペナビ<br>・出前講座　音更病院「看取りのケアについて」（講師） |
| 感染症看護専門看護師<br>感染管理認定看護師 | 原　　理　加 | 社会活動：計５件<br>・スペナビ<br>・日本看護協会看護学会誌査読委員<br>・北海道医療大学大学院非常勤講師<br>・釧路工業高等専門学校感染症対策に関するアドバイザー委託<br>・令和７年度北海道社会貢献賞（優良看護職員）受賞 |

| 分　野 | 氏　名 | 活　動　内　容 |
|---|---|---|
| 皮膚・排泄ケア認定看護師 | 大　椋　友　美 | 社会活動：計３件<br>・スペナビ<br>・出前講座　あんじゅ音更「アセスメントを褥瘡予防ケアに繋げる」<br>・出前講座　音更病院「WOC 関連患者ラウンド」 |
| 摂食嚥下障害看護認定看護師 | 河　本　友　香 | 社会活動：計４件<br>・スペナビ<br>・日本摂食嚥下障害看護研修会　北海道支部委員<br>・出張出前講座　病院・施設向け（音更病院・第一病院）（講師）２件 |
| 乳がん看護認定看護師 | 太　田　美　幸 | 社会活動：計５件<br>・スペナビ<br>・北海道 BCN 研究会世話人<br>・出張出前講座（講師）３件 |
| 乳がん看護認定看護師 | 河　合　美　紀 | 社会活動：計３件<br>・スペナビ<br>・家庭介護教室（ＪＡ婦人部）<br>・出張出前講座（講師） |
| がん性疼痛看護認定看護師 | 黒　川　文　吾 | 社会活動：計１件<br>・スペナビ |
| がん化学療法看護認定看護師 | 尾　谷　優　子 | 社会活動：計１件<br>・スペナビ |
| がん化学療法看護認定看護師 | 西　川　真　紀 | 社会活動：計１件<br>・スペナビ |
| 認知症看護認定看護師 | 和　淵　ゆかり | 社会活動：計２件<br>・出張出前講座（講師）２件 |
| 手術看護認定看護師 | 佐　伯　　猛 | 社会活動：計４件<br>・北海道移植医療推進財団主催「出張出前講座　いのちの贈りもの」（幕別清陵高校　講師）<br>・北海道移植医療推進財団コアメンバー<br>・北海道移植医療推進財団道東支部会委員<br>・厚生労働省臓器提供施設連携体制構築事業の拠点病院（北大）との連携施設会議 |
| 新生児集中ケア認定看護師 | 佐　藤　ゆかり | 社会活動：計１件<br>・スペナビ |
| 精神看護専門看護師 | 山　本　幸　子 | 社会活動：計２件<br>・スペナビ<br>・帯広小学校「みるみる未来教室（６年生）」講師 |

（文責／看護部長　小野　悦子）

# 薬剤部

| | 令和５年度 | 令和６年度 | 令和７年度 |
|---|---|---|---|
| **処方箋枚数** | | | |
| 外　　来 | 185, 544 | 174, 313 | 177, 947 |
| １日平均 | 761 | 704 | 732 |
| 入　　院 | 114, 454 | 112, 783 | 113, 201 |
| １日平均 | 313 | 309 | 310 |
| **薬剤情報提供** | | | |
| 合　　計 | 143, 258 | 136, 830 | 139, 021 |
| 月 平 均 | 11, 938 | 11, 403 | 11, 585 |
| **お薬手帳記載** | | | |
| 合　　計 | 84, 260 | 83, 524 | 93, 707 |
| 月 平 均 | 7, 022 | 6, 960 | 7, 809 |
| **薬剤管理指導** | | | |
| 合　　計 | 5, 137 | 6, 739 | 6, 402 |
| 月 平 均 | 428 | 562 | 533. 5 |
| **麻薬管理指導** | | | |
| 合　　計 | 432 | 620 | 589 |
| 月 平 均 | 36 | 52 | 49 |
| **退院時服薬指導** | | | |
| 合　　計 | 1, 239 | 1, 445 | 1, 359 |
| 月 平 均 | 103 | 120 | 113 |
| **TPN 調製** | | | |
| 合　　計 | 128 | 53 | 278 |
| 月 平 均 | 11 | 4 | 23 |
| **抗悪性腫瘍剤調製** | | | |
| 合　　計 | 17, 072 | 16, 264 | 15, 865 |
| 月 平 均 | 1, 423 | 1, 355 | 1, 322 |
| **術前面談数** | | | |
| 合　　計 | 141 | 132 | 118 |
| 月 平 均 | 11. 8 | 11. 0 | 9. 8 |

外来処方箋枚数は前年度比102％、外来処方箋枚数の増加に伴い手帳記載加算件数も増加となり、服薬管理に継続して取り組んだ成果が表れてると言えます。薬剤管理指導、麻薬管理指導、退院時服薬指導といずれも減少はしましたが、入院から退院までの業務の継続性が維持されていると言えます。TPN 調製件数は前年度比525％と大きく増加したが、抗がん剤調製件数については減少となった。全般的に人員等の問題がありながらも、業務の質は維持・向上できていた１年と考えています。

（文責／薬局長　鈴木　千波）

# 放射線技術科

| | | 令和５年度 | | 令和６年度 | | 令和７年度 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 外来件数 | 入院件数 | 外来件数 | 入院件数 | 外来件数 | 入院件数 |
| 画像診断 | | | | | | | |
| Ｘ線検査 | 単純撮影 | 62, 909 | 35, 459 | 62, 476 | 34, 856 | 64, 537 | 33, 387 |
| | 乳房撮影 | 1, 021 | 7 | 941 | 4 | 894 | 1 |
| | ポータブル撮影（再掲） | 956 | 16, 747 | 839 | 16, 846 | 796 | 14, 822 |
| | 特殊撮影 | 97 | 4 | 74 | 7 | 67 | 3 |
| 核医学検査 | RI・SPECT | 622 | 628 | 628 | 559 | 597 | 671 |
| | PET-CT | 1, 128 | 37 | 1, 117 | 23 | 1, 079 | 20 |
| ＣＴ検査 | 単純 | 11, 167 | 4, 150 | 11, 310 | 4, 062 | 11, 324 | 3, 718 |
| | 造影 | 10, 497 | 2, 328 | 9, 875 | 2, 132 | 9, 782 | 1, 932 |
| ＭＲＩ検査 | 単純 | 7, 452 | 2, 967 | 7, 904 | 3, 138 | 7, 980 | 2, 743 |
| | 造影 | 2, 390 | 539 | 2, 315 | 518 | 2, 209 | 542 |
| 造影・透視 | | | | | | | |
| Ｘ線ＴＶ | 検査 | 2 | 62 | 1 | 32 | 0 | 37 |
| | 手術 | 194 | 365 | 166 | 388 | 179 | 395 |
| | 画像診断 | 587 | 766 | 492 | 735 | 531 | 789 |
| 血管造影 | 検査 | 21 | 272 | 14 | 209 | 10 | 307 |
| | 手術 | 604 | 1, 116 | 550 | 1, 081 | 446 | 1, 452 |
| | 画像診断 | 16 | 460 | 26 | 464 | 38 | 538 |
| 検査 | | | | | | | |
| 超音波検査 | 胸腹部（単純） | 3, 222 | 692 | 2, 568 | 583 | 2, 570 | 513 |
| | 胸腹部（造影） | 94 | 10 | 77 | 3 | 101 | 2 |
| | その他（乳腺、表在、他） | 5, 676 | 1, 552 | 5, 394 | 1, 472 | 5, 773 | 1, 496 |
| | 心臓超音波 | 3, 440 | 2, 064 | 3, 203 | 2, 027 | 3, 475 | 1, 913 |
| | パルスドプラー加算 | 1, 327 | 1, 409 | 1, 214 | 1, 360 | 1, 408 | 1, 325 |
| 骨塩定量 | ＤＥＸＡ法（腰椎） | 1, 074 | 246 | 1, 039 | 202 | 1, 213 | 374 |
| | 大腿骨同時加算 | 974 | 222 | 955 | 182 | 1, 137 | 354 |
| | その他 | 4 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 |
| 内視鏡検査 | Ｘ線ＴＶ室 | 42 | 69 | 30 | 50 | 41 | 73 |
| その他 | | 457 | 166 | 395 | 121 | 349 | 125 |

| 放射線治療 | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 体外照射 | リニアック | 5, 674 | 2, 089 | 6, 247 | 3, 145 | 8, 218 | 2, 881 |

| 人間ドック・健診 | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 単純撮影 | 胸部 | 16, 338 | 16, 361 | 16, 483 |
| | 乳房撮影 | 3, 842 | 3, 788 | 3, 633 |
| 造影検査 | 胃部 | 12, 085 | 11, 588 | 11, 041 |
| 超音波検査 | 腹部 | 14, 446 | 14, 495 | 14, 520 |
| | 頸動脈 | 1, 602 | 1, 601 | 1, 474 |
| | 脂肪肝ドック | | | |
| 骨塩定量 | その他（前腕） | 1, 515 | 1, 486 | 1, 433 |
| ＰＥＴ－ＣＴ撮影 | | 115 | 111 | 135 |
| ＣＴ撮影 | 肺ドック | 561 | 603 | 511 |
| | 脂肪肝ドック | 72 | | |
| ＭＲＩ撮影 | 脳ドック | 1, 328 | 1, 368 | 1, 048 |
| 巡回検診 | | | | |
| 単純撮影 | 胸部 | 7, 705 | 8, 009 | 7, 203 |
| 造影撮影 | 胃部 | 2, 927 | 2, 853 | 2, 165 |
| 骨塩定量 | その他（前腕） | 533 | 0 | 0 |

令和７年度は診療放射線技師40名、医療助手５名にて業務を実施した．昨年度より人員が少ない中での診療ではあったが、業務効率化を図るなどの工夫を行い、各モダリティにて前年比95％以上の検査件数を施行しえた．主な内訳としてＸ線検査は前年比106.2％、ＵＳ検査は表在107.0％、心臓108.5％の増加となる。放射線治療は外来131.6％、ＲＩにおける入院 SPECT は120.0％と増加し好調であった。学術活動は例年通り各種学会にて研究発表や座長、講師などに積極的に取り組んだ。資格取得については画像等手術支援認定診療放射線技師、検診マンモグラフィ撮影診療放射線技師、乳房超音波技術講習会評価Ａなどを取得した。また学生実習は１大学、３名を受け入れ臨床実習を行った。当科は日本救急撮影技師認定機構より実地研修施設にも指定されており、１名の実地研修受け入れを行った。

（文責／放射線技術科　技師長　中村　俊一）

# 臨床検査技術科

（単位：件）

| | 令和５年度 | 令和６年度 | 令和７年度 |
|---|---|---|---|
| **臨床検査分野別** | | | |
| 尿検査 | 160, 907 | 154, 433 | 151, 184 |
| 糞便検査 | 1, 480 | 1, 334 | 1, 269 |
| 穿刺液・採取液 | 2, 116 | 2, 056 | 2, 490 |
| 血疫学的検査 | 598, 938 | 567, 691 | 522, 225 |
| 生化学的検査（Ⅰ） | 3, 058, 782 | 2, 964, 805 | 2, 884, 857 |
| 生化学的検査（Ⅱ） | 200, 670 | 184, 820 | 180, 050 |
| 免疫学的検査 | 315, 195 | 300, 422 | 283, 096 |
| 微生物学的検査 | 74, 731 | 70, 336 | 60, 915 |
| 病理学的検査 | 28, 332 | 27, 655 | 29, 865 |
| 負荷試験 | 128 | 229 | 204 |
| 生理学的検査 | 33, 943 | 31, 474 | 31, 537 |
| **その他** | | | |
| 人間ドック（検体検査） | 416, 176 | 424, 235 | 424, 612 |
| 人間ドック（生理検査） | 50, 202 | 52, 608 | 51, 993 |
| 巡回ドック（検体検査） | 122, 773 | 125, 123 | 110, 961 |
| 巡回ドック（生理検査） | 7, 077 | 7, 086 | 6, 546 |
| 事業所健診 | 16, 875 | 17, 203 | 18, 804 |
| その他の検診 | 160, 089 | 141, 165 | 127, 372 |
| 受託検査 | 271 | 272 | 255 |

臨床検査技師34名、医療助手５名の要員体制にて各種検査業務・外来採血業務などに従事した。検査実績は、病理学的検査で増加するも多くの分野において前年度と比較において下回る実績となった。第三者認証では、臨床検査の国際規格 ISO15189の更新時再審査を受審し認定の継続がなされた。今後も検体検査・病理検査・生理検査の各検査領域における QMS や検査技術の品質向上を目標に活動を取り進める予定である。

学術認定では、日本臨床細胞学会において細胞検査士に１名、日臨技認定において認定心電検査技師に１名、日本経腸栄養学会において NST 専門療法士に１名が認定された。外部学会関連では、日臨技北日本支部学会に１名、北海道農村医学会に１名、北海道医学検査学会に１名、北海道医学検査学会十勝地区会に２名が演題発表を行った。

（文責／臨床検査技術科　技師長　樋田　郁治）

令和７年度　診療科別血液製剤・アルブミン製剤使用状況

| | 赤血球製剤（単位） | 自己血（単位） | 血漿製剤（単位） | 血小板製剤（単位） | アルブミン製剤（ｇ） | | FFP/RBC比（0.54未満） | ALB/RBC比（2.0未満） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 等張 | 高張 | | |
| 呼吸器内科 | 398 | 0 | 4 | 85 | 0.0 | 0.0 | 0.01 | 0.0 |
| 循環器内科 | 386 | 0 | 226 | 155 | 225.0 | 625.0 | 0.34 | 0.6 |
| 消化器内科 | 888 | 0 | 298 | 195 | 75.0 | 1,725.0 | 0.20 | 0.7 |
| 血液内科 | 2,874 | 0 | 148 | 14,415 | 0.0 | 325.0 | 0.05 | 0.0 |
| 神経内科 | 82 | 0 | 512 | 30 | 15,712.5 | 112.5 | 3.20 | 0.5 |
| 小児科 | 64 | 0 | 30 | 175 | 162.5 | 512.5 | 0.44 | 0.9 |
| 外科 | 726 | 0 | 54 | 85 | 475.0 | 575.0 | 0.07 | 0.5 |
| 心臓血管外科 | 294 | 118 | 258 | 480 | 0.0 | 0.0 | 0.63 | 0.0 |
| 整形外科 | 736 | 91 | 38 | 105 | 0.0 | 0.0 | 0.05 | 0.0 |
| 脳神経外科 | 158 | 0 | 28 | 40 | 37.5 | 37.5 | 0.18 | 0.2 |
| 産婦人科 | 694 | 14 | 92 | 335 | 12.5 | 175.0 | 0.13 | 0.1 |
| 眼科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 0.0 | 0.00 | 0.0 |
| 泌尿器科 | 152 | 0 | 10 | 25 | 0.0 | 50.0 | 0.07 | 0.1 |
| 耳鼻咽喉科 | 114 | 0 | 88 | 20 | 0.0 | 550.0 | 0.77 | 1.6 |
| 形成外科 | 70 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 25.0 | 0.00 | 0.1 |
| 皮膚科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 0.0 | 0.00 | 0.0 |
| 精神科 | 18 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 0.0 | 0.00 | 0.0 |
| 麻酔科 | 376 | 0 | 252 | 400 | 0.0 | 12.5 | 0.67 | 0.0 |
| 放射線科 | 4 | 0 | 0 | 35 | 0.0 | 0.0 | 0.00 | 0.0 |
| 総合診療科 | 114 | 0 | 4 | 105 | 0.0 | 0.0 | 0.04 | 0.0 |
| 緩和支持科 | 32 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 50.0 | 0.00 | 0.5 |
| 救急科 | 728 | 0 | 872 | 225 | 137.5 | 50.0 | 1.11 | 0.1 |
| 計 | 8,908 | 223 | 2,914 | 16,910 | 16,837.5 | 4,825.0 | **0.26** | **0.2** |
| | | | | | 21,662.5 | | | |

・アルブミン製剤の使用量は、使用重量（ｇ）を３で除して得た値を単位数とする。
・自己血は、輸血量200mℓを１単位相当とみなす。
・新鮮凍結血漿は、輸血量120mℓを１単位相当とみなす。

**FFP/RBC 比、ALB/RBC 比の計算方法**

FFP/RBC 比＝（②－③/２）/①　　アルブミン /RBC 比＝（④－⑤）/①
①赤血球濃厚液（RBC）の使用量　②新鮮凍結血漿（FFP）の使用量
③血漿交換療法における新鮮凍結血漿の使用量　④アルブミン製剤の使用量
⑤血漿交換療法におけるアルブミン製剤の使用量

# 理学療法技術科・作業療法技術科

## 疾患別リハビリテーション実施単位数

| | 疾患別リハビリテーション | 令和５年度 | 令和６年度 | 令和７年度 |
|---|---|---|---|---|
| 理学療法 | 脳血管疾患 | 20, 191 | 19, 523 | 18, 738 |
| | 廃用症候群 | 13, 488 | 13, 049 | 14, 343 |
| | 運動器 | 22, 277 | 22, 020 | 22, 284 |
| | 呼吸器 | 10, 735 | 11, 302 | 10, 134 |
| | 心大血管疾患 | 7, 773 | 5, 379 | 5, 318 |
| | がん患者 | 8, 868 | 9, 800 | 10, 770 |
| | 計 | 83, 332 | 81, 073 | 81, 587 |
| 作業療法 | 脳血管疾患 | 16, 350 | 16, 908 | 17, 038 |
| | 廃用症候群 | 3, 935 | 3, 317 | 4, 447 |
| | 運動器 | 12, 820 | 15, 285 | 12, 495 |
| | 呼吸器 | 1, 576 | 3, 916 | 1, 717 |
| | 心大血管疾患 | 565 | 435 | 413 |
| | がん患者 | 2, 940 | 3, 738 | 3, 765 |
| | 計 | 38, 186 | 43, 599 | 39, 875 |
| 言語聴覚療法 | 脳血管疾患 | 11, 771 | 10, 601 | 12, 411 |
| | 廃用症候群 | 2, 566 | 2, 494 | 4, 383 |
| | 呼吸器 | 2, 602 | 2, 950 | 3, 031 |
| | がん患者 | 467 | 704 | 661 |
| | 計 | 17, 406 | 16, 749 | 20, 486 |
| 総計 | | 138, 924 | 141, 421 | 141, 948 |

ＰＴでは前年度より人員が２名減（2024年度中途退職含む）、８月からの休職１名と人員減ではあったが実施単位数は同等から微増と効率よく算定する事が出来た。ＯＴでは前年度より人員１名減、11月から休職１名、１～２月駐在１名と減少し実施単位数も約８％減少した。ＳＴは新人１名増、10月から育児休暇からの復職（育児勤務）があり人員増となり実施単位数も約20％増となった。全体では実施単位数は昨年同等から微増ではあるが人員数を考慮すると実施単位数を意識しながら効率よく業務に取り組めた１年であった。

（文責／理学療法技術科　技士長　高山　学）

# 臨床工学技術科

| | 令和５年度 | 令和６年度 | 令和７年度 |
|---|---|---|---|
| **血液浄化業務** | | | |
| 血液透析 | 12, 286 | 11, 703 | 10, 192 |
| 病棟透析 | 224 | 192 | 87 |
| 持続緩徐式血液濾過 | 343 | 321 | 212 |
| 血漿交換療法 | 124 | 119 | 179 |
| 吸着式血液浄化法 | 2 | 0 | 31 |
| 血球成分除去療法 | 126 | 93 | 51 |
| 胸水・腹水濾過濃縮再静注法 | 8 | 5 | 1 |
| **心臓検査治療関連業務** | | | |
| ペースメーカー関連 | 1, 275 | 1, 301 | 1, 344 |
| 検査関連 | 292 | 224 | 323 |
| 治療関連 | 247 | 242 | 375 |
| 補助循環関連 | 148 | 124 | 122 |
| **手術関連業務** | | | |
| 内視鏡下手術装置操作 | 1, 014 | 942 | 1, 080 |
| (ロボット支援手術:da Vinci操作) | (358) | (405) | (371) |
| 眼科手術装置操作 | 245 | 294 | 259 |
| レーザー照射装置操作 | 135 | 199 | 185 |
| 心臓血管外科装置操作 | 327 | 280 | 225 |
| 整形外科装置操作 | 122 | 114 | 130 |
| 脳神経外科装置操作 | 152 | 155 | 140 |
| ラジオ波焼灼装置操作 | 57 | 58 | 40 |
| その他の手術装置操作<br>(麻酔アシスタント) | 0 | 0 | 150 |
| 高気圧酸素治療 | 640 | 636 | 585 |
| **医療機器保守点検件数** | | | |
| ME センター | 28, 996 | 28, 811 | 28, 259 |
| ICU・CCU・NICU | 8, 381 | 7, 655 | 8, 010 |
| 手術室 | 37, 023 | 38, 215 | 38, 823 |
| 人工呼吸器 | 4, 213 | 4, 656 | 4, 169 |

血液浄化業務は、全国的に慢性維持透析患者が減少している背景にあり、十勝においても減少傾向となっております。心臓検査治療関連業務につきましては、治療業務の積極的な実施により大幅に増加しております。

手術関連業務では、医師の働き方改革を推進すべく、麻酔科医師の負担軽減を目的に麻酔アシスタント臨床工学技士の育成に力を入れています。令和７年度は麻酔アシスタント臨床工学技士の業務研修150症例を達成、院内認定を受け、今後の活躍に期待されているところであります。

我々臨床工学技士は最先端の高度医療機器をはじめとし、院内で使用される全ての医療機器が安全かつ効率的に運用されるように、24時間体制で保守管理に努めております。

（文責／臨床工学技術科　技士長　柴田　貴幸）

# 栄養科

### ⑴ 栄養指導実績

| | | 令和５年度 | 令和６年度 | 令和７年度 |
|---|---|---|---|---|
| 個人栄養指導件数 | 入院栄養食事指導 | 4, 117件 | 4, 314件 | 1, 622件 |
| | 外来栄養食事指導 | 2, 629件 | 2, 556件 | 2, 258件 |
| | 合　計 | 6, 746件 | 6, 870件 | 3, 880件 |

管理栄養士要員減により入院栄養指導件数は減少。しかし、栄養介入が必要な患者には個別対応を実施するなど患者に不利益がないよう対応している。外来栄養指導に関しては依頼のあったものについては全て対応しており、例年同数で推移している。

### ⑵ フードサービス

当院の給食及び調乳業務は委託会社㈱日総に全面委託している。クックチルシステムを採用し、徹底した衛生・温度管理を行っている。また、クックチルメニューを全てレシピ化し、調理技術の標準化に努めている。１回／年の喫食者アンケートを実施し、嗜好や食事に対する要望等を把握、食事満足度の向上を目指している。委託会社と連携し、患者個々の病状や栄養状態に合わせ食事量の調整やメニューの工夫を行っている。

| 令和７年度行事食　提供回数（13回） | | その他の取り組み |
|---|---|---|
| 祝日、節句などの行事食 | ７回 | 出産された方への祝い膳の提供 |
| 日本・世界のグルメの日 | ６回 | 年始やクリスマスなどにメッセージカードを配布 |
| | | 誕生日にメッセージカードと折り鶴の配布 |

### ⑶ 栄養に関する情報の提供

栄養科が事務局を務め、多職種協働で集合型のイベント「健康ひろば」を開催。地域住民を対象に様々な医療に関する情報提供を行っている。また、病院ホームページ、SNS（Instagram、X、YouTube 等）を利用した情報発信も積極的に行っている。

（文責／栄養科　科長　森　多喜子）

# 医療社会事業科

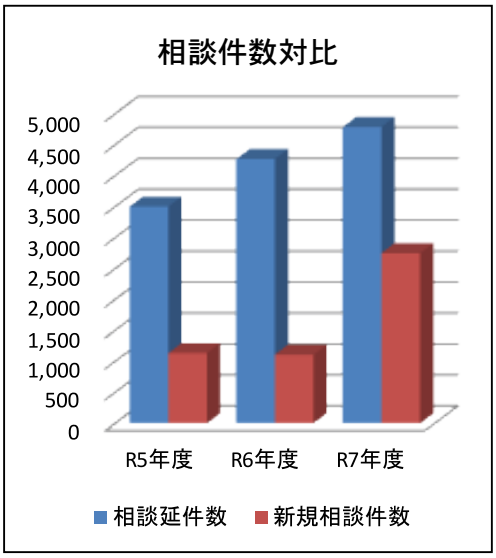
## 1　医療福祉相談・地域医療連携（社会福祉士）

### 1）令和７年度相談件数

| | 件　数 |
|---|---|
| 相談延件数 | 4, 789 |
| 新規相談件数 | 2, 750 |

### 2）令和７年度相談分類別件数

| | 件　数 |
|---|---|
| 経済問題の解決・調整援助 | 394 |
| 心理社会的問題援助 | 84 |
| 受診・受療相談援助 | 114 |
| 社会復帰（退院）援助 | 2, 063 |
| 家族問題調整援助 | 21 |
| 社会資源の紹介・活用援助 | 1, 927 |
| 就労・教育援助 | 8 |
| 日常生活の支援・援助 | 178 |
| 合計 | 4, 789 |




### 3）相談件数対比

| | 令和５年度 | 令和６年度 | 令和７年度 |
|---|---|---|---|
| 相 談 延 件 数 | 3, 503 | 4, 270 | 4, 789 |
| 新規相談件数 | 1, 135 | 1, 109 | 2, 750 |

**医療福祉相談・地域医療連携（社会福祉士）実績について**

新規の相談件数には、今年度から MSW が担当した地域医療連携業務の件数も新たに含めましたので大幅に増加しています。社会復帰（退院）援助、社会資源の紹介・活用援助、経済問題の解決・調整援助が多い傾向は、例年通りです。相談延件数は増加傾向が続いています。

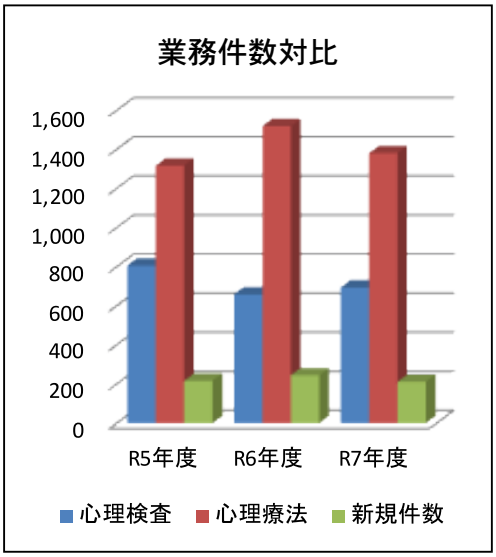
## 2　心理相談（公認心理師）

### 1）令和７年度業務件数

| | 件　数 |
|---|---|
| 心理検査（実施人数） | 694 |
| 心理療法（延べ件数） | 1382 |
| 新規件数 | 212 |

### 2）業務件数対比

| | 令和５年度 | 令和６年度 | 令和７年度 |
|---|---|---|---|
| 心　理　検　査 | 807 | 659 | 694 |
| 心　理　療　法 | 1, 318 | 1, 519 | 1, 382 |
| 新　規　件　数 | 217 | 245 | 212 |




**心理相談（公認心理師）実績について**

心理検査の実施件数は、昨年度と同程度でした。

心理療法は昨年度と比較すると減少していますが、治療の目標や期間を明確にし、できるだけ短期間で終結できるように工夫した事が影響しています。

（文責／医療社会事業科長　樺澤　康裕）

# がん相談支援科

## Ⅰ．相談件数について

件

| | 2023年（R５） | | 2024年（R６） | | 2025年（R７） | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | がん相談 | 医療相談 | がん相談 | 医療相談 | がん相談 | 医療相談 |
| 相談員（専従・専任） | 628 | 66 | 585 | 104 | 558 | 88 |
| 臨床心理士 | 41 | 0 | 14 | 0 | 21 | － |
| MSW | 356 | － | 387 | － | 524 | － |
| 総件数 | 1,025 | 66 | 986 | 104 | 1,103 | 88 |

＜がん相談の相談体制＞

| | 2023年（R５） | 2024年（R６） | 2025年（R７） |
|---|---|---|---|
| 相談員（専従） | ２名／11月より１名減 | １名 | １名 |
| （専任） | ２月より１名増 | １名 | １名 |
| 臨床心理士 | ２名 | ２名 | ２名 |
| MSW（兼任） | ７名／７月より１名減（駐在） | ７名 | ７名 |

## Ⅱ．がん相談の概要

### １．相談人数・性別・年代について

１）相談人数

人（%）

| | 初回 | | | | 以前より継続 | | 計 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | １回のみ | | ２回目以降も継続 | | | | | |
| | 2024年 | 2025年 | 2024年 | 2025年 | 2024年 | 2025年 | 2024年 | 2025年 |
| 相談員 | 164 | 167 | 63 | 65 | 58 | 64 | 285 | 296 |
| 臨床心理士 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 3 | 2 |
| MSW | 142 | 147 | 59 | 71 | 14 | 38 | 215 | 256 |
| 計 人 | 307 | 314 | 123 | 137 | 73 | 103 | 503 | 554 |
| % | 61.0 | 56.7 | 24.5 | 24.7 | 14.5 | 18.6 | 100.0 | 100.0 |

２）性別

人（%）

| | 男性 | | 女性 | | 不明 | | 計 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 2024年 | 2025年 | 2024年 | 2025年 | 2024年 | 2025年 | 2024年 | 2025年 |
| 相談員 | 118 | 111 | 161 | 183 | 6 | 2 | 285 | 296 |
| 臨床心理士 | 1 | 1 | 2 | 1 | 0 | 0 | 3 | 2 |
| MSW | 135 | 145 | 80 | 111 | 0 | 0 | 215 | 256 |
| 計 人 | 254 | 257 | 243 | 295 | 6 | 2 | 503 | 554 |
| % | 50.5 | 46.4 | 48.3 | 53.2 | 1.2 | 0.4 | 100.0 | 100.0 |

３）年代別

人

| | 20歳代 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳代 | 70歳代 | 80歳以上 | 不明 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 相談員 | | 10 | 27 | 53 | 62 | 77 | 34 | 33 |
| 臨床心理士 | | | | 1 | | 1 | | |
| MSW | 1 | 7 | 27 | 50 | 67 | 68 | 32 | 4 |
| 計 人 | 1 | 17 | 54 | 104 | 129 | 146 | 66 | 37 |
| % | 0.2 | 3.1 | 9.7 | 18.8 | 23.3 | 26.4 | 11.9 | 6.7 |

### ２．相談方法

（件）

| | 2023年（R５） | | 2024年（R６） | | 2025年（R７） | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 件 | % | 件 | % | 件 | % |
| 対面 | 800 | 78.0 | 808 | 81.9 | 920 | 83.4 |
| 電話 | 224 | 21.9 | 178 | 18.1 | 183 | 16.6 |
| その他 | 1 | 0.1 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 計 | 1,025 | 100.0 | 986 | 100.0 | 1,103 | 100.0 |

### ３．相談者について

１）相談者

（件）

| 相談者 | 2023年（R５） | | 2024年（R６） | | 2025年（R７） | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 件 | % | 件 | % | 件 | % |
| 患者本人のみ | 516 | 50.3 | 514 | 52.1 | 577 | 52.3 |
| 患者とその付き添い | 211 | 20.6 | 206 | 20.9 | 283 | 25.7 |
| 患者以外の方のみ | 298 | 29.1 | 261 | 26.5 | 242 | 21.9 |
| 不明 | | 0.0 | 5 | 0.5 | 1 | 0.1 |
| 計 | 1,025 | 100.0 | 986 | 100.0 | 1,103 | 100.0 |

2）相談者の「患者以外の方のみ」の内訳 （件）

| 主たる相談者 | 2023年（R５） | | 2024年（R６） | | 2025年（R７） | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 件 | % | 件 | % | 件 | % |
| 家族・親戚 | 268 | 89.9 | 248 | 95.0 | 235 | 97.1 |
| 友人・知人 | 4 | 1.3 | 5 | 1.9 | 0 | 0.0 |
| 医療関係者（院内） | 14 | 4.7 | 2 | 0.8 | 0 | 0.0 |
| 医療関係者（院外） | 10 | 3.4 | 4 | 1.5 | 6 | 2.5 |
| その他 | 2 | 0.7 | 2 | 0.8 | 1 | 0.4 |
| 計 | 298 | 100.0 | 261 | 100.0 | 242 | 100.0 |

4．相談者からの相談内容（複数選択） （件）

| | 2023年（R５） | | 2024年（R６） | | 2025年（R７） | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 件 | % | 件 | % | 件 | % |
| がんの治療 | 359 | 13.5 | 310 | 12.1 | 290 | 12.8 |
| がんの検査 | 66 | 2.5 | 17 | 0.7 | 14 | 0.6 |
| 症状・副作用・後遺症 | 68 | 2.6 | 56 | 2.2 | 58 | 2.6 |
| 妊孕性・生殖機能 | 5 | 0.2 | 3 | 0.1 | 0 | 0.0 |
| アピアランス | 34 | 1.3 | 101 | 3.9 | 132 | 5.8 |
| セカンドオピニオン | 232 | 8.7 | 192 | 7.5 | 157 | 6.9 |
| 在宅医療 | 22 | 0.8 | 20 | 0.8 | 11 | 0.5 |
| 介護・看護・養育 | 67 | 2.5 | 36 | 1.4 | 10 | 0.4 |
| 就労 | 0 | 0.0 | 5 | 0.2 | 18 | 0.8 |
| 治療と仕事の両立 | 31 | 1.2 | 40 | 1.6 | 33 | 1.5 |
| 医療費・生活費・社会福祉制度 | 453 | 17.1 | 514 | 20.0 | 597 | 26.3 |
| 生きがい・価値観 | 222 | 8.4 | 209 | 8.1 | 68 | 3.0 |
| 不安・精神的苦痛 | 509 | 19.2 | 527 | 20.5 | 474 | 20.9 |
| 医療者との関係 | 43 | 1.6 | 34 | 1.3 | 30 | 1.3 |
| 患者・家族間の関係 | 69 | 2.6 | 78 | 3.0 | 55 | 2.4 |
| その他 | 472 | 17.8 | 427 | 16.6 | 320 | 14.1 |
| 計 | 2,652 | 100.0 | 2,569 | 100.0 | 2,267 | 100.0 |

5．相談の対応内容（複数選択） （件）

| | 2023年（R５） | | 2024年（R６） | | 2025年（R７） | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 件 | % | 件 | % | 件 | % |
| 傾聴・語りの促進支持的対応 | 599 | 37.2 | 581 | 35.1 | 550 | 30.0 |
| 助言・提案 | 213 | 13.2 | 220 | 13.3 | 327 | 17.8 |
| 情報提供 | 411 | 25.5 | 469 | 28.3 | 538 | 29.4 |
| 自施設受診の説明 | 49 | 3.0 | 6 | 0.4 | 16 | 0.9 |
| 他施設受診の説明 | 171 | 10.6 | 133 | 8.0 | 102 | 5.6 |
| 自施設他部門への連携 | 115 | 7.1 | 174 | 10.5 | 182 | 9.9 |
| 他施設への連携 | 38 | 2.4 | 64 | 3.9 | 97 | 5.3 |
| 苦情・要望への対応 | 3 | 0.2 | 3 | 0.2 | 7 | 0.4 |
| その他 | 11 | 0.7 | 7 | 0.4 | 13 | 0.7 |
| 計 | 1,610 | 100.0 | 1,657 | 100.0 | 1,832 | 100.0 |

6．がんの部位 人

| | 2023年（R５） | | 2024年（R６） | | 2025年（R７） | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 人 | % | 人 | % | 人 | % |
| 肺 | 99 | 20.7 | 102 | 20.3 | 101 | 18.2 |
| 大腸・小腸 | 54 | 11.3 | 64 | 12.7 | 65 | 11.7 |
| 乳房 | 58 | 12.1 | 79 | 15.7 | 114 | 20.6 |
| 子宮・卵巣 | 45 | 9.4 | 39 | 7.8 | 47 | 8.5 |
| 胃 | 18 | 3.8 | 14 | 2.8 | 13 | 2.3 |
| すい臓 | 38 | 7.9 | 37 | 7.4 | 29 | 5.2 |
| 肝臓・胆 | 24 | 5.0 | 17 | 3.4 | 19 | 3.4 |
| 前立腺 | 11 | 2.3 | 22 | 4.4 | 14 | 2.5 |
| 腎・尿管・膀胱 | 32 | 6.7 | 32 | 6.4 | 42 | 7.6 |
| その他 | 100 | 20.9 | 97 | 19.3 | 110 | 19.9 |
| 計 | 479 | 100.0 | 503 | 100.0 | 554 | 100.0 |

## Ⅲ．がん患者サロン「エンポックル」について

| 毎月第３水曜日 | 開催方法 | 講　　話 | 参加数（件） 来場 | オンライン |
|---|---|---|---|---|
| ４月16日 | 第１回 ハイブリット | がんの痛みの対処法について<br>がん性疼痛看護認定看護師　黒川文吾 | 7 | 0 |
| ５月21日 | 第２回 ハイブリット | 緩和ケアあれこれ／もしバナゲーム<br>がん看護専門看護師　小田島綾子 | 6 | 0 |
| ６月18日 | 第３回 ハイブリット | 外見のケア／メイク・ネイル・ウィッグなどについて<br>株式会社アートネイチャー　野間恵利子 | 9 | 0 |
| ７月16日 | 第４回 来場のみ | 症状別　食事の工夫について<br>栄養科　栄養科長　森多喜子 | 7 | |
| ８月20日 | 第５回 ハイブリット | 訪問看護に関するお話<br>在宅療養支援科　看護課長　川原麻妃 | 8 | 0 |
| ９月17日 | 第６回 ハイブリット | がんとお金の話<br>医療社会事業科　科長　樺澤康裕 | 9 | 0 |
| 10月15日 | 第７回 ハイブリット | いつまでもおいしく食べられる食事<br>つがやす歯科医院栄養ケア・ステーション羽根千尋 | 8 | 0 |
| 11月19日 | 第８回 ハイブリット | ストレスと上手に付き合うヒント（認知行動療法）<br>臨床心理士・公認心理師　築田昌明 | 5 | 2 |
| 12月17日 | 第９回 ハイブリット | 日常生活で気を付けるポイント<br>感染症看護専門看護師・感染管理認定看護師　原理加 | 5 | 0 |
| １月21日 | 第10回 ハイブリット | 地域で暮らす～こんな時どうする？～<br>認知症看護認定看護師　和渕ゆかり | 5 | 0 |
| ２月18日 | 第11回 ハイブリット | がんと運動の関係性について<br>作業療法技術科　作業療法士　鈴木克哉 | 8 | 0 |
| ３月18日 | 第12回 ハイブリット | 化学療法と自宅での過ごし方<br>がん化学療法看護認定看護師　尾谷優子 | 7 | 0 |
| | | 計 | 84 | 2 |

## Ⅳ．地域住民公開講座について

＜2025年度（Ｒ７）　動画配信内容・視聴数＞　　公開日から2026年３月末現在

| 開催 | 配信月 | 講　　師 | 講　座　内　容 | 視聴回数 |
|---|---|---|---|---|
| 第60回 | Ｒ7･8 | 外科　主任医長　松本　譲 | 胆道癌の外科治療 | 3, 235 |
| 第61回 | Ｒ8･3 | 産婦人科　診療部長　森脇　征史 | がん遺伝子パネル検査をやさしく解説 | 252 |

＜2020年度（Ｒ２）～2024年度（Ｒ６）＞　　公開日から2026年３月末現在

| 開　催 | | 配信月 | 講　　師 | 講　座　内　容 | 視聴回数 |
|---|---|---|---|---|---|
| Ｒ２ | 第46回 | Ｒ２・９ | 産婦人科　医長　松宮　寛子 | 卵巣がんの診断と治療 | 8, 873 |
| | 第47回 | 新型コロナウイルスの影響により中止 | | | |
| | 第48回 | Ｒ３・２ | 消化器内科　部長　松本　隆祐 | 膵がんについて／内科の立場から | 6, 546 |
| | | | 外科　主任部長　松本　譲 | 膵がんの外科的治療 | 14, 242 |
| | 第49回 | Ｒ３・３ | 放射線科　部長　井上　哲也 | 放射線治療<br>最先端の照射技術も含めて | 1, 033 |
| Ｒ３ | 第50回 | Ｒ３・４ | 呼吸器内科　医長　菊池　創 | 肺癌薬物療法の進歩 | 4, 306 |
| | 第51回 | Ｒ３・７ | 精神科　医長　佐藤謙太郎 | がん患者さんの診療に精神科医はどのように関わるのか | 2, 289 |
| | 第52回 | Ｒ３・10 | 薬剤部　薬局長代理　三本松泰孝 | 抗がん剤の作用・副作用について | 9, 504 |
| | 第53回 | Ｒ３・12 | 形成外科　医師　林　翔平 | 皮膚癌・軟部腫瘍の診断と治療 | 2, 102 |
| | 第54回 | Ｒ４・３ | 外科　診療部長　村川　力彦 | 胃がんについて | 926 |
| Ｒ４ | 第55回 | Ｒ４・６ | 呼吸器内科　医長　菊池　創 | アスベストとその関連疾患について | 1, 435 |
| | 第56回 | Ｒ５・１ | 血液内科　主任部長　若狭健太郎 | 悪性リンパ腫について | 18, 060 |
| Ｒ５ | 第57回 | Ｒ６・１ | 緩和支持治療科　主任部長　木村　陽 | 緩和ケア　生命を脅かす病にかかった時のために | 1, 946 |
| | 第58回 | Ｒ６・４ | 産婦人科　医長　秋江　惟能 | 子宮がんについて | 1, 542 |
| Ｒ６ | | 再撮影延期 | 脳外科　主任医長　能代　将平 | 脳腫瘍 | |
| | 第59回 | Ｒ７・２ | 泌尿器科　主任医長　山田　修平 | 前立腺がんに関して | 3, 362 |

## Ⅴ．治療と仕事の両立支援（出張）相談窓口について

1）「両立支援（出張）相談窓口」の相談件数　（件）

| 上半期 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 計 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 0 | 1 | 1 | 3 | 0 | 5 | 10 | |
| 下半期 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 | 総計 |
| | 4 | 1 | 1 | 0 | 4 | 0 | 10 | 20 |

2）両立支援に関する相談件数　（件）

| 上半期 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 計 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 3 | 3 | 1 | 5 | 0 | 7 | 19 | |
| 下半期 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 | 総計 |
| | 5 | 3 | 2 | 0 | 4 | 0 | 14 | 33 |

3）年度推移　（件）

| | 2022年度（R４） | 2023年度（R５） | 2024年度（R６） | 2025年度（R７） |
|---|---|---|---|---|
| （出張）相談窓口 | 1 | 0 | 1 | 20 |
| 両立支援に関するがん相談 | 30 | 31 | 40 | 33 |

## Ⅵ．セカンドオピニオンについて

1）セカンドオピニオン　依頼・受入件数　（件）

| | | | 2023年度（R５） | 2024年度（R６） | 2025年度（R７） | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 依頼 | がん | セカンド | 38 | 35 | 29 | ＜紹介先医療機関＞北海道がんセンター・北海道大学病院・協会病院・北斗病院・札幌医科大学付属病院・旭川医科大学病院・札幌孝仁会記念病院・北海道医療センター・国立がん研究センター中央病院・がん研有明病院・愛知県がんセンター中央病院・江戸川プラスクリニック |
| | | セカンドから受診・中止等に変更 | 7 | 5 | 3 | 旭川医科大学病院（放射線科より対象外により中止）・中村記念病院（入院治療に変更）・手稲渓仁会病院（死亡により中止） |
| | がん以外 | セカンド | 1 | 8 | 4 | 北海道大学病院（泌尿器）・開西病院（神内）・旭川医科大学病院（心外・神内） |
| | | 受診・中止等に変更 | 2 | 2 | 3 | 手稲渓仁会病院（呼内セカンド対応していず受診）・札幌厚生病院（消内、本人より中止希望）・西おびひろ脳神経クリニック（クリニックより受診に変更） |
| 受入 | がん | セカンド | 11 | 9 | 10 | ＜依頼医療機関＞協会病院・中央病院・帯広第一病院・北斗病院・市立釧路総合病院・釧路労災病院 |
| | | 受診・中止等に変更 | 0 | 2 | 0 | |
| | がん以外 | セカンド | 2 | 5 | 4 | 協会病院（泌尿器）・北斗病院（脳外・心外） |
| | | 受診・中止等に変更 | 0 | 0 | 1 | 北斗病院（整形 中止） |
| 総計 | | | 61 | 66 | 54 | |

2）診療科別　セカンドオピニオン　依頼・受入件数　（件）

| 診療科／依頼・受入 | 依頼 | | | | 受入 | | | | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | がん | | がん以外 | | がん | | がん以外 | | |
| | セカンド | 受診等に変更 | セカンド | 受診等に変更 | セカンド | 受診等に変更 | セカンド | 変更 | |
| 呼吸器内科 | 6 | 1 | | 1 | 2 | | | | 10 |
| 消化器内科 | 4 | 2 | | 1 | 3 | | | | 10 |
| 外科 | 8 | | | | 2 | | | | 10 |
| 心臓血管外科 | | | 1 | | | | 1 | | 2 |
| 整外科 | | | | | | | | 1 | 1 |
| 血液内科 | 3 | | | | 1 | | | | 4 |
| 産婦人科 | 4 | | | | | | | | 4 |
| 泌尿器科 | 3 | | 1 | | | | 1 | | 5 |
| 耳鼻咽喉科 | 1 | | | | 2 | | | | 3 |
| 脳神経外科 | | | | | | | 2 | | 2 |
| 脳神経内科 | | | 2 | 1 | | | | | 3 |
| 計 | 29 | 3 | 4 | 3 | 10 | 0 | 4 | 1 | 54 |

3）がんのセカンドオピニオン　診療科別年度推移　（件）

| 診療科／依頼・受入 | 依頼 | | | 受入 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 2023年度（R５） | 2024年度（R６） | 2025年度（R７） | 2023年度（R５） | 2024年度（R６） | 2025年度（R７） |
| 呼吸器内科 | 7 | 10 | 6 | 1 | 1 | 2 |
| 消化器内科 | 17 | 7 | 4 | 3 | 4 | 3 |
| 外科 | 3 | 11 | 8 | 5 | 2 | 2 |
| 血液内科 | 2 | 1 | 3 | | | 1 |
| 産婦人科 | 5 | 4 | 4 | 2 | 1 | |
| 泌尿器科 | 1 | 1 | 3 | | | |
| 耳鼻咽喉科 | 3 | 1 | 1 | | | 2 |
| 放射線科 | | | | | 1 | |
| 計 | 38 | 35 | 29 | 11 | 9 | 10 |

## Ⅶ．北海道対がん協会からの調査依頼について

2025年度 精密検査結果通知の記入依頼・がん患者の追及調査件数　（件）

| 上半期 | ４月 | ５月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 | 計 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 5 | 4 | 9 | 0 | 0 | 16 | 34 | |
| 下半期 | 10月 | 11月 | 12月 | １月 | ２月 | ３月 | 計 | 総計 |
| | 0 | 0 | 0 | 21 | 15 | 0 | 36 | 70 |

## Ⅷ．ワコールリマンマ乳がん術後補整下着相談会について

日時：①2025年６月９日（月）　②2025年11月10日（月）　９：00～16：00
場所：総合支援センター　相談室１・２
参加：①14名（当院８名・協会病院３名・北斗病院３名）
　　②13名（当院８名・協会病院３名・国立帯広１名・不明１名）

## Ⅸ．十勝キャンサーボードについて

開催状況　（件）

| | ８月 | ９月 | 10月 | 11月 | 12月 | １月 | ２月 | ３月 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ホスト | 当院 | 当院 | 当院 | 当院 | 当院 | 当院 | 当院 | 協会 |
| 症例数 | 4 | 3 | 2 | 2 | 3 | 1 | 3 | 1 |
| 当院参加数 | 22 | 16 | 17 | 32 | 30 | 27 | 43 | 24 |
| 協会病院 当院参加 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| 協会病院 on-line | 14 | 8 | 6 | 5 | 10 | 2 | ２以上 | 8 |
| 他機関 on-line | | | | | | | | 7 |

## Ⅹ．動画視聴による「治療と仕事の両立支援」に関する研修会について

視聴期間：2025年９月16日（火）～10月31日（金）
受講方法：セーフティレポートシステム「バリテス」より動画視聴（21分）、アンケート回答
対象：全職員1,475名
受講：566名（38.3％）
　　診療部76名、看護部316名、健診10名、薬剤部17名、医療技術部61名、事務部66名、
　　医療支援部18名、駐在２名
講師：片山あゆ美社会保険労務士事務所　社会保険労務士／北海道産業保健総合支援センター
　　メンタルヘルス対策・両立支援促進員　　片山あゆ美　先生
　　帯広厚生病院 がん相談支援センター がん相談支援科／北海道産業保健総合支援センター
　　メンタルヘルス対策・両立支援促進員　　常山　純子

## Ⅺ．医療従事者向け「がんゲノム医療に関する講演会」について

日時：令和７年10月10日（金）　18：00～19：00
場所：帯広厚生病院　KoseiHall
参加：当院医師15名・医師以外38名、院外４名　　計57名
講演：がんゲノム医療の基礎
座長　帯広厚生病院　呼吸器内科主任部長（兼）がんゲノム医療支援科長　菊池　創　先生
講師　北海道大学病院　がん遺伝子診断部　特任助教　有賀　伸　先生

## Ⅻ．医療従事者向け「臨床遺伝医療・遺伝カウンセリングに関する講演会」について

日時：令和７年12月２日（火）　17：00～18：20
場所：帯広厚生病院　KoseiHallA・B
参加：医師26名・医師以外（看護職・薬剤師・MSW・事務）21名　　計47名
講演：遺伝診療は現代医療の標準装備
　　～連携によってゲノムという宝物を上手に使おう
座長　帯広厚生病院　診療部長（兼）がんゲノム医療支援室長（兼）産婦人科主任部長
　　森脇　征史　先生
講師　北海道大学病院　臨床遺伝子診療部　教授・部長
　　北海道大学大学院医学院　臨床遺伝学・医療倫理学　教授　山田　崇弘　先生

## ⅩⅢ．その他

・ホームページ「セカンドオピニオンについて」更新（2025年11月25日）
セカンドオピニオン申込の画像データが日付等順不同で提出されるため、ホームページ「申込」欄に「CD・DVD への取込みにあたっては、可能な範囲で検査種別毎や、最新の画像のみにする等、厳選していただけますよう、ご協力の程よろしくお願いいたします」を追加した。

（文責／がん相談支援科　常山　純子）

# 医療安全管理科

1）安全担当

①セーフティマネージャー会議：マニュアル検討・改定、内部監査、心電図モニター適正使用、転倒・転落防止、酸素ボンベ適正使用についてワーキンググループでの活動

②セーフティマネージャー・リーダー研修：医療安全活動推進のための研修、要因分析演習　など

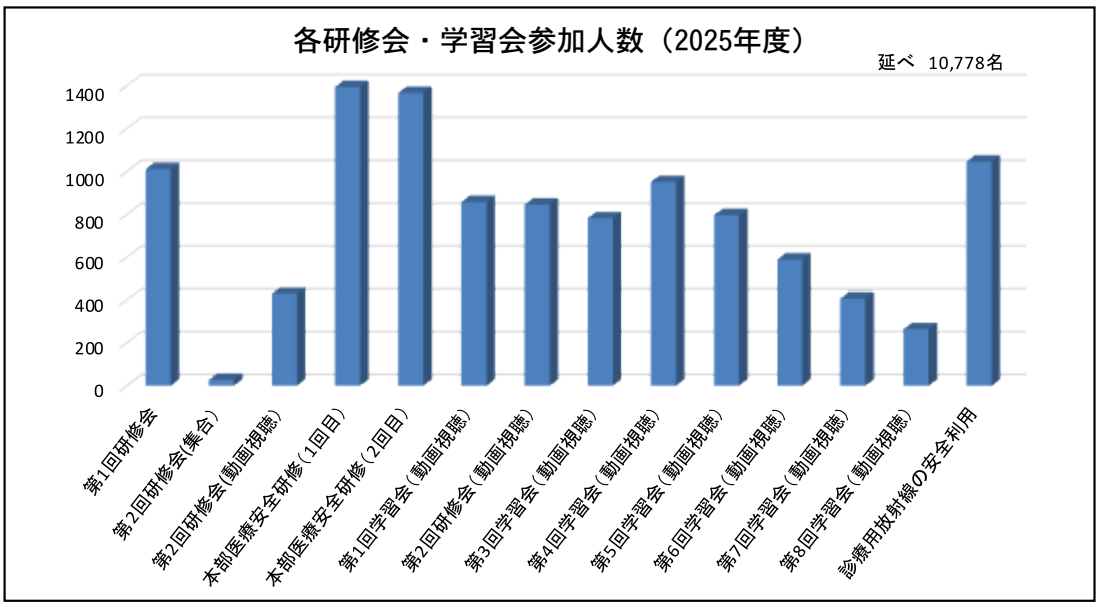
**医療安全主催の研修会・学習会**

・医療安全推進研修会　　４回開催

・医療安全学習会　　８回開催

・その他、診療放射線に関する研修も含めた開催件数　　13回開催

コロナ禍以降、受講のしやすさから動画視聴を基本に実施しているが、第２回医療安全推進研修のみ集合形式と動画視聴とした。延べ10,778名が参加した。




2）相談担当

**【主な業務内容】**

●苦情・クレーム、相談（職員・疾患支援）対応

●診療記録（カルテ）の開示対応

●医事紛争・医療事故対応　等

**【2025年度　患者支援カンファレンス　開催実績】**

●年間48回開催（毎週水曜日開催）

**診療記録（カルテ）開示の実績**

| 一　　般 | 裁判所・弁護士経由 | 警察・検察経由 | 合計（件） |
|---|---|---|---|
| 35 | 81 | 58(※) | 184 |

※閲覧、口頭による回答等を除く

3）保安担当

**各種取扱件数**　①院内暴力報告件数　2024年度／ 27件　　2025年度／ 16件

②警察照会　　2024年度／108件　　2025年度／104件

（文責／医療安全管理科長　谷川　和広）

# 地域医療連携室

## 1．年度別紹介率

紹介患者数／(初診患者数−(夜間休日受診＋救急搬送＋健診精検患者数))×100(%)

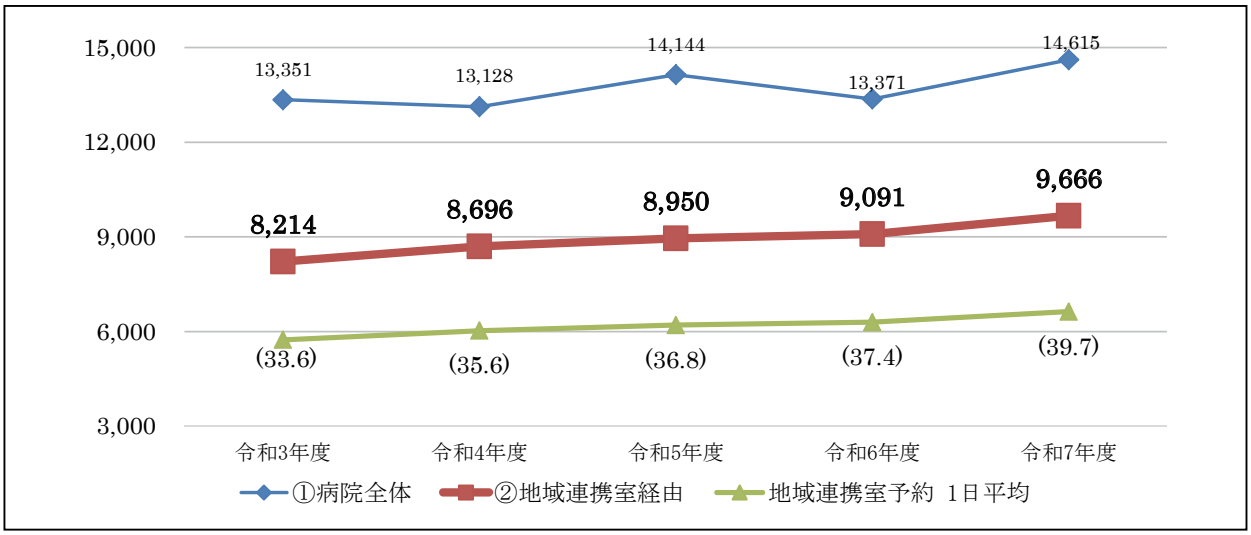
| | 令和３年度 | 令和４年度 | 令和５年度 | 令和６年度 | 令和７年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 紹介率 | 76.6% | 78.6% | 93.4% | 98.3% | 87.6% |

## 2．年度別逆紹介率

逆紹介患者数／(初診患者数−(夜間休日受診＋救急搬送＋健診精検患者数))×100(%)

| | 令和３年度 | 令和４年度 | 令和５年度 | 令和６年度 | 令和７年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 逆紹介率 | 73.1% | 87.3% | 105.2% | 113.7% | 109.2% |

## 3．地域連携室経由 紹介患者件数実績




| | 令和３年度 | 令和４年度 | 令和５年度 | 令和６年度 | 令和７年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 予約割合(②/①) | 61.5% | 66.2% | 63.3% | 68.0% | 66.1% |

| 令和７年度 地域別紹介数 | | | | ①病院全体 | | ②地域連携室経由 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | ③件数 | 割合 | ④件数 | ④／③ |
| 北海道 | 十勝管内 | 帯広市 | | 9,822 | 67.2% | 6,803 | 69.3% |
| | | 東十勝 | 池田、浦幌、豊頃、幕別、本別 | 634 | 4.3% | 379 | 59.8% |
| | | 西十勝 | 新得、鹿追、清水、芽室 | 736 | 5.0% | 438 | 59.5% |
| | | 南十勝 | 中札内、更別、広尾、大樹 | 500 | 3.4% | 276 | 55.2% |
| | | 北十勝 | 音更、上士幌、士幌、足寄、陸別 | 1,449 | 9.9% | 792 | 54.7% |
| | 札幌市 | | | 479 | 3.3% | 367 | 76.6% |
| | その他 | | | 432 | 3.0% | 306 | 70.8% |
| 北海道外 | | | | 244 | 1.7% | 170 | 69.7% |
| 健診精密検査 | | | | 319 | 2.2% | 135 | 42.3% |
| 合計 | | | | 14,615 | 100% | 9,666 | 66.1% |

### 4．高額医療機器共同利用実績

| 検査項目 | 令和３年度 | 令和４年度 | 令和５年度 | 令和６年度 | 令和７年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| CT | 295 | 319 | 272 | 257 | 250 |
| MRI | 134 | 168 | 216 | 254 | 232 |
| RI | 77 | 66 | 53 | 60 | 54 |
| 骨密度 | 1 | 1 | 5 | 2 | 1 |
| PET | 31 | 23 | 22 | 32 | 27 |

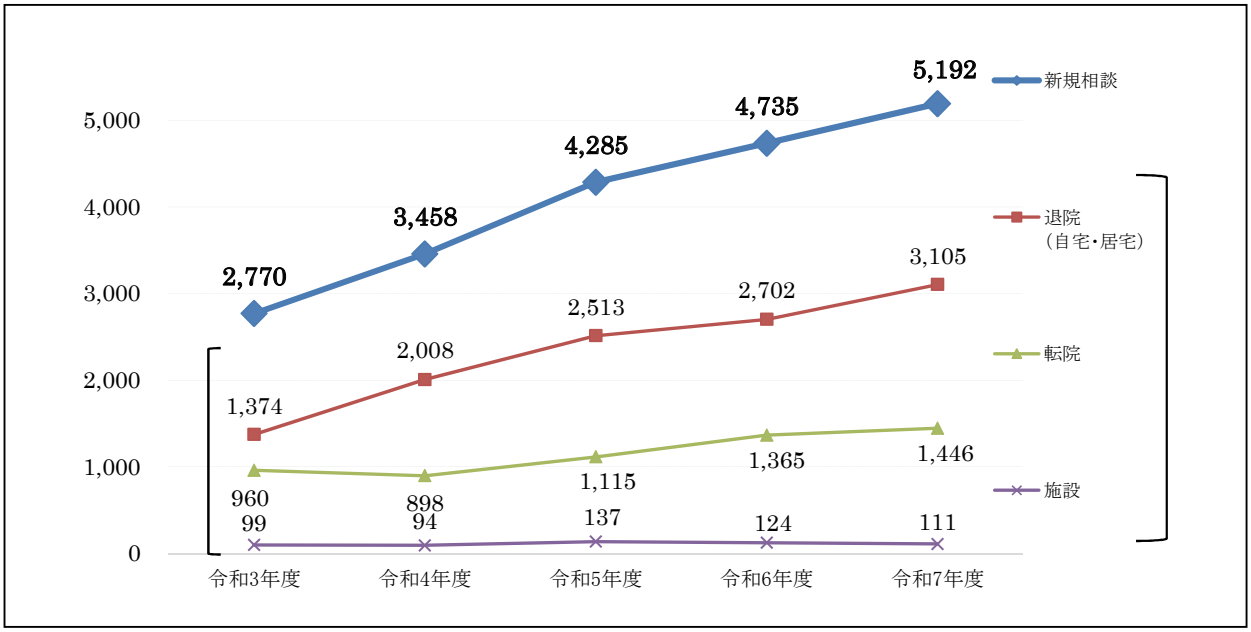
### 5．十勝メディカルネットワーク（はれ晴れネット）公開実績

| | 令和３年度 | 令和４年度 | 令和５年度 | 令和６年度 | 令和７年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 公開施設数 | 68 | 68 | 66 | 54 | 50 |
| 公開件数 | 12, 133 | 13, 422 | 14, 112 | 10, 886 | 10, 678 |
| 月平均 | 1, 011 | 1, 119 | 1, 176 | 907 | 889 |

### 6．セカンドオピニオン実績

| | 令和３年度 | 令和４年度 | 令和５年度 | 令和６年度 | 令和７年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 受入件数 | 9 | 12 | 13 | 14 | 14 |
| | 呼吸器内科２件<br>消化器内科５件<br>脳神経外科２件 | 呼吸器内科３件<br>消化器内科４件<br>外科４件<br>精神科１件 | 呼吸器内科１件<br>消化器内科３件<br>外科５件<br>産婦人科２件<br>脳神経内科２件 | 呼吸器内科１件<br>消化器内科４件<br>外科３件<br>産婦人科１件<br>脳神経内科１件<br>泌尿器科１件<br>脳神経外科１件<br>整形外科１件<br>放射線科１件 | 呼吸器内科２件<br>消化器内科３件<br>外科２件<br>耳鼻咽喉科２件<br>脳神経外科２件<br>血液内科１件<br>泌尿器科１件<br>心臓血管外科１件 |
| 依頼件数 | 34 | 39 | 48 | 43 | 33 |

### 7．退院支援・転院支援




※［　］は新規相談の再掲

## 8．地域連携クリティカルパス

（1）脳卒中連携パス

| | 令和３年度 | 令和４年度 | 令和５年度 | 令和６年度 | 令和７年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 運　用　数 | 176 | 147 | 161 | 189 | 180 |

（2）大腿骨近位部骨折連携パス

| | 令和３年度 | 令和４年度 | 令和５年度 | 令和６年度 | 令和７年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 運　用　数 | 42 | 62 | 56 | 64 | 118 |

## 9．地域医療連携室について

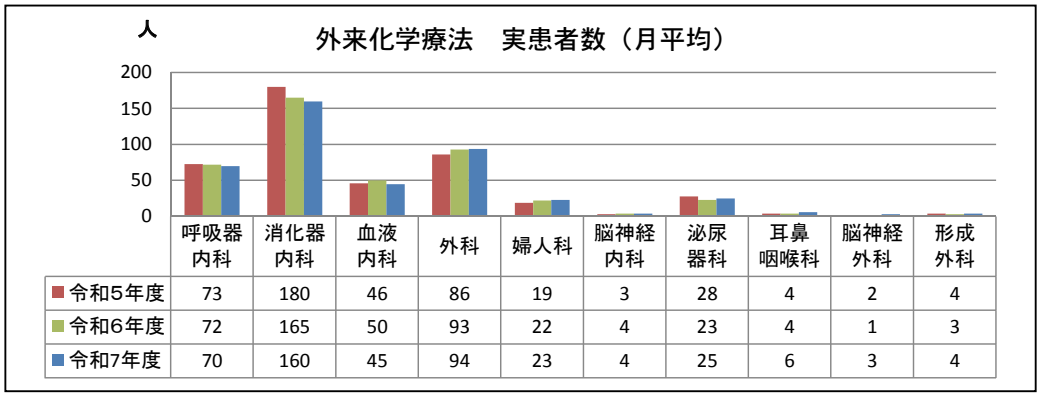
地域医療連携室は、当院が「地域医療支援病院」に認定されていることから、地域の医療機関との医療提供において、紹介予約・逆紹介・高額医療機器共同利用による検査予約の機能を持ち、地域のかかりつけ医等の支援を担っております。

紹介患者数、地域医療連携室経由の紹介予約は共に増加しております。検査予約は前年同様の件数をお受けしております。地域の医師からの相談を当院医師につなぐ「Dr to Dr　HOT LINE」の運用開始から１年が経過し、毎日ご利用頂いております。今後も関係医療機関と情報共有し、医療連携しやすい環境づくりに努めて参ります。

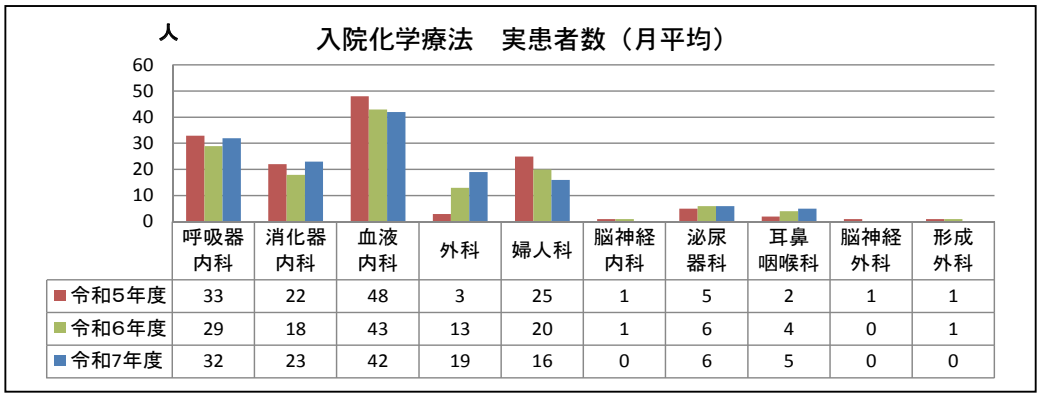
入退院支援および在宅療養支援については、新規相談は増加しており、独居高齢者など、社会福祉的課題から退院困難要因を抱えておられる患者様が増えている印象です。また、大腿骨近位部骨折地域連携パス適応は、前年度から54件増加しており、高齢者救急の課題と捉えます。急性期治療と同時進行で、患者・家族の意思決定支援を行い、早く住み慣れた環境に戻れるよう、院内多職種、地域の多職種の方々と連携し支援を繋いでいきます。

（文責／地域医療連携室　看護科長　酒井　利佳）

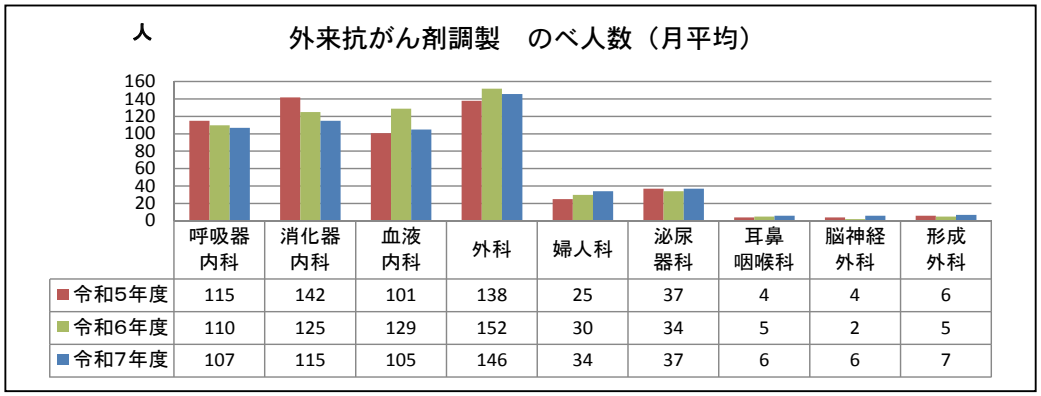
# 化学療法室



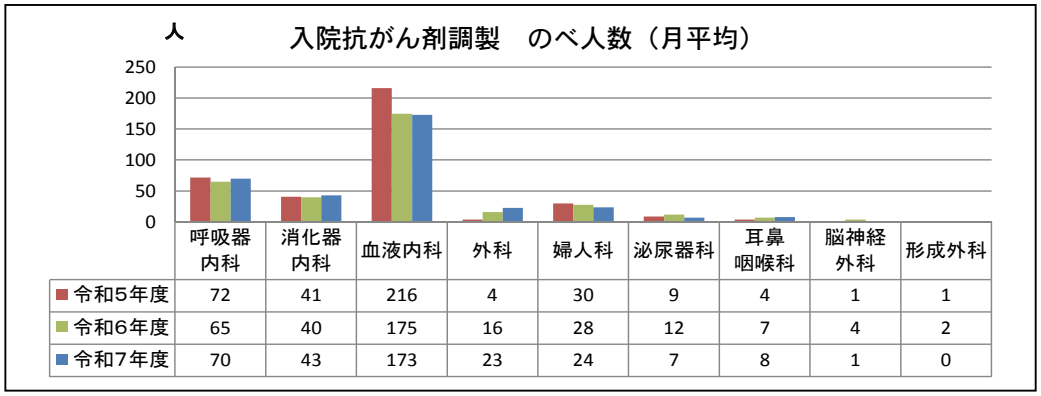

| | 呼吸器内科 | 消化器内科 | 血液内科 | 外科 | 婦人科 | 脳神経内科 | 泌尿器科 | 耳鼻咽喉科 | 脳神経外科 | 形成外科 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 令和5年度 | 73 | 180 | 46 | 86 | 19 | 3 | 28 | 4 | 2 | 4 |
| 令和6年度 | 72 | 165 | 50 | 93 | 22 | 4 | 23 | 4 | 1 | 3 |
| 令和7年度 | 70 | 160 | 45 | 94 | 23 | 4 | 25 | 6 | 3 | 4 |




| | 呼吸器内科 | 消化器内科 | 血液内科 | 外科 | 婦人科 | 脳神経内科 | 泌尿器科 | 耳鼻咽喉科 | 脳神経外科 | 形成外科 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 令和5年度 | 33 | 22 | 48 | 3 | 25 | 1 | 5 | 2 | 1 | 1 |
| 令和6年度 | 29 | 18 | 43 | 13 | 20 | 1 | 6 | 4 | 0 | 1 |
| 令和7年度 | 32 | 23 | 42 | 19 | 16 | 0 | 6 | 5 | 0 | 0 |




| | 呼吸器内科 | 消化器内科 | 血液内科 | 外科 | 婦人科 | 泌尿器科 | 耳鼻咽喉科 | 脳神経外科 | 形成外科 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 令和5年度 | 115 | 142 | 101 | 138 | 25 | 37 | 4 | 4 | 6 |
| 令和6年度 | 110 | 125 | 129 | 152 | 30 | 34 | 5 | 2 | 5 |
| 令和7年度 | 107 | 115 | 105 | 146 | 34 | 37 | 6 | 6 | 7 |




| | 呼吸器内科 | 消化器内科 | 血液内科 | 外科 | 婦人科 | 泌尿器科 | 耳鼻咽喉科 | 脳神経外科 | 形成外科 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 令和5年度 | 72 | 41 | 216 | 4 | 30 | 9 | 4 | 1 | 1 |
| 令和6年度 | 65 | 40 | 175 | 16 | 28 | 12 | 7 | 4 | 2 |
| 令和7年度 | 70 | 43 | 173 | 23 | 24 | 7 | 8 | 1 | 0 |

外来化学療法実患者数は令和６年度と比較し99％、外来抗がん剤調製延べ人数については95％となり、延べ人数では減少傾向となった。入院においては、実患者数は令和６年度と比較し106％、延べ人数については100％となり、入院実患者数では増加傾向となった。

（文責／薬剤科　渕上　俊介）

# 入退院支援センター

| | 令和５年度 | 令和６年度 | 令和７年度 |
|---|---|---|---|
| 入退院支援センター対応患者数 | 5, 424 | 5, 658 | 6, 999 |
| 全予定入院患者数 | 6, 691 | 6, 485 | 7, 292 |
| 割合 | 81. 1％ | 87. 2％ | 95. 9％ |

（文責／医事課長　中野　晋太郎）

# 感染制御チーム（ＩＣＴ：Infection control team）

## １．院内ラウンド

### １）ICT ラウンド：１回／週　合計　47回

・医師・看護師・臨床検査技師・薬剤師の４職種が、各病棟、外来、医療技術部門、事務、医局などのラウンドを実施している。

・病棟ラウンドは毎週行い、病棟代表者と共に手指衛生や個人防護具の適切な着脱を中心に確認と指導を実施。耐性菌など感染症の発生状況に応じた臨時ラウンドも実施している。（67回）

・2024年度より各部門の手指衛生回数や手指消毒剤使用量など各種実施状況の調査を各部門のリンクスタッフに依頼している。

## ２．サーベイランス

### １）院内感染症情報収集結果

MRSA 検出報告数・割合

図１

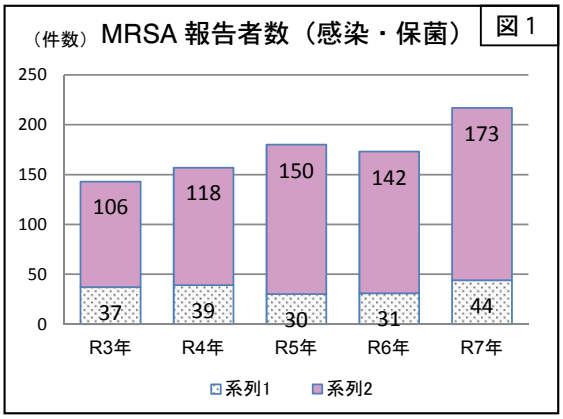



図２

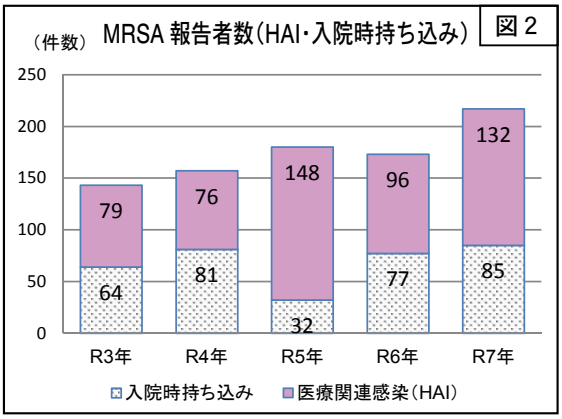
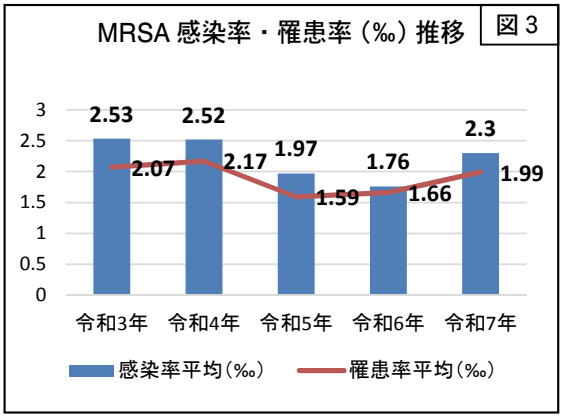


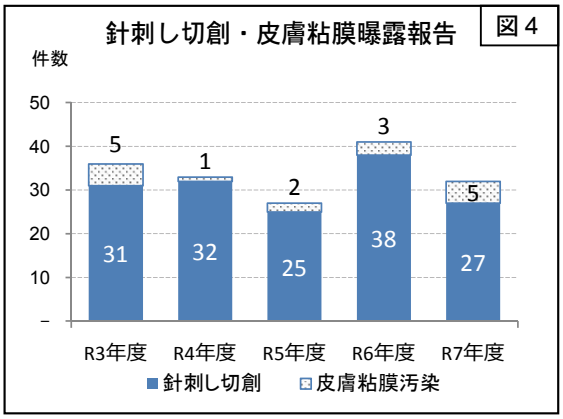

図３




・報告数217（+44）件、感染症数は173（+31）件、保菌44（+13）件であった。HAI、持ち込みの割合は昨年度より僅かに持ち込みの割合が増加していた。感染率・罹患率による評価を昨年度より実施しているが（図３）、報告数の増加に比例して年次推移としても上昇が確認された。

### ２）針刺し・切創、血液・体液曝露事故報告件数

図４




・件数は32（−9）件と平成15年以降過去最多であった昨年度より減少が見られた。昨年までは４年未満の看護師が57％と、半数以上を占めていたが、今年度は28％と大きく減少し、20−29年目のスタッフが５％から26％へ増加する結果となった。また、昨年度に比べ医師の報告（12件、うち研修医１）が増加した。（昨年医師６件、研修医４件）

・安全装置付き器材による受傷は前年比－１の６件であった。内訳は使用前３件、使用後３件で他院からの異動で使用方法がわからなかった等での装置未作動を理由として認めた。

## 3．抗菌薬適正使用支援チーム活動（AST : Antimicrobial Stewardship Team）

### 1）抗 MRSA 薬・カルバペネム薬*届け出制実施　＊H28年10月～開始

＊2019年７月１日より、注射オーダー時に届け出が可能なシステムへ変更し、届け出率は100％で経過している。

### 2）ＡＳＴ介入状況

①カンファレンス（ラウンド）：木曜日＋α／週　合計93回

②ラウンド回数・延べ患者数・介入率など

| | 令和２年 | 令和３年 | 令和４年 | 令和５年 | 令和６年 | 令和７年 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 回数 | 83 | 78 | 84 | 89 | 90 | 93 |
| 延べ患者数 | 1384 | 804 | 1077 | 1184 | 1295 | 1120 |
| コメント人数 | 172 | 118 | 69 | 76 | 284 | 341 |
| 介入率（％） | 12.4 | 14.7 | 6.4 | 6.4 | 21.93 | 30.4 |
| コメント数※ | 344 | 300 | 256 | 343 | 360 | 295 |
| 変更数※※ | 186 | 200 | 166 | 225 | 249 | 253 |
| 変更率（％） | 54.1 | 66.7 | 64.8 | 65.6 | 69.2 | 85.8 |

※　ラウンド結果表を用いてフィードバックを実施した件数

※※　ラウンド結果表でフィードバック後、１週間以内に AST のコメントに則った変更があった件数

・AST 介入の延べ患者数、介入率は増加している。AST からのコメントに対する支持変更状況も、変更数の増加がみられている。

③相談件数（件）

| | 令和２年 | 令和３年 | 令和４年 | 令和５年 | 令和６年 | 令和７年 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 院　　内 | 282 | 331 | 411 | 536 | 515 | 555 |
| 院　　外 | 10 | 7 | 4 | 2 | 0 | 0 |
| 合　　計 | 292 | 338 | 415 | 538 | 515 | 555 |

④血液培養：複数採取率

| | 令和２年 | 令和３年 | 令和４年 | 令和５年 | 令和６年 | 令和７年 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 複数セット率 | 88.1％ | 89.8％ | 89.6％ | 89.9％ | 79.1％ | 91.1％ | |
| 陽性率 | 12.6％ | 14.0％ | 14.3％ | 12.9％ | 12.8％ | 12.4％ | ※ |
| コンタミ率 | 1.5％ | 2.1％ | 2.2％ | 2.0％ | 1.7％ | 1.7％ | ※2 |
| 小児除く複数セット率 | 95.9％ | 95.4％ | 94.8％ | 96.7％ | 84.0％ | 96.1％ | |

※　適切な血液培養が実施されている場合、陽性率は５～15％の間になると言われている

※2　CUMITECH では２～３％以下、CLSI では３％以下推奨

## 4．感染対策に関するコンサルテーション件数

| | 令和２年 | 令和３年 | 令和４年 | 令和５年 | 令和６年 | 令和７年 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 院　　内 | 278 | 283 | 136 | 950 | 757 | 550 |
| 院　　外 | 29 | 42 | 118 | 69 | 63 | 58 |

## 5．職業感染予防対策

| | | 令和４年度 | 令和５年度 | 令和６年度 | 令和７年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| １）流行性ウィルス疾患抗体価検査・ワクチン接種 | | | | | |
| ①新規採用者・異動者、在職者の抗体価検査実施 | | 183名 | 176名 | 179名 | 135名 |
| ②新規採用者・異動者、在職者のワクチン接種者 | | 154名 | 141名 | 90名 | 170名※1 |
| ２）インフルエンザワクチン接種 | 合　計 | 1，351名 | 1，341名 | 1，317名 | 1，295名 |
| | 接種率 | 94．2％ | 92．4％ | 88．5％ | 89．4％ |
| ３）Ｂ型肝炎ワクチン接種者 | 合　計 | 135名 | 94 | 105 | 71※2 |
| ４）三種混合（百日咳）ワクチン接種 | 合　計 | 0名 | | | |
| ５）新型コロナウイルスワクチン接種（３回接種） | 合　計 | | | | |
| | 接種率 | | | | |
| ６）新型コロナウイルスワクチン接種（４回接種） | 合　計 | 959名 | | | |
| | 接種率 | 65．1％※3 | | | |

※１令和６年度ＭＲワクチンの不足により未接種だった分が含まれるため①より多くなった

※２令和７年度ガイドラインの改訂により例年より減少

※３計算式＝$\frac{\text{ワクチン４回接種した人数}}{\text{３月末在職者数（1，473名）}}$

## 6．感染症情報の発行（不定期）

| 発行日 | 内　　容 |
|---|---|
| ４月22日 | ICT メイトより抗体価の確認が可能です |
| ４月22日 | MSSA 検出時のセファゾリンへの変更の再周知 |
| ５月１日 | ５月は「手指衛生」強化月間 |
| ５月20日 | 陰圧個室加算における陰圧確認の運用について |
| ５月23日 | 【中止】ICT 研修会の受講について |
| ５月27日 | 感染症発生動向～コロナ・ノロウイルス |
| ７月29日 | 針刺事象が増加しています |
| ８月１日 | FilmArray® Torch システム運用開始について |
| ８月５日 | 電子カルテ動画視聴について |
| ９月30日 | FilmArray® Torch システムの血液検体運用開始について |
| 10月24日 | 「酵母様真菌感受性カード」納期遅延について |
| 11月26日 | インフルエンザの感染が急速に拡がっています |
| 12月26日 | 急な発熱や感冒症状が出現した職員の対応について |
| ３月９日 | FilmArray® Torch システム運用結果報告について |

・感染症の発生・対策周知のため、情報誌を発行している。

## 7．地域連携：地域全体の感染管理発展のための活動を行っている。

１）十勝管内医療機関19施設との合同カンファレンス開催：４回／年

①感染対策加算２取得施設：７施設
②感染対策加算３取得施設：５施設
③加　算　準　備　施　設：４施設
④外来感染対策向上加算：２施設
⑤介　　護　　施　　設：１施設

２）感染対策連携施設ラウンド実施：４施設

３）十勝管内感染対策加算１取得施設（３施設）との相互院内ラウンド実施　１回／年

・十勝管内の連携施設と、カンファレンスを行い、感染防止対策に関する情報交換を行っている。尚、連携している感染防止対策加算２・３または外来加算の施設内ラウンドを行い、課題の共有や改善策について情報共有を行っている。

・2025年度も、管内42施設（前年比＋７施設）が一堂に会し、新興感染症を想定する合同訓練を行った。

（文責／感染対策室長（ICD）　髙村　圭）

# 褥瘡チーム

## Ⅰ．褥瘡有病率・褥瘡推定発生率

### １．褥瘡患者数・有病率

表１．月別有病率（%）

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 平均 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| R５年 | 2.77 | 3.61 | 2.99 | 2.23 | 3.82 | 3.04 | 2.67 | 2.43 | 1.56 | 2.40 | 2.20 | 1.61 | 2.61 |
| R６年 | 1.79 | 1.90 | 1.86 | 1.44 | 2.00 | 2.11 | 2.66 | 2.25 | 2.06 | 3.90 | 2.50 | 2.21 | 2.22 |
| R７年 | 1.53 | 1.91 | 3.14 | 1.54 | 2.66 | 2.70 | 2.73 | 3.01 | 3.47 | 3.20 | 2.10 | 2.26 | 2.52 |

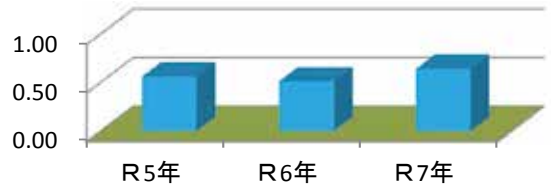
表２．月別新発生（入院後発生）有病率（%）

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 平均 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| R５年 | 0.37 | 0.60 | 0.62 | 0.66 | 0.68 | 0.78 | 0.47 | 0.84 | 0.23 | 0.13 | 0.69 | 0.61 | 0.56 |
| R６年 | 0.24 | 0.83 | 0.49 | 0.44 | 0.42 | 0.85 | 0.20 | 0.31 | 0.59 | 0.95 | 0.45 | 0.39 | 0.51 |
| R７年 | 0.20 | 0.57 | 0.60 | 0.20 | 1.04 | 0.66 | 0.75 | 1.13 | 0.74 | 0.69 | 0.49 | 0.57 | 0.64 |

（当院）褥瘡有病率（%）

$$\frac{\text{褥瘡患者累計数（１カ月）}}{\text{延べ入院患者数（１カ月）}} \times 100$$

図１　新発生有病率推移

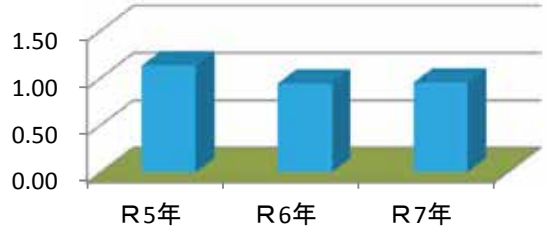



### ２．褥瘡発生率

表３．月別発生率（%）　日本褥瘡学会式

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 平均 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| R５年 | 1.27 | 1.25 | 1.36 | 0.78 | 0.99 | 1.96 | 0.89 | 1.45 | 1.56 | 0.55 | 1.14 | 0.46 | 1.13 |
| R６年 | 0.42 | 1.18 | 1.36 | 1.23 | 0.61 | 0.61 | 0.44 | 0.64 | 2.09 | 1.31 | 0.58 | 0.62 | 0.94 |
| R７年 | 0.43 | 1.07 | 1.03 | 0.19 | 0.88 | 0.86 | 0.62 | 1.86 | 1.33 | 0.82 | 1.10 | 1.28 | 0.95 |

図２　褥瘡発生率（学会式）




１）褥瘡発生率（日本褥瘡学会式）は、
1.13%→0.94%→0.95%に減少しているが、
全国調査の値には至っていない。

2021年　全国調査
一般病院　0.84%
療養病床有　一般病院　0.87%
大学病院　0.64%

（日本褥瘡学会）褥瘡推定発生率（%）

$$\frac{\text{調査日に褥瘡を保有する患者数ー入院時すでに褥瘡保有が記録されていた患者数}}{\text{調査日の施設入院患者数}} \times 100$$

## Ⅱ．褥瘡新発生患者

### 1．診療科別褥瘡新発生数

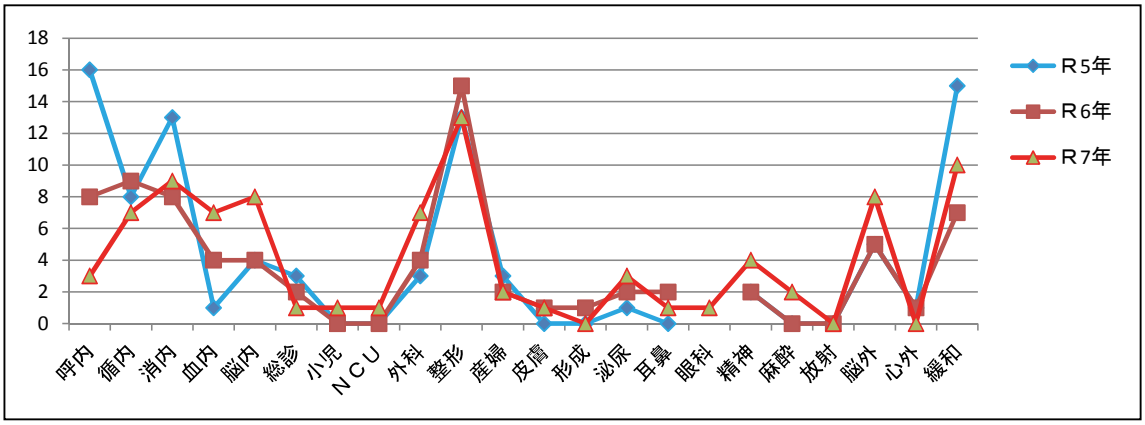
表４．診療科別新発生数（名）

| | 呼内 | 循内 | 消内 | 血内 | 脳内 | 総診 | 小児 | NCU | 外科 | 整形 | 産婦 | 皮膚 | 形成 | 泌尿 | 耳鼻 | 眼科 | 精神 | 麻酔 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| Ｒ５年 | 16 | 8 | 13 | 1 | 4 | 3 | 0 | 0 | 3 | 13 | 3 | 0 | 0 | 1 | 0 | | 2 | 0 |
| Ｒ６年 | 8 | 9 | 8 | 4 | 4 | 2 | 0 | 0 | 4 | 15 | 2 | 1 | 1 | 2 | 2 | | 2 | 0 |
| Ｒ７年 | 3 | 7 | 9 | 7 | 8 | 1 | 1 | 1 | 7 | 13 | 2 | 1 | 0 | 3 | 1 | 1 | 4 | 2 |

| | 放射 | 脳外 | 心外 | 緩和 | 救急 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| Ｒ５年 | 0 | 5 | 1 | 15 | 9 | 97 |
| Ｒ６年 | 0 | 5 | 1 | 7 | 2 | 79 |
| Ｒ７年 | 0 | 8 | 0 | 10 | 7 | 96 |

令和４年　救急科が新設された。眼科での入院治療が可能となった術後の安静保持目的でのうつ伏せ治療により褥瘡が１件発生した。褥瘡新発生件数は、令和３年以降年間100件以下を維持している。

図３　診療科別　褥瘡新発生推移




年間褥瘡新発生10件／年を超えている診療科は整形外科、緩和続いて消化器内科→脳神経内科・脳外科→循環器内科・血液内科・外科・救急科の順である。

### 2．褥瘡新発生患者の日常生活自立度

表５　　n＝96

| 自立 | 準寝たきり | 寝たきり | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 車いす | | ベット上 | |
| J | A | Ｂ１ | Ｂ２ | Ｃ１ | Ｃ２ |
| 0 | 1（1.0％） | 1（1.0％） | 5（5.2％） | 19（19.8％） | 70（72.9％） |

### 3．褥瘡新発生総褥瘡の保有部位

表６．部位別　褥瘡新発生数

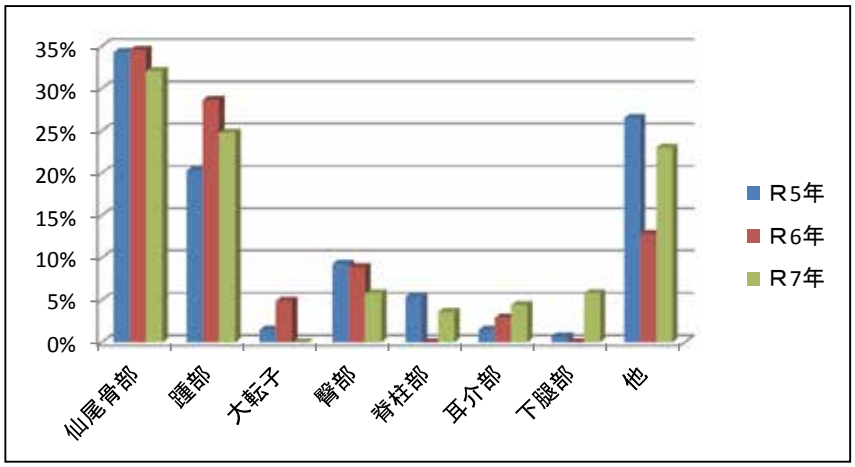
| | 仙骨部 | 尾骨部 | 踵部 | 耳介部 | 後頭部 | 大転子 | 背部 | 足部 | 肘部 | 坐骨部 | 下腿部 | 肩甲骨 | 膝部 | 腸骨部 | 胸部 | 脊椎部 | 外内踝 | 臀部 | 他 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| Ｒ５年 | 44 | 26 | 2 | 0 | 2 | 0 | 5 | 0 | 5 | 1 | 1 | 0 | 1 | 2 | 7 | 6 | 12 | 14 | 128部位 |
| Ｒ６年 | 35 | 29 | 3 | 1 | 5 | 0 | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 9 | 13 | 101部位 |
| Ｒ７年 | 44 | 34 | 6 | 0 | 0 | 2 | 2 | 1 | 2 | 8 | 0 | 2 | 2 | 1 | 5 | 2 | 8 | 18 | 137部位 |

表７．部位別　総褥瘡新発生（％）

| | 仙尾骨部 | 踵部 | 大転子 | 臀部 | 脊柱部 | 耳介部 | 下腿部 | 他 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| Ｒ５年 | 34％ | 20％ | 2％ | 9％ | 5％ | 2％ | 1％ | 27％ |
| Ｒ６年 | 35％ | 29％ | 5％ | 9％ | 0％ | 3％ | 0％ | 13％ |
| Ｒ７年 | 32％ | 25％ | 0％ | 6％ | 4％ | 4％ | 6％ | 23％ |
| 2021(令和３年)全国実態調査 | 56.4％ | 16.3％ | 2.1％ | | 5.4％ | 1.4％ | | 18.4％ |

いずれの年度も当院は全国調査と比較しても、踵部の発生割合が高く、仙骨尾骨部の発生割合は少ない傾向にあります。

図４．部位別褥瘡発生推移




４．褥瘡深達度（褥瘡新発生者）

表８．新発生褥瘡　深達度（DESIGN-R®2020）

| | d１ | d２ | D３ | D４ | D５ | DTI | U | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| Ｒ５年 | 50(39.0％) | 75(58.5％) | 1（0.7％） | 0 | 0 | 0 | 2（1.5％） | 128部位 |
| Ｒ６年 | 24(23.7％) | 74(73.2％) | 1（0.9％） | 0 | 0 | 1（0.9％） | 1（0.9％） | 101部位 |
| Ｒ７年 | 54(39.4％) | 78(57.0％) | 1（0.7％） | 0 | 0 | 4（2.9％） | 0 | 137部位 |

topic

週１回　褥瘡患者のラウンドを形成外科医、形成外来看護師、病棟看護師、理学療法士、特定行為研修修了者、皮膚・排泄ケア認定看護師の多職種で行っています。理学療法士と褥瘡部位への摩擦ずれの負荷の少ないリハビリ方法の確認とポジショニングの検討、外来看護師の参加により、外来⇔入院と退院後も切れ目のないケアの継続を目指しています。

（文責／皮膚・排泄ケア認定看護師　大椋　友美）

# 栄養サポートチーム（NST）

当院は、効果的な栄養療法を選択・実施することにより、治療成績・患者のＱＯＬ向上、合併症の減少など診療の質を高めることを目的とし、医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・臨床検査技師・言語聴覚士・理学療法士・作業療法士など多職種が連携し、栄養サポートチーム（以下、ＮＳＴ）活動を行っている。

**ＮＳＴ稼働施設認定**：ＪＳＰＥＮ（日本栄養治療学会）

**（１）ＮＳＴ介入実績**

平成17年度よりＮＳＴ活動を開始。栄養管理の重要性は広く院内に認知され、ＮＳＴ加算の有無にかかわらずＮＳＴ活動は定着している。ＮＳＴ加算は、算定要件を満たす職種が揃ったことにより算定割合が上昇傾向にある。

| | 令和５年度 | 令和６年度 | 令和７年度 |
|---|---|---|---|
| ＮＳＴ件数 | 1,579件 | 2,216件 | 1,828件 |
| ＮＳＴ加算割合 | 15％ | 36％ | 43％ |

**（２）ＮＳＴ専門療法士のための臨床実地修練の開催・受け入れ実績**

道東唯一の「ＮＳＴ専門療法士認定教育施設」として、院内・院外を問わず広くＮＳＴの人材育成に貢献している。

平成27年度より実地修練生の受け入れを行っており、希望者多数の場合は２回／年開催している。令和７年度は１回／年開催し12名の受け入れを行っている。

| 令和５年度 | 令和６年度 | 令和７年度 |
|---|---|---|
| 21名<br>２回／年開催 | 21名<br>２回／年開催 | 21名<br>１回／年開催 |

**（３）ＮＳＴ啓蒙活動実績（令和７年度）**

院内スタッフ・研修医の栄養管理に関する知識向上、ＮＳＴ活動の啓蒙を目的に、セミナー・勉強会を開催し、院内広報誌にＮＳＴニュースを掲載している。

| | |
|---|---|
| 研修医対象ＮＳＴセミナー（１回／年） | ＮＳＴラウンド・周術期栄養管理・口腔ケアについて |
| 「ＮＳＴニュース」の発行（６回／年） | 栄養管理に関する内容 |

（文責／ＮＳＴ事務局　栄養科　森　多喜子）

# 緩和ケアチーム

## 1．活動概要

(1) チームメンバー：緩和支持治療科医師、精神科医師、放射線科医師、外科医師、総合診療科医師、緩和薬物療法認定薬剤師、公認心理師・臨床心理士、管理栄養士、がん看護専門看護師、緩和ケア認定看護師、がん性疼痛看護認定看護師、乳がん看護認定看護師、がん相談員

(2) 緩和ケアチーム回診：平日毎日回診（主に緩和支持治療科医師、緩和ケア専従看護師が対応)、週に１回チームメンバー全員でチームカンファレンス・回診を実施している。

(3) 対象者：一般病棟の入院患者とその家族（外来患者は、緩和支持治療科外来にて対応）

(4) 依頼内容・依頼件数（がん)：症状対応と緩和ケア病棟（PCU）申し込みについての依頼があった。症状対応の内容としては、疼痛19％（40件)、疼痛以外の身体症状13％（27件)、精神症状９％（19件）であった。また、抗がん治療終了後の依頼が多くを占めており、ECOG の Performance Status 別にみると PS3 が43％、PS4 が33％、PS2 が23％であった。昨年と比較すると精神症状を主とする依頼がやや増加し、PS4 の状況での依頼はやや減少した。

## 2．緩和ケアチーム依頼内容について

(1) 入院患者の緩和ケアチーム依頼件数・診療科別

計170名（がん患者169名、非がん患者１名）の依頼があった

| | 令和５年度 | 令和６年度 | 令和７年度 |
|---|---|---|---|
| 呼吸器内科 | 48 | 45 | 50 |
| 循環器内科 | 0 | 0 | 1 |
| 消化器内科 | 46 | 60 | 33 |
| 血液内科 | 6 | 11 | 8 |
| 脳神経内科 | 0 | 2 | 1 |
| 外科 | 22 | 28 | 32 |
| 脳神経外科 | 3 | 1 | 2 |
| 整形外科 | 1 | 2 | 3 |
| 産婦人科 | 19 | 15 | 18 |
| 形成外科 | 1 | 2 | 6 |
| 泌尿器科 | 13 | 10 | 8 |
| 耳鼻咽喉科 | 4 | 3 | 6 |
| 精神科 | 0 | 0 | 2 |
| 皮膚科 | 1 | 0 | 0 |
| 計 | 164 | 179 | 170 |

(2) 依頼内容

①がん患者

| | |
|---|---|
| 疼痛 | 40 |
| 疼痛以外の身体症状 | 27 |
| 精神症状 | 19 |
| 家族ケア | 4 |
| 倫理的問題 | 0 |
| 地域連携・退院支援 | 0 |
| 緩和ケア病棟申し込み | 119 |
| その他 | 2 |

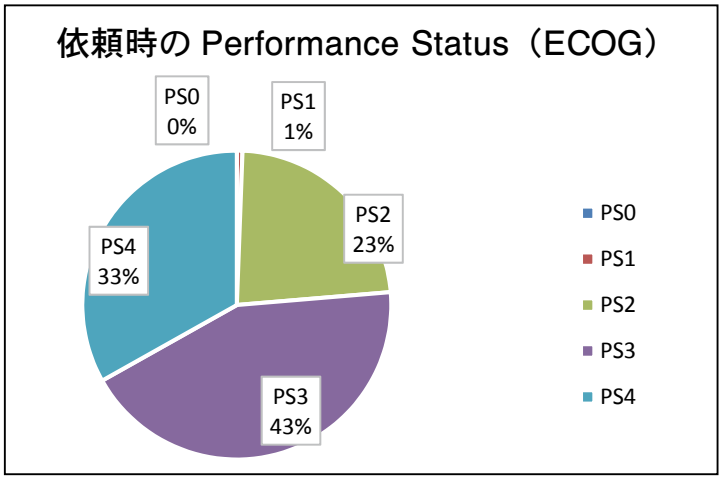
②非がん患者

| | |
|---|---|
| 疼痛 | 1 |

(3) 依頼時期と依頼時の Performance Status（ECOG）

①がん患者

| | |
|---|---|
| 診断から初期治療前 | 0 |
| がん治療中 | 22 |
| がん治療終了後 | 147 |




(4) 依頼終了時の転帰

| | |
|---|---|
| 介入終了（生存） | 0 |
| 退院 | 9 |
| 在宅ケア | 3 |
| 死亡 | 20 |
| 緩和ケア病棟転棟 | 124 |
| その他の転院 | 4 |

## 3．その他

(1) 緩和ケア病棟申し込み面談の実施状況

面談を週３回（１日２枠）設けて、緩和支持治療科医師、緩和ケア担当看護師が緩和ケア外来あるいは入院病棟にて面談を実施している。外来・入院あわせて診療科別の実施状況は以下となる。

**【緩和ケア病棟申し込み面談実施件数（診療科・年度別）】**

＊実際に入棟した件数とは異なる

| | 令和５年度 | 令和６年度 | 令和７年度 |
|---|---|---|---|
| 呼吸器内科 | 72 | 80 | 84 |
| 循環器内科 | 0 | 0 | 0 |
| 消化器内科 | 77 | 95 | 57 |
| 血液内科 | 14 | 11 | 9 |
| 神経内科 | 0 | 0 | 0 |
| 外科 | 40 | 34 | 44 |
| 脳神経外科 | 3 | 2 | 4 |
| 整形外科 | 0 | 2 | 0 |
| 産婦人科 | 17 | 18 | 16 |
| 形成外科 | 3 | 3 | 2 |
| 泌尿器科 | 12 | 8 | 8 |
| 耳鼻咽喉科 | 4 | 3 | 5 |
| 脳神経内科 | 0 | 1 | 0 |
| 計 | 244 | 257 | 229 |

## 4．教育・啓蒙活動

(1) 施設内の全てのがん患者を対象とした緩和ケアスクリーニングの普及啓発活動を緩和ケアリンクスタッフと協働し実施、継続している。

(2) 緩和ケアリンクスタッフ会の企画・運営を実施している。定例会を年に６回開催し、定例会内での研修会（事例検討含む）を行った。

(3) ホスピス緩和ケア週間イベントの開催（2025/10/10）：患者・家族を対象に緩和支持治療科医師、緩和ケア担当看護師、がん相談員によるミニ講話とパネル展示を行った。

(4) がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会の開催（2026/2/14）：計24名（医師22名、看護師１名、薬剤師１名）が受講修了した。

(5) ELNEC-J（End-of-Life Nursing Education Consortium Japan）コアカリキュラム看護師教育プログラム研修を開催(2025/8/2・9/20・10/18)：計22名(施設内14名、施設外８名）が受講修了した。

(6) エンゼルケア勉強会を開催（2026/1/15・29、2/3・4・5）：計59名（施設内看護師49名、助産師３名、介護福祉士２名、看護助手５名）が参加した。

（文責／がん看護専門看護師　小田島　綾子）

# 在宅療養支援科

## 1．月別訪問看護実施状況及び利用者状況

| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 累計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 利用者数 | 医療保険 | 25 | 28 | 28 | 29 | 28 | 29 | 29 | 32 | 34 | 36 | 35 | 33 | 366 |
| | 介護保険 | 3 | 3 | 3 | 3 | 4 | 5 | 5 | 6 | 6 | 6 | 5 | 7 | 56 |
| | 利用者総数 | 28 | 31 | 31 | 32 | 32 | 34 | 34 | 38 | 40 | 42 | 40 | 40 | 422 |
| 訪問延べ件数 | 医療保険 | 142 | 132 | 134 | 186 | 190 | 164 | 148 | 123 | 149 | 134 | 149 | 183 | 1834 |
| | 介護保険 | 14 | 14 | 14 | 15 | 16 | 23 | 21 | 23 | 25 | 22 | 20 | 22 | 229 |
| | 訪問延べ件数 | 156 | 146 | 148 | 201 | 206 | 187 | 169 | 146 | 174 | 156 | 169 | 205 | 2063 |
| 24時間対応 | 緊急訪問 | 11 | 4 | 4 | 20 | 26 | 24 | 2 | 6 | 3 | 8 | 3 | 18 | 129 |
| | 電話対応 | 27 | 15 | 18 | 35 | 50 | 34 | 29 | 24 | 45 | 39 | 35 | 31 | 382 |
| 転帰 | 訪問継続 | 26 | 28 | 25 | 28 | 28 | 27 | 28 | 30 | 32 | 30 | 33 | 29 | 344 |
| | 入院中 | 1 | 2 | 5 | 2 | 4 | 4 | 6 | 8 | 7 | 8 | 4 | 9 | 60 |
| | 死亡(病院/施設) | 1 | 1 | 1 | 2 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 4 | 3 | 1 | 16 |
| | 死亡(在宅) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 |
| | 訪問終了 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 主な疾患 | 悪性新生物 | 11 | 14 | 14 | 15 | 15 | 16 | 16 | 19 | 20 | 23 | 18 | 17 | 198 |
| | 心疾患 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 3 | 3 | 26 |
| | 脳血管疾患 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 呼吸器疾患 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 腎疾患 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | 0 |
| | 難病 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 36 |
| | 精神疾患 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 36 |
| | その他 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 10 | 10 | 10 | 11 | 10 | 11 | 12 | 119 |

## 2．新規利用者推移

| 新規利用者 | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 累計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 医療保険 | | 2 | 4 | 1 | 2 | 1 | 1 | 3 | 4 | 3 | 5 | 3 | 2 | 31 |
| 介護保険 | | | | | | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | | | 2 | 5 |
| 指示元内訳 | 呼吸器 | | 1 | | 1 | | | 1 | 1 | | 3 | | | 7 |
| | 循環器 | | | | | | | | 2 | | | 1 | | 3 |
| | 消化器 | | 1 | | | 1 | 1 | 1 | | 1 | 1 | 1 | 1 | 8 |
| | 血液内科 | 1 | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 脳神経内科 | | | | | 1 | | | | | | | | 1 |
| | 緩和支持科 | | | | 1 | | | | 1 | | 1 | | | 3 |
| | 総合診療科 | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| | 外科 | 1 | 1 | 1 | | | 1 | | | | | | 1 | 5 |
| | 泌尿器科 | | 1 | | | | | 1 | | | | | | 2 |
| | 婦人科 | | | | | | | | | | | | | 0 |
| | 形成外科 | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| | 小児科 | | | | | | | | | 1 | | 1 | | 2 |
| | その他 | | | | | | | | 1 | 1 | | | | 2 |

## 3．訪問看護利用開始年月（令和８年３月現在訪問継続利用者）

| 年度 | 平成8～15年度 | 平成16～20年度 | 平成21～25年度 | 平成26～28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | 男女合計 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 医療 男 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 4 | 0 | 0 | 1 | 8 | 15 | 33 |
| 医療 女 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 0 | 2 | 2 | 2 | 8 | 18 | |
| 介護 男 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 5 |
| 介護 女 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 3 | |

（文責／在宅療法支援科　看護科長　川原　麻妃）

# メディアセンター

| | 令和５年度 | 令和６年度 | 令和７年度 |
|---|---|---|---|
| 所蔵図書数（冊） | 3, 571 | 2, 607 | 2, 560 |
| ライブラリーしらかば（患者図書数）（冊） | 1, 275 | 1, 015 | 1, 047 |
| 年間購読タイトル（和雑誌） | 45 | 40 | 31 |
| 電子ジャーナル（洋雑誌） | 45 | 37 | 33 |
| 院外医療者利用状況（人） | 1 | 3 | 1 |
| 貸出件数（個人） | 18 | 9 | 9 |
| 文献複写（依頼数） | 55 | 91 | 102 |
| 文献複写（受付数） | 12 | 7 | 10 |
| メディカルオンライン（ダウンロード数） | 7, 174 | 6, 838 | 5, 649 |
| 医学中央雑誌 Web（アクセス数） | 3, 934 | 3, 281 | 2, 128 |
| UpToDate（アクセス数） | 3, 353 | 3, 652 | 3, 825 |
| 医書.jp（アクセス数） | 17, 613 | 13, 316 | |

（文責／メディアセンター管理部会長　安井　啓悟）

# 講演会・研修会　実施記録

| 対象 | 名　　称 | テ　ー　マ | 講　　師 | 開　　催　　日 | 会　場 | 事　務　局 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 一般 | 更別村　ゲートキーパー養成講座 | ゲートキーパの役割について | 医療社会事業科　築田　昌明<br>精神科　古瀬　研吾 | 2025年９月19日 | 更別村老人保健福祉センター | 更別役場 |
| | 全道保育問題研究集会 | 支援者のメンタルヘルス | 医療社会事業科　築田　昌明、築田千代実 | 2025年10月４日 | 十勝プラザ | こでまり保育所 |
| | 十勝 CDEJ 研修会 | 糖尿病関連腎臓病予防を考える～心臓と腎臓を守る為に～ | 薬剤部　津田　雅大 | 2025年10月30日 | 北海道ホテル | 北海道糖尿病協会・バイエル薬品 |
| | 十勝管内学校保健養護部会<br>第１回研究協議会 | 思春期のメンタルヘルス | 医療社会事業科　築田　昌明、築田千代実 | 2025年11月28日 | 幕別町100年記念ホール | 北海道本別高等学校 |
| 職員 | 看護部ラダーⅠ講義 | 酸素吸入療法について | 臨床工学技術科　遠藤　光一 | 2025年４月４日 | Kosei Hall<br>A・B・C | 看護部 |
| | 看護部ラダーⅠ講義 | 輸液・シリンジポンプの取扱いについて | 臨床工学技術科　小柳　智康 | 2025年４月18日、<br>４月21日 | Kosei Hall<br>A・B・C | 看護部 |
| | 令和７年度臨床工学技士<br>病院間技術交流研修会 | 臨床工学技士によるタスクシェアの現状と今後　～麻酔補助業務を中心に～ | 済生会熊本病院　統括技師長 兼 臨床工学部門技師長<br>荒木　康幸　先生 | 2025年４月19日 | Kosei Hall<br>A・B・C | 臨床工学技術科 |
| | 令和７年度臨床工学技士<br>病院間技術交流研修会 | 医療機器管理における臨床工学技士と医療安全 | 札幌医科大学附属病院　臨床工学部・医療安全部<br>主任技師　橋　高男　先生 | 2025年４月19日 | Kosei Hall<br>A・B・C | 臨床工学技術科 |
| | 第１回 医療安全推進研修会 | １．医療事故調査制度の対象と運用<br>２．セーフティレポート報告と医療安全研修・学習会案内<br>３．医療安全相談担当の業務 " | １．医療安全管理科　室長　保前　英希<br>２．医療安全管理科　専従医療安全管理者　泊澤　優子<br>３．医療安全管理科　科長　谷川　和広 | 2025年６月20日～<br>７月21日 | 動画配信 | 医療安全管理科 |
| | 第１回（本部主催）医療安全研修会 | 「ヒューマンエラーと医療安全」 | SOMPO リスクマネジメント株式会社 | 2025年７月７日～<br>９月７日 | 動画配信 | 医療安全管理科 |
| | 第１回 医療安全学習会 | 「放射線検査」<br>１．安心・安全な検査を提供するために<br>２．MRI の金属吸着、持ち込み事例<br>３．核医学検査 PET-CT の前処置について | １．中央検査室　看護係長　森　和子<br>２．放射線技術科　放射線技師　木村　佳江<br>３．放射線技術科　放射線技師　中鉢　貫太 | 2025年９月５日～<br>10月５日 | 動画配信 | 医療安全管理科 |
| | 第２回 医療安全学習会 | 「パニック値対応マニュアルの改訂、対応についての解説」 | 臨床検査技術科　技師長代理　平山　健 | 2025年９月22日～<br>10月22日 | 動画配信 | 医療安全管理科 |
| | 第３回 医療安全学習会 | 「麻薬・向精神薬」<br>麻薬・向精神薬を取り扱う際の注意点 | 薬剤部 薬局長代理　田中　悠季 | 2025年10月30日～<br>11月30日 | 動画配信 | 医療安全管理科 |
| | 第４回 医療安全学習会 | 患者誤認防止マニュアルおよび患者移送時の確認方法 | セーフティマネージャー内部監査ワーキンググループ | 2025年11月10日～<br>12月19日 | 動画配信 | 医療安全管理科 |
| | NST 専門療法士臨床実地修練 | 経腸栄養ポンプの管理 | 臨床工学技術科　高田　哲也 | 2025年11月12日<br>水曜日 | セミナールーム | 栄養科 |
| | 第５回 医療安全学習会 | 「クレーマーと院内暴力の対応」 | 医療安全管理科　保安担当　髙橋　慈朗 | 2025年11月21日～<br>12月21日 | 動画配信 | 医療安全管理科 |
| | 第２回（本部主催）医療安全研修会 | 「心理的安全性」 | SOMPO リスクマネジメント株式会社 | 2025年12月８日～<br>2026年２月８日 | 動画配信 | 医療安全管理科 |
| | 第２回 医療安全推進研修会 | 「医療安全報告の役割～院内対策から全国への情報共有まで～」 | 北海道大学病院　医療安全管理部<br>部長　堀田記世彦　先生 | ①2026年２月６日<br>②2026年２月24日～<br>３月24日 | ①集合研修<br>②動画配信 | 医療安全管理科 |
| | 第６回 医療安全学習会 | 「採血検体・ハイリスク薬について」<br>１．採血後の検体の取り扱いの注意点<br>２．ハイリスク薬について | １．臨床検査技術科　畑　茉由<br>２．薬剤部 薬局長代理　田中　悠季 | 2026年２月18日～<br>３月18日 | 動画配信 | 医療安全管理科 |
| | 第７回 医療安全学習会 | 「褥瘡予防、スキン－テア予防」<br>１．褥瘡ニュース<br>２．スキン－テアの発生状況と予防 | １．皮膚・排泄ケア認定看護師　大椋　友美<br>２．医療安全管理科　看護係長　横澤　恵 | 2026年３月11日～<br>３月31日 | 動画配信 | 医療安全管理科 |
| | 第８回 医療安全学習会 | 「酸素療法」<br>１．酸素療法の基本<br>２．酸素投与に関する報告事例<br>３．酸素ボンベの使用方法 | １．集中ケア認定看護師　須永　弘美<br>２．医療安全管理科 看護係長　横澤　恵<br>３．太陽日酸北海道株式会社　制作動画 | 2026年３月23日～<br>３月31日 | 動画配信 | 医療安全管理科 |

# 出前講座撰　実績

| | 題　　名 | 演　者　名 | 開　催　日 | 依　頼　機　関　名 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 腰を守ろう！腰痛ケアのススメ | 武　田　知　希 | 2025年５月24日 土曜日 | ＪＡ帯広かわにしのぞみの会 |
| 2 | 歯周病対策で健康管理～健康は健口から～ | 小和田　淳　子 | 2025年５月28日 水曜日 | 帯広教育委員会　生涯学習文化課 |
| 3 | 高齢者施設、介護施設における感染対策 | 原　　理　加 | 2025年６月25日 水曜日 | しらかば介護付有料老人ホーム川北くらぶ |
| 4 | 認知症ケア | 和　淵　ゆかり | 2025年７月15日 火曜日 | 特別養護老人ホーム　太陽園 |
| 5 | 乳がん検診とブロスト・アウェアネスについて | 太　田　美　幸 | 2025年８月22日 金曜日 | 北海道看護協会十勝支部　助産師職能 |
| 6 | 医療安全活動に必要な取り組み | 泊　澤　優　子 | 2025年８月27日 水曜日 | 広尾町国保病院 |
| 7 | 褥瘡予防とケアの基本 | 大　椋　友　美 | 2025年９月４日 木曜日 | あんじゅ音更 |
| 8 | 口腔ケアのポイント | 河　本　友　香 | 2025年９月16日 火曜日 | 音更病院 |
| 9 | 口腔ケアのポイント | 河　本　友　香 | 2025年９月25日 木曜日 | 音更病院 |
| 10 | 口腔ケアのポイント | 河　本　友　香 | 2025年10月１日 水曜日 | 音更病院 |
| 11 | 食事援助のポイント | 河　本　友　香 | 2025年10月15日 水曜日 | 帯広第一病院 |
| 12 | 乳がん検診とブロスト・アウェアネスについて | 太　田　美　幸 | 2025年10月19日 日曜日 | 十勝女性がん患者の集い　プレシャス |
| 13 | 高齢者施設、介護施設における感染対策 | 原　　理　加 | 2025年10月24日 金曜日 | 十勝支部老人福祉協議会 |
| 14 | 施設での BLS 教育について | 佐々木　祐　輔 | 2025年11月７日 金曜日 | ＪＡ帯広かわにし |
| 15 | 高齢者施設・介護施設における感染対策 | 原　　理　加 | 2025年11月７日 金曜日 | 士幌士特別養護老人ホーム |
| 16 | 性教育 | 平　崎　加奈子 | 2025年11月21日 金曜日 | 中札内高等養護学校幕別分校 |
| 17 | 認知症を引き起こす疾患とその看護 | 和　淵　ゆかり | 2025年11月21日 金曜日 | 川西地区老人クラブ連合会 |
| 18 | 性教育 | 河　端　彩　華 | 2025年11月28日 金曜日 | 帯広市南中学校 |
| 19 | 胃癌大腸癌手術 | 村　川　力　彦 | 2025年12月３日 水曜日 | とかち消化器内視鏡クリニック |
| 20 | 性教育 | 平　崎　加奈子 | 2025年12月10日 水曜日 | 北海道中札内高等養護学校 |
| 21 | 性教育 | 畑　野　祥　子 | 2025年12月11日 木曜日 | 帯広市南中学校 |
| 22 | 乳がん検診を受けましょう | 太　田　美　幸 | 2025年12月19日 金曜日 | 帯広協会病院 |
| 23 | 乳がん検診を受けましょう | 河　合　美　紀 | 2026年１月22日 木曜日 | 幕別町子育て支援センターあおば分室 |
| 24 | 高齢者施設・介護施設における感染対策 | 原　　理　加 | 2026年２月18日 水曜日 | 養護老人ホーム　信楽苑 |
| 25 | 性教育 | 河　端　彩　華 | 2026年２月20日 金曜日 | 帯広第一中学校 |
| 26 | 性教育 | 畑　野　祥　子 | 2026年２月24日 火曜日 | 帯広第一中学校 |
| 27 | 性教育 | 平　崎　加奈子 | 2026年３月６日 金曜日 | 幕別中学校 |
| 28 | 性教育 | 三　守　由　記 | 2026年３月９日 月曜日 | 帯広市南町中学校 |
| 29 | 性教育 | 河　端　彩　華 | 2026年３月９日 月曜日 | 帯広第一中学校 |

# 実習生受け入れ　実績

| 実　　習　　名 | 受　入　期　間 | 受　入　人　数 | 受　入　部　署 |
|---|---|---|---|
| NST 専門療法士臨床実地修練 | 2025年11月10日～11月14日 | 12名 | NST 事務局（栄養科） |
| 帯広高等看護学院 | 2025年４月～12月 | 134名 | 看護部 |
| 旭川厚生看護専門学校 | 2025年６月～９月 | 11名 | 看護部 |
| 帯広市医師会看護専門学校 | 2025年６月～10月 | 33名 | 看護部 |
| 帯広大谷短期大学看護学科 | 2025年７月～８月 | ８名 | 看護部 |
| 日本医療大学　診療放射線学科　臨床実習　３年生 | 2025年７月22日～８月15日 | １名 | 放射線技術科 |
| 日本医療大学　診療放射線学科　臨床実習　４年生 | 2025年８月25日～10月３日 | ２名 | 放射線技術科 |
| 帯広第一中学校　職業体験 | 2025年10月16日 | ５名 | 放射線技術科 |
| 薬学実務実習（２期） | 2025年５月19日～８月３日 | １名 | 薬剤部 |
| 薬学実務実習（３期） | 2025年８月18日～11月２日 | １名 | 薬剤部 |
| 薬学実務実習（４期） | 2025年11月17日～２月８日 | １名 | 薬剤部 |
| 北海道文教大学　臨床実習Ⅴ（総合） | 2025年４月14日～５月23日 | １名 | 理学療法技術科 |
| 北海道千歳リハビリテーション大学　臨床治療実習Ⅰ | 2025年４月21日～６月13日 | １名 | 理学療法技術科 |
| 北海道文教大学　臨床実習Ⅵ（総合） | 2025年６月23日～８月１日 | １名 | 理学療法技術科 |
| 北海道千歳リハビリテーション大学　臨床見学実習 | 2025年８月31日～９月４日 | １名 | 理学療法技術科 |
| 専門学校北海道リハビリテーション大学校　臨床実習Ⅱ | 2025年９月25日～11月21日 | １名 | 理学療法技術科 |
| 北海道医療大学　臨地実習 | 2025年12月８日～２月20日 | １名 | 臨床検査技術科 |
| 日本医療大学　臨地実習 | 2025年８月４日～10月３日 | ２名 | 臨床検査技術科 |
| 西野学園札幌医学技術福祉歯科専門学校　臨地実習 | 2025年５月12日～８月６日 | ２名 | 臨床検査技術科 |
| 吉田学園医療歯科専門学校　臨地実習 | 2025年５月12日～８月６日 | １名 | 臨床検査技術科 |

## 編集後記

今年も無事帯広厚生病院年報を発行することができました。さまざまな資料の収集や評価をしていただきました関係者の方々には厚く御礼申し上げます。年報の中身は厳しい医療情勢の中、頑張った皆さんの証となります。すべてに目を通すことは難しいと思いますが、少しでも職員の頑張りを見てもらえると幸いです。

2026年は診療報酬改定の年です。困難な医療の環境をできるだけ維持するよう集約化が図られていくことになります。十勝の住民が安心して生活していけるような医療体制を維持することを目指していきたいと思います。今後ともよろしくお願い申し上げます。

広報委員長　村川　力彦

**帯広厚生病院年報　2025年度**

2026年10月　発刊

編　集　　広報委員会　年報制作局

発行所　　ＪＡ北海道厚生連　帯広厚生病院
〒080-0024　帯広市西14条南10丁目１番地

発行者　　院長　佐　澤　　陽

印刷所　　東　洋　株　式　会　社
帯広市西10条南９丁目７番地

## 看護部理念

わたしたちは、心よりも先に方法や技術が出てはいけないということを戒めとして、さまざまな看護の機能を駆使し、生活上の基本的な行為を助けることに責任を持ちます。また、わたしたちは、地域の看護職と連携し地域住民の健やかな暮らしに貢献します。

・わたしたちは、専門的知識・技術と倫理を持ってチーム医療における看護の責任を主体的に果たすよう努めます。
・わたしたちは、患者一人ひとりの尊厳と品位、立場とプライバシーを大切にします。
・わたしたちは、患者・家族と共に計画と目標を確認し安心で安全な看護を継続します。

## 健診センター理念

**【理念】**

健康管理活動を通じて地域の皆さまの健康増進をはかり、疾病予防、疾病の早期発見に努めます

**【基本方針】**

1．受診者の人権を尊重し、一人ひとりに寄り添った健診を行います
2．安全な健診、安心して受けられる健診を行います
3．科学的な根拠に基づき、より質の高い健診の提供を目指します
4．地域・職域において健康管理活動を積極的に行います

**【受診者の権利】**

1．受診者は良質な健診を公正・適正に受ける権利があります
2．受診者は個人の情報が守られる権利があります
3．受診者は健診に関する説明・照会・問い合わせ・苦情の申し立てなどを行う権利があります

## 帯広厚生病院卒後臨床研修理念

**信頼され選ばれる**
**医療人になるための礎づくり**

私たちは

常に　多職種共働
　　地域の特性
　　時代の要請　に配慮し

**住民の健康を守ることのできる**
**医師を養成します**

JA北海道厚生連
帯広厚生病院

2025

Annual Report of

# Obihiro Kosei Hospital

OBIHIRO KOSEI HOSPITAL